HITACHI
Inspire the Next

帳票システム構築支援　uCosminexus EUR（イーユーアール）

uCosminexus EUR メッセージ

操作書

3020-7-537-40

■対象製品

●適用 OS：Windows 7，Windows Vista，Windows XP

P-26D2-5684 uCosminexus EUR：イーユーアール Designer 08-70

P-26D2-5784 uCosminexus EUR：イーユーアール Developer※ 08-70

P-26D2-5384 uCosminexus EUR：イーユーアール Viewer 08-70

●適用 OS：Windows Server 2003，Windows Server 2008

P-24D2-5784 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service※ 08-70

P-24D2-5984 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service Enterprise※ 08-70

P-F24D2-57843 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

●適用 OS：HP-UX 11i V2(IPF)，HP-UX 11i V3(IPF)

P-1JD2-5181 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service 08-70

P-1JD2-5381 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service Enterprise 08-70

P-F1JD2-51813 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

●適用 OS：AIX 5L V5.3，AIX V6.1，AIX V7.1

P-1MD2-5181 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service 08-70

P-1MD2-5381 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service Enterprise 08-70

●適用 OS：AIX 5L V5.3，AIX V6.1

P-F1MD2-51813 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

●適用 OS：Red Hat Enterprise Linux 5 (AMD/Intel 64)，Red Hat Enterprise Linux 5 (x86)，Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (AMD/Intel 64)，Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (x86)，Red Hat Enterprise Linux AS 4 (AMD64 & Intel EM64T)，Red Hat Enterprise Linux AS 4 (x86)，Red Hat Enterprise Linux ES 4 (AMD64 & Intel EM64T)，Red Hat Enterprise Linux ES 4 (x86)

P-9SD2-5181 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service 08-70

P-9SD2-5381 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service Enterprise 08-70

P-F9SD2-51813 uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service - Cipher option 08-20

注※

次に示す製品を同梱しています。

・P-2463-2354 DABroker

これらの製品は，ISO9001 および TickIT の認証を受けた品質マネジメントシステムで開発されました。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上，必要な手続きをお取りください。

なお，ご不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標類

Acrobat は，Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

ActiveX は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe は，Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

AIX は，米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。

AIX 5L は，米国およびその他の国における International Business Machines Corporation の商標です。
AMD は，Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
BSAFE は，EMC Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
ESC/P は，セイコーエプソン (株) の商標です。
HP-UX は，Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。
Itanium は，アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
Java は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
JavaScript は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
Linux は，Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft および Hyper-V は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft および Visual Basic は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Microsoft Excel は，米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
Microsoft Office Excel は，米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
Microsoft Office Word は，米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
Microsoft SQL Server は，米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
Microsoft Word は，米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
ODBC は，米国 Microsoft Corporation が提唱するデータベースアクセス機構です。
OLE は，米国 Microsoft Corporation が開発したソフトウェア名称です。
ORACLE は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
Oracle 及び Oracle 10g は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
Oracle 及び Oracle9i は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
Oracle 及び Oracle Database 11g は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
PostScript は，米国 Adobe Systems, Inc. が開発した言語仕様です。
Red Hat は，米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。
RSA は，EMC Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
SOAP（Simple Object Access Protocol）は，分散ネットワーク環境において XML ベースの情報を交換するための通信プロトコルの名称です。
Sun は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
Sun Microsystems は，Oracle Corporation 及びその子会社，関連会社の米国 及びその他の国における登録商標または商標です。
UNIX は，The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Server は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Vista は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
XSL は，the World Wide Web Consortium の商標です。
紙の番人は，日立公共システムエンジニアリング株式会社の登録商標です。

プログラムプロダクト「P-F24D2-57843，P-F1JD2-51813，P-F1MD2-51813 および P-F9SD2-51813」は，EMC Corporation の RSA BSAFE(R) ソフトウェアを搭載しています。

■マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは，マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

製品名称	表記		
ActiveX(R)	ActiveX		
Microsoft(R) Excel Version 2002 Microsoft(R) Office Excel 2003 Microsoft(R) Office Excel 2007 Microsoft(R) Office Excel 2010	Excel		
Microsoft(R) SQL Server	SQL Server		
Microsoft(R) Visual Basic(R) .NET 2003 Microsoft(R) Visual Basic(R) 2005 SP1 Microsoft(R) Visual Basic(R) 2008	Visual Basic		
Microsoft(R) Visual Basic(R) Scripting Edition	VBScript		
Microsoft(R) Windows(R) 7 Professional Microsoft(R) Windows(R) 7 Enterprise Microsoft(R) Windows(R) 7 Ultimate	Windows 7		Windows
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition	Windows Server 2003	Windows Server 2003	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition	Windows Server 2003 R2		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 R2 x64		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition	Windows Server 2003 x64		
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V™ Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V™	Windows Server 2008	Windows Server 2008	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter	Windows Server 2008 R2		
Microsoft(R) Windows Vista(R) Business Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	Windows Vista		

製品名称	表記	
Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition Operating System Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	Windows XP	
Microsoft(R) Word Version 2002 Microsoft(R) Office Word 2003 Microsoft(R) Office Word 2007 Microsoft(R) Office Word 2010	Word	

■発行

2011 年 7 月　3020-7-537-40

■著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2008, 2011, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容（3020-7-537-40）

uCosminexus EUR Developer　08-70

uCosminexus EUR Print Service　08-70

uCosminexus EUR Print Service Enterprise　08-70

追加・変更内容	変更個所
次のメッセージの要因・対処の説明を変更しました。 • フォームシートファイルへの変換中にエラー（XX）が発生しました。 • KFDB012YM-E	14.6(3)，35.15
次のメッセージを追加しました。 • KFDB025DB-E • KFDB301YM-I • KFDB302YM-I • KFDB303YM-I • KFDB310YM-I	35.1，35.15

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは，次に示すプログラムプロダクトで出力するメッセージについて説明したものです。

- uCosminexus EUR：イーユーアール Designer
- uCosminexus EUR：イーユーアール Developer
- uCosminexus EUR：イーユーアール Viewer
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service Enterprise
- uCosminexus EUR：イーユーアール Print Service - Cipher option

以降，「EUR：イーユーアール」を「EUR」と表記します。

■対象読者

このマニュアルは，次のような方を対象としています。

- Windows(R) 環境で EUR 帳票作成機能を使用して帳票を設計する方
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を使って，EUR Form 帳票を作成する方
- Windows 環境で設計した帳票を，プログラムから出力する方
- Windows 環境で設計した帳票を，Windows 環境，UNIX 環境，または Linux(R) 環境で出力する方

そのため，次に示す内容を理解されていることを前提としています。

- Windows の基本操作
- マニュアル「uCosminexus EUR 概説」に示す EUR の製品の特徴および使用目的

また，次に示す環境について理解している方を対象としています。

利用する環境	前提知識
Windows 環境で利用する場合	Microsoft(R) Windows(R) Operating System に関する知識
HP-UX 環境または AIX 環境で利用する場合	UNIX に関する知識
Linux 環境で利用する場合	Linux に関する知識
Windows サーバアプリケーションからの帳票出力で，Active Server Pages（ASP）環境上で利用する場合	ActiveX(R)，および Microsoft(R) Visual Basic(R) Scripting Edition（VBScript）/Microsoft Visual Basic に関する知識
サーバアプリケーションからの帳票出力を，Java^{TM} で開発する場合	Java プログラミングに関する知識

目次

第 1 編　メッセージの概要

1 メッセージの概要 1

1.1 メッセージの出力形式 2

1.1.1 EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能が表示するメッセージ形式 2

1.1.2 EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）が表示するメッセージ形式 4

1.1.3 EUR サーバ帳票出力機能が表示するメッセージ形式 4

1.1.4 DABroker が表示するメッセージ形式 6

1.2 メッセージの記載形式 7

1.3 メッセージの出力先 10

1.3.1 EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ出力先 10

1.3.2 EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ出力先 10

1.3.3 DABroker のメッセージ出力先 11

第 2 編　EUR 帳票作成機能，EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ

2 1000 ～ 1999 15

2.1 1000 ～ 1999 のメッセージ 16

3 4500 ～ 4599 21

3.1 4500 ～ 4599 のメッセージ 22

4 4600 ～ 4699 49

4.1 4600 ～ 4699 のメッセージ 50

5 DBL0001 ～ DBL0999 89

5.1 DBL0001 ～ DBL0999 のメッセージ 90

6 DBL1000 ～ DBL1999 93
6.1 DBL1000 ～ DBL1999 **のメッセージ** 94
7 DBP0001 ～ DBP0999 97
7.1 DBP0001 ～ DBP0999 **のメッセージ** 98
8 DBP1000 ～ DBP1999 111
8.1 DBP1000 ～ DBP1999 **のメッセージ** 112
9 DBP2000 ～ DBP2999 125
9.1 DBP2000 ～ DBP2999 **のメッセージ** 126
10 DBP3000 ～ DBP3999 129
10.1 DBP3000 ～ DBP3999 **のメッセージ** 130
11 DBP6000 ～ DBP6999 139
11.1 DBP6000 ～ DBP6999 **のメッセージ** 140
12 DBP8000 ～ DBP8999 143
12.1 DBP8000 ～ DBP8999 **のメッセージ** 144
13 **英字** 145
13.1 A **で始まるメッセージ** 146
13.2 E **で始まるメッセージ** 147
13.3 O **で始まるメッセージ** 150
13.4 W **で始まるメッセージ** 151
14 **和文字** 153
14.1 **あ行のメッセージ** 154

14.2 **か行のメッセージ** 160
14.3 **さ行のメッセージ** 165
14.4 **た行のメッセージ** 180
14.5 **な行のメッセージ** 189
14.6 **は行のメッセージ** 190
14.7 **ま行のメッセージ** 203
14.8 **や行のメッセージ** 205
14.9 **ら行のメッセージ** 206

15 KEES001 ～ KEES099 213
15.1 KEES001 ～ KEES099 **のメッセージ** 214

16 KEES101 ～ KEES199 217
16.1 KEES101 ～ KEES199 **のメッセージ** 218

17 KEES201 ～ KEES299 223
17.1 KEES201 ～ KEES299 **のメッセージ** 224

18 **その他のメッセージ** 227
18.1 **給紙トレイ一覧ツールのメッセージ** 228

第 3 編　EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）のメッセージ

19 KEEW001 ～ KEEW099 229
19.1 KEEW001 ～ KEEW099 **のメッセージ** 230

20 KEEW101 ～ KEEW199 233
20.1 KEEW101 ～ KEEW199 **のメッセージ** 234

21 KEEW201 ～ KEEW299 257
21.1 KEEW201 ～ KEEW299 のメッセージ 258
22 KEEW301 ～ KEEW399 261
22.1 KEEW301 ～ KEEW399 のメッセージ 262
23 KEEW401 ～ KEEW499 267
23.1 KEEW401 ～ KEEW499 のメッセージ 268
24 KEEW501 ～ KEEW599 273
24.1 KEEW501 ～ KEEW599 のメッセージ 274

第 4 編　EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ

25 KEEU001 ～ KEEU099 279
25.1 KEEU001 ～ KEEU099 のメッセージ 280
26 KEEU100 ～ KEEU199 343
26.1 KEEU100 ～ KEEU199 のメッセージ 344
27 KEEU300 ～ KEEU399 359
27.1 KEEU300 ～ KEEU399 のメッセージ 360
28 KEEU400 ～ KEEU499 367
28.1 KEEU400 ～ KEEU499 のメッセージ 368
29 KEEU500 ～ KEEU599 373
29.1 KEEU500 ～ KEEU599 のメッセージ 374

30 KEEU600 ～ KEEU699 377
30.1 KEEU600 ～ KEEU699 のメッセージ 378
31 KEEU700 ～ KEEU799 383
31.1 KEEU700 ～ KEEU799 のメッセージ 384
32 KEEU800 ～ KEEU899 387
32.1 KEEU800 ～ KEEU899 のメッセージ 388
33 KEEU F0001 ～ KEEU F0999 395
33.1 KEEU F0001 ～ KEEU F0999 のメッセージ 396
34 その他のメッセージ 399
34.1 給紙トレイ一覧ツールのメッセージ 400
34.2 EUR サーバ環境設定ファイルエディタのメッセージ 401

第 5 編 DABroker のメッセージ

35 KFDB001DB ～ KFDB999YM 405
35.1 KFDB001DB ～ KFDB999DB のメッセージ 406
35.2 KFDB001EC ～ KFDB999EC のメッセージ 420
35.3 KFDB001LC ～ KFDB999LC のメッセージ 423
35.4 KFDB001LM ～ KFDB999LM のメッセージ 424
35.5 KFDB001MM ～ KFDB999MM のメッセージ 425
35.6 KFDB001NM ～ KFDB999NM のメッセージ 430
35.7 KFDB001RC ～ KFDB999RC のメッセージ 441
35.8 KFDB001RM ～ KFDB999RM のメッセージ 442
35.9 KFDB001RR ～ KFDB999RR のメッセージ 443
35.10 KFDB001SC ～ KFDB999SC のメッセージ 445

35.11 KFDB001SM ～ KFDB999SM のメッセージ 447
35.12 KFDB001TD ～ KFDB999TD のメッセージ 450
35.13 KFDB001TM ～ KFDB999TM のメッセージ 460
35.14 KFDB001TR ～ KFDB999TR のメッセージ 470
35.15 KFDB001YM ～ KFDB999YM のメッセージ 472

付録 483

付録 A 保守情報の採取 484
付録 A.1 EUR 帳票作成機能，EUR クライアント帳票出力機能の場合 484
付録 A.2 EUR サーバ帳票出力機能の場合 485
付録 B KEEU で始まるメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因 488
付録 C DABroker の詳細コード，要求コード，および応答コード 491
付録 C.1 DABroker の詳細コード 491
付録 C.2 DABroker の要求コードおよび応答コード 491
付録 D このマニュアルの参考情報 493
付録 D.1 関連マニュアル 493
付録 D.2 EUR バージョン 8 での製品体系の変更 496
付録 D.3 EUR バージョン 8 でのマニュアル体系の変更 497
付録 D.4 このマニュアルでの表記 497
付録 D.5 このマニュアルで使用する略語 499
付録 D.6 適用 OS の違いによる機能相違点の表記 499
付録 D.7 KB（キロバイト）などの単位表記について 500

1 メッセージの概要

この章では，EUR が出力するメッセージについて説明します。また，メッセージの形式，および出力先の一覧について説明します。

1.1 メッセージの出力形式
1.2 メッセージの記載形式
1.3 メッセージの出力先

1.1 メッセージの出力形式

EUR で表示されるメッセージの形式を次に示します。

1.1.1 EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能が表示するメッセージ形式

(1) EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能操作時のメッセージ形式

EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能を操作している時に出力されるメッセージの形式を次に示します。

メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-1 メッセージの表示内容（EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能の操作時の場合）

形式の項目	説明
メッセージ文	メッセージ文を示します。

(2) OLE オートメーション，および DLL インターフェース関数のメッセージ形式

EUR 帳票作成機能を操作している時に出力されるメッセージは，次に示す形式で標準エラー出力に表示されます。

xxxx メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-2 メッセージの表示内容（OLE オートメーション，および DLL インターフェース関数の場合）

形式の項目	説明
xxxx	xxxx は，メッセージ番号を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

(3) データベースアクセス定義が表示するメッセージ形式

データベースアクセス定義の操作をしている時に出力されるメッセージは，次に示す形式で標準エラー出力に表示されます。

DBPxxxxy：**メッセージ文**

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-3　メッセージの表示内容（データベースアクセス定義の場合）

形式の項目	説明
DBPxxxxy	メッセージ ID を示します。 xxxx は，メッセージ番号を示します。 y は，レベル（I（Information），W（Warning），または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

（4） ODBC Driver のメッセージ形式

EUR 帳票作成機能を操作している時に出力されるメッセージは，次に示す形式で標準エラー出力に表示されます。

DBLxxxxy **メッセージ文**

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-4　メッセージの表示内容（ODBC Driver の場合）

形式の項目	説明
DBLxxxxy	メッセージ ID を示します。 xxx は，メッセージ番号を示します。 y は，レベル（I（Information），W（Warning），または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

（5） 帳票定義情報ファイルの入出力コマンドのメッセージ形式

帳票定義情報ファイルの入出力コマンドを操作している時に出力されるメッセージは，次に示す形式でダイアログまたは標準エラー出力に表示されます。

KEESxxx-y **メッセージ文**

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-5 メッセージの表示内容（帳票定義情報ファイルの入出力コマンドの場合）

形式の項目	説明
KEESxxx-y	メッセージ ID を示します。 xxx は，メッセージ番号を示します。 0xx：変換エラーに関するメッセージ 1xx：処理の中断に関するエラーメッセージ 2xx：インフォメーションに関するメッセージ y は，レベル（I（Information），W（Warning），または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

1.1.2 EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）が表示するメッセージ形式

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作している時に出力されるメッセージは，次に示す形式で標準エラー出力に表示されます。

KEEWxxx-y メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-6 メッセージの表示内容（EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合）

形式の項目	説明
KEEWxxx-y	メッセージ ID を示します。 xxx は，メッセージ番号を示します。 0xx：プログラムが終了するレベルのメッセージ 1xx：ファイル入出力に関するメッセージ 2xx：バックグラウンドの操作に関するメッセージ 3xx：メニュー操作に関するメッセージ 4xx：テスト表示の操作に関するメッセージ 5xx：データベース連携に関するメッセージ y は，レベル（I（Information），W（Warning），または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

1.1.3 EUR サーバ帳票出力機能が表示するメッセージ形式

EUR サーバ帳票出力機能で表示されるメッセージ形式を，実行するコマンドごとに説明します。

（1） eurps コマンド，eurecpdf コマンド，eurecdif コマンド実行時のメッセージ形式

eurps コマンド，eurecpdf コマンド，eurecdif コマンドを実行している時にエラーが発生した場合，標準ではメッセージは出力されません。/message オプション（UNIX ／

Linux の場合は -message オプション）を指定すると，次に示す形式で標準エラー出力に表示されます。

aa…aa: KEEUxxx-y **メッセージ文**

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-7 メッセージの表示内容（eurps コマンド，eurecpdf コマンド，eurecdif コマンドの場合）

形式の項目	説明
aa…aa	eurps：eurps コマンドを実行している時に出力されるメッセージであることを示します。 eurecpdf：eurecpdf コマンド（暗号化設定ファイルのパスワードの暗号化）を実行している時に出力されるメッセージであることを示します。 eurecdif：eurecdif コマンド（接続情報ファイルのパスワードの暗号化）を実行している時に出力されるメッセージであることを示します。
KEEUxxx-y	メッセージ ID を示します。 xxx は，メッセージ番号を示します。 y は，レベル（I（Information），W（Warning），または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

（2） pcftoedf コマンド実行時のメッセージ形式

pcftoedf コマンド（EUR フォントファイル作成）を実行している時にエラーが発生した場合，標準ではメッセージは出力されません。/message オプション（UNIX ／ Linux の場合は -message オプション）を指定すると，次に示す形式で標準エラー出力に表示されます。

pcftoedf: KEEU Fxxx-y **メッセージ文**

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-8 メッセージの表示内容（pcftoedf コマンドの場合）

形式の項目	説明
pcftoedf	pcftoedf コマンドを実行している時に出力されるメッセージであることを示します。
KEEU Fxxx-y	メッセージ ID を示します。 xxx は，メッセージ番号を示します。 y は，レベル（I（Information），W（Warning），または E（Error））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

1.1.4 DABroker が表示するメッセージ形式

DABroker で表示されるメッセージの形式を次に示します。

KFDBxxxxx-y：メッセージ文

メッセージの表示内容を項目ごとに次に示します。

表 1-9 メッセージの表示内容（DABroker の場合）

形式の項目	説明
KFDBxxxxx-y	メッセージ ID を示します。 xxxxx は，メッセージ番号を示します。 y は，レベル（I（Information），W（Warning），E（Error），または Q（question））を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。

1.2 メッセージの記載形式

このマニュアルでのメッセージの記載形式について説明します。

メッセージ ID

メッセージ文（エラーコード）

詳細情報
メッセージの詳細情報を示します。

説明
メッセージの説明を示します。

要因
メッセージの要因を示します。

対処
表示されたメッセージに対する対処方法を示します。

対処の参照先
対処するための参照先を示します。
対処時に関係するプロパティ，メソッドおよび関数を示します。

レベル
メッセージのレベルを示します。

終了コード
メッセージ ID の終了コードを示します。

注意
対処する場合の注意事項を示します。

補足
メッセージの補足説明を示します。

メッセージ記載形式の各項目の意味を次に示します。

表 1-10 メッセージ記載形式の項目

項目名	意味
メッセージ ID	メッセージ ID を示します。メッセージ ID がない場合は，メッセージ ID の代わりにメッセージ文を示します。
メッセージ文	メッセージ文を示します。
（エラーコード）	OS 上のシステム関数エラーリターン時の error 情報を示します。エラーコードについては，OS のヘッダファイル，または OS のヘルプファイルを参照してください。

項目名	意味	
詳細情報	イベントログ，または EUR で出力するログ（eurps ログなど）に出力される詳細情報を示します。	
	U	実行ユーザアカウント
	R	フォームシートファイル名
	F	帳票機能名
	P	ページ番号
	D	対象のマッピングデータファイル名，またはユーザ定義データファイル名
	DI	入力データ値（正）
	DO	欠落などで不正出力となった出力値
	E	終了時の終了コード（10 進数表示）
	C	指定されたコマンド文字列
説明	メッセージのレベルが「I（Information）」の場合，メッセージの説明をします。	
要因	メッセージが出力された要因を示します。	
対処	メッセージのレベルが「W（Warning）」と「E（Error）」の場合，メッセージの対処を示します。	
対処の参照先	対処に必要な情報を示します。	
レベル	メッセージのレベルを示します。I（Information），W（Warning），および E（Error）があります。	
終了コード	終了コードを示します。参照先を次に示します。 終了コードは，コマンドの /nomessage オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -nomessage オプション）が指定されていても設定されます。ただし，終了コードだけでは，エラーの詳細が判別できないため，/message オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -message オプション）を指定して，出力されるメッセージを参照して解析するか，またはログ機能で出力されるエラー情報で調査してください。ログのエラー情報については，マニュアル「EUR クライアント帳票出力」または「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。	
	0	正常終了しました。
	4	警告が発生しました。警告が発生する要因については，「付録 B KEEU で始まるメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因」を参照してください。
	8	システムエラーが発生しました。または，出力でエラーが発生しました。
	10	データベースアクセスでエラーが発生しました。
	12	データエラーが発生しました。
	16	コマンド，メソッドでの設定値，またはプリンタ定義ファイル内で文法エラーがあります。
	2008	ActiveX オブジェクトによる起動で，起動時にシステムエラーが発生しました。

項目名	意味	
	2016	ActiveX オブジェクトによる起動で，プロパティの指定でエラーが発生しました。
	32	上記以外のエラーが発生しました。
注意または補足	メッセージの注意事項，補足情報を示します。	

1.3 メッセージの出力先

EUR 帳票作成機能，EUR クライアント帳票出力機能，または EUR サーバ帳票出力機能を操作している時に出力されるメッセージの出力先を次に示します。

1.3.1 EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ出力先

EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能では，メッセージをダイアログやログに出力します。メッセージの出力先を次に示します。

(1) ダイアログ

EUR 帳票作成機能，および EUR クライアント帳票出力機能の画面を操作している場合，ダイアログにメッセージが表示されます。

(2) イベントログ

Windows 環境では，コマンド実行中にエラーが発生した場合，エラーレベル（レベル：Error）のメッセージを，Windows のイベントログへアプリケーションのイベントとして出力します。ログには，エラーの発生要因となったエラーメッセージのメッセージ文に加えて，詳細情報が出力されます。なお，イベントログの参照は，Windows 上の管理ツールのイベント ビューアで参照できます。

(3) EUR 帳票作成機能および EUR クライアント帳票出力機能が出力するログ

ログ採取機能を利用できる EUR では，ユーザがログ採取の情報を設定する必要はありません。EUR の処理中にエラーを感知した場合，システムの一時フォルダにファイル名「HIEUR.LOG」を自動生成して，エラーの個所とその内容をログファイルに出力します。

参考

システムの一時フォルダについては，［システムのプロパティ］ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。
なお，出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合，環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合，Windows のフォルダ

1.3.2 EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ出力先

EUR サーバ帳票出力機能では，メッセージをログに出力します。メッセージの出力先を

次に示します。

(1) 標準エラー出力の場合

コマンドを実行している時にエラーが発生した場合，標準ではメッセージは出力されません。/message オプション（UNIX ／ Linux の場合は -message オプション）を指定すると，メッセージが出力されます。

(2) イベントログの場合

Windows 環境では，実行中にエラーが発生した場合，エラーレベル（レベル：Error）のメッセージを，Windows のイベントログへアプリケーションのイベントとして出力します。ログには，エラーの発生要因となったエラーメッセージのメッセージ文に加えて，詳細情報が出力されます。なお，イベントログの参照は，Windows 上の管理ツールのイベント ビューアで参照できます。

(3) eurps ログの場合

システム上で動作する EUR サーバ帳票出力機能の帳票出力要求の実行ログを出力します。ログ採取レベルは，環境変数 EURPS_LOGFILELEVEL で変更できます。実行時のログ情報には，メッセージ文のほか，出力日時，プロセス番号などの共通情報が付加されて出力されます。

(4) EPS-XLSX ログの場合

EUR サーバ帳票出力機能を使って帳票を Excel 形式ファイルに出力する時に，エラーレベルまたはワーニングレベルのメッセージを出力します。ログ採取レベルは，環境変数 EURPS_EXCELLOGFILELEVEL で変更できます。

1.3.3 DABroker のメッセージ出力先

DABroker が発行するメッセージは，次のどれかに出力されます。

- クライアント
- イベントログ（Windows のイベントビューア）
- メッセージログ（DABroker 運用ディレクトリ ¥spool¥dabsv.log，および dabsv.logold）

(1) 注意事項

- メッセージログファイルには，サーバまたはクライアントの標準エラー出力に出力されないメッセージも出力されます。ただし，メッセージログファイルには出力されないで，サーバまたはクライアントの標準エラー出力にだけ出力されるメッセージもあります。
- データベース側で発行されたメッセージについては，各 DBMS のマニュアルを参照してください。

- 可変情報に表示する情報がない場合，「*」を表示することがあります。
- ファイル名など，可変情報に表示する情報が長い場合，先頭 79 バイトだけを表示し，残りは切り捨てます。

(2) 環境変数

環境変数と DABroker 動作環境定義ファイルの対応を次に示します。

DABroker 動作環境定義ファイルおよび項目の詳細については，マニュアル「DABroker」を参照してください。

表 1-11 環境変数と DABroker 動作環境定義ファイルの項目対応表

環境変数名	DABroker 動作環境定義ファイルで対応する項目
DABTMP	作業ディレクトリ
DABSVLOGSIZE	ログファイルサイズ [dabsv.log]
DABSELECTCOLCNT	表検索カラム数
DABSELECTINFCNT	更新・検索条件カラム数
DABSQL_TRC_CANCEL	CANCEL（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_CLOSE	CLOSE（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_COMMIT	COMMIT（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_CONNECT	CONNECT（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_DECLARE	DECLARE（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_DESCRIBE	DESCRIBE（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_DISCONNECT	DISCONNECT（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_EXECUTE	EXECUTE（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_FETCH	FETCH（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_PREPARE	PREPARE（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_ROLLBACK	ROLLBACK（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_OPEN	OPEN（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_BIND	BIND（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_GETDIAG	GETDIAG（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_AUTO_COMMIT_OFF	AUTO_COMMIT_OFF（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_AUTO_COMMIT_ON	AUTO_COMMIT_ON（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_GET_INFO	GET_INFO（アクセストレースの種類）
DABSQL_TRC_SET_INFO	SET_INFO（アクセストレースの種類）

環境変数名	DABroker 動作環境定義ファイルで対応する項目
DABSQL_TRC_EXECUTE_DIRECT	EXECUTE_DIRECT（アクセストレースの種類）
DABCLIENT_TIMEOUT	クライアントからの要求待ちタイムアウト
DABMAXUSERS	最大接続ユーザ数
DABDBANUMBER	同時実行可能なデータベースアクセス数
DABMAXBLOCKUSERS	1 プロセス当たりの実行ユーザ数
DABMAXPROCESS	最大処理プロセス数
DABORADBA_LONGBUFSIZE	LONG 型データ受取バッファサイズ(ORACLE)

2 1000 ～ 1999

1000 ～ 1999 のメッセージについて説明します。

2.1　1000 ～ 1999 のメッセージ

2.1　1000 ～ 1999 のメッセージ

1005

メモリ不足が発生しました。

要因

実行中にメモリ不足が発生しました。

対処

幾つかのアプリケーションを終了させてメモリを確保したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

すべてのプロパティ，およびメソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワードすべて

1020

印刷中にエラーが発生しました。

要因

次に示す要因によって，印刷中にエラーが発生しました。

- プリンタ，およびプリンタドライバの環境に不備があります。
- EUR での印刷処理中に要因が特定できないエラーが発生しました。

対処

プリンタ，およびプリンタドライバを調査し，エラーの要因を取り除いたあと，プログラムを再度実行してください。PrintFileOut プロパティで True を指定している場合は，PrintFileName プロパティの指定が必要です。PrintFileName プロパティで印刷出力ファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド，PrintFileOut プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

1130

画面描画処理中にエラーが発生しました。

要因

Application オブジェクトの Editable プロパティで，編集ウィンドウと確認ウィンドウを切り替える処理中に，ツールバーの切り替えに失敗しました。

対処

EUR を終了したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Editable プロパティ

1131

現在，スプールに必要なディスクスペースが存在しません。

要因

スプールに必要なディスクスペースがないので，スペースが回復される見込みがありません。

対処

不要なファイルを削除するなどをして，ディスクスペースを確保したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

1132

スプールに必要なメモリが存在しません。

要因

スプールに必要なメモリがありません。

対処

幾つかのアプリケーションを終了させてメモリを確保したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

1133

ページ番号の設定でエラーが発生しました。

要因

ページ番号の設定処理でエラーが発生しました。

対処

EUR を終了したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PageSetup オブジェクトのプロパティすべて

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
  Numbering，NumberingPos，NumberingFormat，NumberingFrom，NumberingReset

1134

処理中にエラーが発生しました。

要因

EUR 帳票作成機能の起動中にエラーが発生しました。次に示す要因が考えられます。

- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。
- リソースが不足しています。

対処

不要なファイルを削除したり，実行に必要なメモリを確保したりしたあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数を起動したとき

1135

Windows でエラーが発生しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- システムの一時フォルダの容量が不足しているか，または書き込み権限がないので，一時ファイルの作成ができません。
- Windows でそのほかのエラーが発生しました。

対処

システムの一時フォルダの容量を増やすか，または書き込み権限を与えてください。どちらの場合も対処できないときは，再度システムを起動させてください。

対処の参照先

OLE オートメーション

すべてのプロパティ，およびメソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワードすべて

参考

システムの一時フォルダについては，［システムのプロパティ］ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお，出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合，環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合，Windows のフォルダ

1136

EUR の動作環境が正しくありません。

要因

EUR の動作環境に必要なファイルがない，または不正なファイルがあるため，EUR を起動できません。

対処

EUR を再インストールしたあと，再度 EUR を起動してください。

3 4500 ～ 4599

4500 ～ 4599 のメッセージについて説明します。

3.1 4500 ～ 4599 のメッセージ

3.1 4500 ～ 4599 のメッセージ

4503

レポート（レポート名）が見つかりません。

要因

指定されたレポートファイルがありません。

対処

存在するレポート名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReportBasePath プロパティ，Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  ReportFilePath

4504

レポート（レポート名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたレポートファイルに読み込み権限がありません。

対処

レポートファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のあるレポートファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4506

データファイル（データファイル名）が見つかりません。

要因

指定されたデータファイル，または可変記号値定義ファイルがありません。

対処

存在するデータファイル名，または可変記号値定義ファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，MapDataBasePath プロパティ，UserDataBasePath プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile
- ファイルのパス指定
  MappingDataPath，UserDefDataPath

4507

レポート名（レポート名）が正しくありません。

要因

指定されたレポートファイル名に誤りがあります。

対処

正しいレポートファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4508

データファイル名（データファイル名）が正しくありません。

要因

指定されたデータファイル名，または可変記号値定義ファイル名に誤りがあります。

対処

正しいデータファイル名，または可変記号値定義ファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4510

不正なオプションが指定されました。

要因

オプション記述ファイル中に，文法上の誤り，指定するファイル名の誤りなどがあります。

対処

オプション記述ファイルの指定を見直したあと，誤りを訂正してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルすべて

4513

ズーム倍率は 10 ～ 800 の値で指定してください。

要因

ズーム倍率に 10 ～ 800 の範囲外の値が指定されました。

対処

ズーム倍率の値を 10 ～ 800 の値に変更したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Zoom プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ズーム倍率の指定
  ZoomRate

4514

指定されたページ数に誤りがあります。

要因

指定された印刷開始ページ，または印刷終了ページが 1 ～ 32,767 の範囲を超えています。または，指定された印刷開始ページがレポートの全ページ数を超えています。

対処

印刷開始ページ，または印刷終了ページを 1 ～ 32,767 の値に変更したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，および PrintOut メソッドの第 1 引数（from：印刷開始ページ）と第 2 引数（to：印刷終了ページ）

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
  PrintStartPage，PrintEndPage

4515

印刷部数は 1 ～ 99 の値で指定してください。

要因

指定された印刷部数が 1 ～ 99 の範囲を超えています。

対処

印刷部数を 1 ～ 99 の値に変更したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，および PrintOut メソッドの第 3 引数（copies：印刷部数）

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
  PrintSet

4516

印刷開始番号は 1 ～ 32767 の値で設定してください。

要因

指定された印刷開始番号が 1 ～ 32,767 の範囲を超えています。

対処

印刷開始番号の設定値を 1 ～ 32,767 の値に変更したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

FirstPageNumber プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
  NumberingFrom

4517

レポート名が指定されていません。

要因

レポートファイル名を指定しないで，ファイルを開こうとしました。

対処

レポートファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4518

データファイル名が指定されていません。

要因

データファイル名，または可変記号値定義ファイル名が指定されていません。

対処

データファイル名，または可変記号値定義ファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4521

プリンタが存在しません。

要因

システムにプリンタが 1 台も登録されていないか，指定したプリンタがないので，印刷できません。

対処

プリンタの環境設定をしたあと，またはプリンタ名を確認したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PrinterName プロパティ，Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4522

通常使うプリンタが設定されていません。

要因
通常使うプリンタが設定されていません。

対処
［プリンタ］フォルダを開いて［通常使うプリンタに設定］を設定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4523

プリンタのハードマージンを取得できませんでした。

要因
プリンタのハードマージンを取得できません。

対処
プリンタのハードマージンを確認したあと，問題なければ，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション
Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4524

印刷ジョブがキャンセルされたので印刷処理を中止します。

要因
出力先プリンタの印刷待ちの一覧ウィンドウ（フォルダウィンドウ），またはプリン

タアイコンから，レポートの印刷を中断する操作がされたので，印刷処理が中断されました。

対処

必要ならば，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4529

データファイル（データファイル名）：n 行目　記述に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 1 行当たりの最大バイト数を超えている行があります。
- フィールド数が上限値を超えています。
- 文字列データが記号（"）で囲まれていません。
- そのほかの個所の記述に誤りがあります。

対処

エラーの要因を取り除いたあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4531

データファイル（データファイル名）がオープンできません。

要因

指定されたファイルがフォルダだったので，データファイル，または可変記号値定義ファイルの設定処理が中止されました。

対処

データファイル，または可変記号値定義ファイルを指定し直したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4534

レポートが不完全です。

要因

指定されたレポートが破壊されているか，またはレポートファイルではないので，ファイルを開けません。

対処

正しいレポートファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4545

印刷可能なページ数の上限値を超えています。

要因

レポートの印刷時に指定されたページ範囲が，一度に印刷できる最大ページ数を超えていたので，印刷処理を中止します。

- OLE オートメーションで印刷できる最大ページ数は，9,999 ページです。
- OCX オブジェクトで印刷できる最大ページ数は，9,999 ページです。
- DLL インターフェース関数で印刷できる最大ページ数は，32,767 ページです。

対処

印刷開始ページと印刷終了ページ，または部数の指定を見直して，印刷できる最大ページ数以内になるように修正したあと，プログラムを再度実行してください。必要ならば，数回に分けて印刷してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
  PrintStartPage，PrintEndPage，PrintSet

4546

ページ番号印刷形式は 510 文字以内で指定してください。

要因

ページ番号印刷形式に指定した文字列が 510 文字を超えているので，ページ番号印刷形式の設定処理を中止します。

対処

指定する文字列を 510 文字以内の文字列に修正したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PageNumberFormat プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷番号
  NumberingFormat

4551

ページ番号印刷位置の指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーションの場合

ページ番号印刷位置に 1 ～ 6 以外の値が指定されたので，ページ番号印刷位置の設定処理を中止しました。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「NumberingPos」に，topr，topc，topl，btmr，btmc，および btml 以外の値が指定されたので，ページ番号印刷位置の設定処理を中止しました。

対処

OLE オートメーションの場合

ページ番号印刷位置に指定する値を 1 ～ 6 に修正したあと，プログラムを再度実行してください。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「NumberingPos」に，topr，topc，topl，btmr，btmc，および btml の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PageNumberLocation プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
  NumberingPos

4552

レポート（レポート名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって，レポートファイルを開けません。

- 指定されたレポートファイル名がフォルダです。
- 指定されたレポートファイル名が，ほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- 正しいレポート名を指定してください。
- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4553

データファイル（データファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたデータファイル，または可変記号値定義ファイルには読み込み権限がないので，処理を中止します。

対処

次のどちらかの方法で対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- データファイルまたは可変記号値定義ファイルに，読み込み権限を与えてください。
- 読み込み権限のあるデータファイルまたは可変記号値定義ファイルを指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4555

ウィンドウハンドルに NULL が指定されました。

要因

ウィンドウハンドルに NULL が指定されました。

対処

ウィンドウハンドルを指定し直してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の hwnd で指定する，起動元のウィンドウハンドル

4556

ウィンドウ形式の値が不正です。

要因

ウィンドウ形式の値が不正です。

対処

ウィンドウ形式を指定し直してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の windowstyle で指定する，ウィンドウの形式

4557

ページ番号印刷オプションの指定に誤りがあります。

要因

ページ番号印刷オプションの指定が違います。

対処

ページ番号印刷オプションを正しく指定し直してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
  Numbering

4558

印刷単位の指定に誤りがあります。

要因

印刷単位の指定に誤りがあります。

対処

印刷単位の指定を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 印刷ページの選択
  PrintFinishing

4559

改ページ時のページ番号初期化指定に誤りがあります。

要因

改ページごとにページ番号を初期化するかどうかの指定に誤りがあります。

対処

ページ番号の初期化指定を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ページ番号の印刷指定
  NumberingReset

4560

指定ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたファイルには読み込み権限がないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のあるファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile
- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName
- ファイルのパス指定
  ImageFilePath，MappingDataPath，UserDefDataPath，DBInfoFilePath

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile，MultiReportSetPath，MultiFormInfoDefFile，MultiFormInfoDefPath

4561

指定ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定されたファイルがないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

存在するファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile
- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName
- ファイルのパス指定
  ImageFilePath，MappingDataPath，UserDefDataPath，DBInfoFilePath

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile，MultiReportSetPath，MultiFormInfoDefFile，
  MultiFormInfoDefPath

4562

指定ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定されたファイルがフォルダだったので，ファイルを開けません。

対処

正しいファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile
- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName
- ファイルのパス指定
  ImageFilePath，MappingDataPath，UserDefDataPath，DBInfoFilePath

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile，MultiReportSetPath，MultiFormInfoDefFile，
  MultiFormInfoDefPath

4563

EUR **はすでに起動されています。**

要因

EUR はすでに起動されています。

対処

すでに起動されている EUR を中止したあと，プログラムを再度実行してください。

4564

表示するエディタ画面の種類の指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーションの場合

ウィンドウ形式に 1，2，3 以外の値が指定されました。

DLL インターフェース関数の場合

ウィンドウ形式に 0，1，2，3 以外の値が指定されました。

対処

OLE オートメーションの場合

ウィンドウ形式に 1，2，または 3 の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	レポート編集ウィンドウで表示されます。
2	レポート確認ウィンドウで表示されます。
3	レポート印刷ウィンドウで表示されます。

DLL インターフェース関数の場合

ウィンドウ形式に 0，1，2，または 3 の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
0	バックグラウンド印刷します。Windows のリストの，最初のウィンドウをアクティブにします。
1	フォーカスを持った通常のウィンドウで表示されます。
2	フォーカスを持ち，アイコン化されているウィンドウで表示されます。
3	フォーカスを持ち，最大表示されているウィンドウで表示されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

WindowStyle プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の windowstyle で指定する，ウィンドウの形式

4565

用紙向きの指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーションの場合

用紙の向きの指定で，0，1，2 以外の値が指定されました。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「PaperOrientation」の指定で，portrait，landscape 以外の値が指定されました。

対処

OLE オートメーションの場合

PaperOrientation に 0，1，または 2 の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
0	用紙の向きは，帳票の属性に従います。
1	用紙の向きは，縦です。
2	用紙の向きは，横です。

DLL インターフェース関数の場合

オプション記述ファイルのキーワード「PaperOrientation」に，portrait，または landscape の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PaperOrientation プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 用紙の向きの指定
  PaperOrientation

4566

レポートファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

レポートファイルのパスが指定されていません。

対処

レポートファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReportBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  ReportFilePath

4567

レポートファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しないレポートファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

レポートファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReportBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  ReportFilePath

4568

マッピングデータファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

マッピングデータファイルのパスが指定されていません。

対処

マッピングデータファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MappingDataPath

4569

マッピングデータファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しないマッピングデータファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

マッピングデータファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MappingDataPath

4574

ユーザ定義データファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

ユーザ定義データファイルのパスが指定されていません。

対処

ユーザ定義データファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  UserDefDataPath

4575

ユーザ定義データファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しないユーザ定義データファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

ユーザ定義データファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  UserDefDataPath

4580

画像ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

画像データファイルのパスが指定されていません。

対処

画像データファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ImageBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  ImageFilePath

4581

画像ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない画像データファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

画像データファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ImageBasePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  ImageFilePath

4582

レポート（レポート名）は使用中です。

要因

指定したレポート名が，ほかのアプリケーション（EUR を含む）で使用中です。

対処

指定したレポート名が使用できるのを待ち，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4588

データベースアクセス定義実行でエラーが発生しました。

要因

EUR のログファイルに，要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと，その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要　因
メモリが不足しています。	メモリが不足しました。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	一時ファイル（aa...aa）の出力先フォルダに書き込み権限がありません。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	• 一時ファイル（aa...aa）のオープンに失敗しました。 • 一時ファイルの作成に失敗しました。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目（aa...aa）に設定した文字列の長さが制限値を超えました。
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa コード：nnn,mmm	データベースアクセス定義でデータの抽出中に，エラーが発生しました。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	SQL 文の長さが上限値を超えました。
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号に対する実行値がありません。

対処

表示されたメッセージによって，次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対　処
メモリが不足しています。	ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再実行してください。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	• メッセージに表示されている一時ファイル（aa...aa）の出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。 • 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	• 一時ファイル（aa...aa）の出力先フォルダの空き容量を見直してください。 • 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目（aa...aa）に指定した文字列が，上限値の nnn バイトを超えていないかどうかを見直してください。

<table>
<tr><th>ログファイルに表示されるメッセージ</th><th colspan="3">対 処</th></tr>
<tr><td rowspan="5">データベースアクセス中にエラーが発生しました。
メッセージ：aa...aa（メッセージ文）
コード：nnnn,mmmmm</td><td colspan="3">表示されたコードによって，次のように対処してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">コード</td><td rowspan="2">説 明</td></tr>
<tr><td>nnnn（リターンコード）</td><td>mmmmm（詳細コード）</td></tr>
<tr><td>-1001
-1003
-1008</td><td>DABroker，もしくは接続先データベースのエラーコード，または 0</td><td>DABroker，または接続先データベースでエラーが発生したことを示します。
「メッセージ：aa...aa」には，エラーの内容が表示されます。詳細コードと表示されるメッセージについては，次に示すマニュアルを参照してください。
• 詳細コードが KFDBxxxx の場合
DABroker のマニュアル
• 詳細コードが KFPxxxxx の場合
マニュアル「HiRDB メッセージ」
• 詳細コードが ORA-xxxx の場合
Oracle のマニュアル</td></tr>
<tr><td>-1004</td><td>接続管理情報のコード</td><td>接続情報に誤りがないかどうかを見直してください。</td></tr>
<tr><td>-1005
-1009</td><td>システムコールのエラー値</td><td>応答監視時間内に，DABroker から応答がなかったか，またはプログラムの呼び出しでエラーが発生したことを示します。
• 接続先 DABroker を起動させてください。
• 接続先 DABroker のホスト名，または IP アドレスを正しく設定してください。
• 接続先 DABroker にホスト名を使用している場合，hosts ファイルにホスト名を指定してください。
hosts ファイルに指定したホスト名の IP アドレスを正しく設定してください。
• 接続先 DABroker に IP アドレスを使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定し，接続先 DABroker にホスト名を使用してください。
• services ファイルに DBPARTNER_SV を指定してください。
• services ファイルに指定した DBPARTNER_SV のポート番号，および通信プロトコル種別を正しく指定してください。
• hosts ファイル，および services ファイルにアクセス権を与えてください。</td></tr>
<tr><td>-1006</td><td>領域管理情報のコード</td><td>メモリが不足しています。ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再実行してください。</td></tr>
</table>

ログファイルに表示されるメッセージ	対　処		
	-1010	10083	応答監視時間内に，DABroker から応答がなかったことを示します。 接続先の DABroker が起動されているかどうかを確認してください。また，接続先の DABroker のホスト名，または IP アドレスに誤りがないかどうかも確認してください。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	設定した条件式の長さが，上限値を超えていないかどうかを見直してください。		
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号値定義ファイルを指定したあと，再実行してください。		

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド，PrintReport メソッド，ViewReport メソッド

4589

レポートデータ読み込み中にエラーが発生しました。

要因

読み込もうとしたレポートファイルが，一部破壊されているおそれがあります。

対処

レポートを作成し直して，再度プログラムを実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の filename で指定するファイル名

4590

特殊編集レベルとして認識できないデータがありました。

要因

特殊編集レベルのフィールドのデータに，0 ～ 99 以外の値が設定されています。

対処

特殊編集レベルのフィールドのデータを，0 〜 99 の値に変更したあと，再度データを読み込んでください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFile プロパティ，DataFileName プロパティ，VarDataFile プロパティ，Import メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4593

印刷処理がキャンセルされました。

要因

出力先プリンタのスプールに印刷指示を送っているときに表示される，メッセージボックスの［キャンセル］ボタンがクリックされたので，印刷処理が中断されました。

対処

必要ならば，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4 4600 〜 4699

4600 〜 4699 のメッセージについて説明します。

4.1 4600 〜 4699 のメッセージ

4.1 4600 ～ 4699 のメッセージ

4600

指定した出力ファイルに書き込めませんでした。

要因

次に示す要因によって，印刷出力ファイルに書き込めません。

- 指定した印刷出力ファイルがありません。
- 指定した印刷出力ファイルのパスが不正です。
- 指定した印刷出力ファイルの書き込み権限がありません。

対処

次のように対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- 存在する印刷出力ファイルを指定してください。
- 印刷出力ファイルのパスを見直してください。
- 指定する印刷出力ファイルに書き込み権限を与えてください。

対処の参照先

OLE オートメーション

PrintFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4601

MainWindowStatus **プロパティの指定値が不正です。**

要因

MainWindowStatus に 1，2，3 以外の値が指定されました。

対処

MainWindowStatus に 1，2，または 3 の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	フォーカスを持った，通常のウィンドウで表示されます。
2	フォーカスを持ち，アイコン化されているウィンドウで表示されます。
3	フォーカスを持ち，最大表示されているウィンドウで表示されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

MainWindowStatus プロパティ

4602

SubWindowStatus **プロパティの指定値が不正です。**

要因

SubWindowStatus に 1，2，3 以外の値が指定されました。

対処

SubWindowStatus に 1，2，または 3 の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	フォーカスを持った，通常のウィンドウで表示されます。
2	フォーカスを持ち，アイコン化されているウィンドウで表示されます。
3	フォーカスを持ち，最大表示されているウィンドウで表示されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

SubWindowStatus プロパティ

4603

FrontSubWindow **プロパティの指定値が不正です。**

要因

FrontSubWindow に 1，2，3 以外の値が指定されました。

対処

FrontSubWindow に 1，2，または 3 の値を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定値	説明
1	帳票ウィンドウを表示します。
2	マッピングデータウィンドウを表示します。
3	ユーザ定義データウィンドウを表示します。

対処の参照先

OLE オートメーション

FrontSubWindow プロパティ

4610

指定したサブウィンドウは存在しません。

要因

指定したサブウィンドウがないので，最前面にできません。
レポート確認ウィンドウとレポート印刷ウィンドウの場合は，帳票ウィンドウだけ表示されます。マッピングデータウィンドウとユーザ定義データウィンドウは表示されません。

対処

FrontSubWindow の設定を見直し，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

FrontSubWindow プロパティ

4613

給紙トレイ選択オプションの指定に誤りがあります。

要因

TraySelection に 0，1，2 以外の値が指定されました。

対処

TraySelection に 0，1，または 2 の値を指定したあと，再度実行してください。

指定値	説明
0	給紙トレイ選択機能を使いません。出力先プリンタのデフォルトのトレイに印刷されます。
1	給紙トレイ選択機能を使います。ただし，「TrayCode」で指定されたコードが，出力先プリンタにない場合は，エラーになります。
2	給紙トレイ選択機能を使います。ただし，「TrayCode」で指定されたコードが，出力先プリンタにない場合は，プリンタの既存値で印刷されます。

対処の参照先

OLE オートメーション

TraySelection プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 給紙トレイの指定
  TraySelection

4614

指定したトレイコードはサポートされていません。

要因

TrayCode に，使用できない給紙トレイコードが指定されました。

対処

TrayCode に正しい値を指定したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

TrayCode プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 給紙トレイの指定
  TrayCode

4620

帳票セット指定ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定された帳票セット指定ファイルがないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

存在する帳票セット指定ファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4621

帳票セット指定ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって，帳票セット指定ファイルを開けません。

- 指定された帳票セット指定ファイルがフォルダです。
- 指定された帳票セット指定ファイルがほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- 正しい帳票セット指定ファイル名を指定してください。
- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4622

帳票セット指定ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された帳票セット指定ファイルには読み込み権限がないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

帳票セット指定ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のある帳票セット指定ファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4623

指定した帳票セット指定ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって，EUR の起動処理を中止します。

- 指定された帳票セット指定ファイルの内容に誤りがあります。
- 一つ以上の帳票セットが指定されていません。
- 帳票セットの指定のうち，帳票ファイル名（フォームシートファイル名）が指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルの指定内容を確認したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4624

帳票セット指定ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

帳票セット指定ファイルのパスが指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ

4625

帳票セット指定ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない帳票セット指定ファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

帳票セット指定ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ

4626

複数様式情報定義ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定された複数様式情報定義ファイルがないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

存在する複数様式情報定義ファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile

4627

複数様式情報定義ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって，複数様式情報定義ファイルを開けません。

- 指定された複数様式情報定義ファイルがフォルダです。
- 指定された複数様式情報定義ファイルがほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- 正しい複数様式情報定義ファイル名を指定してください。
- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

Open メソッド

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile

4628

複数様式情報定義ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された複数様式情報定義ファイルには読み込み権限がないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

複数様式情報定義ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のある複数様式情報定義ファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile

4629

複数様式情報定義ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

複数様式情報定義ファイルのパスが指定されていません。

対処

複数様式情報定義ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ

4630

複数様式情報定義ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない複数様式情報定義ファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

複数様式情報定義ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ

4631

指定した複数様式情報定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラー番号：nn　**行：**yy）

要因

このメッセージは，「(エラー番号：nn)」に示されたエラー番号によって要因が異なります。複数様式情報定義ファイルに不正行が一つある場合は，エラー番号のあとに，不正行を「行：yy」で示します。不正行が複数ある場合は，エラー番号だけ表示されます。

エラー番号とその要因を次に示します。

エラー番号	要　因
1	必ず指定するキーワードの指定がありません。 • group 文（様式グループ番号の指定）の指定がありません。 • formfilename 文（帳票ファイル名の指定），または subgroup 文（サブ様式グループ番号の指定）の指定がありません。
2	不正なキーワードが指定されました。
3	区切り文字の数が不正です。
4	オペランドに数字以外の文字が指定されました。 • group に指定する様式グループ番号の値が，数字（整数）でありません。
5	オペランドの指定が不正です。 • {} の対応が取れていません。 • キーワードのオプション指定に誤りがあります。 • group 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に，KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 • subgroup 文の様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) の遷移条件（transfercondition）に，KBNF 以外の値が指定されています。 • 様式間遷移条件（formtransfercondition）のキーブレイク改ページ指定（keybreaktopform）に，ON または OFF 以外の値が指定されています。 • group 文の様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）に，NPNF，KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 • subgroup 文の様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）に，NPNF，または KBNF 以外の値が指定されています。 • 様式遷移条件（formfilename）の両面印刷空白ページ挿入指定（printnewpaper）に，ON または OFF 以外の値が指定されています。 • 様式遷移条件（formfilename）のページ番号リセット指定（resetpagenumber）に，ON または OFF 以外の値が指定されています。 • 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF が指定されていますが，様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）には EOFN が指定されています。 • group 文と subgroup 文の様式グループ遷移条件 (grouptransfercondition) のフィールド名 (fieldname) に同じ文字列が指定されています。
6	ファイルの途中で EOF を検出しました。
7	キーワードが複数指定されました。
8	グループ番号が昇順に指定されていません。 • 複数様式グループ内の様式グループ番号（group）が昇順になっていません。 • group 文の中に複数のサブ様式グループが指定されている場合，サブ様式グループ番号（subgroup）が group 文の中で昇順になっていません。
9	フィールド名の指定が要らないのに，フィールド名が指定されています。 • 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に EOFN が指定されていますが，キーブレイク対象フィールド（fieldname）に指定があります。 • 様式間遷移条件（formtransfercondition）のキーブレイク改ページ指定（keybreaktopform）に OFF が指定されていますが，キーブレイク対象フィールド（fieldname）に指定があります。

エラー番号	要　因
10	フィールド名の指定が要るのに，フィールド名が指定されていません。 • 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）にKBNFが指定されていますが，キーブレイク対象フィールド（fieldname）の指定がありません。
11	不正な給紙トレイ番号が指定されました。
12	同時に指定できないキーワードが指定されました。 • group文（様式ファイル名の指定）の中にsubgroup文（サブ様式グループ番号の指定）とformfilename文（様式ファイル名の指定）が同時に指定されています。 • group文（様式ファイル名の指定）の中にsubgroup文（サブ様式グループ番号の指定）とformtransfercondition文（様式間遷移条件の指定）が同時に指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile

4632

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイル間で記述に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 複数様式情報定義ファイルのformfilenameに記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）と，帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルのformfilenameに記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）と，帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名（フォームシートファイル）の数が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの様式グループ内のformfilenameに記述されている帳票ファイル（フォームシートファイル）に対応しているデータファイル（マッピングデータファイル，ユーザ定義データファイル）が異なります。

対処

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと，プロ

グラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ，MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath，MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile，MultiReportSetFile

4633

複数様式はレポート印刷ウィンドウで指定してください。

要因

EUR を起動するとき，レポート印刷ウィンドウ以外のウィンドウが指定されています。

対処

複数様式で帳票出力するときは，レポート印刷ウィンドウを指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

WindowStyle プロパティ

4634

複数様式ではレポートファイル（*.agr）は指定できません。

要因

帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイル名が，レポートファイル名です。

対処

複数帳票で帳票出力ができるのは，フォームシートファイルだけです。
帳票セット指定ファイルの帳票セットに指定する帳票ファイル名には，フォームシートファイル（*.fms）を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4635

様式グループ内では集計行の指定は統一してください。（XX）

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename が複数記述されている帳票ファイル（フォームシートファイル）に集計行が指定されていますが，各帳票ファイルで次の要因のどれかについて異なる定義がされています。
XX には，様式グループ内の各帳票ファイルでの集計行の指定を示すコードが表示されます。

表 4-1　コードと要因

コード	要因
01	総集計の指定の有無が異なります。
02	キー集計の指定の個数が異なります。
03	キー集計のキーに指定したアイテムの数が異なります。
04	キー集計のキーに指定したアイテムのフィールド名が異なります。
05	ページ集計の指定の有無が異なります。
06	「1 件のときキー集計行を削除する」の指定の有無が異なります。

ただし，集計ページの指定，集計行の位置固定の指定については，各帳票ファイルで異なっていても正しく出力されます。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の帳票ファイルが指定されており，かつ各帳票ファイルに集計行がある場合は，上記の要因に記述した集計行の指定が同じになるようにフォームシートファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4636

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は，フォームシートで指定するキーブレイクは統一してください。

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが，各帳票ファイル（フォームシートファイル）で異なるキーブレイクが指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の帳票ファイルが指定されており，かつ各帳票ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は，同じキーで改ページされるように帳票ファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ，MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath，MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile，MultiReportSetFile

4637

様式グループ遷移条件または様式間遷移条件の指定に KBNF が指定されているが，フォームシートにキーブレイクの指定がありません。

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが，帳票ファイルにキーブレイクが指定されていません。

対処

複数様式情報定義ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は，キーブレイクが指定されている帳票ファイルを指定してください。また，指定する帳票ファイルは，同じキーで改ページされるように設定されているかどうかを見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ，MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath，MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile，MultiReportSetFile

4638

不正なファイル名（ファイル名）が指定されました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイル名の長さが上限値を超えています。
- 指定したファイル名が正しくありません。
- 帳票セットに指定するファイルの個数が正しくありません。
- ドライブ名のある相対パスが指定されました。
- ドライブ名を省略したフルパスが指定されました。

対処

次のように対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- 正しいファイル名を指定してください。

- ファイル名の長さは，255 字以内で指定してください。
- 指定した内容を，もう一度見直してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ，DBInfoFileName プロパティ，DBInfoFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath，DBInfoFilePath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile
- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile
- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile
- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName

4639

帳票ファイル名が指定されていません。

要因

帳票セットに，帳票ファイル名（フォームシートファイル）が指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4640

複数様式情報定義ファイルと帳票セット指定ファイルが対で指定されていません。

要因

複数様式情報定義ファイルと帳票セット指定ファイルが対で指定されていないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

複数様式で帳票出力する場合は，複数様式情報定義ファイルと帳票セット指定ファイルを対にして指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ，MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath，MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile，MultiReportSetFile

4641

複数様式で指定されたデータファイルのプロパティに誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ［データのプロパティ］ダイアログ－［データ情報］タブで設定する「空レコードを無視する」指定が統一されていません。
- ［データのプロパティ］ダイアログ－［データ情報］タブで設定する「文字コード（0x00）だけのレコードを無視する」指定が統一されていません。
- 基準レコード位置の指定が統一されていません。
- 基準レコード幅に 1 以外の値が指定されています。

対処

複数のデータファイルを指定して，複数様式で帳票出力する場合は，データファイルのデータ情報を合わせてください。

基準レコード幅を設定した帳票は，複数様式では出力できません。基準レコード幅の値は「1」を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4642

様式グループの遷移条件に KBNF が指定されているが，複数様式情報定義ファイルでのキーブレイク指定が統一されていません。

要因

様式グループ内，またはサブ様式グループ内で，様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF（キーブレイク改ページ）が指定されていますが，帳票ファイル名に対する遷移条件（transfercondition）とキーブレイク対象フィールド名（fieldname）が対応していないので，EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定する場合は，様式グループ内，またはサブ様式グループ内に指定する fieldname には，同じキーブレイク対象フィールド名を指定し，帳票ファイル名に対する遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ，MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath，MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile，MultiReportSetFile

4643

複数様式では帳票ヘッダ領域の指定はできません。

要因

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイル（フォームシートファイル）を，複数様式で出力しようとしました。

対処

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイル（フォームシートファイル）は，複数様式で出力できません。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiReportSetFile

4644

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は，フォームシートで指定するフィールド属性は統一してください。

要因

指定された帳票ファイルが，同じキーフィールドの属性で改ページするように設計されていないので，EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定する場合は，様式グループ内に指定する fieldname には，同じフィールド属性のキーブレイク対象フィールド名を指定し，帳票ファイル名に対する遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MultiFormInfoDefBasePath プロパティ，MultiFormInfoDefFile プロパティ，MultiReportSetBasePath プロパティ，MultiReportSetFile プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，および ReportPrintWithView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MultiFormInfoDefPath，MultiReportSetPath
- 複数様式での帳票出力の指定
  MultiFormInfoDefFile，MultiReportSetFile

4645

一時ファイルを出力できませんでした。（機能コード：エラーコード）

要因

次に示す要因によって，一時ファイル（作業用ファイル）が出力できません。

- 一時ファイルの出力先デバイスに，空き容量がありません。
- 一時ファイルの出力先フォルダに，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，空き容量を確保してください。
- 一時ファイルの出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。

補足

このメッセージは，EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）でバックグラウンドのインポート，または編集するときに，EUR が表示する固有のメッセージです。また，保守用の情報が「(機能コード：エラーコード)」に表示されます。

4646

アイテム枠に指定した桁数を超えるデータが指定されています。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された桁数を超えるデータが，アイテム枠内にあります。
- ［アイテムのプロパティ］ダイアログの［文字配置］タブで，アイテム枠内にあるデータの桁数に満たない値が指定されました。

対処

アイテム枠内にあるデータの桁数と，［アイテムのプロパティ］ダイアログの［文字配置］タブで指定されている桁数の値に問題がないかどうかを確認してください。

4647

接続情報ファイル（接続情報ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された接続情報ファイルがフォルダです。
- 指定された接続情報ファイルが，ほかのプログラムで使用中です。

対処

次のように対処してください。

- 接続情報ファイルの指定を見直してください。
- ほかのプログラムが終了するのを待ってから，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName

4648

接続情報ファイル（接続情報ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された接続情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

接続情報ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のある接続情報ファイルを指定したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName

4649

接続情報ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

接続情報ファイルのパスが指定されていません。

対処

接続情報ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  DBInfoFilePath

4650

接続情報ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない接続情報ファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

接続情報ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  DBInfoFilePath

4651

指定した接続情報ファイル（接続情報ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：キーワード）

要因

このメッセージは，「(エラーコード：キーワード)」に示されたエラーコードによっ

て，要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

エラーコード	要　因
1	「キーワード」に示されたキーワードが指定されていません。
2	•「キーワード」に示されたキーワードの値が不正です。 •「キーワード」に示されたキーワードに値が指定されていません。
3	不正な「キーワード」が指定されました。
4	「キーワード」のキーワードが 2 個以上指定されています。
5	•「キーワード＝値」の形式で指定されていません。 • エラーコード「5」のときは，キーワードは表示されません。

「キーワード」には，次に示すどれかのキーワードが表示されます。
DABrokerHost，DBType，SendBufferSize，TimeoutInterval，Hostname，ConnectInfo，User，Password，QueryExclusiveString

対処

接続情報ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName

4653

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）が見つかりません。

要因

可変記号値定義ファイル名に指定されたファイルがありません。

対処

存在する可変記号値定義ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile

4654

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された可変記号値定義ファイルがフォルダです。
- 指定された可変記号値定義ファイルが，ほかのプログラムで使用中です。

対処

次のように対処してください。

- 可変記号値定義ファイルの指定を見直してください。
- ほかのプログラムが終了するのを待ってから，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile

4655

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された可変記号値定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

可変記号値定義ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のある可変記号値定義ファイルを指定したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile

4656

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

可変記号値定義ファイルのパスが指定されていません。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

DataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MappingDataPath

4657

マッピングデータ用の可変記号値定義ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない可変記号値定義ファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

MapDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

DataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  MappingDataPath

4658

指定したマッピングデータ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：変数名）

要因

このメッセージは，「(エラーコード：変数名)」に示されたエラーコードによって，要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

エラーコード	要因
1	「変数名」に，未知の変数名が指定されています。
2	「変数名」に示された変数に値が指定されていません。
3	• 「変数名 = 値」の形式で指定されていません。 • エラーコード「3」のときは，変数名は表示されません。
4	「変数名」に示された変数に使用できない可変記号値が指定されています。

EUR のログファイルに，要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと，その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	有効範囲を超えた値が指定されました。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	• 文字定数の中のアポストロフィが二つ続けて指定されていません。 • 文字列なしの定数 ('') が指定されました。
指定された値は列の属性と合っていません	指定された値は列の属性と合いません。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	有効範囲を超えた値が指定されました。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	列の定義長または指定範囲を超えています。

対処

可変記号値定義ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

EUR のログファイルに表示されたメッセージによって，次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対処
数値データのけた落ちが発生しました	値を範囲内で指定してください。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	• アポストロフィを文字データとして使う場合は，二つ続けて指定してください。 • 文字列を指定してください。
指定された値は列の属性と合っていません	値を変更して，列の属性と合わせてください。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。

各条件の設定できる値については，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

DataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- マッピングデータ用のファイルの指定
  MappingDataFile

4667

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）が見つかりません。

要因

可変記号値定義ファイル名に指定されたファイルがありません。

対処

存在する可変記号値定義ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4668

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された可変記号値定義ファイルがフォルダです。
- 指定された可変記号値定義ファイルが，ほかのプログラムで使用中です。

対処

次のように対処してください。

- 可変記号値定義ファイルの指定を見直してください。
- ほかのプログラムが終了するのを待ってから，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4669

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された可変記号値定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

可変記号値定義ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のある可変記号値定義ファイルを指定したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4670

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

可変記号値定義ファイルのパスが指定されていません。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  UserDefDataPath

4671

ユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイルの場所に指定されたパス（パス名）が見つかりません。

要因

存在しない可変記号値定義ファイルのパスが指定されました。または，指定されたパスの文字列に誤りがあります。

対処

可変記号値定義ファイルが格納されているパスを指定して，再度実行してください。または，指定したパスの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

UserDataBasePath プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ファイルのパス指定
  UserDefDataPath

4672

指定したユーザ定義データ用の可変記号値定義ファイル（可変記号値定義ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：変数名）

要因

このメッセージは，「(エラーコード：変数名)」に示されたエラーコードによって，要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

エラーコード	要因
1	「変数名」に，未知の変数名が指定されています。
2	「変数名」に示された変数に値が指定されていません。
3	• 「変数名 = 値」の形式で指定されていません。 • エラーコード「3」のときは，変数名は表示されません。
4	「変数名」に示された変数に使用できない可変記号値が指定されています。

EUR のログファイルに，要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと，その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	有効範囲を超えた値が指定されました。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	• 文字定数の中のアポストロフィが二つ続けて指定されていません。 • 文字列なしの定数 ('') が指定されました。
指定された値は列の属性と合っていません	指定された値は列の属性と合いません。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	有効範囲を超えた値が指定されました。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	列の定義長または指定範囲を超えています。

対処

可変記号値定義ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

EUR のログファイルに表示されたメッセージによって，次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対処
数値データのけた落ちが発生しました	値を範囲内で指定してください。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	• アポストロフィを文字データとして使う場合は，二つ続けて指定してください。 • 文字列を指定してください。
指定された値は列の属性と合っていません	値を変更して，列の属性と合わせてください。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。

各条件の設定できる値については，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DataFileName プロパティ

OCX オブジェクト

UserDataFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- ユーザ定義データ用のファイルの指定
  UserDefDataFile

4676

接続情報ファイル（接続情報ファイル名）が見つかりません。

要因

接続情報ファイル名に指定されたファイルがありません。

対処

存在する接続情報ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

DBInfoFileName プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 接続情報ファイルの指定
  DBInfoFileName

4683

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって，置き換え表管理情報ファイルの内容が不正です。

- 置き換え表名が 50 桁を超えています。
- 置き換え表ファイル名が 256 文字を超えています。
- 置き換え表ファイル名がフルパス，または相対パスです。
- 置き換え表名，または置き換え表ファイル名の中に改行コードがあります。
- 置き換え表に，置き換え表名または，置き換え表ファイルの記述がありません。
- 「"」が閉じていません。

対処

次のように対処してください。

- 正しい置き換え表名を指定してください。
- 正しい置き換え表ファイル名を指定してください。
- 一つの行に置き換え表名と置き換え表ファイル名を一つずつ指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFile プロパティ

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemCntlFile
  ReplaceItemCntlFilePath

4684

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって，置き換え表ファイルの内容が不正です。

- キーデータ，または置き換えデータが 256 文字を超えています。
- キーデータ，または置き換えデータの中に改行コードがあります。
- キーデータと置き換えデータが，一つの行に一つずつありません。
- キーデータ，または置き換えデータの間にコンマがありません。コンマは，空データの場合でも必要です。

対処

次のように対処してください。

- 正しいキーデータを指定してください。
- 正しい置き換え表データを指定してください。
- 一つの行にキーデータ，または置き換えデータを一つずつ指定してください。
- コンマを入れてください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFile プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ
ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ
ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemCntlFile
  ReplaceItemCntlFilePath
  ReplaceItemFilePath

4685

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイル読み込み権限があるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFile プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemCntlFile
  ReplaceItemCntlFilePath

4686

置き換え表ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定した置き換え表ファイルに読み込み権限がありません。

対処

指定した置き換え表ファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemFilePath

4687

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルがありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイルがあるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemCntlFilePath

4688

置き換え表ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定した置き換え表ファイルがありません。

対処

指定した置き換え表ファイルがあるかどうかを確認してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemFilePath

4689

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルがフォルダです。

対処

正しい置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemCntlFile プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemCntlFile
  ReplaceItemCntlFilePath

4690

置き換え表ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定した置き換え表ファイルがフォルダです。

対処

正しい置き換え表ファイル名を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

ReplaceItemFilePath プロパティ

OCX オブジェクト

ReplaceItemFilePath プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 置き換え表管理情報ファイルの指定
  ReplaceItemFilePath

4693

バーコードパターンファイル（ファイル名）を入力できません。(エラーコード)

要因

指定されたバーコードパターンファイルでエラーが発生しました。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

CODE128PATTERN

OLE オートメーション

Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数

4694

バーコードパターンファイル（ファイル名）が不正です。

要因

指定されたバーコードパターンファイルの内容に誤りがあります。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

CODE128PATTERN

OLE オートメーション
Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4695

プリンタ（プリンタ名）とバーコードパターンファイル（ファイル名）が適合しません。

要因
指定されたプリンタに対応したバーコードパターンファイルがありません。

対処
正しいバーコードパターンファイルを指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル
CODE128PATTERN

OLE オートメーション
Print メソッド，PrintOut メソッド

DLL インターフェース関数
ReportPrint 関数

4696

文字幅計算方法の指定に誤りがあります。

要因

OLE オートメーション，または OCX オブジェクトの場合
文字幅計算方法の指定で，0，1 以外の値が指定されました。

DLL インターフェース関数の場合
文字幅計算方法の指定で，static，dynamic 以外の値が指定されました。

対処

OLE オートメーション，または OCX オブジェクトの場合
指定値に 0 または 1 を指定してください。

DLL インターフェース関数の場合
指定値に static または dynamic を指定してください。

対処の参照先

OLE オートメーション

FontWidthMode プロパティ

OCX オブジェクト

FontWidthMode プロパティ

DLL インターフェース関数

ReportPrint 関数，ReportPrintWithView 関数，および ReportView 関数の option で指定する，オプション記述ファイルのキーワード

- 固定ピッチフォントの文字幅計算方法の指定
  FontWidthMode

5 DBL0001 ～ DBL0999

DBL0001 ～ DBL0999 のメッセージについて説明します。

5.1 DBL0001 ～ DBL0999 のメッセージ

5.1 DBL0001 ～ DBL0999 のメッセージ

DBL0010E

応答監視時間の指定に誤りがあります。

要因

応答監視時間に 0 ～ 3600 の整数以外が指定されています。

対処

0 ～ 3600 の整数を指定して，再実行してください。

DBL0020E

送受信領域サイズに数字以外の文字が指定されました。

要因

送受信領域サイズの指定に数字以外の文字が指定されています。

対処

送受信領域サイズを数字で指定してください。

DBL0100E

通信ドライバの指定が不正なため，処理を中止しました。

要因

次に示す要因によって，処理を中止しました。

- EUR ODBC Driver をインストールしたあと，通信ドライバが設定されていません。
- 環境定義ファイルが不正です。

対処

［EUR ODBC Driver - 環境定義 - ］ダイアログで，通信ドライバを設定してください。

DBL0101E

指定された通信ドライバに対応した EUR ODBC Driver が見つかりませんでした。

要因

次に示す要因によって，EUR ODBC Driver が見つかりません。

- 環境定義で指定された通信ドライバに対応した EUR ODBC Driver がインストー

ルされていません。
- EUR ODBC Driver がインストールされているフォルダが移動されています。

対処

使用する通信ドライバに対応した EUR ODBC Driver をインストールしたあと，再実行してください。

DBL0401E

システムコールでエラーが発生しました。[システムコール名称 (),errno= エラー番号]

要因

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

対処

操作を再実行してください。
再度発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

6 DBL1000 ～ DBL1999

DBL1000 ～ DBL1999 のメッセージについて説明します。

6.1 DBL1000 ～ DBL1999 **のメッセージ**

6.1 DBL1000 ～ DBL1999 のメッセージ

DBL1001E

通信ドライバのローディングに失敗しました。

要因

下位の通信ドライバのローディングに失敗しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- 通信ドライバをインストールしているかどうかを確認してください。
- EUR ODBC Driver をセットアップしたときの通信ドライバの選択が正しいかどうかを確認してください。

DBL1002E

コネクション確立時，ソケットのオープンに失敗しました。[errno= **エラーコード**]

要因

コネクションを確立しようとしましたが，空いているソケットがありません。

対処

ほかのアプリケーションを終了して再実行してください。

再度エラーが起こるときは，通信ドライバに設定するソケット数を増やしてください。ソケット数の設定については，通信ドライバのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

DBL1003E

コネクション確立時に TCP **コネクション確立処理に失敗しました。**[errno= **エラーコード**]

要因

コネクションを確立時に TCP コネクション確立処理に失敗しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- 一定時間後，再実行してください。
- サーバプログラム（DABroker），またはサーバプログラム下の通信プログラムがエラーになっていないかどうかを確認してください。
- 通信ドライバに登録したインターネットアドレスを見直してください。
- ポート番号を見直してください。
- 回線の接続状態を確認してください。

- TCP/IP を使っているほかのアプリケーションを終了させてください。
- 通信ドライバに設定する TCP コネクションの数を増やしてください。

DBL1004E

コネクションが切断されました。[errno= **エラーコード**]

要因

データの送受信時にコネクションが切断されました。

対処

次に示す処置をしてください。

- 一定時間後，再実行してください。
- サーバプログラム（DABroker），またはサーバプログラム下の通信プログラムがエラーになっていないかどうかを確認してください。
- 回線の接続状態を確認してください。
- サーバプログラムの動作環境設定ファイルの内容と EUR ODBC Driver をセットアップしたときの設定内容を見直してください。

DBL1005E

応答監視時間を超えました。

要因

データの送受信時に応答時間を超えました。

対処

サーバプログラム（DABroker）がエラーになっていないかどうかを確認してください。エラーになっていないときは，EUR ODBC Driver の［EUR ODBC Driver - 環境定義 -］ダイアログで設定した応答監視時間の値を大きくしてください。

DBL1006E

インタネットアドレスが取得できません。

要因

接続先のインターネットアドレスが取得できません。

対処

通信ドライバの接続先のインターネットアドレスが登録されているかどうかを確認してください。

DBL1007E

通信時に異常が発生しました。[errno= **エラーコード**]

要因

サーバとの通信時に異常が発生しました。

対処

再実行してください。再度エラーが発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

DBL1011E

接続したデータベースとデータソースに指定したデータベースの種類が異なります。

要因

接続したデータベースとデータソースに指定したデータベースの種類が異なります。

対処

［EUR ODBC Driver - セットアップ -］ダイアログで設定したデータソースに指定したデータベース識別子が正しいかどうか見直してください。

7 DBP0001 ～ DBP0999

DBP0001 ～ DBP0999 のメッセージについて説明します。

7.1 DBP0001 ～ DBP0999 **のメッセージ**

7.1 DBP0001 ～ DBP0999 のメッセージ

DBP0001E

データベースアクセス定義の稼働に必要なメモリがありません。他のプログラムを終了して，再実行してください。

要因

メモリの確保に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- 複数のアプリケーションが起動されています。
- Windows システムが使用できるメモリ，またはリソースが不足しています。

対処

ほかのアプリケーションプログラムを終了したあと，再実行してください。

DBP0002E

データベースアクセス定義の実行中に異常が発生しました。データベースアクセス定義を終了します（詳細コード）。

要因

データベースアクセス定義の実行中に異常が発生しました。

対処

データベースアクセス定義を終了させてください。

補足

保守用の情報が「(詳細コード)」に表示されます。

DBP0005W

処理を中断しますか？

要因

処理の中断が選択されました。

対処

次のように対処してください。

- 処理を中断する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 処理を続行する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP0006W

抽出するデータが nnn 件あります。抽出しますか？

要因

抽出するデータが nnn 件ありました。

対処

抽出件数を確認したあと，次のように対処してください。

- nnn 件分のデータを抽出する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- データを抽出しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP0007E

起動パラメタの指定が誤っています。

要因

次に示す要因が考えられます。

- エクスプローラなどから，直接，データベースアクセス定義が起動されました。
- EUR 帳票作成機能または EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）のメニュー以外から，データベースアクセス定義が起動されました。

対処

EUR 帳票作成機能または EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）のメニューから起動してください。

DBP0010W

ファイルの書き込み中にエラーが発生しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイルが見つからない，オープンされているファイルが多いなどの理由で，ファイルの書き込み中にエラーが発生しました。
- ファイルに書き込み権限がありません。
- ドライブの容量不足が発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 既存のファイルがあるかどうかを確認してください。
- オープンされているファイルのうち，不要なファイルは閉じてください。
- 出力先フォルダには，書き込み権限を与えてください。
- 既存のファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。
- ドライブの空き容量を増やしてください。

DBP0011W

ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイルが見つからない，オープンされているファイルが多いなどの理由で，ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。
- ファイルに読み込み権限がありません。
- ファイルが破壊されています。

対処

次のように対処してください。

- 存在するファイルを指定してください。
- 指定するファイルに，読み込み権限を与えてください。
- 指定するファイルが壊れていないかどうか，確認してください。

DBP0012W

ファイルのオープン又は作成に失敗しました。

要因

ファイルが見つからない，オープンされているファイルが多いなどの理由で，指定されたファイルのオープンまたは作成に失敗しました。

対処

ファイルが使用できる状態か調査してください。使用できない場合は，要因を取り除いて，再実行してください。

DBP0013W

ファイルの削除に失敗しました。

要因

ファイルが見つからない，オープンされているファイルが多いなどの理由で，指定されたファイルの削除に失敗しました。

対処

ファイルが使用できる状態か調査してください。使用できない場合は，要因を取り除いて，再実行してください。

DBP0018W

絞り込み条件の指定に誤りがあります。

要因

絞り込み条件に，「.」が指定されています。

対処

絞り込み条件を正しく指定して，再実行してください。

DBP0019I

絞り込み条件に一致する表はありません。

要因

絞り込み条件に合う表が見つかりません。次に示す要因が考えられます。

- 表に，絞り込み条件に指定された文字列がありません。
- 全角／半角文字，または英字の大文字／小文字が正しく指定されていません。
- 空白文字で始まる所有者名／表名を探す条件に，前方一致，または完全一致の条件が指定されました。
- 空白文字で終わる所有者名／表名を探す条件に，後方一致，または完全一致の条件が指定されました。

対処

絞り込み条件を指定し直して，再実行してください。

DBP0020W

絞り込み条件に指定された文字数が多すぎます。

要因

所有者と表名の最大文字数が，半角 254 文字を超えています。

対処

絞り込み条件を正しく指定して，再実行してください。

DBP0022I

データベースアクセス定義を終了できません。

要因

データベースアクセス定義が終了できる状態ではありません。

対処

データベースアクセス定義の状態を確認してください。

DBP0025W

指定したファイルまたはフォルダのパスが長すぎます。

要因

ロングファイル名で 256 バイトより長いパスを選択しました。

対処

ファイル名，またはフォルダ名のパスを指定し直したあと，再実行してください。

DBP0501W

括弧の指定方法に誤りがあります。

要因

条件関連式の左括弧と右括弧の数が一致しません。

対処

左括弧と右括弧の数が合っているかどうかを確認してください。

DBP0502W

条件関連式に指定できない文字があります。

要因

条件関連式に指定できない文字があります。

対処

条件関連式に指定できる文字は，使用するデータベースによって異なります。条件を設定するときの規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を参照してください。

DBP0503W

条件一覧に存在しない番号が指定されています。

要因

条件一覧にない番号が条件関連式に指定されています。

対処

条件一覧にない番号を削除してください。

DBP0505W

数値データのけた落ちが発生しました。

要因

浮動小数点の有効範囲を超える定数が指定されました。

対処

定数の有効範囲は，使用するデータベースによって異なります。定数の規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を

参照してください。

DBP0507W

SQL 文の長さがシステムの制限を超えました。

要因

生成された SQL 文の長さがシステムの制限を超えています。

対処

次に示す対処を，一つ以上実行してください。

- 指定した列の数を減らしてください。
- 指定した条件の数を減らしてください。
- 指定した条件関連式を短くしてください。

DBP0508W

条件関連式のネスト数が 64 を超えました。

要因

条件関連式のネスト数が 64 を超えています。

対処

次に示す対処を，一つ以上実行してください。

- 括弧内の検索条件を減らしてください。
- 括弧の数を減らしてください。
- OR，AND の順に指定している論理式の数を減らしてください。

DBP0509W

AND，OR，及び NOT の総数が 255 個を超えました。

要因

条件関連式の AND，OR，および NOT の総数が 255 個を超えました。

対処

条件関連式の AND，OR，および NOT の総数が 255 個以下になるように変更したあと，再実行してください。

DBP0510W

文字パターンの指定に誤りがあります。

要因

指定できない文字パターンが設定されました。

対処

文字パターンの規則は，使用するデータベースによって異なります。文字パターンの規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を参照してください。

DBP0511W

アポストロフィの指定方法に誤りがあります。

要因

文字定数の「'」の指定に誤りがあります。

対処

「'」を文字データとして使用する場合は，「'」を二つ続けて指定してください。

DBP0512W

条件関連式の構文が誤っています。

要因

条件関連式の構文が誤っています。

対処

条件関連式の構文を見直したあと，再実行してください。

DBP0513W

比較できない属性の列を指定しています。

要因

比較できない属性の列を比較しようとしました。

対処

列比較の規則は，使用するデータベースによって異なります。比較できる列属性の組み合わせを次に示します。

表 7-1　比較できる列属性の組み合わせ

左辺（表 1 の列名）	右辺（表 2 の列名）
CHAR，VARCHAR，LONG VARCHAR，MCHAR，MVARCHAR，NCHAR，NVARCHAR，UCHAR ※，UVARCHAR ※，LONG UVARCHAR ※	CHAR，VARCHAR，LONG VARCHAR，MCHAR，MVARCHAR，NCHAR，NVARCHAR，UCHAR ※，UVARCHAR ※，LONG UVARCHAR ※

左辺（表 1 の列名）	右辺（表 2 の列名）
NUMERIC，DECIMAL，SMALLINT，INTEGER，REAL，FLOAT，BIT，TINYINT，DOUBLE	NUMERIC，DECIMAL，SMALLINT，INTEGER，REAL，FLOAT，BIT，TINYINT，DOUBLE
DATE	DATE
TIME	TIME
BINARY，VARBINARY，LONG VARBINARY	BINARY，VARBINARY，LONG VARBINARY
TIMESTAMP	TIMESTAMP

注※

SQL Server を使用する場合で，Unicode データを抽出するときだけ使用できます。

DBP0514W

文字データの列又は定数に四則演算を指定しています。

要因

文字データの列，または定数に四則演算が指定されています。

対処

文字データの列，または定数には，四則演算を指定できません。四則演算の指定を削除してください。

DBP0515W

列記号の指定に誤りがあります。

要因

列記号の指定が誤っています。

対処

列記号の指定を見直したあと，再実行してください。

DBP0516W

条件式の数値の指定に誤りがあります。

要因

条件式の数値の指定が誤っています。

対処

条件式の指定を見直したあと，再実行してください。

DBP0517W

列演算条件式の演算子の指定に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 演算子を二つ続けて指定しています。
- 列名と列名の間，または数値の間に，演算子がありません。
- 演算子の後ろに列名，または数値がありません。

対処

列演算条件式の演算子を見直したあと，再実行してください。

DBP0518W

括弧の指定方法に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 列演算条件式の左括弧と右括弧の数が一致しません。
- 左括弧の前に右括弧を指定しています。

対処

括弧の指定，および括弧の数が合っているかどうかを確認してください。

DBP0519W

列演算条件式のネスト数が 64 を超えました。

要因

列演算条件式のネスト数が 64 を超えています。

対処

列演算条件式中の演算子，または括弧の数を減らしてください。

DBP0520W

条件式に不正な文字があります。

要因

条件式に指定できない文字があります。

対処

条件式に指定できる文字は，数値，文字定数，演算子，「(」，および「)」です。
条件式の構文を見直したあと，再実行してください。

DBP0521W

指定された列が見つかりません。

要因

列一覧にない列が指定されています。

対処

列一覧に表示されている列を指定してください。

DBP0522W

条件式に列が指定されていません。

要因

左辺，または右辺に，列が指定されていません。

対処

左辺，または右辺に列を指定したあと，再実行してください。

DBP0523W

列の指定方法に誤りがあります。

要因

列の指定方法に誤りがあります。

対処

列の指定を見直したあと，再実行してください。
列名に予約語，または区切り記号を使用している場合は，列名の前後を「"」で囲んでください。

DBP0524W

条件式に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 条件式の指定に誤りがあります。
- ［列演算条件式］ダイアログに，NULL，IN，LIKE，または BETWEEN 条件式が指定されています。

対処

条件式の指定を見直したあと，再実行してください。

DBP0525W

指定された値は列の属性と合っていません。

要因

指定された値が，列の属性と合っていません。

対処

列属性と定数の組み合わせは，使用するデータベースによって異なります。条件を設定するときの規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を参照してください。

DBP0526W

指定された値は指定できる有効範囲を超えています。

要因

定数に指定された値が，有効範囲を超えています。

対処

定数の有効範囲は，使用するデータベースによって異なります。定数の規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を参照してください。

DBP0527W

指定された値は列の定義長を超えています。

要因

指定された値が，列の定義長を超えています。

対処

列の定義長を確認したあと，定義以内の値を入力してください。

DBP0529W

演算できない列が指定されています。

要因

演算できない列が条件式に指定されています。

対処

演算できる属性の列を指定してください。

DBP0530W

四則演算を使用していない条件式は指定できません。

要因

［列演算条件式］ダイアログは，四則演算が使用されていない条件式を指定できません。

対処

四則演算を使用した条件式を指定してください。四則演算を使用しない場合は，［条件設定］ダイアログで指定してください。

DBP0532W

指定された値は指定できる有効範囲を超えています。

要因

定数の有効範囲を超えた値が指定されました。

対処

定数の有効範囲は，使用するデータベースによって異なります。定数の規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を参照してください。

DBP0533W

条件関連式の括弧の数が 64 を超えました。

要因

条件関連式に指定された括弧の数が 64 を超えています。

対処

条件関連式の括弧の数が，64 以内になるように見直したあと，再実行してください。

DBP0534W

AND，及び OR の総数が 254 を超えました。

要因

条件関連式の AND，および OR の総数が 254 を超えました。

対処

AND，および OR の総数が 254 以内になるように見直したあと，再実行してください。

DBP0535W

抽出条件を設定できない属性の列が含まれています。

要因

抽出条件の中に，条件を設定できない列が設定されています。

対処

条件を設定できる列属性は，使用するデータベースによって異なります。条件を設定するときの規則については，マニュアル「EUR 帳票設計」または「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票)」を参照してください。

8 DBP1000 ～ DBP1999

DBP1000 ～ DBP1999 のメッセージについて説明します。

8.1 DBP1000 ～ DBP1999 **のメッセージ**

8.1 DBP1000 ～ DBP1999 のメッセージ

DBP1005W

グループを設定できない属性の列（列名）を選択しているため，集合関数の設定はできません。

要因

選択された列の中に，グループ分けを設定できない属性の列があったので，集合関数を設定できません。

対処

グループ分けが設定できない属性の列を削除したあと，再実行してください。

DBP1013E

データベース接続情報がありません。

要因

データベース接続情報がありません。

対処

データベースアクセス定義を再起動してください。

DBP1015W

値が指定されていません。

要因

［IN 条件式］ダイアログの IN 条件式に，値が指定されていません。

対処

IN 条件式の値を指定してください。

DBP1019W

条件を設定できる属性の列がありません。

要因

条件を設定できる列属性が設定されていません。

対処

［キャンセル］ボタンをクリックして［条件設定］ダイアログを閉じてください。

DBP1024W

これ以上ソートは設定できません。

要因

ソートの数が多いため，これ以上は設定できません。

対処

ソートできる列数は 255 以内です。

DBP1025W

グループ分けの列が多過ぎます。

要因

グループ分けの列が多いため，集合関数は設定できません。

対処

グループ分けに設定できる列数は，255 以内です。

DBP1029W

データの転送を中断します。中断するまでに検索したデータを転送しますか？

要因

データの転送の中断が指定されました。

対処

次のように対処してください。

- 転送を中断するまでに検索されたデータを使用する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 転送を中断する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。
- 処理を取り消す場合は，［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

DBP1030W

データの転送を中断しますか？

要因

データの転送処理が中断されました。

対処

次のように対処してください。

- データの転送を中断する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- データの転送を続行する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP1032W

抽出データの件数は取得できませんでした。処理を続行しますか？

要因

抽出データの件数の取得に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- HiRDB，Oracle 以外のデータベースの場合
  抽出条件に，集合関数が指定されています。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 処理を中断する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP1038W

選択された表に，表示できる列がありません。

要因

選択された表が，すべて LONG VARBINARY の列です。

対処

LONG VARBINARY 以外の列で定義されている表を選択してください。

DBP1040W

グループ分けのできない列は，グループ分けされている設定内容の中に追加又は挿入できません。

要因

グループ分けされている設定内容の中に，グループ分けのできない列を追加，または挿入しようとしました。

対処

次のように対処してください。

- ［集合関数設定］ダイアログで，グループ分けの設定を取り消したあと，列の追加，または挿入をしてください。
- グループ分けを設定できる列を選択して，再実行してください。

DBP1045I

条件表示リストボックスに結合条件を設定していない表があるため，抽出データが大量になることがあります。処理を続行しますか？

要因

選択された表の中に，結合条件が設定されていない表があります。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。結合条件が設定されている表の各行に，結合条件が設定されていない表の全行を付けた形でデータが抽出されます。この場合，抽出データが大量になることがあります。
- 処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。［条件設定］ダイアログで，抽出する表に結合条件を設定してください。

DBP1046I

結合条件を設定できない表があります。処理を続行しますか？

要因

選択された表の中に，結合条件を設定できない表があります。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。［条件設定］ダイアログが表示されます。
- 処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。
- 複数の表を結合して抽出する場合は，結合条件が設定できる表だけを選択してください。

DBP1048I

設定した抽出時間の上限を超えました。転送を中断します。

説明

［オプション］メニューで設定された「抽出時間」の上限値を超えたことを示すメッセージです。

DBP1049W

［抽出時間の上限］の値が，設定可能な範囲（1 ～ nnn 分）を超えています。

要因

［オプション］ダイアログの［表示］タブで，［抽出時間の上限］に指定されている値に誤りがあります。

対処

接続先のデータベースによって，抽出時間の上限値の範囲は異なります。1 ～ 999 分を目安に指定してください。

DBP1050W

aa...aa 属性の列があるため，処理できません。

要因

列に「aa...aa」に示す属性が設定されているため，処理を中止しました。

対処

［列設定］ダイアログで，「aa...aa」属性を削除してください。

DBP1055W

抽出する列が nnn 列を超えています。

要因

抽出する列数が，制限の nnn 列を超えました。

対処

抽出する列が，メッセージに表示された列数以下になるようにしてください。

DBP1056W

抽出する列の定義長の合計が nnn バイトを超えています。

要因

抽出する列の定義長の合計が，制限の nnn バイトを超えました。

対処

列の定義長の合計が，メッセージに表示されたバイト数以下になるようにしてください。数値属性の列は，1 桁を 1 バイトとします。

DBP1058W

ソートまたはグループ分けを設定した列が nnn 列を超えています。

要因

ソートを設定した列と，グループ分けを設定した列の合計が，制限の nnn 列を超えました。

対処

ソート，またはグループ分けを設定した列の合計が，メッセージに表示された列数以下になるようにしたあと，再実行してください。
同じ列にソートとグループ分けを設定する場合，列数は 1 と数えます。

DBP1082I

複数の表を使用しているため，条件の指定方法によりデータが大量になることがあります。処理を続行しますか？

説明

複数の表からデータを抽出する場合は，抽出されるデータが大量になることがあります。そのため，結合条件だけでは，十分にデータを絞り込めません。結合条件とは別に，「データを絞り込むための条件」も指定されることをお勧めします。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。現在の条件で抽出されます。
- 処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。「条件設定」を設定し直してください。

DBP1083W

ソートが設定できない列がありました。

要因

ソートが設定できない列がありました。次に示す要因が考えられます。

- 別の種類のソートがすでに設定されています。
- 同じ列に対して，すでにソートが設定されています。

対処

ソートの設定内容を確認してください。

DBP1084W

集合関数が設定できない列がありました。

要因

集合関数が設定できない列がありました。次に示す要因が考えられます。

- 数値属性でない列に，平均，または合計が設定されました。
- 選択された列は，集合関数が設定できません。

対処

集合関数の設定内容を確認してください。

DBP1085W

すべての表の列を表示することができませんでした。続行しますか？

要因

次に示す要因が考えられます。

- 列一覧表示領域の最大文字数を超えました。
- メモリ不足が発生しました。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。列一覧に先頭の表の列が表示されます。
- 処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP1087W

ALIAS 表と ALIAS 表以外の結合はできません。

要因

表種別「ALIAS」は，異なる種別の表と結合できません。

対処

表の選択を変更したあと，再実行してください。

DBP1117W

［件数制限］の値が，設定可能な範囲（1 ～ nnn 件）を超えています。最大の件数に変更して処理を続行しますか？

要因

［件数制限］に設定された値が，設定できる最大件数を超えています。

対処

次のように対処してください。

- ［件数制限］の値を，最大件数分（nnn 件）で処理を続行する場合は，［はい］ボタンを選択してください。
- ［件数制限］の値を範囲内の値に変更する場合は，［いいえ］ボタンを選択してください。

DBP1118W

仮想列の指定に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 仮想列に指定されている「所有者」，「表名」，および「列名」の文字列が，「"」で囲まれていません。

- 「"」で囲まれている文字列が，256 バイトを超えています。

対処

仮想列の指定を見直してください。

DBP1119W

指定された列が見つかりません。

要因

選択された表にない列が指定されています。

対処

仮想列の指定を見直してください。

DBP1120W

データ表示ウィンドウと連携できません。

要因

データ表示ウィンドウが連携できる状態ではありません。

対処

データ表示ウィンドウから表示されたダイアログを閉じてください。

DBP1123W

条件式（条件式）は設定できません。

要因

使用できない条件式を設定しようとしました。または，条件式の設定に誤りがあります。

対処

条件式を見直してください。

DBP1124W

aa...aa **は使用できません。**

要因

使用できない条件式，または機能が指定されました。

対処

メッセージに示されている条件式，または機能が使用できるかどうかを見直してください。

DBP1127W

LONG VARBINARY を含む抽出方法に誤りがあります。

要因

- EUR 帳票作成機能の場合
  LONG VARBINARY の列を選択した状態で，データベースアクセス定義を終了しようとしました。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  LONG VARBINARY の列を選択した状態で，項目定義を更新しようとしました。

対処

- EUR 帳票作成機能の場合
  LONG VARBINARY の列を削除してから，終了してください。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  LONG VARBINARY の列を削除したあと，項目定義を更新してください。

DBP1128W

選択できる列の最大数を超えました。処理を続行しますか？

要因

選択された列数が，10,000 列を超えています。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。選択する列を 10,000 列分にして処理が続行されます。
- 処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP1129W

選択できる列の最大数を超えました。

要因

選択された列数が，10,000 列を超えています。

対処

選択されている列数を減らしてください。

DBP1133W

条件式の指定に誤りがあります。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 条件式に指定されている「所有者」,「表名」，および「列名」の文字列が，「"」で囲まれていません。
- 「"」で囲まれている文字列が，256 バイトを超えています。

対処

条件式を正しく指定して，再実行してください。

DBP1136I

行番号の項目名を項番にしました。

要因

行番号の項目名が指定されていません。項目名を「項番」にします。

DBP1137W

aa...aa **は非表示にできません。**

要因

表一覧の非表示にできない項目名が，非表示に設定されています。

対処

メッセージに表示された項目名を表示するように設定してください。

DBP1138W

辞書フォルダが指定されていません。

要因

辞書フォルダが指定されていません。

対処

辞書フォルダを指定してください。

DBP1140W

抽出するデータ nnn **件あり，上限のデータ件数** mmm **件を超えました。抽出処理を中止します。**

要因

抽出するデータ件数が，上限のデータ件数を超えました。

対処

「件数制限」，または「条件」の設定を見直して，抽出データの件数が制限内になる

ようにしてください。

DBP1141W

抽出するデータ nnn 件あり，上限のデータ件数 mmm 件を超えました。抽出処理を続行しますか？

要因

抽出するデータ件数が，上限のデータ件数を超えました。

対処

次のように対処してください。

- 抽出を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 抽出を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP1143W

抽出するセル数が nnn を超えるため，抽出処理を中止します。

要因

抽出するデータのセル数が制限を超えました。

対処

「件数制限」，または「条件」の設定を見直して，抽出データのセル数が制限内になるようにしてください。

DBP1144W

抽出するセル数が nnn を超えます。抽出処理を続行しますか？

要因

抽出するデータのセル数が制限を超えました。

対処

次のように対処してください。

- 処理を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。抽出データのセル数が制限内になるように，「件数制限」，または「抽出条件」を設定してください。

DBP1151W

抽出データの件数が取得できません。

要因

抽出データの件数の取得に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- HiRDB，Oracle 以外のデータベースの場合
  抽出条件に，集合関数が指定されています。

対処

選択している接続先と抽出条件に誤りがないかどうかを確認してください。

9 DBP2000 ～ DBP2999

DBP2000 ～ DBP2999 のメッセージについて説明します。

9.1 DBP2000 ～ DBP2999 **のメッセージ**

9.1 DBP2000 ～ DBP2999 のメッセージ

DBP2001W

表示可能セル数を超えたため，データの表示を中止しました。

要因

データ表示ウィンドウで表示できるセル数が 350,000 セルを超えたため，データの表示を中止しました。

対処

データ表示ウィンドウに表示するセル数が，「（列数 +1）*（行数 +1）＜ 350,000」になるように，列数，または行数を少なくしてください。

DBP2002E

ファイルのオープンに失敗しました。（nnn，mmm）

要因

ファイルのオープン処理に失敗しました。

対処

システム管理者は，指定したファイルが使用できる状態かどうかを調査してください。

補足

保守用の情報が「（nnn，mmm）」に表示されます。

DBP2007W

20000 行目以降，1000 列目以降のデータは切り捨てました。

要因

抽出したデータが，20,000 行以上，または 1,000 列以上ありました。20,000 行以上，または 1,000 列以上のデータを切り捨てます。

DBP2008W

20000 行目以降のデータは切り捨てました。

要因

抽出したデータが，20,000 行以上ありました。20,000 行目以降のデータを切り捨てます。

DBP2009W

1000 列目以降のデータは切り捨てました。

要因

抽出したデータが，1,000 列以上ありました。1,000 列目以降のデータを切り捨てます。

DBP2010E

ドライブの容量が不足しています。(nnn，mmm)

要因

データをファイルに格納しようとしましたが，ドライブの容量が不足しているため，格納できません。次に示すドライブの容量を確認してください。

- システムの一時フォルダがあるドライブ
- 抽出したデータを CSV 形式ファイルに出力するドライブ

対処

不要なファイルを削除してください。

補足

保守用の情報が詳細コード「(nnn，mmm)」に表示されます。

参考

システムの一時フォルダについては，［システムのプロパティ］ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお，出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合，環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合，Windows のフォルダ

DBP2017E

データ表示ウィンドウが起動できません。

要因

次に示す要因が考えられます。

- エクスプローラなどから，直接，データ表示ウィンドウが起動されました。
- データベースアクセス定義以外から，データ表示ウィンドウが起動されました。

対処

データ表示ウィンドウは，データベースアクセス定義専用のプログラムです。デー

タベースアクセス定義以外から起動させることはできません。

10 DBP3000 ～ DBP3999

DBP3000 ～ DBP3999 のメッセージについて説明します。

10.1 DBP3000 ～ DBP3999 **のメッセージ**

10.1 DBP3000 ～ DBP3999 のメッセージ

DBP3000W

ODBC ドライバでデータベースにアクセス中にエラーが発生しました。メッセージ：ODBC ドライバから出力されるメッセージ SQLState：メッセージ ID SQL サーバエラー：詳細コード

要因

ODBC ドライバでデータベースにアクセス中にエラーが発生しました。

対処

接続先の ODBC ドライバによって，ODBC ドライバから出力されるメッセージが異なります。

なお，対処したあとも同じエラーが発生する場合は，システム管理者に連絡してください。また，下記に示した対処以外のエラーが発生した場合は，使用されている ODBC ドライバ，またはアクセスされているデータベースに依存します。

- **[HITACHI][DBPARTNER] の場合**

  次に示す SQLState に対応した対処をしたあと，再実行してください。

SQLState	要　因	対　処
01004，22001	• データが長いため，途中で切り捨てます。 • 小数点以下の桁を切り捨てます。	接続先のデータベースで使用できるデータの長さに合わせてください。
08S01	回線が切断されました。	表示されている画面から障害が発生した要因を調査してください。要因を取り除いたあと，データベースアクセス定義を終了して再起動してください。
22003	数値として扱える範囲を超えています。	条件を設定し直したあと，再実行してください。
22008	DATE 型，または TIME 型で扱える範囲を超えています。	条件を設定し直したあと，再実行してください。
IM002，IM003，SI090，28000	• データベース連携のデータソース名，ユーザ ID，またはパスワードの指定が誤っています。 • ODBC ドライバをセットアップしたとき，指定されたデータソース名に誤りがありました。 • ユーザ ID，またはパスワードが，データベースの制限長を超えています。	データソース名，ユーザ ID，またはパスワードを正しく指定して再実行してください。
S1001	メモリ不足が発生しました。	ほかのアプリケーションプログラムを終了したあと，再実行してください。
DBL03	抽出できないデータ型があります。指定した表は使用できません。	設定されている列属性を見直してください。

SQLState	要 因	対 処
S1000	出力されたメッセージによって，次に示す処置をしてください。 • Restricted Datatype attribute violation. 抽出できないデータ型があります。指定した表は使用できません。 • Too many number of columns. 列設定または条件設定でこのエラーが発生した場合は，選択している表は使用できません。	このほかのエラーが発生した場合は，選択されている列数を少なくしたあと，再実行してください。
上記以外のSQLState	－	システム管理者に連絡してください。

（凡例）－：該当する要因はありません。

- **[HITACHI]［DBPARTNER］［ORACLE］の場合**

  「ORA-01918：ユーザは存在しません」と出力されたときは，データベース連携の接続ユーザ ID を全角文字で起動して，抽出操作をしたと考えられます。

- **[Microsoft]［ODBCDLL］の場合**

  次に示す SQLState に対応した対処をしたあと，再実行してください。

SQLState	要 因	対 処
IM004	接続しているアプリケーションが多過ぎるため，メモリ確保に失敗しました。	接続しているほかのアプリケーションを終了して，再接続してください。
上記以外のSQLState	－	システム管理者に連絡してください。

（凡例）－：該当する要因はありません。

DBP3001E

表又は列がありません。

要因

表，または表の列がありません。

対処

サーバ実行環境に，表，または列があるかどうかを確認してください。

DBP3007E

ODBC32.DLL **のロードに失敗しました。**

要因

ODBC32.DLL が削除されているか，または壊れているおそれがあります。

対処

EUR Designer または EUR Developer を再インストールしてください。

DBP3008E

抽出するデータがありません。

要因

選択された表に，抽出するデータがありません。または，設定された条件に合うデータがありません。

対処

条件を変更したあと，再実行してください。

DBP3009E

選択した列の数と，抽出データの列数が一致していないため処理を中断しました。

要因

抽出する列数と，実際に取得したデータの列数が一致していません。

対処

次に示す仮想列の設定に，誤りがないかどうかを確認してください。

- " 表名 ".*
- " 列名 "," 列名 "

DBP3600E

指定された見出し辞書ファイルは使用できません。

要因

指定された見出し辞書ファイルの内容と，サーバ上の内容が一致していません。

対処

見出し辞書ファイルを削除したあと，再実行してください。

DBP3601E

指定されたフォルダには，見出し辞書ファイルがありません。

要因

見出し辞書ファイルを読み込もうとしましたが，指定されたフォルダに，見出し辞書ファイルがありません。

対処

見出し辞書ファイルの存在するフォルダを指定したあと，再実行してください。

DBP3602E

見出し辞書ファイルが一杯です。

要因

見出し情報は，65,536 個以上作成できません。

対処

不要な見出し情報を削除したあと，再実行してください。

DBP3603I

編集した見出し情報は辞書登録されていません。破棄してもよろしいですか？

要因

編集した見出し情報は，見出し辞書に登録されていません。

対処

次のように対処してください。

- 見出し辞書ファイルを破棄する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 見出し辞書ファイルを破棄しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP3604I

表（表名）の見出しは既に辞書ファイルに存在します。上書きしますか？

要因

作成した見出し辞書ファイルと同じ内容のファイルがあります。

対処

次のように対処してください。

- 上書きする場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 上書きしない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP3605W

見出し辞書ファイルから削除しますか？

要因

指定された見出し辞書ファイルを削除します。

対処

次のように対処してください。

- 削除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 削除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP3606E

EDBWDIC.DLL **のロードに失敗しました。**

要因

- EUR 帳票作成機能の場合
  見出し辞書の処理に必要な EDBWDIC.DLL のロードに失敗しました。

詳細コード	説明
02	必要な EDBWDIC.DLL がありません。
08	EDBWDIC.DLL のロードに必要なメモリがありません。

- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  見出し辞書の処理に必要な EUDBDIC.DLL のロードに失敗しました。

詳細コード	説明
02	必要な EUDBDIC.DLL がありません。
08	EUDBDIC.DLL のロードに必要なメモリがありません。

対処

次のように対処してください。

詳細コード	説明
02	EUR Designer または EUR Developer を再インストールしたあと，再実行してください。
08	不要なアプリケーションを終了したあと，再実行してください。

DBP3607I

見出し辞書への登録が完了しました。

説明

見出し辞書に，見出し情報が登録されたことを示すメッセージです。

DBP3608I

見出し辞書の一括登録が完了しました。

説明

見出し辞書の一括登録が完了したことを示すメッセージです。

DBP3609E

指定された表は見出し辞書ファイル中にないため，列情報が取得できません。

要因

指定された表は，見出し辞書ファイル中に登録されていないため，列情報が取得できません。

対処

次のように対処してください。

- 列設定，または条件設定をしないで，抽出，または更新用抽出をしてください。
- 列設定，または条件設定をする場合は，［オプション設定］ダイアログの［見出し辞書］タブで，［見出し辞書］をオフに設定したあと，再実行してください。

DBP3610I

見出し辞書の一括登録を中止しました。

要因

次に示す要因のため，一括登録処理を中止しました。

- ［キャンセル］がクリックされました。
- 登録処理中にエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

- ［キャンセル］ボタンがクリックされた場合は，［キャンセル］ボタンがクリックするまでに処理された辞書は登録されています。辞書を削除したい場合は，［見出し選択］ダイアログで指定してください。
- 登録処理中にエラーが発生した場合は，エラーが発生するまでに処理された辞書は登録されています。辞書を削除したい場合は，［見出し選択］ダイアログで指定してください。

DBP3611I

表（表名）は既に辞書登録されています。上書きした場合は，現在の表見出し，列見出しを削除します。上書きしますか？

要因

一括作成で選択された表の見出し辞書が，すでにあります。

対処

次のように対処してください。

- 辞書を上書きする場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 辞書を上書きしない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。
- 一括作成で選択した表をすべて上書きする場合は，［すべて上書き］ボタンをクリックしてください。
- 辞書の一括作成を中止する場合は，［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

DBP3612I

選択した nnn 表について，グループ名を aa…aa に設定します。よろしいですか？

要因

［見出し選択］ダイアログで選択した表数（nnn）のグループ名を，「aa…aa」に設定するかどうかを問い合わせています。

対処

次のように対処してください。

- グループ名を設定する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- グループ名を設定しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP3613I

選択した nnn 表のグループ名を削除します。よろしいですか？

要因

［見出し選択］ダイアログで選択した表に設定されているグループ名を削除します。メッセージの「nnn」には選択した表数が表示されます。

対処

次のように対処してください。

- グループ名を削除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- グループ名を削除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP3614W

見出し選択画面で表名と表見出しの両方を非表示に設定できません。

要因

辞書一覧表示項目の設定で，表名と表見出しの両方を非表示にできません。

対処

表名，または表見出しのどちらかが「表示」になるように設定してください。

DBP3701W

可変記号名の指定に誤りがあります。

要因

可変記号名の指定に誤りがあります。次に示す要因が考えられます。

- 可変記号名の長さが制限を超えています。
- 使用できない文字が使用されています。

対処

可変記号名の指定を見直したあと，再実行してください。

DBP3702W

初期値の指定に誤りがあります。

要因

初期値の指定に誤りがあります。次に示す要因が考えられます。

- 初期値の長さが制限を超えています。
- 使用できない文字が使用されています。

対処

初期値の指定を見直したあと，再実行してください。

DBP3703W

実行値の指定に誤りがあります。

要因

実行値の指定に誤りがあります。次に示す要因が考えられます。

- 実行値の長さが制限を超えています。
- 使用できない文字が使用されています。
- 実行値の省略はできません。

対処

実行値の指定を見直したあと，再実行してください。

DBP3704W

同一可変記号が存在します。

要因

すでに使用されている可変記号が指定されました。

対処

可変記号名を変更したあと，再実行してください。

DBP3706W

可変記号の総数が 255 個を超えました。

要因

可変記号の総数が，制限の 255 個を超えました。

対処

可変記号の総数が 255 個以下になるように，不要な可変記号を削除したあと，再実行してください。

DBP3904W

接続先が異なる表は結合できません。

要因

異なる接続先の表を結合しようとしました。

対処

同じ接続先の表を指定したあと，再実行してください。

11 DBP6000 ～ DBP6999

DBP6000 ～ DBP6999 のメッセージについて説明します。

11.1 DBP6000 ～ DBP6999 **のメッセージ**

11.1 DBP6000 ～ DBP6999 のメッセージ

DBP6201W

更新せずに終了します。

要因

データベースアクセス定義ウィンドウの［キャンセル］ボタンをクリックしたときに表示される確認メッセージです。

対処

次のように対処してください。

- 更新しないで終了する場合は，［OK］ボタンをクリックしてください。
- データベースアクセス定義ウィンドウの操作に戻る場合は，［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

DBP6202E

表が選択されていません。

要因

- EUR 帳票作成機能の場合
  表を選択していない状態で，データベースアクセス定義を終了しようとしました。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  表が選択されていない状態で，項目定義を更新しようとしました。

対処

- EUR 帳票作成機能の場合
  表と列を選択してから，終了してください。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  表と列を選択したあと，項目定義を更新してください。

DBP6203E

列が選択されていません。

要因

- EUR 帳票作成機能の場合
  列を選択していない状態で，データベースアクセス定義を終了しようとしました。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  列が選択されていない状態で，項目定義を更新しようとしました。

対処

- EUR 帳票作成機能の場合
  列を選択してから，終了してください。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  列を選択したあと，項目定義を更新してください。

DBP6204E

LONG VARBINARY **の列は使用できません。**

要因

- EUR 帳票作成機能の場合
  LONG VARBINARY の列を選択した状態で，データベースアクセス定義を終了しようとしました。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  LONG VARBINARY の列を選択した状態で，項目定義を更新しようとしました。

対処

- EUR 帳票作成機能の場合
  LONG VARBINARY の列を削除してから，終了してください。
- EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の場合
  LONG VARBINARY の列を削除したあと，項目定義を更新してください。

DBP6205W

データベースの接続先名称（データベース名）が現在の接続先と異なるため，設定した内容を回復できません。

要因

接続するデータベース名が，以前に接続していたデータベースと異なります。以前設定した表と列の情報は，回復できません。

対処

以前に接続していたデータベースに接続してください。

DBP6206W

抽出するデータがありません。現在の設定で終了しますか？

要因

保存終了時に，抽出するデータがありません。

対処

次のように対処してください。

- 現在の設定で終了する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 設定を変更する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

DBP6208E

所有者名，表名，列名のいずれかに SJIS 以外のコードが含まれています。

要因

表の選択または列の設定のときに選択した所有者名，表名，または列名に Shift JIS 以外の文字が含まれています。所有者名，表名，列名に Shift JIS 以外の文字が含まれている表は使用できません。

対処

次のように対処してください。

- 所有者名，表名，列名に Shift JIS だけ使用した表を指定してください。
- 所有者名，表名，列名を Shift JIS の文字に変更してください。

DBP6215W

帳票作成時のデータソース名 (aa...aa) と，指定されたデータソース名 (bb...bb) が異なります。接続先が異なる場合は，設定したデータベースアクセス定義を使用できない場合があります。設定した定義を使用しますか。

要因

帳票作成時のデータソース名 (aa...aa) と，指定されたデータソース名 (bb...bb) が異なります。データベースの接続先が異なる場合は，以前に設定したデータベースアクセス定義を使用できないときがあります。

対処

次のように対処してください。

- 設定した定義を使用する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- 設定した定義を破棄する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

12 DBP8000 ～ DBP8999

DBP8000 ～ DBP8999 のメッセージについて説明します。

12.1 DBP8000 ～ DBP8999 **のメッセージ**

12.1　DBP8000 ～ DBP8999 のメッセージ

DBP8007E

（詳細情報）に辞書ファイルとして使用できない文字が含まれています。

要因

詳細情報に入力された文字列に辞書ファイルとして使用できない Shift JIS 以外の文字が含まれています。

対処

詳細情報に入力する文字列を，Shift JIS の文字に変更してください。

13 英字

この章では，英字で始まるメッセージについて説明します。

13.1 A で始まるメッセージ

13.2 E で始まるメッセージ

13.3 O で始まるメッセージ

13.4 W で始まるメッセージ

13.1 A で始まるメッセージ

apgrpt.exe の実行に失敗しました。(エラーコード :WW)

要因

次に示す要因によって EUR クライアント帳票出力機能を実行できませんでした。

- インストール先に apgrpt.exe が存在しません。
- apgrpt.exe に実行権限がありません。
- その他

メッセージの WW には，GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。
このメッセージダイアログに対して［OK］ボタンをクリックすると，帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

EUR Designer または EUR Viewer を再インストールし，apgrpt.exe に実行権限を与えてください。

An attempt to load string resource DLL has failed.

要因

DLL ファイルが読み込めません。

対処

EUR を再インストールしてください。

13.2 E で始まるメッセージ

EUR Print Service **実行環境が不正です。(エラーコード** :XX)

YY

要因

［コマンド実行］ボタンをクリックしましたが，次に示す要因によって処理が実行できませんでした。

- インストール先に eurps.exe が存在しません。
- eurps.exe に実行権限がありません。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：eurps.exe 起動失敗時のエラーコード（GetLastError 関数から取得）

YY：エラーコードに対応するメッセージ（FormatMessage 関数から取得）

対処

メッセージダイアログで［OK］ボタンをクリックして，［EUR サーバ帳票出力コマンド指定］ダイアログに戻ってください。その後，次の問題がないか確認してください。

- インストール先フォルダに eurps.exe が存在することを確認してください。
- eurps.exe に実行権限があることを確認してください。

［EUR サーバ帳票出力コマンド指定］ダイアログについては，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

EUR Viewer **の実行中にエラーが発生しました。(エラーコード** :WW)

要因

EUR クライアント帳票出力機能の実行中にエラーが発生しました。

メッセージの WW には，GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。

このメッセージダイアログに対して［OK］ボタンをクリックすると，帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

障害情報を取得して，システム管理者に連絡してください。

EUR **形式ファイルが読み込めませんでした。**

要因

次に示す要因によって，EUR 形式ファイルが読み込めません。

- 指定した EUR 形式ファイルがありません。
- 指定した EUR 形式ファイルに読み込み権限がありません。
- ブラウザを使用して EUR 形式ファイルを表示・印刷した場合，EUR 形式ファイルはブラウザのダウンロードファイルとして一時的に格納されます。フォルダの容量不足などの要因でファイルが格納できなかったときは，EUR 形式ファイルを読み込めないことがあります。

対処

次のように対処したあと，再度実行してください。

- 存在する EUR 形式ファイルを指定してください。
- EUR 形式ファイルに読み込み権限を与えてください。
- ブラウザを使用して EUR 形式ファイルを表示・印刷する場合は，ダウンロードファイルの格納フォルダに空き容量があるかどうかを確認してください。また，インターネット一時ファイルを削除して，EUR 形式ファイルが読み込めるようになるかどうか確認してください。

終了コード

8（システムエラーが発生したことを示します）

EUR 形式ファイル名が指定されていません。

要因

EUR 形式ファイル名を指定しないで，コマンドが実行されました。

対処

EUR 形式ファイル名を指定してコマンドを実行してください。

終了コード

16（コマンドの文法にエラーがあったことを示します）

EUR 帳票出力中にエラー（XXXX）が発生しました。

要因

EUR クライアント帳票出力機能，または EUR 帳票作成機能で，帳票のプレビュー，または印刷の実行中にエラーが発生しました。

XXXX には，次に示すコード番号が表示されます。

1005 ～ 1135，4503 ～ 4520，4521 ～ 4534，4545 ～ 4560，4561 ～ 4580，4581 ～ 4600，4601 ～ 4644，4650 ～ 4690

対処

コード番号のエラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。コード番号の要因とその対処については，次に示す個所を参照してください。

「2.1　1000 ～ 1999 のメッセージ」

「3.1　4500 ～ 4599 のメッセージ」

「4.1　4600 ～ 4699 のメッセージ」

終了コード

1005 ～ 1135，4503 ～ 4520，4521 ～ 4534，4545 ～ 4560，4561 ～ 4580，4581 ～ 4600，4601 ～ 4649，4650 ～ 4690

EUR の動作環境が正しくありません。

要因

EUR の動作環境に必要なファイルがない，または不正なファイルがあるため，EUR を起動できません。

対処

EUR を再インストールしたあと，再度 EUR を起動してください。

EUR ログオプションの設定が失敗しました。

要因

EUR が正しくインストールされていないため，EUR ログオプションの設定に失敗しました。

対処

EUR が正しくインストールされているかどうかを確認したあと，再度実行してください。

13.3 O で始まるメッセージ

ODBC ドライバでデータベースにアクセス中にエラーが発生しました。

メッセージ：ODBC ドライバから出力されるメッセージ　SQLState：メッセージ ID　SQL サーバエラー：詳細コード

要因

ODBC ドライバでデータベースにアクセス中，エラーが発生しました。

対処

接続先の ODBC ドライバによって，ODBC ドライバから出力されるメッセージが異なります。なお，対処したあとも同じエラーが発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

OLE 埋め込みオブジェクトが使用されているレポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR では OLE オブジェクトは表示されません。画像アイテムなどで再定義してください。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。レポートファイルには，OLE 埋め込みオブジェクトが含まれていますが，このバージョンでは，OLE 埋め込みオブジェクトの読み込みや印刷はできません。

対処

［OK］ボタンをクリックして，メッセージダイアログを閉じてください。画像アイテムなどで再定義してください。

13.4 W で始まるメッセージ

Windows でエラーが発生しました。

要因

レポートの編集処理中にエラーが発生しました。

対処

EUR 帳票作成機能を終了させたあと，再度システムを起動させてください。

Word/Excel 文書（ファイル名）が読み込めません。（YY：ZZ）

要因

次に示す要因によって，指定した Word/Excel 文書が読み込めません。変換を中断します。

- 指定した Word/Excel 文書に読み込み権限がありません。
- 指定した Word/Excel 文書が，フォルダにありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が，ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

次のように対処したあと，再度実行してください。

- 指定した Word/Excel 文書に読み込み権限を与えてください。
- 指定した Word/Excel 文書が，フォルダにあるかどうかを確認してください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラーメッセージが表示され，［Word/Excel 文書の変換］ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは，削除されません。

14 和文字

この章では，和文字で始まるメッセージについて説明します。

14.1 **あ行のメッセージ**

14.2 **か行のメッセージ**

14.3 **さ行のメッセージ**

14.4 **た行のメッセージ**

14.5 **な行のメッセージ**

14.6 **は行のメッセージ**

14.7 **ま行のメッセージ**

14.8 **や行のメッセージ**

14.9 **ら行のメッセージ**

14.1 あ行のメッセージ

(1) あで始まるメッセージ

アイテム枠に指定した桁数を超えるデータが指定されています。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された桁数を超えるデータが，アイテム枠内にあります。
- ［アイテムのプロパティ］ダイアログの［文字配置］タブで，アイテム枠内にあるデータの桁数に満たない値が指定されました。

対処

アイテム枠内にあるデータの桁数と，［アイテムのプロパティ］ダイアログの［文字配置］タブで指定されている桁数の値に問題がないかどうかを確認してください。

(2) いで始まるメッセージ

以下の部品が部品庫に存在しません。

部品アイテムの内容は表示されません。

[部品名 A]

[部品名 B]

:

要因

部品庫にない部品を貼り付けたため，部品を表示できません。アイテム枠だけが表示されます。

対処

必要な部品が登録された部品庫をインポートしてください。アイテム枠を削除し，再度部品を貼り付け直してください。

位置固定が設定されている集計行があります。集計ページは設定できません。

要因

集計行に位置固定が設定されているので，集計ページの設定はできません。帳票に，一つでも位置固定が設定されている場合，集計ページは設定できません。

対処

位置固定が設定されている集計行を確認したあと，集計ページを設定する場合は，位置固定を解除してください。

位置固定も解除されます。よろしいですか？

要因

改ブロック，または改ページを解除すると，位置固定も解除されます。

対処

解除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。解除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

一時ファイルが作成できませんでした。

要因

次に示す要因によって，一時ファイルが作成できなかったので，EUR 形式ファイルが出力できません。

- テンポラリフォルダに書き込み権限がありません。
- テンポラリフォルダのディスク容量が不足しています。
- 前回起動中に，Windows をログオフ，またはシャットダウンしたので，テンポラリフォルダに一時ファイルが残っています。
- システム環境変数 TMP，または TEMP に，存在しないテンポラリフォルダが指定されています。

対処

次のように対処してください。

- テンポラリフォルダの書き込み権限，またはディスク容量を確認してください。
- テンポラリフォルダに残されたフォルダ（フォルダ名は tmpxxx）を削除してください。フォルダ名 tmpxxx の xxx は，1 桁以上の数値です。
- システム環境変数 TMP，または TEMP の設定を確認して，存在するテンポラリフォルダを指定してください。

終了コード

8（システムエラーが発生したことを示します）

一時ファイルが作成できませんでした。(ZZ)(**エラーコード** :WW)

要因

次に示す要因によって，［OK］ボタンをクリックしてもオプション記述ファイルの作成ができませんでした。

- オプション記述ファイルの作成場所にアクセス権限がありません。
- オプション記述ファイルの作成場所が存在しません。
- オプション記述ファイルにアクセス制限がありません。
- オプション記述ファイルがすでにオープンされています。
- その他

メッセージの ZZ の意味は次のとおりです。
- 01：オプション記述ファイルの生成に失敗
- 02：オプション記述ファイルのオープンに失敗

メッセージの WW には，GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。
このメッセージダイアログに対して［OK］ボタンをクリックすると，帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

次のように対処してください。
- ZZ が「01」の場合
  オプション記述ファイルの作成場所にアクセス権を付加してください。
  環境変数の TMP に実在するパスを指定してください。
- ZZ が「02」の場合
  動作環境を見直し，再実行してください。

一時ファイルの削除に失敗しました。(エラーコード :WW)

要因

次に示す要因によって，EUR 帳票作成機能（apgrpt.exe）終了時にオプション記述ファイルを削除できませんでした。
- オプション記述ファイルが存在しません。
- オプション記述ファイルにアクセス権限がありません。
- その他

メッセージの WW には，GetLastError 関数から取得したエラーコードが表示されます。
このメッセージダイアログに対して［OK］ボタンをクリックすると，帳票を表示しないで EUR クライアント帳票出力機能を終了します。

対処

環境変数 TMP のフォルダに残っているオプション記述ファイルを削除してください。

印刷開始番号は 1 〜 32767 の値で指定してください。

要因

［印刷］ダイアログのページ指定に入力された印刷開始ページ番号のテキストボックスの値が 1 ～ 32,767 の範囲外なので，印刷できません。

対処

印刷する開始ページを指定し直したあと，再度実行してください。

印刷ジョブがキャンセルされたので印刷処理を終了します。

要因

［印刷中止］ダイアログ以外で，印刷処理が中止されました。

対処

メッセージダイアログを閉じてください。

印刷単位の指定に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した，印刷単位の指定に誤りがあります。

対処

印刷単位の指定を見直したあと，再度実行してください。

印刷中にエラーが発生しました。

要因

レポートの印刷中にエラーが発生しました。

対処

エラーの要因を調べ，エラーの要因を取り除いたあと，再度実行してください。

(3) おで始まるメッセージ

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルがありません。

対処

正しいファイル名を指定してください。

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定した置き換え表管理情報ファイルはフォルダです。

対処

正しい置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。

置き換え表管理情報ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

置き換え表管理情報ファイルのパスの指定が正しくありません。

対処

指定した置き換え表管理情報ファイルのパスが正しいかどうか確認してから，プログラムを再実行してください。

置き換え表ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルがありません。

対処

- 置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイル名を見直してください。
- 指定した置き換え表ファイルがあるかどうかを確認してください。

置き換え表ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルに読み込み権限があり

ません。

対処

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

置き換え表ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

置き換え表管理情報ファイルに指定した置き換え表ファイルはフォルダです。

対処

正しい置き換え表ファイル名を指定してください。

置き換え表ファイルの場所にパス名が指定されていません。

要因

置き換え表ファイルのパスの指定が正しくありません。

対処

指定した置き換え表ファイルのパスが正しいかどうか確認してから，プログラムを再実行してください。

同じ名称のレポートが存在します。上書きしてよろしいですか？

要因

［名前を付けて保存］ダイアログで指定されたレポート名は，すでにレポート保存ファイルにあります。

対処

上書きする場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。上書きしない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

14.2 か行のメッセージ

(1) かで始まるメッセージ

改ページ時のページ番号初期化指定に誤りがあります。

要因

起動オプションに指定されている，改ページごとにページ番号を初期化するかどうかの指定に誤りがあります。

対処

起動オプションのページ番号の初期化指定を見直したあと，再度実行してください。

画像のサイズが用紙のサイズより大きいのでマッピングできません。

要因

画像のサイズが用紙のサイズより大きいので，画像を貼り付けられません。

対処

用紙サイズを大きくするか，または画像のサイズを小さくしてください。

画像ファイル（画像ファイル名）が異常です。

要因

指定された画像ファイルは，EUR で扱えないフォーマットであるか，または何らかの問題があるので，画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルのフォーマットを見直してください。

画像ファイル（画像ファイル名）が見つかりません。

要因

指定された画像ファイルが見つからないので，画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルを用意してください。

画像ファイル（画像ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定された画像ファイルには読み込み権限がないので，画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルに読み込み権限を与えてください。

画像ファイル（画像ファイル名）のデータは，サポートしていません。

要因

使用できないデータタイプの画像ファイルが指定されました。

対処

画像ファイルのフォーマットを見直してください。

画像ファイルが見つかりません。

要因

画像ファイルがないので，画像を貼り付けられません。

対処

画像ファイルを用意してください。

(2) きで始まるメッセージ

基準レコード幅が2以上なので，指定した操作はできません。

要因

基準レコード幅が 2 以上なので，集計，集計行編集，改ブロック，または改ページができません。

対処

基準レコード幅を 1 に設定し直したあと，再度実行してください。

基準レコードは変更できません。

要因

- ポインタが＋に変わる文字生成，マッピング，繰り返し位置の指定，集計行アイテムの選択時，または貼り付けの操作中なので，基準レコード位置変更，および

基準レコード幅の変更ができません。
- 集計行の編集中なので，基準レコード位置変更，および基準レコード幅の変更ができません。

対処
- ポインタが＋に変わる操作を終了したあと，または＜ Esc ＞キーで解除したあと，再度実行してください。
- 集計行の編集を終了したあと，再度実行してください。

給紙トレイ選択オプションの指定に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した TraySelection に，0，1，2 以外の値が指定されました。

対処

TraySelection に正しい値を指定してから，再度実行してください。

(3) くで始まるメッセージ

クエリファイルが使用されているレポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR ではクエリファイルは使用できません。データベースアクセス定義で再定義してください。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。レポートファイルには，クエリファイルが含まれていますが，このバージョンでは，クエリファイルを読み込めません。

対処

［OK］ボタンをクリックして，メッセージダイアログを閉じてください。データベースアクセス定義で再定義してください。

繰り返しアイテムが存在しません。

要因

繰り返し位置，または繰り返し個数を指定されたが，繰り返しアイテムが指定されていないので，アイテムの繰り返しができません。

対処

繰り返すアイテムを指定したあと，再度実行してください。

繰り返し位置が指定されてません。

要因

- ［繰り返し］メニューの［個数］を選択されたが，繰り返し位置が指定されていないので，［繰り返し個数指定］ダイアログが表示できません。
- 繰り返し位置が指定されていないので，集計行編集ができません。

対処

- 繰り返し位置を指定したあと，再度実行してください。
- 繰り返し位置を指定したあと，集計行編集を再度実行してください。

繰り返し個数の指定方法が任意なので，繰り返し下限位置を指定できません。

要因

- 位置固定を指定されたが，［繰り返し個数指定］ダイアログで指定されている個数が「任意設定」なので，繰り返し下限位置を指定できません。
- 繰り返し下限位置を指定されたが，［繰り返し個数指定］ダイアログで指定されている個数が「任意指定」なので，繰り返し下限位置を指定できません。

対処

下限位置を指定する場合は，［繰り返し個数指定］ダイアログで繰り返す個数を「自動設定」に設定し直したあと，再度実行してください。

(4) けで始まるメッセージ

現在，スプールに必要なディスクスペースが存在しません。

要因

スプールに必要なディスクスペースがないので，印刷を続行できません。

対処

スプールに必要なディスクスペースができるまで印刷を待ってください。

現在編集中の集計データがあるページを表示します。

要因

繰り返し下限位置，または位置固定が指定されたので，現在編集中の集計アイテムがあるページが変更されました。

対処

［OK］ボタンをクリックすると，現在編集中の集計アイテムがあるページが表示さ

れます。

(5) こで始まるメッセージ

このファイルは読み込み専用です。レポート (レポート名)

要因

上書き保存をしようとしたところ，レポートに書き込み権限がないため，保存できませんでした。

対処

レポートファイルのアクセス権を確認し，再度実行してください。

コメントに使用できない文字が指定されています。

要因

コメントに指定した文字列に使用できない文字が含まれていたため，部品が登録できません。

対処

正しいコメントを指定して再度実行してください。

14.3 さ行のメッセージ

(1) さで始まるメッセージ

最上位結合項目（項目名）が更新されています。フィールド定義情報を再作成しますか？ フィールド定義情報を再作成すると帳票の再設計が必要となる場合があります。

要因

開いた帳票ファイルと関連づけされている最上位結合項目が更新されています。

対処

最新の最上位結合項目からフィールド定義情報を再作成する場合は，［OK］ボタンをクリックします。帳票ファイルを保存したときの最上位結合項目からフィールド定義情報を作成する場合は，［キャンセル］ボタンをクリックします。

最上位結合項目（項目名）からフィールド定義情報作成中にエラーが発生しました。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択されている最上位結合項目からフィールド定義情報を作成しているとき，エラーが発生しました。

対処

SEWB+/REPOSITORY のデータ項目の分類が正しく設定されていない，またはメモリやディスク不足が考えられます。SEWB+/REPOSITORY のデータ項目の分類を正しく設定するか，幾つかのアプリケーションを終了させたあと，再度レポートの操作をしてください。

最上位結合項目（項目名）からフィールド定義情報を作成します。帳票の再設計が必要となる場合がありますがよろしいですか？

要因

［データ］メニューから［最上位結合項目］の［更新］が指定されました。

対処

最新の最上位結合項目を基にフィールド定義情報を更新する場合は，［OK］ボタンをクリックします。フィールド定義情報を更新しない場合は，［キャンセル］ボタンをクリックします。

最上位結合項目（項目名）に対するアクセス権がありません。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択された最上位結合項目にアクセス権がないので，フィールド定義情報を作成できません。

対処

最上位結合項目にアクセス権を指定してください。

最上位結合項目（項目名）のフィールド数が上限値を超えました。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択された最上位結合項目からフィールド定義情報を作成しているとき，フィールド数が上限値を超えました。

対処

最上位結合項目の項目数を減らしてください。

最上位結合項目（項目名）は更新されていません。

要因

［データ］メニューから［最上位結合項目］の［更新］が選択されましたが，最上位結合項目は更新されていません。

対処

最上位結合項目を確認してください。

最上位結合項目（項目名）は登録されていません。フィールド定義情報を作成できません。

要因

選択された最上位結合項目が登録されていません。

対処

最上位結合項目が登録されているかどうかを確認してください。

作成済みの画像アイテムが表示されなくなります。よろしいですか？

要因

レポートに生成済みの画像ファイルがあるのに，その画像ファイルとは異なるパスの画像ファイルを生成しようとしました。

対処

画像生成を続行する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。画像生成を取り消す場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

削除します。よろしいですか？

要因

選択されたアイテムを，貼付域から本当に削除してもよいかどうかを問い合わせます。

対処

削除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。削除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

サポートしていないバージョンの帳票ファイル（XX）が指定されました。

要因

帳票ファイルから帳票定義情報ファイルへの変換時に，サポートしていないバージョンの帳票ファイルが指定されたため，変換できません。エラーが発生した帳票ファイルの変換は実行しないで，次の帳票ファイルの変換を続行します。
XX には，変換できなかった帳票ファイルのファイル名が表示されます。

対処

正常な帳票ファイルを指定して，再度変換を実行してください。

(2) しで始まるメッセージ

システムのリソース不足のため実行に失敗しました。(XX)

要因

リソース不足によって，EUR クライアント帳票出力機能，または EUR 帳票作成機能を起動できません。
XX には，内部処理で発生したエラーコードが表示されます。

対処

ほかのアプリケーションを終了させるなどしてリソースを解放してください。

終了コード

8（システムエラーが発生したことを示します）

下敷きに指定された画像データ（ファイル名）にサイズ情報が含まれていません。画像データのサイズを指定してください。

要因

下敷きに指定された画像ファイルがサイズ情報を持っていないので，下敷きの画像ファイルとして表示できません。

対処

［下敷きの設定］ダイアログの表示位置に，画像サイズを指定してください。

下敷きに指定された画像ファイル（ファイル名）は，下敷きとして使用可能な画像ファイル形式ではありません。

要因

下敷きに指定された画像ファイルは，EUR が認識できる画像ファイルの形式ではありません。

対処

EUR が認識できる画像ファイルの形式で保存し直したあと，再度実行してください。

下敷きに指定された画像ファイル（ファイル名）を開くことができません。

要因

次に示す要因によって，画像ファイルを開けません。

- 指定した画像ファイルがフォルダにありません。
- 指定した画像ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 画像ファイルがフォルダにあるかどうかを確認してください。
- 画像ファイルに読み込み権限を与えてください。

指定された EUR ログオプションファイルが存在しません。

要因

指定された EUR ログオプションファイルがありません。

対処

存在する EUR ログオプションファイルを指定したあと，再度実行してください。

指定された EUR ログオプションファイルにアクセス権がありません。

要因

指定された EUR ログオプションファイルに読み込み権限がありません。

対処

EUR ログオプションファイルに読み込み権限を与えたあと，再度実行してください。

指定された EUR ログオプションファイルの内容が不正です。

要因

指定された EUR ログオプションファイルの内容に誤りがあります。

対処

指定した EUR ログオプションファイルの内容を確認したあと，再度実行してください。

指定された EUR ログオプションファイルは保存できませんでした。

要因

指定された EUR ログオプションファイルは，保存できません。

対処

指定した EUR ログオプションファイル，または保存先フォルダに書き込み権限が設定されているかどうかを確認したあと，再度実行してください。

指定されたプリンタ（プリンタ名）が存在しません。

要因

指定されたプリンタが，システム上にありません。

対処

指定したプリンタが，システム上にあるかどうかを確認してください。

指定されたページ数に誤りがあります。

要因

［印刷］ダイアログのページ指定のテキストボックスに入力された値が，数値以外の値，存在しないページ，または印刷の開始ページが印刷終了ページよりも大きい値なので，印刷できません。

対処

印刷するページを指定し直したあと，再度実行してください。

指定した EUR 形式ファイルは上位のバージョンで作成されています。本バージョン機能で表示します。

要因

指定した EUR 形式ファイルは，上位バージョンの EUR サーバ帳票出力機能で出力されています。そのため，本バージョンで使用できる範囲で表示されます。

対処

EUR 形式ファイルを出力した EUR サーバ帳票出力機能と同じか，または上位バージョンの EUR クライアント帳票出力機能で実行してください。

終了コード

4（警告があったことを示します）

指定した EUR 形式ファイルは，本バージョンで読み込めない上位バージョンの機能で作成されているため，表示できません。

要因

指定した EUR 形式ファイルは，上位バージョンの EUR サーバ帳票出力機能で出力されています。そのため，本バージョンでは読み込めない機能が使用されているので表示できません。

対処

EUR 形式ファイルを出力した EUR サーバ帳票出力機能と同じか，または上位バージョンの EUR クライアント帳票出力機能で実行してください。

終了コード

12（データエラーが発生したことを示します）

指定したアイテムは，既にキー集計されています。

要因

集計，または総集計を指定されたが，指定されたアイテムは，すでにキー集計されているので集計できません。

対処

すでにキー集計されていることを確認してください。

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって，置き換え表管理情報ファイルの内容が不正です。

- 置き換え表名が 50 桁を超えています。
- 置き換え表ファイル名が 256 文字を超えています。
- 置き換え表ファイル名がフルパス，または相対パスです。
- 置き換え表名，または置き換え表ファイル名の中に改行コードがあります。
- 置き換え表に，置き換え表名または，置き換え表ファイルの記述がありません。
- 「"」が閉じていません。

対処

次のように対処してください。

- 正しい置き換え表名を指定してください。
- 正しい置き換え表ファイル名を指定してください。
- 一つの行に置き換え表名と置き換え表ファイル名を一つずつ指定してください。

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

次に示す要因によって，置き換え表ファイルの内容が不正です。

- キーデータ，または置き換えデータが 256 文字を超えています。
- キーデータ，または置き換えデータの中に改行コードがあります。
- キーデータと置き換えデータが，一つの行に一つずつありません。
- キーデータ，または置き換えデータの間にコンマがありません。コンマは，空データの場合でも必要です。

対処

次のように対処してください。

- 正しいキーデータを指定してください。
- 正しい置き換え表データを指定してください。
- 一つの行にキーデータ，または置き換えデータを一つずつ指定してください。
- コンマを入れてください。

指定した出力先ファイルに書き込めませんでした。

要因

印刷出力ファイルのパスが不正，または書き込み権限がないので，指定した出力先ファイルに書き込めません。

対処

起動オプションの PrintFileName の指定を見直したあと，再度実行してください。

指定したトレイコードはサポートされていません。

要因

TrayCode に，使用できない給紙トレイコードが指定されました。

対処

起動オプションの TrayCode に正しい値を指定したあと，再度実行してください。

指定したファイルパス (XX) が 255 文字を超えています。

要因

次の項目で，ファイルパスの入力制限である 255 文字を超えています。

1. 帳票ファイル
2. マッピングデータ
3. ユーザ定義データ
4. 接続情報ファイル

メッセージの XX には，255 文字を超えた上記の項目名が表示されます。255 文字を超えた項目が複数ある場合はコンマ（,）で区切って表示されます。
XX の表示順位は上記の項目名の番号順です。
このメッセージダイアログに対して［OK］ボタンをクリックすると，帳票を表示しないで［EUR クライアント帳票出力機能］ダイアログに戻ります。

対処

ファイルパスを 255 文字以内で指定してください。

指定した文書は変換できません。

要因

［Word/Excel 文書の変換］ダイアログで，Word/Excel 文書以外のファイルが指定されました。変換を中断します。

対処

変換対象となる Word/Excel 文書を指定してください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラーメッセージが表示され，［Word/Excel 文書の変換］ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは，削除されません。

指定したレポートは上位バージョン機能で作成されています。本バージョン機能で表示します。

説明

指定されたレポートは，上位バージョン機能で作成されています。このバージョンで表示できるデータだけが表示されます。
識別できないデータを無視して，レポートが表示されます。

指定ファイル（ファイル名）が見つかりません。

要因

指定されたファイルがないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

存在するファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定ファイル（ファイル名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたファイルには読み込み権限がないので，EUR の起動処理を中止します。

対処

ファイルに読み込み権限を与えるか，または読み込み権限のあるファイルを指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定ファイル（ファイル名）をオープンできませんでした。

要因

指定されたファイルがフォルダだったので，ファイルを開けません。

対処

正しいファイル名を指定したあと，プログラムを再度実行してください。

指定ファイル形式では保存されない情報があります。

要因

［名前を付けて保存］ダイアログで指定されたファイル形式では，レポート上のデータ，画像データがファイル中に保存されないので，指定された形式で保存してよいかを問い合わせます。

対処

指定されたファイル形式でレポートを保存する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。保存処理を中止する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

集計可能な数値フィールドがないため実行できません。

要因

集計アイテム生成を指定されたが，集計できる数値フィールドがマッピングデータにないので，集計アイテムは生成できません。

対処

集計できる数値フィールドがないことを確認して，［OK］ボタンをクリックしてください。

集計行（集計行名）を解除します。よろしいですか？

要因

指定された集計行の集計行編集を，本当に解除してもよいかどうかを問い合わせます。削除する対象がキー集計行の場合，（　）の内容は（キー：キーフィールド名）となります。

対処

解除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。解除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

集計行，改ブロック又は改ページがあるため 1 以外は設定できません。

要因

集計，集計行編集，改ブロック，または改ページされているので，基準レコード幅に 1 以外は設定できません。

対処

基準レコード幅が設定できないことを確認してください。

集計行が生成されたページを表示しますか？

要因

集計，または総集計の結果，現在編集中のページ以外に集計行が生成されました。

対処

集計行が生成されたページを表示する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。集計行が生成されたページを表示しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

集計行が存在しません。

説明

集計行がないので集計行編集ができません。

集計行の編集中のため，終了できません。

要因

メインウィンドウの［×］ボタン，またはメインウィンドウのコントロールメニューの［閉じる］を選択しましたが，集計行を編集しているので，EUR 帳票作成機能を終了できません。

対処

集計行の編集を終了したあと，EUR 帳票作成機能を終了してください。

集計対象フィールドが選択されていません。

要因

［集計アイテム］ダイアログで［OK］ボタンをクリックされましたが，集計対象フィールドが選択されていないので，集計アイテムを生成できません。

対処

集計対象フィールドを選択して，再度実行してください。

集計できるアイテムがありません。

説明

キー集計，または総集計が指定されましたが，集計できるアイテムがないので集計できません。

集計ページが設定されている集計行があります。位置固定は設定できません。

要因

集計ページが設定されている集計行があるので，集計行の位置固定の設定はできません。

対処

集計ページが設定されている集計行を確認したあと，集計行の位置固定を設定する場合は，集計ページを解除してください。

集計ページです。集計行編集モードでしか操作できません。

要因

集計ページは，アイテムの編集ができません。アイテムの編集は，集計行編集モードで操作してください。

対処

アイテムの編集は，集計行編集モードで操作してください。

集計ページを解除すると，集計行を作成したときの状態に戻ります。集計ページを解除しますか？

要因

集計ページを解除すると，集計行への編集をすべて破棄して集計行を作成したときの状態に戻るので，解除してよいかどうかを問い合わせます。

対処

集計ページを解除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。集計ページを設定しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

集計ページを設定した後解除すると，集計行を作成したときの状態に戻ります。集計ページを設定しますか？

要因

集計ページは，設定したあとで解除すると，集計行への編集をすべて破棄して集計行を作成したときの状態に戻ります。集計ページを設定する前に確認します。

対処

集計ページを設定する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。集計ページを設定しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

出力先フォルダの名称が長すぎます。

要因

出力先ファイル名（フォルダ＋帳票ファイル名）の長さが，拡張子（*.fms）を含めて，255 字を超えています。

対処

出力先ファイル名は，255 文字以内で指定してください。

処理中にエラーが発生しました。

要因

レポートの編集処理中にエラーが発生しました。次に示す要因が考えられます。

- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

不要なファイルを削除したり，実行に必要なメモリを確保したりしたあと，プログラムを再度実行してください。

(3) すで始まるメッセージ

ズーム倍率は 10 ～ 800 の値で指定してください。

要因

ツールバーの表示倍率テキストボックスに指定できる値は 10 ～ 800 です。それ以外の倍率では表示できません。

対処

表示倍率を 10 ～ 800 に指定し直してください。

全てのデータを貼り付けることができませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 全データのうち，一つのデータも帳票上に貼り付けられません。

- 貼り付けようとした画像アイテムのサイズが用紙サイズを超えています。

対処

データウィンドウから画像ファイルを貼り付けるとき，EUR は，画像の大きさ（幅と高さ）を，そのまま画像アイテムのサイズ（幅と高さ）とします。そのため，用紙サイズ（幅と高さ）より大きな画像ファイルは貼り付けられません。画像の大きさを小さくするなど加工してください。

スプールに必要なメモリが存在しません。

要因

［新規作成］，［開く］，または［Report の終了］を指定したとき，今まで修正していたレポートを保存するかどうかを問い合わせます。

対処

修正したレポートを上書き保存する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。ただし，レポートが「新規作成」の場合は，［名前を付けて保存］ダイアログが表示されます。レポートを保存しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。処理を取り消す場合は，［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

(4) せで始まるメッセージ

選択したアイテムのデータにフィールドが指定されていません。

要因

集計または総集計が指定されましたが，指定したアイテムにはデータのフィールドが存在しないため，集計できません。キー集計の実行を中止します。

対処

アイテムのデータにフィールドを指定してください。

選択できるデータソースが存在しません。

要因

ODBC データソースに，ODBC Driver がありません。

対処

ODBC データソースの設定を確認したあと，再度実行してください。

前提の EUR 製品がインストールされていません。

要因

EUR Designer，EUR Developer または EUR Viewer がインストールされていないので，帳票のプレビュー，または印刷ができません。

対処

EUR Designer，EUR Developer または EUR Viewer をインストールしてください。

終了コード

32（警告，システムエラー，データエラー，およびコマンドのエラー以外のエラーが発生したことを示します）

（5）そで始まるメッセージ

操作対象レコード数が上限値を超えました。

要因

レポート操作中に，操作対象レコード数が上限値を超えました。

対処

レポートの操作を，一度中止してください。基準レコードの変更，対象テーブルの変更によって操作対象レコード数を減らしたあと，再度レポートの操作をしてください。

14.4 た行のメッセージ

(1) たで始まるメッセージ

他プログラムで印刷を実行中です。

要因

ほかのアプリケーションプログラムで印刷実行しているため，Word/Excel 文書から EUR 帳票への変換ができません。変換を中断します。

対処

ほかのアプリケーションプログラムの印刷が終わったあと，再度実行してください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラーメッセージが表示され，［Word/Excel 文書の変換］ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは，削除されません。

(2) ちで始まるメッセージ

帳票定義情報ファイル（ファイル名）が出力できません。(YY:ZZ)

要因

次に示す要因によって，変換後の帳票定義情報ファイルが出力できません。

- ディスクの容量不足です。
- 出力先フォルダにファイルの出力権限がありません。
- 既存の帳票定義情報ファイルに上書きしようとしましたが，書き込み権限がありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が，ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

- 空き容量を見直してください。
- 書き込み権限があるフォルダを指定してください。

注意

複数の帳票ファイルを指定した場合，エラー発生以降の帳票ファイルは変換しません。エラーが発生する直前までに正常に出力された帳票定義情報ファイルは，削除されないでそのまま残ります。エラーが発生したとき，途中まで出力された帳票定義情報ファイルは削除されます。

帳票定義情報ファイル（ファイル名）が読み込めません。（YY:ZZ）

要因

次に示す要因によって，帳票定義情報ファイルを変換できません。エラーが発生した帳票定義情報ファイルの変換は実行しないで，次の帳票定義情報ファイルの変換を実行します。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルがありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が，ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

読み込み権限がある既存の帳票定義情報ファイルを指定して，再度変換を実行してください。

帳票定義情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（YY[:ZZ]）

要因

次に示す要因によって，帳票定義情報ファイルから帳票ファイルに変換できません。

- 帳票定義情報ファイルの内容が不正です。
- 帳票定義情報ファイルに記述されたファイルのうち，どれかが読み込めません。
- 帳票定義情報ファイルに記述されたファイルのうち，どれかの内容が不正です。

YY にはコード，ZZ には詳細情報が表示されます。コードと詳細情報を次に示します。

表 14-1　コードと詳細情報

コード（YY）	説明	詳細情報（ZZ）
00	帳票定義情報ファイルの内容が不正です。	表示されません。
01	次のどれかが読み込めません。 • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル • 補足情報ファイル	読み込めなかったファイルのファイル名が出力されます。
02	次のどれかの内容が不正です。 • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル	不正な内容が記述された個所が表示されます。 出力形式 ファイル名：行番号：項目名 項目名が特定できない場合，行番号だけが表示されます。

対処

正常な帳票定義情報ファイルを指定して，再度変換を実行してください。

帳票ファイル（帳票ファイル名）が出力できません。（YY:ZZ）

要因

次に示す要因によって，帳票定義情報ファイルから帳票ファイルへの変換時に，変換後の帳票ファイルが出力できません。

- ディスクの容量不足です。
- 出力先フォルダにファイルの読み込み権限がありません。
- 既存の帳票ファイルに上書きしようとしましたが，書き込み権限がありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が，ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

- 空き容量を見直してください。
- 書き込み権限があるフォルダを指定してください。

注意

複数の帳票定義情報ファイルを指定した場合，エラー発生以降の帳票定義情報ファイルは変換しません。エラーが発生する直前までに正常に出力された帳票ファイルは，削除されないでそのまま残ります。エラーが発生したとき，途中まで出力された帳票ファイルは削除されます。

帳票ファイル（ファイル名）が読み込めません。（YY:ZZ）

要因

次に示す要因によって，帳票ファイルを変換できません。エラーが発生した帳票ファイルの変換はしないで，次の帳票ファイルの変換を続行します。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルがありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が，ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

読み込み権限がある既存の帳票ファイルを指定して，再度変換を実行してください。

帳票ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

要因

帳票ファイルの内容が不正です。エラーが発生した帳票ファイルの変換は実行しないで，次の帳票ファイルの変換を続行します。

対処

正しい帳票ファイルを指定して，再度変換を実行してください。

帳票ヘッダのアイテムはすべて削除されます。よろしいですか？

要因

帳票ヘッダ領域を削除されました。

対処

［はい］ボタンをクリックすると，帳票ヘッダ領域を削除します。［いいえ］ボタンをクリックすると，帳票ヘッダ領域を削除しません。
帳票ヘッダ領域を削除すると，帳票内の任意の位置に貼り付けられていた帳票ヘッダ集計の集計アイテムも削除されます。

帳票ヘッダ領域を挿入するための十分な領域を確保できません。帳票ヘッダ領域を挿入できません。

要因

繰り返し領域のアイテムのサイズなどが大きいので，帳票ヘッダ領域が挿入できません。

対処

繰り返し領域のアイテムのサイズを変更するなどをして，改ページ見出しが挿入できる領域を確保してから，再度実行してください。

(3) つで始まるメッセージ

通常使うプリンタが設定されていません。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 通常使用するプリンタが指定されていないので，印刷処理ができません。
- 通常使用するプリンタが指定されていないので，Word/Excel 文書から EUR 帳票への変換ができません。

対処

［プリンタ］フォルダを開いてプリンタを選択したあと，ポップアップメニューから「通常使うプリンタに設定」を選択してください。

(4) てで始まるメッセージ

ディスクの容量不足が発生しました。

要因

指定されたレポートの保存処理中にディスクの容量が足りなくなったので，保存できません。

対処

不要なファイルを削除して，再度実行してください。

データが保存されたレポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR ではレポートファイル中のデータは読み込まれません。サンプルのデータで表示します。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。レポートファイルには，帳票設計時に使用したデータが保存されていますが，このバージョンでは，データウィンドウに表示できません。

対処

［OK］ボタンをクリックして，メッセージダイアログを閉じてください。データウィンドウに，サンプルデータが表示されます。

データファイル（データファイル名）：n 行目　記述に誤りがあります。

要因

指定されたデータファイルの記述に誤りがあるので，データが表示できません。

対処

データファイルの誤りを訂正してください。

データファイル（データファイル名）がオープンできませんでした。

要因

コマンド，または［データのプロパティ］ダイアログで指定されたデータファイルは，読み込み権限がないので開けません。

対処

データファイルの読み込み権限を確認してください。

データファイル（データファイル名）が見つかりません。

要因

指定されたデータファイルが見つかりません。

対処

指定したデータファイルがないことを確認してください。

データベースアクセス定義実行でエラーが発生しました。

要因

EUR のログファイルに，要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと，その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要　因
メモリが不足しています。	メモリが不足しました。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。（error=nnn）	一時ファイル（aa...aa）の出力先フォルダに書き込み権限がありません。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。（error=nnn）	• 一時ファイル（aa...aa）のオープンに失敗しました。 • 一時ファイルの作成に失敗しました。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目（aa...aa）に設定した文字列の長さが制限値を超えました。
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa コード：nnn,mmm	データベースアクセス定義でデータの抽出中に，エラーが発生しました。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	SQL 文の長さが上限値を超えました。
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号に対する実行値がありません。

対処

表示されたメッセージによって，次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対　処
メモリが不足しています。	ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再実行してください。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。（error=nnn）	• メッセージに表示されている一時ファイル（aa...aa）の出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。 • 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。（error=nnn）	• 一時ファイル（aa...aa）の出力先フォルダの空き容量を見直してください。 • 保守用の情報が「(error=nnn)」に表示されます。

<table>
<tr><th>ログファイルに表示されるメッセージ</th><th colspan="3">対　処</th></tr>
<tr><td>aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。</td><td colspan="3">項目（aa...aa）に指定した文字列が，上限値の nnn バイトを超えていないかどうかを見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">データベースアクセス中にエラーが発生しました。
メッセージ：aa...aa（メッセージ文）
コード：nnnn,mmmmm</td><td colspan="3">表示されたコードによって，次のように対処してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">コード</td><td>説　明</td></tr>
<tr><td>nnnn（リターンコード）</td><td>mmmmm（詳細コード）</td><td></td></tr>
<tr><td>-1001
-1003
-1008</td><td>DABroker，もしくは接続先データベースのエラーコード，または 0</td><td>DABroker，または接続先データベースでエラーが発生したことを示します。
「メッセージ：aa...aa」には，エラーの内容が表示されます。詳細コードと表示されるメッセージについては，次に示すマニュアルを参照してください。
• 詳細コードが KFDBxxxx の場合
DABroker のマニュアル
• 詳細コードが KFPxxxxx の場合
マニュアル「HiRDB メッセージ」
• 詳細コードが ORA-xxxx の場合
Oracle のマニュアル</td></tr>
<tr><td>-1004</td><td>接続管理情報のコード</td><td>接続情報に誤りがないかどうかを見直してください。</td></tr>
<tr><td>-1005
-1009</td><td>システムコールのエラー値</td><td>応答監視時間内に，DABroker から応答がなかったか，またはプログラムの呼び出しでエラーが発生したことを示します。
• 接続先 DABroker を起動させてください。
• 接続先 DABroker のホスト名，または IP アドレスを正しく設定してください。
• 接続先 DABroker にホスト名を使用している場合，hosts ファイルにホスト名を指定してください。
hosts ファイルに指定したホスト名の IP アドレスを正しく設定してください。
• 接続先 DABroker に IP アドレスを使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定し，接続先 DABroker にホスト名を使用してください。
• services ファイルに DBPARTNER_SV を指定してください。
• services ファイルに指定した DBPARTNER_SV のポート番号，および通信プロトコル種別を正しく指定してください。
• hosts ファイル，および services ファイルにアクセス権を与えてください。</td></tr>
<tr><td>-1006</td><td>領域管理情報のコード</td><td>メモリが不足しています。ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再実行してください。</td></tr>
</table>

ログファイルに表示されるメッセージ	対　処		
	-1010	10083	応答監視時間内に，DABroker から応答がなかったことを示します。 接続先の DABroker が起動されているかどうかを確認してください。また，接続先の DABroker のホスト名，または IP アドレスに誤りがないかどうかも確認してください。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	設定した条件式の長さが，上限値を超えていないかどうかを見直してください。		
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号値定義ファイルを指定したあと，再実行してください。		

データベースアクセス定義の実行に失敗しました。

要因

［データソースの選択］ダイアログに指定された情報から，データベースアクセス定義が起動できません。

対処

データベースアクセス定義ウィンドウで，データ抽出の操作時にエラーが発生しなかったかどうか，EUR のログファイルを参照して，エラーを取り除いてください。また，ディスクの空き容量も確認してください。

データを更新します。よろしいですか？

要因

［オプション］ダイアログの［ファイル］タブで，データファイルのパスが更新されました。

対処

［はい］ボタンをクリックすると，データを更新します。［いいえ］ボタンをクリックすると，データは更新されませんが，パスは更新されます。

(5) とで始まるメッセージ

特殊編集レベルが複数定義されています。フィールド名（フィールド名）を特殊編集レベルとします。よろしいですか？

要因

特殊編集レベルのフィールドが複数定義されている場合，最後に設定されたフィー

ルドを特殊編集レベルのフィールドとして扱うかどうかを問い合わせます。

対処

［OK］ボタンをクリックすると，最後に設定されたフィールドを特殊編集レベルのフィールドとして，そのほかを数値とします。［キャンセル］ボタンをクリックすると，特殊編集レベルのフィールドを特定しません。

特殊編集レベルとして認識できないデータがありました。

要因

特殊編集レベルのフィールドのデータに，0 ～ 99 以外の値が指定されています。

対処

特殊編集レベルのフィールドのデータを，0 ～ 99 の値に変更したあと，再度データを読み直してください。

特殊編集レベル編集中は実行できません。

要因

集計アイテム生成を指定されたが，特殊編集レベルを対象とした集計行編集中は，集計アイテムは生成できません。

対処

特殊編集レベルを対象とした集計行編集中であることを確認して，［OK］ボタンをクリックしてください。

14.5 な行のメッセージ

(1) にで始まるメッセージ

入力必須の項目（XX）が指定されていません。

要因

［EUR サーバ帳票出力コマンド指定］ダイアログで実行した場合

［コマンド実行］ボタンまたは［バッチファイル生成］ボタンをクリックしましたが，コマンド実行に必要な項目が指定されなかったため，処理が実行できませんでした。

XX には，次の項目のうち指定されなかった項目名が表示されます。複数ある場合は，コンマ（,）で区切って出力されます。

- 帳票ファイル（直接指定の場合）
- 帳票セット指定ファイル（帳票セット指定ファイルを使用する場合）
- プリンタ名（印刷を選択した場合）
- 出力先ファイル（PDF，EUR または XLSX を選択した場合）

［EUR クライアント帳票出力機能］ダイアログで実行した場合

［OK］ボタンをクリックしましたが，実行に必要な項目が指定されなかったため，処理が実行できませんでした。

XX には，次の項目のうち指定されなかった項目名が表示されます。複数ある場合は，コンマ（,）で区切って出力されます。

- 帳票ファイル
- 接続情報ファイル（［データベースから入力］チェックボックスがオンの場合）

対処

［EUR サーバ帳票出力コマンド指定］ダイアログで実行した場合

メッセージダイアログで［OK］ボタンをクリックして［EUR サーバ帳票出力コマンド指定］ダイアログに戻り，XX に表示された項目を指定してください。

［EUR サーバ帳票出力コマンド指定］ダイアログについては，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

［EUR クライアント帳票出力機能］ダイアログで実行した場合

メッセージボックスで［OK］ボタンをクリックして［EUR クライアント帳票出力機能］ダイアログに戻り，XX に表示された項目を指定してください。

14.6 は行のメッセージ

(1) はで始まるメッセージ

バーコードパターンファイル（ファイル名）が不正です。

要因

指定されたバーコードパターンファイルの内容に誤りがあります。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

バーコードパターンファイル（ファイル名）を入力できません。(エラーコード)

要因

指定されたバーコードパターンファイルでエラーが発生しました。

対処

指定したバーコードパターンファイルが正しいかどうか確認してください。

貼り付け領域からはみ出してしまうアイテムが存在します。アイテムの配置を設定できません。

要因

［編集］メニューの［アイテムの配置］から［繰り返し領域の左上を基準］を選択したが，次に示す要因によって，アイテムの配置ができません。

- 表紙ページで，アイテムが帳票ヘッダ領域にある場合は，そのアイテムが次紙ページで貼付域からはみ出してしまいます。
- 次紙ページで，アイテムが用紙下端から帳票ヘッダ領域サイズ分の領域にある場合は，そのアイテムは表紙ページで貼付域からはみ出してしまいます。

対処

アイテムを適切な位置に移動してから，再度実行してください。

(2) ひで始まるメッセージ

表示するエディタ画面の種類に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した，表示するエディタウィンドウの指定に誤りがあります。

対処

表示するエディタウィンドウの種類の指定を見直したあと，再度実行してください。

(3) ふで始まるメッセージ

ファイルを開くことができません。(エラーコード :XX)

YY

要因

［コマンド実行結果］ダイアログで［出力したファイルを開く］ボタンをクリックしましたが，次に示す要因でファイルを開けませんでした。

- ファイルの拡張子にプログラムが関連づけられていません。
- ファイルの拡張子に関連づけられたプログラムが正しくセットアップされていません。
- ファイルの拡張子に関連づけられたプログラムの実行権限がありません。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：eurps.exe 起動失敗時のエラーコード（GetLastError 関数から取得）

YY：エラーコードに対応するメッセージ（FormatMessage 関数から取得）

対処

メッセージダイアログで［OK］ボタンをクリックして［コマンド実行結果］ダイアログに戻り，次の問題がないか確認してください。

- エクスプローラで，ファイルの拡張子にプログラムが関連づけられているか確認してください。
- 関連づけられたプログラムが動作するか確認してください。

［コマンド実行結果］ダイアログについては，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

フィールド定義情報を自動作成しました。

要因

フィールド定義情報が未設定のままデータを読み込もうとしたので，フィールド定義情報を自動作成しました。

対処

表示されたメッセージダイアログを閉じてください。

フィールド名（フィールド名）が重複しています。帳票に貼り付けられたデータが不正となる可能性があります。よろしいですか？

要因

フィールド名が重複している場合，フィールド定義情報を更新するかどうかを問い合わせます。

対処

［OK］ボタンをクリックすると，フィールド定義情報を更新します。［キャンセル］ボタンをクリックすると，フィールド定義情報は更新しません。

フォームシートファイル（ファイル名）が出力できません。（YY：ZZ）

要因

Word/Excel 文書からの変換中，次に示す要因によって，フォームシートファイルが出力できません。変換を中断します。

- ディスク容量が不足しています。
- 出力先フォルダに，書き込み権限がありません。
- 既存のフォームシートファイルに上書きしようとしましたが，ファイルの書き込み権限がありません。

YY には読み込みに使用した関数の errno が，ZZ には errno に対応するエラーメッセージが表示されます。

対処

次のように対処したあと，再度実行してください。

- ディスクに十分な空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存のフォームシートファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラーメッセージが表示され，［Word/Excel 文書の変換］ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは，削除されません。

フォームシートファイルへの変換中にエラー（XX）が発生しました。

要因

次に示す要因によって，フォームシートファイルへの変換中にエラーが発生しました。変換を中断します。XX には，次に示すコードを返します。

コード	説明
00	プリンタが，EMF スプーリングではないため，スプールファイルの解析がエラーになりました。
01	次に示す環境からスプール出力を実行しようとしましたが，プロセス起動でエラーが発生しました。 • Microsoft(R) Word Version 2002，Microsoft(R) Office Word 2003，Microsoft(R) Office Word 2007 または Microsoft(R) Office Word 2010 • Microsoft(R) Excel Version 2002，Microsoft(R) Office Excel 2003，Microsoft(R) Office Excel 2007 または Microsoft(R) Office Excel 2010
02	Word/Excel 文書を EMF スプーリングしようとしましたが，次に示す要因によって，エラーが発生しました。 • スプールフォルダ，またはスプールファイルの書き込み権限がありません。 • プリンタのアクセス権限がありません。
03	EUR のレジストリを参照したときにエラーが発生しました。
04	OS のバージョン情報を取得できません。

対処

次のように対処したあと，再度実行してください。

コード	説明
00	通常使うプリンタが，EMF スプーリングに設定されているかどうかを確認してください。
01	次に示す前提プログラムがインストールされていることを確認してください。 • Microsoft(R) Word Version 2002，Microsoft(R) Office Word 2003，Microsoft(R) Office Word 2007 または Microsoft(R) Office Word 2010 • Microsoft(R) Excel Version 2002，Microsoft(R) Office Excel 2003，Microsoft(R) Office Excel 2007 または Microsoft(R) Office Excel 2010
02	• スプールフォルダ，またはスプールファイルの書き込み権限があるかどうかを確認してください。 • プリンタのアクセス権限を確認してください。 出力プリンタの［プロパティ］ダイアログの［セキュリティ］タブで，実行ユーザに対して「プリンタの管理」のアクセス許可を設定する必要があります。
03	EUR が正しくインストールされていることを確認してください。必要であれば，EUR を再インストールしてください。
04	OS が正しくインストールされていることを確認してください。前提 OS は，次のとおりです。 • Windows 7 • Windows XP • Windows Vista

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラーメッセージが表示され，［Word/Excel 文書の変換］ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは，削除されません。

複数帳票はプレビューできません。

要因

複数の帳票ファイルを指定した EUR 形式ファイルを，プレビューしようとしました。

対処

複数の帳票ファイルを指定した EUR 形式ファイルはプレビューできません。

部数指定は 1 ～ 99 の値で指定してください。

要因

［印刷］ダイアログの部数のテキストボックスに入力された値が 1 ～ 99 の範囲外なので，印刷できません。

対処

印刷する部数を指定し直したあと，再度実行してください。

不正な EUR 形式ファイルが指定されました。（XX）

要因

指定した EUR 形式ファイルが正しくありません。

XX には，次に示すコードを返します。

コード	説明
1	圧縮ファイルの解凍に失敗しました。
2	圧縮ファイルのヘッダブロックが不正です。
3	圧縮ファイルのボディブロックが不正です。
11	解凍後のヘッダブロックのフォーマットが不正です。
21	解凍後の帳票ファイルブロックのフォーマットが不正です。
31	解凍後のマッピングデータブロックのフォーマットが不正です。
41	解凍後のユーザ定義データブロックのフォーマットが不正です。
51	解凍後の画像データブロックのフォーマットが不正です。
61	空行，または識別不能なフォーマットがありました。

対処

正しい EUR 形式ファイルを指定してください。

終了コード

12（データエラーが発生したことを示します）

不正な EUR 形式ファイル名が指定されました。

要因

指定した EUR 形式ファイル名の長さが，255 文字を超えています。

対処

EUR 形式ファイル名を 255 文字以内で指定し直したあと，再度実行してください。

終了コード

16（コマンドの文法にエラーがあったことを示します）

不正なオプション（オプション名）が指定されました。

要因

EUR 形式ファイルを出力するとき，eurer コマンドに不正なオプションを指定して実行しようとしました。

対処

eurer コマンドに指定したオプションの指定を見直したあと，再度実行してください。

終了コード

16（コマンドの文法にエラーがあったことを示します）

不正なオプションが指定されました。

要因

apgrpt コマンドに指定したオプションが不正です。

対処

apgrpt コマンドの指定を見直したあと，誤りを訂正してください。

不正なプリンタ名が指定されました。

要因

指定したプリンタ名の長さが，259 文字を超えています。

対処

プリンタ名を 259 文字以内で指定し直したあと，再度実行してください。

終了コード

16（コマンドの文法にエラーがあったことを示します）

部品（XX）は部品（YY）から参照されているため削除できません。

要因

部品 XX が，部品 YY から参照されているために削除できません。

対処

参照している部品 YY を削除してから，部品 XX を削除してください。

部品アーカイブファイルが読み込めません。（エラーコード : メッセージ文）

要因

次の要因によって部品アーカイブファイルをインポートできません。

- 部品アーカイブファイルがありません。
- 部品アーカイブファイルに読み込み権限がありません。

対処

ファイルおよびフォルダがあるかどうか，または読み込み権限があるかどうかを見直したあと，再度インポートを実行してください。

部品アーカイブファイルに出力できません。（エラーコード : メッセージ文）

要因

部品アーカイブファイルをエクスポートしようとしましたが，次の要因によってエクスポートできません。

- 部品アーカイブファイルの出力先フォルダに書き込み権限がありません。
- 上書きしようとした既存のファイルに，書き込み権限がありません。
- ディスクの容量に空きがありません。

対処

- ファイルおよびフォルダの書き込み権限を見直したあと，再度エクスポートを実行してください。
- 空き容量を見直してください。

部品アーカイブファイルの内容が不正です。

要因

部品アーカイブファイルの内容が正しくなかったため，インポートできません。

対処

部品パレットウィンドウで，エクスポートした部品アーカイブファイルであることを確認し，再度インポートを実行してください。

部品アイテムを貼り付けることができません。

要因

次の要因によって部品を貼り付けられません。

- 部品のサイズが貼り付け域のサイズを超えました。
- 常に指定位置に貼り付ける部品を貼り付けようとして，部品が貼付域を超えました。

対処

部品を貼り付けられる用紙サイズに変更したあと，部品を貼り付けてください。

部品名に使用できない文字が指定されています。

要因

次の要因によって，部品の登録，または部品名の変更ができません。

- 部品名が未指定です。
- 部品名に使用できない文字が含まれています。

対処

正しい部品名を指定して再度実行してください。

部品に登録できるアイテム数の上限を超えています。

要因

次のアイテムのどれかが上限数の 100 個を超えているため，部品を登録できません。

- 文字アイテム
- 線アイテム
- 図形アイテム
- 画像アイテム
- 部品

対処

部品に登録するアイテムの数を減らして，部品の登録を再度実行してください。

部品パレットウィンドウが表示できません。（要因コード：詳細メッセージ）

要因

次の要因によって，部品パレットウィンドウを表示できません。

- 部品パレットウィンドウへのアクセス時にエラーが発生しました。
- 部品パレットウィンドウがありません。
- 部品パレットウィンドウの起動に失敗しました。
- メモリ不足が発生しました。

対処

次のように対処したあと，再度部品パレットウィンドウを表示させてください。

- 正しくインストールしてください。
- メモリ不足を解消してください。

部品を登録できる個数の上限を超えています。

要因

部品がすでに 1,000 個登録されているため，新たに部品を登録できません。

対処

不用な部品を削除して，部品の登録を再度実行してください。

部品を登録できません。（エラーコード：メッセージ文）

要因

次の要因によって部品を登録できません。

- 部品庫フォルダに書き込み権限がありません。
- 部品庫フォルダの容量が不足しています。
- 入れ子にした部品が，部品庫にありません。

対処

- 部品庫フォルダの書き込み権限を付けてください。
- 容量を見直してください。
- 入れ子にした部品を部品庫にインポートして，再度登録してください。

プリンター覧の取得に失敗しました。（システムエラー番号，システムメッセージ）

要因

給紙トレイ一覧ツールの実行時にエラーが発生し，登録されているプリンタの一覧が取得できませんでした。給紙トレイ一覧ツールを終了します。

対処

メッセージに表示されたシステムエラー番号が 122 の場合，給紙トレイ一覧ツールを再度実行してください。
それ以外の場合は，システムエラー番号とシステムメッセージを基に対処し，給紙トレイ一覧ツールを再度実行してください。

プリンタ（プリンタ名）が存在しません。

要因

コマンドで指定されたプリンタは接続されていません。

対処

接続されているプリンタ名を指定し直したあと，再度実行してください。

プリンタ（プリンタ名）とバーコードパターンファイル（ファイル名）が適合しません。

要因

指定されたプリンタに対応したバーコードパターンファイルがありません。

対処

正しいバーコードパターンファイルを指定してください。

プリンタがサポートしていない画像ファイルは，出力することができませんでした。

要因

レポート内に，プリンタが使用できない画像ファイルがあるので，印刷できません。

対処

画像ファイルを印刷できるプリンタを設定してください。

プリンタが存在しません。

要因

システムにプリンタが登録されていないので印刷できません。

対処

プリンタの環境設定をしたあと，再度実行してください。

プリンタ情報を取得できません。

要因

指定されたプリンタ情報を取得するときにエラーが発生しました。

対処

指定されているプリンタドライバに問題がないかどうか確認してください。例えば，指定されたプリンタを使用して，ほかのプログラムプロダクトで出力してみたり，メモリが十分あるかどうかを確認してみたりしてください。

プリンタ定義ファイルのプリンタ（プリンタ名）に不正なプリンタ定義情報（キーワード名）が指定されました。

要因

プリンタ定義情報を指定するキーワードに不正な値が指定されています。

対処

正しい値を指定し直したあと，再度実行してください。

プリンタのハードマージンを取得できませんでした。

要因

プリンタのハードマージンを取得できないので，レポートが印刷されないか，印刷結果がずれる場合があります。

対処

印刷はそのまま続行されますが，使用するプリンタのハードマージンをもう一度確認してください。

（4）へで始まるメッセージ

ページ集計を表示できなくなるためページ集計行を解除します。よろしいですか？

要因

次の操作が要因で，ページ集計が表示できなくなりました。

- ページの繰り返し個数が，縦横ともに 1 個になりました。
- 集計対象フィールドの繰り返し定義を解除しました。

対処

解除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。解除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

ページ番号印刷オプションの指定に誤りがあります。

要因

起動オプションで指定した，ページ番号を印刷するときの印刷形式の指定に誤りがあります。

対処

ページ番号の印刷形式の指定を見直したあと，再度実行してください。

ページ番号印刷形式は 510 文字以内で指定してください。

要因

［印刷］ダイアログの，ページ番号の印刷形式のテキストボックスに入力された値が 510 文字を超えているので，印刷できません。

対処

ページ番号の印刷形式の値を指定し直したあと，再度実行してください。

ページ変更できません。

要因

集計行編集中や内容が不正なレポートを読み込んだときは，ページを変更することはできません。

対処

［OK］ボタンをクリックしてください。

別の帳票で項目情報を設定中です。設定が終わってから，再度実行してください。

要因

EUR 帳票作成機能，または EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の操作中以外の帳票で，データベース連携の設定中です。

対処

EUR 帳票作成機能でデータベースアクセス定義の設定，または EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の操作中以外の帳票でデータベース連携の設定が終わったあと，再実行してください。

変更前の置き換え表管理情報ファイルに定義された置き換え表が使用されています。

要因

置き換えを指定したアイテムが帳票上にあるため，置き換え表管理情報ファイルの設定を変更できません。

対処

［OK］ボタンをクリックして，メッセージダイアログを閉じてください。置き換えを設定しているアイテムの［アイテムのプロパティ］ダイアログで［置き換え表］タブを選択し，［置き換えする］チェックボックスをオフに設定してください。

編集した集計行がすべて解除されます。よろしいですか？

要因

繰り返しの優先方向の変更を指定されたので，編集した集計行がすべて解除されます。

対処

解除する場合は，［はい］ボタンをクリックします。解除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックします。

編集した集計行が存在しません。

説明

編集した集計行がないので，集計行編集の解除ができません。

(5) ほで始まるメッセージ

本プログラムは本環境では動作いたしません。動作可能環境を確認した後，実行してください。

要因

Windows 7，Windows XP および Windows Vista 環境以外で，Word/Excel 文書を EUR 帳票に変換しようとしました。

対処

Word/Excel 文書を EUR 帳票に変換する場合は，前提 OS 上で実行してください。

14.7 ま行のメッセージ

(1) まで始まるメッセージ

マッピングデータのフィールド名（フィールド名）が一致しません。

要因

マッピングデータのフィールド名と日付データが一致しないので，［アイテムのプロパティ］ダイアログが表示できません。

対処

マッピングデータのフィールド名とデータタイプが一致する日付データを指定したあと，再度実行してください。

(2) めで始まるメッセージ

メモリが確保できませんでした。

要因

指定されたレポートの編集処理中にメモリが確保できません。

対処

EUR 帳票作成機能を終了させ，EUR 帳票作成機能の処理に必要なメモリを確保したあと，再度 EUR 帳票作成機能を起動させてください。

メモリ不足が発生しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

EUR 帳票作成機能の場合

- Word/Excel 文書を EUR 帳票へ変換しているとき，メモリ不足が発生しました。変換を中断します。
- EUR 形式ファイルに出力しているとき，メモリ不足が発生しました。出力を中断します。
- 部品パレットウィンドウの操作中にメモリが不足しました。操作を中止します。
- 帳票定義ファイルの変換中にメモリが不足しました。変換を中断します。

EUR クライアント帳票出力機能の場合

- 帳票出力データ指定機能の実行中にメモリ不足が発生しました。メッセージ

の後ろに（エラーコード：WW）を出力します（WW：GetLastError 関数から取得したエラーコード）。

対処

ほかのアプリケーションを終了させるなどして，実行に必要なメモリを確保してください。

終了コード

EUR 形式ファイルに出力しているときは，終了コード「8（システムエラーが発生したことを示します）」を返します。

注意

複数の Word/Excel 文書を設定して変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラーメッセージが表示され，［Word/Excel 文書の変換］ダイアログに制御が戻ります。エラーが発生したファイルの直前までに変換し終わっていた帳票ファイルは，削除されません。

また，複数の帳票ファイル，または帳票定義情報ファイルを変換しているとき，途中のファイルでエラーが発生すると，エラー発生以降の帳票ファイル，または帳票定義情報ファイルは変換しません。エラーが発生する直前までに正常に出力された帳票定義情報ファイル，帳票ファイルは，削除されないでそのまま残ります。エラーが発生したとき，途中まで出力された帳票定義情報ファイル，または帳票ファイルは削除されます。

（3）もで始まるメッセージ

文字アイテムがないため集計行を解除します。よろしいですか？

要因

集計行編集の結果，現在編集対象の集計行に文字アイテムが一つもなくなったので，集計行が解除されます。

対処

解除する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。解除しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

文字幅計算方法の指定に誤りがあります。

要因

オプション記述ファイルのキーワード FontWidthMode に static，dynamic 以外の値が指定されました。

対処

指定値に static または dynamic を指定してください。

14.8 や行のメッセージ

(1) よで始まるメッセージ

用紙サイズが変更できませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 用紙のサイズを変更したので，実アイテム（仮想アイテムを含まない），または線がはみ出してしまいます。
- 余白の値が正しくありません。

対処

用紙サイズが変更できない要因を確認したあと，再度実行してください。

用紙の向きの指定に誤りがあります。

要因

用紙の向きの指定に誤りがあります。

対処

起動オプションの PaperOrientation の指定を見直したあと，再度実行してください。

14.9 ら行のメッセージ

(1) れで始まるメッセージ

レジストリが読み込めません。(エラーコード : メッセージ文)

要因

EUR 帳票作成機能の場合

- 帳票ファイル，または帳票定義情報ファイルの初期フォルダの参照時に，レジストリを読み込めません。
- Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 がない環境では，帳票定義情報ファイルの入出力は実行できません。

EUR クライアント帳票出力機能の場合

- 帳票出力データ指定機能の使用時に，インストール先のフォルダをレジストリから取得できませんでした。

対処

- レジストリキーのアクセス権を確認し，再度実行してください。
- Microsoft 社のホームページから，Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 のセットアップパッケージをインストールしてください。

レジストリに書き込みできません。(エラーコード : メッセージ文)

要因

帳票ファイル，または帳票定義情報ファイルのフォルダの変更時に，レジストリに書き込めません。

対処

レジストリキーのアクセス権を確認し，再度実行してください。

レジストリにフォームシートファイルの出力先フォルダを保存できません。

要因

出力先フォルダを保存できません。選択した帳票ファイルの出力先フォルダは［Word/Excel 文書の変換］ダイアログの［出力先フォルダ］に設定されます。

対処

レジストリの書き込み権限を確認し，プログラムを再実行してください。

レポート（レポート名）が修正されています。保存しますか？

要因

［新規作成］，［開く］，または［Report の終了］を指定したとき，今まで修正していたレポートを保存するかどうかを問い合わせます。

対処

修正したレポートを上書き保存する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。ただし，レポートが「新規作成」の場合は，［名前を付けて保存］ダイアログが表示されます。レポートを保存しない場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。処理を取り消す場合は，［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

レポート（レポート名）が正しくありません。レポート名を指定しないで新規作成します。

要因

コマンドで指定したレポート名が正しくありません。レポートを新規作成します。

対処

EUR を終了し，コマンドで指定した帳票ファイル名の誤りを訂正して再度実行するか，新規作成のままレポートを作成して保存するときにレポート名を指定してください。

レポート（レポート名）が見つかりません。

要因

［ファイルを開く］ダイアログで指定されたファイルが見つかりません。

対処

ファイル名を確認したあと，再度実行してください。

レポート（レポート名）が見つかりません。新規作成します。

要因

コマンドで指定した帳票ファイルが見つからないので，指定された名称で帳票を新規作成します。

対処

［OK］ボタンをクリックしてください。

レポート（レポート名）には書き込み権限がありません。

要因

編集中のレポートを上書きして保存しようとしましたが，書き込み権限がないので保存できません。

対処

レポートファイルに書き込み権限があるかどうかを確認してください。

レポート（レポート名）には読み込み権限がありません。

要因

指定されたレポートには読み込み権限がありません。

対処

レポートファイルに読み込み権限があるかどうかを確認してください。

レポート（レポート名）は使用中です。

要因

指定されたレポートは，ほかのプロセスで使用されているので，開けません。

対処

指定されたレポートが使用できるまで，待ってください。

レポート（レポート名）をオープンできませんでした。

要因

次に示す要因によって，ファイルを開けません。

- 指定したファイル名がフォルダです。
- 指定したファイルが，ほかのプログラムで使用中です。
- 一時作業フォルダに割り当てられているディスク容量が不足しています。
- メモリが不足しています。

対処

次のように対処をしたあと，プログラムを再度実行してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
- 不要なファイルを削除してください。
- 実行に必要なメモリを確保してください。

レポートが不完全です。

要因

［ファイルを開く］ダイアログで指定されたレポートは，レポートが不完全か，またはレポートファイルではないので読み込めません。

対処

指定したファイルがレポートかどうかを確認したあと，指定し直してください。

レポートが保存できませんでした。

要因

次に示す要因によって，帳票定義ファイルが保存できませんでした。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した帳票定義ファイルが存在しません。または，出力先フォルダへの書き込み権限がありません。
- 指定した帳票定義ファイルに書き込み権限がありません。

対処

要因に応じて，それぞれ次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の帳票定義ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

また，指定した帳票定義ファイルに保存できなくても，帳票定義ファイルと同じフォルダに一時ファイル「eurXX.tmp」（XX は桁数不定の 16 進数値）が残っている場合があります。一時ファイルには指定した帳票定義内容が保存されているので，一時ファイルを基に保存内容を復旧できます。

レポートデータ読み込み中にエラーが発生しました。

要因

読み込もうとしたレポートデータが，一部破壊されているおそれがあります。

対処

レポートを作成し直して，再度プログラムを実行してください。

レポート内に識別できないデータがありました。

説明

［ファイルを開く］ダイアログで指定したファイルに，識別できないデータがありま

した。

レポートファイルを読み込みました。本バージョンの EUR ではレポートファイルには保存できません。保存するときにはフォームシートファイルに保存してください。

要因

旧バージョンの EUR で保存されたレポートファイルを開きました。このバージョンでは，開いたレポートファイルを編集しても，上書き保存できません。

対処

［OK］ボタンをクリックして，メッセージダイアログを閉じてください。

(2) ろで始まるメッセージ

ログオプション設定ツールが起動中です。

要因

すでにログオプション設定ツールが起動されているので，EUR ログオプションへの反映ができません。

対処

実行中のログメンテナンスツールを終了したあと，再度実行してください。

ログオプション設定ツールの動作環境が正しくありません。

要因

ログオプション設定ツールの動作環境が正しくないので，ログオプション設定ツールが動作できません。

対処

EUR を再インストールしたあと，ログオプション設定ツールを再度実行してください。

ログメンテナンスツールの動作環境が正しくありません。

要因

ログメンテナンスツールの動作環境が正しくないので，ログメンテナンスツールが動作できません。

対処

EUR を再インストールしたあと，ログメンテナンスツールを再度実行してください。

15 KEES001 ～ KEES099

この章では，KEES001 ～ KEES099 のメッセージについて説明します。

15.1 KEES001 ～ KEES099 のメッセージ

15.1 KEES001 ～ KEES099 のメッセージ

KEES001-E

帳票ファイル（XX）が読み込めません。（YY:ZZ）

要因

指定した帳票ファイルの読み込みに失敗し，変換できませんでした。次の要因が考えられます。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルが存在しません。

メッセージの XX，YY，ZZ には次の内容が表示されます。

- XX：読み込めなかった帳票ファイルのファイル名
- YY：読み込みに使用した関数の errno の値
- ZZ：errno に対応する strerror 関数の値

次の帳票ファイルの変換を続行します。

対処

読み込み権限のある既存の帳票ファイルを指定して，再変換してください。

KEES002-E

帳票定義情報ファイル（XX）が読み込めません。（YY:ZZ）

要因

指定した帳票定義情報ファイルの読み込みに失敗し，変換できませんでした。次の要因が考えられます。

- 読み込み権限がありません。
- ファイルが存在しません。

メッセージの XX，YY，ZZ の意味は次のとおりです。

- XX：読み込めなかった帳票定義情報ファイルのファイル名
- YY：読み込みに使用した関数の errno の値
- ZZ：errno に対応する strerror 関数の値

次の帳票定義情報ファイルの変換を続行します。

対処

読み込み権限のある既存の帳票定義情報ファイルを指定して，再変換してください。

KEES003-E

帳票ファイル（XX）の内容が不正です。

要因

帳票ファイルから帳票定義情報ファイルへ変換しようとしたところ，帳票ファイルの内容が壊れているため変換できませんでした。
メッセージの XX には，変換できなかった帳票ファイルのファイル名が表示されます。

対処

正常な帳票ファイルを指定して，再変換してください。

KEES004-E

サポートしていないバージョンの帳票ファイル（XX）が指定されました。

要因

サポートしていないバージョンの帳票ファイルが指定されたため，帳票定義情報ファイルへ変換できませんでした。帳票ファイルが次に示すバージョンのフォームシート形式でないことが考えられます。

- EUR Professional Edition　05-00 以降
- EUR Designer　08-00 以降
- EUR Developer　08-00 以降

メッセージの XX には，変換できなかった帳票ファイルのファイル名が表示されます。

対処

正常な帳票ファイルを指定して，再変換してください。

KEES005-E

帳票定義情報ファイル（XX）の内容が不正です。（YY[:ZZ]）

要因

次に示す要因によって，帳票定義情報ファイルから帳票ファイルへ変換できませんでした。

- 帳票定義情報ファイルの内容が正しくありません。
- 帳票定義情報ファイルに記述されたファイルのうち，どれかが読み込めません。
- 帳票全体定義情報ファイルに記述されたファイルのうち，どれかの内容が不正です。

メッセージの XX，YY，ZZ の意味は次のとおりです。

- XX：変換できなかった帳票定義情報ファイルのファイル名

- YY，ZZ：次に示す要因コードと詳細情報

YY の値（要因コード）	要因の意味	ZZ の値（YY で出力した要因コードの詳細情報）
00	帳票定義情報ファイルの内容が正しくありません。	（出力しません）
01	次のファイルのどれかが読み込めません。 • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品アイテム定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル • 補足情報ファイル	読み込めなかったファイルのファイル名
02	次のどれかのファイル内容が不正です。 • 帳票全体定義情報ファイル • ブレイク定義情報ファイル • アイテム定義情報ファイル • 部品アイテム定義情報ファイル • フィールド定義情報ファイル	項目名が特定できる場合 不正なデータが記述された「ファイル名：行番号：項目名」 項目名が特定できない場合 行番号だけ

対処

正常な帳票ファイルを指定して，再変換してください。

16 KEES101 ～ KEES199

この章では，KEES101 ～ KEES199 のメッセージについて説明します。

16.1 KEES101 ～ KEES199 のメッセージ

16.1 KEES101 ～ KEES199 のメッセージ

KEES101-E

不正なオプション (XX) が指定されました。

要因

不正なオプションを指定してコマンドを実行しました。eurspcsv コマンドの実行を終了します。

次の要因が考えられます。

- 指定したオプションが正しくありません。
- 指定したオプションの引数が正しくありません。
- 同じオプションが複数指定されています。
- オプションの引数以外で値が指定されています。
- 指定したパスが存在しません。
- 指定したパスが無効な値です。
- パス指定の文字数が，上限値である 259 文字を超えました。

メッセージの XX には，指定された不正なオプションが表示されます。

対処

正しいオプションを指定して実行してください。

KEES102-E

省略不可のオプションが指定されていません。

要因

指定を省略できないオプションを省略してコマンドを実行しました。eurspcsv コマンドの実行を終了します。

対処

省略したオプションを指定して実行してください。指定必須のオプションとその意味は次のとおりです。

- /t：変換形式
- /in：入力元ファイル名
- /out：出力先フォルダ名

KEES103-E

出力先フォルダの名称が長すぎます。

要因

出力先フォルダ名が長いため，出力ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えてしまい，ファイルを出力できませんでした。eurspcsv コマンドの実行を終了します。

対処

出力ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えないよう，出力先フォルダ名を指定し直してください。

KEES104-E

メモリ不足が発生しました。

要因

メモリが不足したため変換を続行できませんでした。
次のように動作します。

- ダイアログの場合
  ［帳票定義情報ファイルの入出力］ダイアログに戻ります。
- コマンド実行の場合
  変換を中断し，eurspcsv コマンドを終了します。

複数の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルを指定した場合，次のように処理されます。

- エラー発生以降の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルは変換されません。
- エラーが発生する直前までに正しく出力された帳票定義情報ファイルまたは帳票ファイルは，削除されないでそのまま残ります。
- エラー発生時に途中まで出力された帳票定義情報ファイルまたは帳票ファイルは，削除されます。

対処

ほかのプログラムを終了させるなどしてメモリに十分な空き容量を作り，再度変換してください。

KEES105-E

帳票ファイル（XX）が出力できません。（YY:ZZ）

要因

帳票定義情報ファイルから帳票ファイルへの変換を実施しましたが，変換後の帳票ファイルが出力できませんでした。次の要因が考えられます。

- ディスクの容量不足
- 出力先フォルダにファイルの出力権限がありません
- 既存の帳票ファイルに上書きしようとしたが書き込み権限がありません

メッセージの XX，YY，ZZ には次の内容が表示されます。

- XX：出力できなかった帳票ファイルのファイル名
- YY：出力に使用した関数の errno の値
- ZZ：errno に対応する strerror 関数の値

次のように動作します。
- ダイアログの場合
  ［帳票定義情報ファイルの入出力］ダイアログに戻ります。
- コマンド実行の場合
  変換を中断し，eurspcsv コマンドを終了します。

複数の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルを指定した場合，次のように処理されます。
- エラー発生以降の帳票定義情報ファイルは変換されません。
- エラーが発生する直前までに正しく出力された帳票ファイルは，削除されないでそのまま残ります。
- エラー発生時に途中まで出力された帳票ファイルは，削除されます。

対処

十分な空き容量があり，かつ書き込み権限のあるフォルダを指定して，再度変換を実行してください。

KEES106-E

帳票定義情報ファイル（XX）が出力できません。（YY:ZZ）

要因

帳票定義情報ファイルから帳票定義情報ファイルへの変換を実施しましたが，変換後の帳票定義情報ファイルが出力できませんでした。次の要因が考えられます。
- ディスクの容量不足
- 出力先フォルダにファイルの出力権限がなかった
- 既存の帳票定義情報ファイルに上書きしようとしたが書き込み権限がなかった

メッセージの XX，YY，ZZ の意味は次のとおりです。
- XX：出力できなかった帳票定義情報ファイルのファイル名
- YY：出力に使用した関数の errno の値
- ZZ：errno に対応する strerror 関数の値

次のように動作します。
- ダイアログの場合
  ［帳票定義情報ファイルの入出力］ダイアログに戻ります。
- コマンド実行の場合
  変換を中断し，eurspcsv コマンドを終了します。

複数の帳票ファイルまたは帳票定義情報ファイルを指定した場合，次のように処理されます。
- エラー発生以降の帳票ファイルは変換されません。

- エラーが発生する直前までに正しく出力された帳票定義情報ファイルは，削除されないでそのまま残ります。
- エラー発生時に途中まで出力された帳票定義情報ファイルは，削除されます。

対処

十分な空き容量があり，かつ書き込み権限のあるフォルダを指定して，再度変換を実行してください。

KEES109-E

入力元フォルダの名称が長すぎます。

要因

入力元フォルダ名が長いため，入力元ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えました。eurspcsv コマンドの実行を終了します。

対処

入力元ファイル名のフルパス名の長さが 259 文字を超えないよう，入力元フォルダ名を指定し直してください。

17 KEES201 ～ KEES299

この章では，KEES201 ～ KEES299 のメッセージについて説明します。

17.1 KEES201 ～ KEES299 のメッセージ

17.1　KEES201 ～ KEES299 のメッセージ

KEES201-I

ユーザ名 =U : **コマンド** =C

要因

eurspcsv コマンドの実行ユーザ，変換形式，入力元フォルダ，および出力先フォルダを通知するメッセージです。メッセージの U，C の意味は次のとおりです。

U：実行ユーザアカウント

C：/t △｛変換形式｝△ /in △｛入力元フォルダ｝△ /out △｛出力先フォルダ｝
（△は半角空白）

｛変換形式｝　　：変換形式

｛入力元フォルダ｝　：入力元フォルダのフルパス

｛出力先フォルダ｝　：出力先フォルダのフルパス

KEES202-I

Eurspcsv **のコマンドを開始しました。**

要因

eurspcsv コマンドを開始したことを通知するメッセージです。

KEES203-I

Eurspcsv **のコマンドを終了しました。**

要因

eurspcsv コマンドを終了したことを通知するメッセージです。

KEES204-I

[WW] **ファイルの変換処理を開始しました。**

要因

ファイルの変換処理を開始したことを通知するメッセージです。
メッセージの WW には，変換元ファイル名が表示されます。

KEES205-I

[WW] **ファイルの変換処理が終了しました。**

要因

ファイルの変換処理を終了したことを通知するメッセージです。
メッセージの WW には，変換元ファイル名が表示されます。

18 その他のメッセージ

この章では，給紙トレイ一覧ツールのメッセージについて説明します。

18.1 給紙トレイ一覧ツールのメッセージ

18.1 給紙トレイ一覧ツールのメッセージ

プリンター覧の取得に失敗しました。（システムエラー番号，システムメッセージ）

要因

給紙トレイ一覧ツールの実行時にエラーが発生し，登録されているプリンタの一覧が取得できませんでした。給紙トレイ一覧ツールを終了します。

対処

メッセージに表示されたシステムエラー番号が 122 の場合，給紙トレイ一覧ツールを再実行してください。
それ以外の場合は，システムエラー番号とシステムメッセージを基に対処し，給紙トレイ一覧ツールを再実行してください。

19 KEEW001 ～ KEEW099

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作しているときに出力されるメッセージについて説明します。KEEW001 ～のメッセージは，プログラムが終了するレベルのメッセージです。

19.1　KEEW001 ～ KEEW099 のメッセージ

19.1 KEEW001 ～ KEEW099 のメッセージ

KEEW001-E

メモリが不足しています。

要因

実行中にメモリ不足が発生しました。

対処

ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再度 EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を実行してください。

レベル

Error

KEEW002-E

システムリソースが不足しています。

要因

実行中にシステムリソース不足が発生しました。

対処

ほかのアプリケーションなどを終了させてシステムリソースを確保したあと，再度 EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を実行してください。

レベル

Error

KEEW003-E

Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 **がインストールされていません。**

要因

Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 がインストールされていません。

対処

Microsoft 社のホームページから，Microsoft(R) XML Parser (MSXML) 3.0 のセットアップパッケージをインストールしてください。

レベル

Error

KEEW004-E

EUR Professional Edition 05-00 **以降がインストールされていません。**

要因

バージョン 08-00 以降の EUR Developer，またはバージョン 05-00 以降の EUR Professional Edition がインストールされていません。

対処

バージョン 08-00 以降の EUR Developer，またはバージョン 05-00 以降の EUR Professional Edition をインストールしてください。

レベル

Error

KEEW005-E

実行環境が不正です。いったんプログラムをアンインストールしてから，再度インストールしてください。

要因

レジストリの情報が不正です。

対処

EUR Developer をアンインストールしたあと，再度 EUR Developer をインストールしてください。

レベル

Error

20 KEEW101 ～ KEEW199

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作しているときに出力されるメッセージについて説明します。KEEW101 ～のメッセージは，ファイル入出力に関するメッセージです。

20.1 KEEW101 ～ KEEW199 のメッセージ

20.1 KEEW101 ～ KEEW199 のメッセージ

KEEW101-W

不正な EUR Form **帳票定義ファイルです。**

要因

次に示す要因が考えられます。

- EUR Form 帳票定義ファイル以外のファイルを指定しました。
- EUR Form 帳票定義ファイルの内容が壊れています。

対処

指定した EUR Form 帳票定義ファイルの内容を確認してください。

レベル

Warning

KEEW102-W

EUR Form **帳票定義ファイルの読み込みに失敗しました。**

要因

次に示す要因によって，EUR Form 帳票定義ファイルが読み込めません。

- 指定した EUR Form 帳票定義ファイルがありません。
- 指定した EUR Form 帳票定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する EUR Form 帳票定義ファイル名を指定してください。
- 指定する EUR Form 帳票定義ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW103-W

EUR Form **帳票定義ファイルの書き込みに失敗しました。**

要因

次に示す要因によって，EUR Form 帳票定義ファイルが作成できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した EUR Form 帳票定義ファイルがなく，しかもその出力先フォルダには書き込み権限がありません。

- 指定した EUR Form 帳票定義ファイルはありますが，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。また，保存に失敗してファイルが削除されている場合があります。対処したあとは，ファイルを正しく保存し直してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の EUR Form 帳票定義ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW104-W

EUR Form **帳票ファイルの書き込みに失敗しました。**

要因

次に示す要因によって，EUR Form 帳票ファイルが作成できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した EUR Form 帳票ファイルがなく，しかもその出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定した EUR Form 帳票ファイルはありますが，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の EUR Form 帳票ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW105-W

送信ユニット一覧表ファイルの書き込みに失敗しました。

要因

次に示す要因によって，送信ユニット一覧表ファイルが作成できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した一覧表ファイルがなく，しかもその出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定した送信ユニット一覧表ファイルはありますが，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の送信ユニット一覧表ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW106-W

不正な XSL **ファイルです。**

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した XSL ファイルが不正です。
- 指定した XSL ファイルの内容が壊れています。

対処

指定した XSL ファイルの内容を確認してください。

レベル

Warning

KEEW107-W

XSL **ファイルの読み込みに失敗しました。**

要因

次に示す要因によって，XSL ファイルが読み込めません。

- 指定した XSL ファイルがありません。
- 指定した XSL ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する XSL ファイルを指定してください。
- 指定する XSL ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW108-W

XSL **ファイルの書き込みに失敗しました。**

要因

次に示す要因によって，XSL ファイルが作成できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した XSL ファイルがなく，しかもその出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定した XSL ファイルはありますが，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の XSL ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW109-W

EUR Form **帳票ファイルを生成できません。**

［要因］メッセージ

［対象］種別：ID

要因

「［要因］メッセージ」と「［対象］種別：ID」には，次に示すように EUR Form 帳票ファイルを生成できない要因と，エラーが発生した個所の情報が表示されます。

「［要因］メッセージ」に表示されるメッセージ文	「［対象］種別：ID」に表示される情報
送信ボタンが設定されていない送信ユニットがあります。	送信ユニット：送信ユニット ID
メンバが設定されていない送信ユニットがあります。	
データベースと連携しているメンバが存在しない送信ユニットがあります。	
送信ユニットに設定されていない送信ボタンがあります。	帳票コントロール：帳票コントロール ID
送信ユニットに設定されていないリセットボタンがあります。	
値が設定されていない CheckBox 帳票コントロール，または RadioButton 帳票コントロールがあります。	

「[要因] メッセージ」に表示されるメッセージ文	「[対象] 種別：ID」に表示される情報
スクリプト情報が設定されていないスクリプト実行ボタンがあります。	
余白部分に帳票コントロールが配置されています。	
ActiveX コントロールが設定されていない Custom 帳票コントロールがあります。	
送信データのプロパティ名が設定されていない Custom 帳票コントロールがあります。	
送信データの初期値に，存在しない名前空間を使用している Custom 帳票コントロールがあります。	
メンバ名が不正です。	帳票コントロール：帳票コントロール ID, または グループ：グループ ID
エレメント名が不正です。	エレメント：エレメント名 ※1
属性名が不正です。	属性：属性名 ※1
属性値が不正です。	
添付書類名称または送信ボタンのパラメタ名に，予約語が指定されています。	添付書類名称 ※2，または 送信ユニット：送信ユニット ID
指定スクリプトファイルの読み込みに失敗しました。	スクリプト：ファイルの相対パス
指定スクリプトファイルで構文エラーが発生しました。	スクリプト：ファイルの相対パス （行番号：エラーメッセージ）
存在しないスクリプト関数名が指定されています。	帳票コントロール：帳票コントロール ID, グループ：グループ ID, または 文書情報
すべてのページが表示しない指定になっています。	ページ
繰り返しされている帳票コントロール／グループの総数が 30,000 個を超えています。総数：nnn,nnn	繰り返しグループ：送信ユニット ID - メンバパス
結合されている繰り返しグループの様式（ページ）が離れています。	繰り返しグループ：繰り返しグループ ID
結合されている繰り返しグループ同士の帳票コントロール / グループの数，種別順，またはグループ中の帳票コントロールの数が同じでありません。	繰り返しグループ：繰り返しグループ ID
繰り返しグループに登録されている帳票コントロールおよび繰り返された帳票コントロールが印刷対象領域を超えています。	繰り返しグループ：繰り返しグループ ID

注※ 1

エレメント名，および属性名は，ルートからのパスで表示します。

注※ 2

「添付書類名称」の場合は，「：ID」に該当する情報は表示されません。

対処

次のように対処してください。

- 表示されたメッセージに従って，送信ユニット，または帳票コントロールの設定内容を確認してください。
- 送信ボタンの種別で「スクリプト実行」が設定されている場合は，スクリプト情報が設定されているかどうかを確認してください。
- データベースと連携している送信ユニットが，メンバとデータベース項目を一つ以上関連づけているかどうかを確認してください。関連づけのない送信ユニットに対しては，メンバとデータベース項目を一つ以上関連づけるか，または送信ユニットのデータベース連携を解除してください。
- 送信ボタンのパラメタ名に予約語「RequestXML」，または「_eurform_」で始まる文字列が指定されていないかどうかを確認してください。
- Custom 帳票コントロールの送信データに設定されているプロパティ名の内容を確認してください。
- 指定した名前空間が，［名前空間の設定］ダイアログの名前空間の一覧にある名称かどうか，または「xmlns:」に続く文字列と同じかどうかを確認してください。
- 属性名は「Id」ですが，属性値が ID 型として設定できる値ではありません。設定値を確認してください。
- 添付書類名称に「_eurform_」で始まる文字列が指定されていないかどうかを確認してください。
- ［スクリプトファイルの指定］ダイアログの［スクリプトファイル一覧］に指定されているファイルが存在するか，または読み込み権限があるかどうかを確認してください。
- ［スクリプトファイルの指定］ダイアログの［スクリプトファイル一覧］に指定されているファイルに，構文エラーがないかどうかを確認してください。
- スクリプト関数がスクリプトファイルにあるかどうかを確認してください。
- EUR Form 帳票定義ファイルが持つページのうち，表示するページを 1 ページ以上設定してください。ページの表示状態は，［ページのプロパティ］ダイアログの［制御情報］タブで設定します。
- 一つの送信ユニットメンバに含められる帳票コントロール，およびグループの総数は 30,000 個までです。30,000 個を超える場合は，EUR Form 帳票，または送信ユニットメンバを分けるなどしてください。
- 繰り返しグループを結合する場合は，連続した様式（ページ）にある繰り返しグループ同士にしてください。
- 繰り返しグループを結合する場合は，帳票コントロール／グループの数（メンバの数），および帳票コントロール種別を同じにしてください。また，CheckBox ／ RadioButton 帳票コントロールをグループにしている場合は，グループ中の帳票コントロールの数も同じにしてください。
- 繰り返しグループに登録されている帳票コントロールと繰り返し機能によって生成された帳票コントロールが用紙の印刷対象領域の下側，または右側の範囲に収まるように，配置位置，繰り返し個数などを見直してください。

レベル

Warning

補足

「RequestXML」と「_eurform_」には，次に示す入力規則があります。

- 「RequestXML」
  文字列に，大文字と小文字の区別があります。
  半角英数以外の入力モードで指定したときは有効になります。
- 「_eurform_」
  文字列に，大文字と小文字の区別はありません。
  半角英数以外の入力モードで指定したときは有効になります。

KEEW110-W

スクリプトファイルの読み込みに失敗しました。

要因

次に示す要因によって，スクリプトファイルが読み込めません。

- 指定したスクリプトファイルがありません。
- 指定したスクリプトファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在するスクリプトファイルを指定してください。
- 指定するスクリプトファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW111-W

スクリプトファイルの書き込みに失敗しました。

要因

次に示す要因によって，スクリプトファイルが作成できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定したスクリプトファイルがなく，しかもその出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定したスクリプトファイルはありますが，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存のスクリプトファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル
Warning

KEEW112-W

不正なスクリプトファイルです。

エラー行番号：エラーメッセージ

または

不正なスクリプトファイルです。

エラー行番号：エラーメッセージ

再度編集する場合は「再試行」を，編集を中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

KEEW112-W のメッセージ文は，次に示す操作状況によって，表示されるメッセージが異なります。

- **スクリプトファイルのインポートを実行したとき**
  不正なスクリプトファイルです。
  エラー行番号：エラーメッセージ
- **編集したスクリプトファイルを保存するとき**
  不正なスクリプトファイルです。
  エラー行番号：エラーメッセージ
  再度編集する場合は［再試行］ボタンを，編集を中止する場合は［キャンセル］ボタンを選んでください。

要因

エラーメッセージには，エラーが発生した個所の行番号，およびスクリプトエンジンが返すメッセージが表示されます。操作状況に関係なく，次に示す要因が考えられます。

- 無効な文字コード（制御文字）が指定されています。
- コメント，または文字列の中以外に，全角文字，または半角カタカナが指定されています。
- 不正な全角文字が指定されています。
- 不正な改行コード（CR の次が LF でない）が指定されています。
- 文字列が途中で終わっています。
- 「function」の続きが，「単語＋ (」の形式ではありません。
- 波括弧「{}」，丸括弧「()」の対応が合っていません。
- スクリプト関数名の先頭が数字です。
- スクリプト関数名が，半角英数字と記号「_」以外の文字で指定されています。
- スクリプト関数名が，次に示すスクリプトの予約語と一致しています。
  break，case，catch，continue，debugger，default，delete，do，else，false，finally，for，function，if，in，instanceof，new，null，return，switch，this，throw，true，try，typeof，var，void，while，with
- スクリプト関数が定義されていません。

対処

- **スクリプトファイルのインポートを実行したとき**
  指定したスクリプトファイルの内容を確認してください。
- **編集したスクリプトファイルを保存するとき**
  ［再試行］ボタンをクリックして編集し直すか，または［キャンセル］ボタンで編集を取り消してください。

レベル

Warning

KEEW113-W

スクリプト定義にインポートしたスクリプトが設定されている場合，

定義が無効になることがあります。よろしいですか？

要因

次に示す要因が考えられます。

- スクリプト情報が設定されている EUR Form 帳票に，スクリプトファイルをインポートしようとしました。
- 編集したスクリプトファイルを保存しようとしました。

対処

スクリプトファイルの再インポート，または編集したスクリプトファイルの保存によって，［EUR Form 帳票 文書情報］ダイアログ，［帳票コントロールのプロパティ］ダイアログ，および［グループのプロパティ］ダイアログの［スクリプト定義］タブで，［スクリプト関数名］に指定されているスクリプト関数が削除されてしまうと，設定中のスクリプト情報（スクリプトファイル名，スクリプト関数名，およびパラメタ）が無効になります。

- スクリプト情報が無効になっても問題ない場合，またはスクリプト情報を無効にする場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- スクリプト情報を確認する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

レベル

Warning

KEEW114-W

スクリプト定義にインポートしたスクリプトが設定されている場合，

定義がすべて無効になります。よろしいですか？

要因

スクリプトファイルをクリアしようとしました。
［EUR Form 帳票 文書情報］ダイアログ，［帳票コントロールのプロパティ］ダイアログ，および［グループのプロパティ］ダイアログの［スクリプト定義］タブの

［スクリプト関数名］に，インポートしたスクリプトファイルのスクリプト関数が指定されています。スクリプトファイルをクリアすると，設定中のスクリプト情報（スクリプトファイル名，スクリプト関数名，およびパラメタ）が無効になります。

対処

次のように対処してください。

- スクリプト情報が無効になっても問題ない場合，またはスクリプト情報を無効にする場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
- スクリプト情報を確認する場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

レベル

Warning

KEEW115-W

構成管理情報ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

次に示す要因によって，構成管理情報ファイルが読み込めません。

- 指定した構成管理情報ファイルがありません。
- 指定した構成管理情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する構成管理情報ファイルを指定してください。
- 指定する構成管理情報ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW116-W

不正な構成管理情報ファイルです。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した構成管理情報ファイルが，XML 形式ではありません。
- 指定した構成管理情報ファイルの内容が壊れています。
- 指定した構成管理情報ファイルに XML 宣言文がありません。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 > タグが指定されていません。または，複数指定されています。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 申請書属性情報 > タグが指定されていません。または，複数指定されています。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 申請書属性情報 >< 申請書参照情報 > タグが指定されていません。または，複数指定されています。

- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 申請書属性情報 >< 申請書参照情報 > の下位に，何らかのタグが指定されています。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 > の指定と同じ数の < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 >，および < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類参照情報 > タグが指定されていません。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 > に指定する添付書類名が指定されていません。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 > に指定する添付書類名がユニークでありません。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 > の下位に，何らかのタグが指定されています。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類参照情報 > に指定する添付書類ファイル名がユニークでありません。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類参照情報 > の下位に，何らかのタグが指定されています。

対処

指定した構成管理情報ファイルの内容を確認してください。

- < 構成管理情報 >< 構成管理 > タグの指定は，1 回だけです。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 申請書属性情報 > タグの指定は，1 回だけです。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 申請書属性情報 >< 申請書参照情報 > タグの指定は，1 回だけです。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 申請書属性情報 >< 申請書参照情報 > タグの下位には，何も指定しないでください。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 > の指定と同じ数の < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 >，および < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類参照情報 > タグを指定してください。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 > タグを指定した場合は，添付書類名を指定してください。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類名称 > タグの下位には，何も指定しないでください。
- < 構成管理情報 >< 構成管理 >< 添付書類属性情報 >< 添付書類参照情報 > タグの下位には，何も指定しないでください。

レベル

Warning

KEEW117-W

構成管理情報ファイルの書き込みに失敗しました。

要因

次に示す要因によって，構成管理情報ファイルが作成できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 指定した構成管理情報ファイルがなく，しかもその出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定した構成管理情報ファイルはありますが，書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の構成管理情報ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW118-W

ファイルタイプ情報ファイルの読み込みに失敗しました。

要因

次に示す要因によって，ファイルタイプ情報ファイルが読み込めません。

- ファイルタイプ情報ファイル（FileType.txt）がありません。
- ファイルタイプ情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- ファイルタイプ情報ファイル（FileType.txt）が，次のフォルダ下にあるかどうかを確認してください。
  EUR Developer のインストール先フォルダ ¥EUR Designer¥Form Option¥Environment
- ファイルタイプ情報ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW119-W

範囲指定または桁区切り表示指定されていた，データ種別［数字］の EditField 帳票コントロールを，NumberField 帳票コントロールに変換しました。（変換数：変換した帳票コントロールの数）

説明

このメッセージは，バージョン 01-02 ～ 01-03 の EUR Professional Edition - Form

Option で作成された EUR Form 帳票定義ファイルを EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）で開いたので，データ種別に［数字］が設定されている EditField 帳票コントロールを NumberField 帳票コントロールに変換されたことを示します。
変換された NumberField 帳票コントロールは，帳票コントロール一覧ウィンドウで確認できます。変換後の状態を保存する場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。保存しない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル
Warning

KEEW120-W

クリップボードからの読み込みに失敗しました。

要因
クリップボードに保存されている内容は，ほかのアプリケーションで切り取り，またはコピーされたものです。

対処
帳票コントロールをもう一度コピーしてから，貼り付けてください。

レベル
Warning

KEEW121-W

指定された EUR Form 帳票定義ファイルは編集中のため，上書きできません。

編集を終了後に再度保存するか，別名で保存してください。

要因
名前を付けて保存しようとしましたが，現在編集中の EUR Form 帳票定義ファイルと同じファイル名を指定されたため，保存できません。

対処
次のように対処してください。
- 同じファイル名で保存する場合は，現在編集中の EUR Form 帳票定義ファイルを保存したあと，上書き保存してください。
- 別のファイル名を指定して，保存してください。

レベル
Warning

KEEW122-W

データ種別［全角］の EditField **帳票コントロール，または** MultiLineEditField **帳票コントロールの最小桁数／最大桁数に指定されている値をバイト数から文字数に変換しました。**

要因

バージョン 01-02 ～ 01-04 の EUR Professional Edition - Form Option で作成された EUR Form 帳票定義ファイルを EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）で開いたので，データ種別［全角］の EditField 帳票コントロール，または MultiLineEditField 帳票コントロールの最小桁数／最大桁数に指定されていた値をバイト数から文字数に変換しました。

対処

変換してよい場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。
変換したくない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル

Warning

KEEW123-W

データ種別［指定なし］の EditField **帳票コントロール，または** MultiLineEditField **帳票コントロールの最小桁数に指定されている値を最小文字数** 0 **に変更しました。**

要因

バージョン 01-02 ～ 01-04 の EUR Professional Edition - Form Option で作成された EUR Form 帳票定義ファイルを EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）で開いたので，データ種別［指定なし］の EditField 帳票コントロール，または MultiLineEditField 帳票コントロールの最小桁数に指定されていた値を 0 に変更しました。

対処

変更してよい場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。
変更したくない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル

Warning

KEEW124-W

EUR Professional Edition**（**EUR Form **帳票作成機能）のバージョンが古いため，**

この EUR Form 帳票定義ファイルは開けません。

要因

上位バージョンの EUR Developer の EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を使用して作成された，EUR Form 帳票定義ファイルを開こうとしました。

対処

必要に応じて，上位バージョンの EUR Developer をインストールしてください。

レベル

Warning

KEEW126-W

ファイル［ファイルの種類］の出力に失敗しました。

要因

次に示す要因によって，EUR Form 帳票定義情報ファイルを出力できません。

- ディスクに空き容量がありません。
- 出力先フォルダに，書き込み権限がありません。
- 同一名の EUR Form 帳票定義情報ファイルがありますが，書き込み権限がありません。

メッセージの「[ファイルの種類]」には，エラーの発生した EUR Form 帳票定義情報ファイルの種類が表示されます。EUR Form 帳票定義情報ファイルの種類を次に示します。

- 帳票情報
- ページ情報
- 帳票コントロール情報
- 送信ユニット情報

対処

次のように対処してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。
- 出力先フォルダに書き込み権限を与えてください。
- 既存の EUR Form 帳票定義情報ファイルに上書きする場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW127-W

スクリプトファイルの格納先が不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- スクリプトファイルの格納先が指定されていません。
- スクリプトファイルの格納先で指定されたフォルダが存在しません。

対処

［オプション］ダイアログの［フォルダ定義］タブを開いて，「スクリプトファイルの格納先」を指定してください。

レベル

Warning

KEEW128-W

スクリプト用エディタの指定が不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定されたテキストエディタの実行ファイルがありません。
- 実行ファイルでないファイルが指定されました。

対処

［オプション］ダイアログの［動作環境］タブを開いて，「スクリプト用エディタの設定」を指定してください。

レベル

Warning

KEEW129-W

指定スクリプトファイルの読み込みに失敗しました。

［ファイルの相対パス］

要因

次に示す要因によって，指定スクリプトファイルが読み込めません。

- 指定スクリプトファイルがありません。
- 指定スクリプトファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 指定スクリプトファイルの指定内容を確認してください。
- スクリプトファイルの格納先に，指定スクリプトファイルがあるかどうかを確認してください。
- 指定スクリプトファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル

Warning

KEEW130-W

一時ファイルの作成処理に失敗しました。

要因

システムの一時フォルダの容量が不足しているか，または書き込み権限がないので，一時ファイルが作成できません。

対処

システムの一時フォルダの容量を増やすか，または書き込み権限を与えてください。どちらの場合も対処できないときは，再度システムを起動させてください。

レベル

Warning

参考

システムの一時フォルダについては，［システムのプロパティ］ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお，出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合，環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合，Windows のフォルダ

KEEW131-W

関数名が重複しています。

［ファイル名］

関数名

要因

指定スクリプトファイルのスクリプト情報が設定されている EUR Form 帳票に，ファイル間で重複したスクリプト関数名のある，スクリプトファイルをインポートしたり，指定スクリプトファイルを追加したりしました。

対処

複数のスクリプトファイルが設定された場合は，最後に指定されたスクリプトファイルの情報が有効になります。最後に指定されたスクリプトファイルの情報は，［編集］メニューの［スクリプトの設定］から［全スクリプトの表示］を実行すると，［オプション］ダイアログの［動作環境］タブで，［スクリプト用エディタの設定］に設定されているエディタに，読み取り専用で表示できます。表示されたスクリプ

トファイルの情報を確認してください。必要に応じて，スクリプトファイルを編集してください。
なお，スクリプト関数名の重複チェックは，重複したスクリプト関数名を一つ検索した時点で終了します。エラー表示されたスクリプト関数名以外にも重複していないかどうかを確認してください。

レベル
Warning

KEEW132-W

変数名が重複しています。

［ファイル名］

変数名

要因
指定スクリプトファイルのスクリプト情報が設定されている EUR Form 帳票に，ファイル間で重複した変数名のある，スクリプトファイルをインポートしたり，指定スクリプトファイルを追加設定したりしました。

対処
複数のスクリプトファイルが設定された場合は，最後に指定されたスクリプトファイルの情報が有効になります。最後に指定されたスクリプトファイルの情報は，［編集］メニューの［スクリプトの設定］から［全スクリプトの表示］を実行すると，［オプション］ダイアログの［動作環境］タブで，［スクリプト用エディタの設定］に設定されているエディタに，読み取り専用で表示できます。表示されたスクリプトファイルの情報を確認してください。必要に応じて，スクリプトファイルを編集してください。
なお，変数名の重複チェックは，重複した変数名を一つ検索した時点で終了します。エラー表示された変数名以外にも重複していないかどうかを確認してください。

レベル
Warning

KEEW133-W

指定スクリプトファイルで構文エラーが発生しました。

［ファイル相対パス］

エラー行番号：エラーメッセージ

要因
指定スクリプトファイルに構文エラーがあります。
エラーメッセージには，該当する指定スクリプトファイルの相対パス，エラーが発

生した個所の行番号，およびスクリプトエンジンが返すメッセージが表示されます。

対処

スクリプトファイルを表示して，エラーが発生した行番号の個所を編集してください。エラーが発生したスクリプトファイルは，スクリプトファイルの格納先に設定したフォルダ下にあります。

レベル

Warning

KEEW134-W

スクリプト用エディタの起動に失敗しました。

要因

次に示す要因によって，スクリプト用エディタが起動できません。

- ［オプション］ダイアログの［動作環境］タブで設定した「スクリプト用エディタの設定」のテキストエディタが，インストールされていません。
- テキストエディタの実行ファイルが格納されているフォルダに，読み込み権限がありません。
- ディスクに空き容量がありません。

対処

次のように対処してください。

- 使用するテキストエディタがインストールされているかどうかを確認してください。
- テキストエディタの実行ファイルが格納されているフォルダに，読み込み権限があるかどうかを確認してください。
- 不要なファイルを削除するなどして，ディスクの空き容量を確保してください。

レベル

Warning

KEEW135-W

存在しないスクリプト関数名が指定されています。（対象）

要因

次に示す要因が考えられます。

- ［EUR Form 帳票 文書情報］ダイアログの［スクリプト定義］タブに，存在しないスクリプト関数名が指定されています。この場合，メッセージの「(対象)」には，「文書情報」と表示されます。
- ［帳票コントロールのプロパティ］ダイアログの［スクリプト定義］タブに，存在しないスクリプト関数名が指定されています。この場合，メッセージの「(対象)」には，「帳票コントロール：ID」と表示されます。

- ［グループのプロパティ］ダイアログの［スクリプト定義］タブに，存在しないスクリプト関数名が指定されています。この場合，メッセージの「(対象)」には，「グループ：ID」と表示されます。

対処

各ダイアログの［スクリプト定義］タブに指定されているスクリプト関数名が，スクリプトファイルに存在するかどうかを確認してください。また，スクリプトファイルに存在するスクリプト関数名を指定してください。

レベル

Warning

KEEW136-W

指定スクリプトファイルの数が 100 を超えたため，貼り付けできなかったスクリプト定義があります。

要因

指定スクリプトファイルの数が 100 を超えています。

対処

指定スクリプトファイルの一覧を表示して，不要なスクリプトファイルを指定していないかを見直してください。

レベル

Warning

KEEW137-W

［対象］を削除しました。

要因

［対象］に示した帳票コントロールまたは属性を削除して，EUR Form 帳票定義ファイルを表示しました。

［対象］には，次に示す情報が表示されます。EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）では，［対象］の情報を使用できません。

- CommandButton 帳票コントロール（送信ユニット確定）
- Sign 帳票コントロール
- 署名処理エラーのスクリプト情報

対処

削除してよい場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。

削除したくない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル
Warning

KEEW138-W

CommandButton 帳票コントロールの［送信時に署名する］属性を［指定なし］としました。また，［証明書を再利用する］および［使用する証明書］属性も［指定なし］としました。

要因
CommandButton 帳票コントロールのプロパティのうち，［送信時に署名する］および［証明書を再利用する］ならびに［使用する証明書］の設定を［指定なし］に変更して，EUR Form 帳票定義ファイルを表示しました。EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）では，これらの情報を使用できません。

対処
変更してよい場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。
変更したくない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル
Warning

KEEW139-W

送信ユニットの［プロトコル種別］の属性を［HTTP］としました。また，［SOAP 名前空間］および［SOAP サービスメソッド］属性は［指定なし］としました。

要因
送信ユニットのプロパティに設定されている［プロトコル種別］を［HTTP］に，また，［SOAP 情報］の［SOAP 名前空間］および［SOAP サービスメソッド］を［指定なし］に変更して，EUR Form 帳票定義ファイルを表示しました。EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）では，SOAP 情報を使用できません。

対処
変更してよい場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。
変更したくない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル
Warning

KEEW140-W

ページのプロパティの［余白枠内だけ表示する］属性を［指定なし］としました。また，［レイアウト領域の指定］の各属性は［0.0 mm］としました。

要因

ページのプロパティに設定されている［余白枠内だけ表示する］属性を［指定なし］に，また，［レイアウト領域の指定］の各属性を［0.0mm］に変更して，EUR Form 帳票定義ファイルを表示しました。EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）では，これらの情報を使用できません。

対処

変更してよい場合は，EUR Form 帳票定義ファイルを上書き保存，または名前を付けて保存してください。

変更したくない場合は，そのまま EUR Form 帳票定義ファイルを閉じてください。

レベル

Warning

21 KEEW201 ～ KEEW299

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作しているときに出力されるメッセージについて説明します。KEEW201 ～のメッセージは，バックグラウンドの操作に関するメッセージです。

21.1 KEEW201 ～ KEEW299 のメッセージ

21.1 KEEW201 ～ KEEW299 のメッセージ

KEEW201-W

バックグラウンドが編集中です。

終了すると編集内容が無効になります。

よろしいですか？

要因

EUR 帳票作成機能で，バックグラウンドが編集中です。

対処

バックグラウンドの編集内容を保存したい場合は［いいえ］ボタンを選択し，編集内容を保存したあと，EUR 帳票作成機能を終了してください。

バックグラウンドの編集内容を保存しない場合は［はい］ボタンを選択し，EUR 帳票作成機能を終了してください。

レベル

Warning

KEEW202-W

バックグラウンドの編集で EUR Professional Edition **の起動に失敗しました。**

要因

次に示す要因が考えられます。

- ディスクに空き容量がありません。
- EUR 帳票作成機能の起動に失敗しました。

対処

次のように対処したあと，もう一度実行してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- EUR Developer を再インストールしてください。

レベル

Warning

KEEW203-I

バックグラウンドの編集が終了しました。

説明

このメッセージは，バックグラウンドの編集が終了されたことを示します。

レベル

Information

KEEW204-W

バックグラウンドのインポートに失敗しました。

[要因：エラーコード]

要因

バックグラウンドのインポートに失敗しました。

対処

このメッセージは，「[要因：エラーコード]」に表示されるエラーコードによってエラーの対処が異なります。エラーコードの一覧を次に示します。

表 21-1 KEEW204-W に表示される要因のエラーコード一覧

エラーコード	対応するメッセージ	参照先
1005	メモリ不足が発生しました。	2.1 1000 ～ 1999 のメッセージ
1020	印刷中にエラーが発生しました。	
1130	画面描画処理中にエラーが発生しました。	
1131	現在，スプールに必要なディスクスペースが存在しません。	
1132	スプールに必要なメモリが存在しません。	
1134	処理中にエラーが発生しました。	
1135	Windows でエラーが発生しました。	
4521	プリンタが存在しません。	3.1 4500 ～ 4599 のメッセージ
4645	一時ファイルを出力できませんでした。(機能コード：エラーコード)	4.1 4600 ～ 4699 のメッセージ

レベル

Warning

KEEW205-W

バックグラウンドのインポートに失敗しました。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイル名のフルパスが，259 文字を超えています。
- ディスクに空き容量がありません。
- EUR 帳票作成機能の起動に失敗しました。

対処

次のように対処したあと，もう一度実行してください。

- ファイル名のフルパスが，259 文字を超えていないかどうか，指定したファイルのフォルダとファイル名を確認してください。
- ディスクの空き容量を確認してください。
- EUR Developer を再インストールしてください。

レベル

Warning

22 KEEW301 ～ KEEW399

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作しているときに出力されるメッセージについて説明します。KEEW301 ～のメッセージは，メニュー操作に関するメッセージです。

22.1 KEEW301 ～ KEEW399 のメッセージ

22.1　KEEW301 ～ KEEW399 のメッセージ

KEEW301-W

指定したアイテムはメンバ移動できません。

［要因］メッセージ

要因

「［要因］メッセージ」に表示されるメッセージ文と，その要因を次に示します。

「［要因］メッセージ」に表示されるメッセージ文	要因
指定した送信ユニットはデータベース連携しています。メンバでないエレメントアイテムの移動はできません。	移動先送信ユニットがデータベースと連携中であり，かつ選択したアイテムが，非メンバエレメントアイテムです。
指定した送信ユニットはデータベース連携しています。同じ名前のメンバが存在するため，移動できません。	移動先送信ユニットがデータベースと連携中であり，かつ移動先に同じメンバ名のアイテムがあります。
指定した送信ユニットはデータベース連携しています。属性アイテムの移動はできません。	移動先送信ユニットがデータベースと連携中であり，かつ選択したアイテムが属性アイテム，または下位に属性アイテムを持つエレメントアイテムです。
アイテムの名前に設定されている名前空間が，指定した送信ユニットに定義されていません。	名前空間修飾のあるアイテム，または下位に名前空間修飾のあるアイテムを選択しましたが，移動先送信ユニットにその名前空間の定義がありません。
指定した送信ユニットに同じ名前の属性アイテムが存在するため，移動できません。	移動先送信ユニットのルートエレメント直下に，選択した属性アイテムと同じ名前の属性アイテムがあります。

対処

アイテムの移動先，または選択したアイテムを見直してください。

レベル

Warning

KEEW302-W

値が重複しているため，グループ化できません。

選択中の帳票コントロールの値を見直してください。

要因

選択された CheckBox 帳票コントロール，または RadioButton 帳票コントロールのうち，値が重複している帳票コントロールがあります。

対処

［帳票コントロールのプロパティ］ダイアログの［帳票コントロール種別名］タブを開いて，設定されている［値］を確認してください。必要に応じて，［値］を変更してください。

レベル

Warning

KEEW305-W

送信ユニットがデータベース連携しています。Custom 帳票コントロールの貼り付けはできません。

要因

データベースと連携している送信ユニットに，Custom 帳票コントロールを貼り付けようとしました。

対処

データベースと連携している送信ユニットは，Custom 帳票コントロールを貼り付けられません。

レベル

Warning

KEEW306-W

スクリプトが編集中です。

終了すると編集内容が無効になります。

よろしいですか？

要因

スクリプトファイルを編集している途中で，EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を終了しようとしました。

対処

編集しているスクリプトファイルの内容を無効にして，EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を終了する場合は，［はい］ボタンをクリックしてください。
スクリプトファイルの編集に戻る場合は，［いいえ］ボタンをクリックしてください。

レベル

Warning

KEEW307-W

リスト項目変更用オプション情報の設定先に指定されているエレメントの下位に，エレメントは作成できません。

帳票コントロール：帳票コントロール ID

要因

リスト項目変更用オプション情報の設定先に指定されているエレメントの下位に，エレメントを作成，または移動しようとしました。
メッセージには，「帳票コントロール：」のあとに，該当する帳票コントロール ID が表示されます。

対処

リスト項目変更用オプション情報の設定先に指定されているエレメントの下位には，エレメントを作成したり，移動したりできません。

レベル

Warning

KEEW308-W

リスト項目変更用オプション情報の設定先に指定されているエレメントおよび属性は，帳票コントロールに対応づけできません。

帳票コントロール：帳票コントロール ID

要因

メンバ一覧から帳票コントロールを作成しようとしましたが，リスト項目変更用オプション情報の設定先に指定されているエレメント，および属性でした。
メッセージには，「帳票コントロール：」のあとに，該当する帳票コントロール ID が表示されます。

対処

リスト項目変更用オプション情報の設定先に指定されているエレメント，および属性には，帳票コントロールに対応づけできません。

レベル

Warning

KEEW309-W

繰り返しグループに登録しようとしている，メンバの数が 100 **個を超えています。**

要因

繰り返しグループに登録しようとしているメンバ（帳票コントロール／グループ）

が，100 個を超えています。

対処

繰り返しグループに登録できるメンバ数は，100 個までです。繰り返しグループの登録数を見直してください。

レベル

Warning

KEEW311-W

指定された帳票コントロールは，スクリプト定義のパラメタ種別で［帳票コントロールの値］に指定されているので，繰り返しグループに登録できません。（対象）

要因

［パラメタの設定］ダイアログの「帳票コントロールの値」に指定されている帳票コントロールを，繰り返しグループに登録しようとしました。
どのダイアログから表示した［パラメタの設定］ダイアログかによって，メッセージの「(対象)」に表示される内容は次のように異なります。

［パラメタの設定］ダイアログの表示元	（対象）に表示される内容
［EUR Form 帳票 文書情報］ダイアログの［スクリプト定義］タブ	文書情報
［帳票コントロールのプロパティ］ダイアログの［スクリプト定義］タブ	帳票コントロール：ID
［グループのプロパティ］ダイアログの［スクリプト定義］タブ	グループ：ID

対処

「(対象)」が示すスクリプトのパラメタに，［パラメタの設定］ダイアログの「帳票コントロールの値」が指定されていないかを見直してください。

レベル

Warning

KEEW312-W

リスト項目変更用オプション情報の設定先が指定されている DropdownList 帳票コントロールは，繰り返しグループに登録できません。

要因

［帳票コントロールのプロパティ］ダイアログの［リスト項目変更用オプション情報の設定先］が指定されている DropdownList 帳票コントロールを繰り返しグループに登録しようとしました。

対処

繰り返しグループに登録しようとした DropdownList 帳票コントロールに，［リスト項目変更用オプション情報の設定先］が指定されていないかを見直してください。

レベル

Warning

KEEW313-W

属性アイテムが設定されている帳票コントロールは，繰り返しグループに登録できません。

要因

属性アイテムを持つメンバエレメントに関連づけられている帳票コントロールを繰り返しグループに登録しようとしました。

対処

繰り返しグループに登録しようとしている帳票コントロールに，属性アイテムが設定されていないかを見直してください。

レベル

Warning

KEEW314-W

送信ユニットがデータベース連携しています。繰り返しグループの貼り付けはできません。

要因

データベースと連携している送信ユニットに，繰り返しグループを貼り付けようとしました。

対処

データベースと連携している送信ユニットは，繰り返しグループを貼り付けられません。

レベル

Warning

23 KEEW401 ～ KEEW499

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作しているときに出力されるメッセージについて説明します。KEEW401 ～のメッセージは，テスト表示の操作に関するメッセージです。

23.1 KEEW401 ～ KEEW499 のメッセージ

23.1 KEEW401 ～ KEEW499 のメッセージ

KEEW401-W

テスト表示の初期化に失敗しました。

要因

EURFMVIW.OCX がインストールされていません。または，EURFMVIW.OCX ファイルが壊れています。

対処

EUR Developer をもう一度インストールしてください。

レベル

Warning

KEEW402-W

テスト表示できません。

［要因］メッセージ

［対象］種別：ID

要因

「［要因］メッセージ」と「［対象］種別：ID」には，次に示す EUR Form 帳票ファイルを生成できない要因と，エラーが発生した個所の情報が表示されます。

「［要因］メッセージ」に表示されるメッセージ文	「［対象］種別：ID」に表示される情報
送信ボタンが設定されていない送信ユニットがあります。	送信ユニット：送信ユニット ID
メンバが設定されていない送信ユニットがあります。	
送信ユニットに設定されていない送信ボタンがあります。	帳票コントロール：帳票コントロール ID
送信ユニットに設定されていないリセットボタンがあります。	
値が設定されていない CheckBox 帳票コントロール，または RadioButton 帳票コントロールがあります。	
スクリプト情報が設定されていないスクリプト実行ボタンがあります。	
余白部分に帳票コントロールが配置されています。	
ActiveX コントロールが設定されていない Custom 帳票コントロールがあります。	

「[要因] メッセージ」に表示されるメッセージ文	「[対象] 種別：ID」に表示される情報
送信データのプロパティ名が設定されていない Custom 帳票コントロールがあります。	
送信データの初期値に，存在しない名前空間を使用している Custom 帳票コントロールがあります。	
メンバ名が不正です。	帳票コントロール：帳票コントロール ID, または グループ：グループ ID
エレメント名が不正です。	エレメント：エレメント名 ※1
属性名が不正です。	属性：属性名 ※1
属性値が不正です。	
添付書類名称または送信ボタンのパラメタ名に，予約語が指定されています。	添付書類名称 ※2，または 送信ユニット：送信ユニット ID
指定スクリプトファイルの読み込みに失敗しました。	スクリプト：ファイルの相対パス
指定スクリプトファイルで構文エラーが発生しました。	スクリプト：ファイルの相対パス （行番号 : エラーメッセージ）
存在しないスクリプト関数名が指定されています。	帳票コントロール：帳票コントロール ID, グループ：グループ ID, または 文書情報
すべてのページが表示しない指定になっています。	ページ
繰り返しされている帳票コントロール／グループの総数が 30,000 個を超えています。総数：nn,nnn	繰り返しグループ：送信ユニット ID - メンバパス
結合されている繰り返しグループの様式（ページ）が離れています。	繰り返しグループ：繰り返しグループ ID
結合されている繰り返しグループ同士の帳票コントロール / グループの数，種別順，またはグループ中の帳票コントロールの数が同じでありません。	繰り返しグループ：繰り返しグループ ID
繰り返しグループに登録されている帳票コントロールおよび繰り返された帳票コントロールが印刷対象領域を超えています。	繰り返しグループ：繰り返しグループ ID

注※ 1

エレメント名，および属性名は，ルートからのパスで表示します。

注※ 2

「添付書類名称」の場合は，「：ID」に該当する情報は表示されません。

対処

次のように対処してください。

- 表示されたメッセージに従って，送信ユニット，または帳票コントロールの設定内容を確認してください。
- CommandButton 帳票コントロールの種別に「スクリプト実行」が設定されてい

る場合は，スクリプト情報が設定されているかどうかを確認してください。
- 添付書類名称に「_eurform_」で始まる文字列が指定されていないかどうかを確認してください。
- Custom 帳票コントロールの送信データに設定されているプロパティ名の内容を確認してください。
- 指定した名前空間が，［名前空間の設定］ダイアログの名前空間の一覧にある名称かどうか，または「xmlns:」に続く文字列と同じかどうかを確認してください。
- 属性名は「Id」ですが，属性値が ID 型として設定できる値ではありません。設定値を確認してください。
- 送信ボタンのパラメタ名に予約語「RequestXML」，または「_eurform_」で始まる文字列が指定されていないかどうかを確認してください。
- ［スクリプトファイルの指定］ダイアログの［スクリプトファイル一覧］に指定されているファイルが存在するか，または読み込み権限があるかどうかを確認してください。
- ［スクリプトファイルの指定］ダイアログの［スクリプトファイル一覧］に指定されているファイルに，構文エラーがないかどうかを確認してください。
- スクリプト関数がスクリプトファイルにあるかどうかを確認してください。
- EUR Form 帳票定義ファイルが持つページのうち，表示するページを 1 ページ以上設定してください。ページの表示状態は，［ページのプロパティ］ダイアログの［制御情報］タブで設定します。
- 一つの送信ユニットメンバに含められる帳票コントロール，およびグループの総数は 30,000 個までです。30,000 個を超える場合は，EUR Form 帳票，または送信ユニットメンバを分けるなどしてください。
- 繰り返しグループを結合する場合は，連続した様式（ページ）にある繰り返しグループ同士にしてください。
- 繰り返しグループを結合する場合は，帳票コントロール／グループの数（メンバの数），および帳票コントロール種別を同じにしてください。また，CheckBox／RadioButton 帳票コントロールをグループにしている場合は，グループ中の帳票コントロールの数も同じにしてください。
- 繰り返しグループに登録されている帳票コントロールと繰り返し機能によって生成された帳票コントロールが用紙の印刷対象領域の下側，または右側の範囲に収まるように，配置位置，繰り返し個数などを見直してください。

レベル

Warning

補足

「RequestXML」と「_eurform_」には，次に示す入力規則があります。
- 「RequestXML」
  文字列に，大文字と小文字の区別があります。
  半角英数以外の入力モードで指定したときは有効になります。
- 「_eurform_」
  文字列に，大文字と小文字の区別はありません。

半角英数以外の入力モードで指定したときは有効になります。

KEEW403-I

テスト表示を中断しました。

要因

EUR Form 帳票を表示するスクリプトの戻り値に「false」が設定されているので，［テスト表示］ダイアログに EUR Form 帳票を表示できません。

対処

［EUR Form 帳票 文書情報］ダイアログの［スクリプト定義］タブに指定したスクリプト関数の内容を確認してください。

レベル

Information

24 KEEW501 ～ KEEW599

EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を操作しているときに出力されるメッセージについて説明します。KEEW501 ～のメッセージは，データベース連携に関するメッセージです。

24.1 KEEW501 ～ KEEW599 のメッセージ

24.1　KEEW501 ～ KEEW599 のメッセージ

KEEW501-W

選択できるデータソースが存在しません。

要因

対象となるデータソースがありません。

対処

実行されているマシン環境を見直してください。

レベル

Warning

KEEW502-W

送信ユニットに設定中の XSL 情報はクリアされます。よろしいですか？

要因

XSL 情報をインポートしている送信ユニットに対して，データベース連携を設定しようとしました。

対処

処理を続行する場合は，［はい］ボタンを選択してください。送信ユニットにインポートされている XSL 情報はクリアされます。

処理を中断する場合は，［いいえ］ボタンを選択してください。

レベル

Warning

KEEW503-W

帳票コントロール（グループ）に設定中の

データベース連携情報がクリアされる場合があります。よろしいですか？

要因

データベース項目（列名）とメンバが関連づけられている送信ユニットの，データベース連携情報を変更しようとしました。

対処

処理を続行する場合は，［はい］ボタンを選択してください。メンバと関連づけた列名がデータベース項目一覧に存在しなくなった場合，またはその列名がメンバに関連づけられないデータ型に変更されている場合は，メンバ（帳票コントロール，ま

たはグループ）に設定されているデータベース項目（列名）の情報はクリアされます。
処理を中断する場合は，［いいえ］ボタンを選択してください。

レベル
Warning

KEEW504-W

指定された情報では，データソースに接続できません。

指定値を見直してください。

要因
次に示す要因によって，データソースに接続できません。
- 指定されたデータソース名では，データベースへの接続ができません。
- 指定されたユーザ ID に誤りがあります。
- 指定されたパスワードに誤りがあります。

対処
次のように対処してください。
- データソースの設定を見直してください。
- 指定したユーザ ID，およびパスワードを見直してください。
- データベースの設定，および動作状況を確認してください。

レベル
Warning

KEEW505-W

別の帳票で項目情報を設定中です。

設定が終わってから，再度実行してください。

要因
EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の操作中以外の帳票で，データベース連携の設定中です。

対処
EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）の操作中以外の帳票でデータベース連携の設定が終わったあと，再実行してください。

レベル
Warning

KEEW506-W

データベース連携に失敗しました。

要因

データベース連携に失敗しました。

対処

次のように対処してください。

- ディスクの空き容量を確認してください。
- 必要に応じて EUR Developer を再インストールしてください。

レベル

Warning

KEEW507-W

データベース連携情報をすべて削除します。よろしいですか？

要因

データベース連携を解除しようとしました。

対処

処理を続行する場合は，［はい］ボタンを選択してください。データベース連携の情報がすべて削除されます。
処理を中断する場合は，［いいえ］ボタンを選択してください。

レベル

Warning

KEEW508-W

指定されている種別の帳票コントロールは作成できません。

要因

選択された項目のデータ型と，帳票コントロールパレットで選択された帳票コントロール種別は，関連づけられません。

対処

選択した項目と帳票コントロール種別の関連づけを見直してください。データベースが持つデータ型と配置できる帳票コントロールの対応については，マニュアル「EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）」を参照してください。

レベル

Warning

KEEW509-W

データベースと連携しているメンバが含まれています。

移動するとデータベースの連携の情報がクリアされます。よろしいですか？

要因

データベースと連携しているメンバを移動しようとしました。

対処

処理を続行する場合は，［はい］ボタンを選択してください。
処理を中断する場合は，［いいえ］ボタンを選択してください。

レベル

Warning

KEEW510-W

データベースと連携している送信ユニットで，キーが設定されていない送信ユニットがあります。

データベースに対する更新および抽出操作が行えません。よろしいですか？

要因

データベースと連携している送信ユニットで，キー指定がない送信ユニットがあります。

対処

データベースに対する操作が挿入だけでよい場合は，［はい］ボタンを選択してください。
更新，および抽出をしたい場合は，［いいえ］ボタンを選択してください。

レベル

Warning

25 KEEU001 ～ KEEU099

KEEU001 ～ KEEU099 のメッセージについて説明します。

25.1　KEEU001 ～ KEEU099 のメッセージ

25.1 KEEU001 ～ KEEU099 のメッセージ

KEEU001-E

帳票ファイル名が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

帳票ファイル名が一つも指定されていません。

対処

帳票ファイル名を指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

帳票ファイル名

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_REPORTPATH

ActiveX オブジェクト

ReportFileName プロパティ，

ReportFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReportFileName メソッド（複数帳票指定の場合は

setMultiReportFileName メソッド），

setReportFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU002-E

不正なオプション（オプション名）が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

コマンドに指定したオプションが不正です。

対処

コマンドの指定を見直し，正しいオプションを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU003-E

省略不可のオプション（オプション名）が指定されていません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定されていなければならないオプションが，コマンドに指定されていません。

対処

コマンドの指定を見直し，メッセージに表示されているオプションを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU004-E

指定した出力ファイル（ファイル名）に出力できませんでした。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，ファイルへの出力ができません。

- 指定した出力先フォルダがありません。
- 指定した出力先ファイルがなく，また，その出力先フォルダには書き込み権限が

ありません。
- 指定した出力先ファイルはあるが，ファイルに書き込み権限がありません。
- ファイルの出力先デバイスに，空き容量がありません。
- 出力中の出力先ファイルに，ほかの EUR サーバ帳票出力機能からも出力しようとしました。この場合，（エラーコード）には「-2147483646」が表示されます。
- PDF 出力時または PDL 出力時に，印刷ライブラリで一時ファイルに出力できませんでした。この場合，（エラーコード）には「-2147483645」が表示されます。

対処

次のように対処してください。
- 出力先フォルダがない場合は，出力先フォルダを作成してください。
- 出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。
- 既存の出力先ファイルに上書きする場合は，ファイルに書き込み権限を与えてください。
- ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。
- 同じ出力先ファイル名を指定して，同時にほかの EUR サーバ帳票出力機能から出力しないでください。
- 一時ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

対処の参照先

eurps コマンド

/pf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pf オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

OutFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setOutFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU005-E

指定した帳票ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，帳票ファイルが読み込めません。

- 指定した帳票ファイルがありません。
- 指定した帳票ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する帳票ファイル名を指定してください。
- 指定する帳票ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

eurps コマンド

帳票ファイル名

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_REPORTPATH

ActiveX オブジェクト

ReportFileName プロパティ，

ReportFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReportFileName メソッド（複数帳票指定の場合は

setMultiReportFileName メソッド），

setReportFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU006-E

指定したデータファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，データファイルが読み込めません。

- 指定したデータファイルがありません。
- 指定したデータファイルに読み込み権限がありません。
- プリンタ出力，または EUR 形式ファイルを出力するとき，マッピングデータファイルの指定を省略して実行しようとしましたが，ユーザ定義データファイルの指定を省略したことを示すコンマ「,」の数が合っていません。

- PDF 形式ファイルを出力するとき，帳票ファイルとしおり定義ファイルを指定して実行しようとしましたが，データファイルの指定を省略したことを示すコンマ「,」の数が合っていません。

対処

次のように対処してください。

- 存在するデータファイル名を指定してください。
- 指定するデータファイルに，読み込み権限を与えてください。
- プリンタ出力，または EUR 形式ファイルを出力する場合，マッピングデータファイルの指定を省略して実行するときは，コンマ「,」の数を見直してください。
- PDF 形式ファイルを出力する場合，データファイルの指定を省略して帳票ファイルとしおり定義ファイルを指定するときは，コンマ「,」の数を見直してください。

対処の参照先

データファイル

eurps コマンド

データファイル名（マッピングデータファイル名，ユーザ定義データファイル名）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MAPDATAPATH,
EURPS_USERDATAPATH

ActiveX オブジェクト

DataFileName プロパティ,
DataFilePath プロパティ,
UserDataFileName プロパティ,
UserDataFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDataFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiDataFileName メソッド),
setDataFilePath メソッド,
setUserDataFileName メソッド（複数帳票指定の場合は
setMultiUserDataFileName メソッド),
setUserDataFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU007-E

不正な帳票ファイル（ファイル名）が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

ファイルの種類が「フォームシートファイル（*.fms）」でない帳票ファイルが指定されました。

対処

ファイルの種類が「フォームシートファイル（*.fms）」の帳票ファイルを指定してください。

なお，複数の帳票ファイルが指定されている場合は，エラーが発生した直前の帳票ファイルまでを出力します。

対処の参照先

帳票ファイル

eurps コマンド

帳票ファイル名

ActiveX オブジェクト

ReportFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReportFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiReportFileName メソッド）

レベル

Error

終了コード

12

KEEU008-E

特殊編集レベルとして認識できないデータがありました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

特殊編集レベルに，1 ～ 99 以外の値が指定されました。

対処

特殊編集レベルには，1 ～ 99 の値を指定してください。

なお，複数の帳票ファイルが指定されている場合は，エラーが発生した直前の帳票ファイルまでを出力します。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU009-E

不正なファイル名（ファイル名）が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- ファイル名の長さが上限を超えています。
- 指定するファイルの個数が正しくありません。
- ドライブ名のある相対パスが指定されました。
- ドライブ名を省略したフルパスが指定されました。

対処

次のように対処してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は，次のとおりです。
  - Windows 環境の場合
    フルパスで指定するときは 259 文字以内
    相対パス，またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
  - UNIX ／ Linux 環境の場合
    フルパスで 1,023 バイト以内
- 指定した内容を，もう一度見直してください。

対処の参照先

扱えるファイルの種類

帳票ファイル，
データファイル，
文書情報設定ファイル，
文書しおり定義ファイル，
しおり定義ファイル，
出力ファイル，
接続情報ファイル，

可変記号値定義ファイル,
EUR フォントファイル,
出力ページ情報ファイル,
置き換え表管理情報ファイル,
置き換え表ファイル,
Acrobat JavaScript ファイル,
Acrobat JavaScript 定義ファイル,
ビューアプレファレンス定義ファイル,
プリンタ定義ファイル,
透かし情報ファイル,
テスト印刷設定ファイル,
外字ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bmf オプション),
/cryf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -cryf オプション),
/dif オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -dif オプション),
/df オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -df オプション),
/jsc オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は - jsc オプション),
/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション),
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション),
/rif オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -rif オプション),
/pnf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pnf オプション),
/pvp オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pvp オプション),
/pi オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pi オプション),
/tint オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -tint オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_REPORTPATH,
EURPS_MAPDATAPATH,
EURPS_USERDATAPATH,
EURPS_DISTINFOPATH,
EURPS_MULTI_REPORTSETPATH,
EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH,
EURPS_BOOKMARKPATH,
EURPS_CRYPTOFILEPATH,
EURPS_DOCINFOPATH,
EURPS_REPLACEITEMCNTLPATH,
EURPS_REPLACEITEMPATH,
EURPS_SCRIPTFILEPATH,
EURPS_SCRIPTCNTLFILEPATH,
EURPS_VIEWERPREFERENCEFILEPATH,

EURPS_PRINTERINFPATH,
EURPS_TINTINFOPATH,
EURPS_PDL_EXGOTFONTPATH,
EURPS_PDL_EXMINFONTPATH
EURPS_GAIJIFONT

環境変数，または環境設定ファイル（ESC/P 用環境変数）

EURPS_J84MA16,
EURPS_J84MA24,
EURPS_J84MA48,
EURPS_J84MA72,
EURPS_J84MA96,
EURPS_J84MK16,
EURPS_J84MK24,
EURPS_J84MK48,
EURPS_J84MK72,
EURPS_J84MK96,
EURPS_J84GA16,
EURPS_J84GA24,
EURPS_J84GA48,
EURPS_J84GA72,
EURPS_J84GA96,
EURPS_J84GK16,
EURPS_J84GK24,
EURPS_J84GK48,
EURPS_J84GK72,
EURPS_J84GK96

ActiveX オブジェクト

BookmarkFileName プロパティ,
BookmarkFilePath プロパティ,
CryptoFileName プロパティ,
CryptoFilePath プロパティ,
DataFileName プロパティ,
DataFilePath プロパティ,
DBInfoFilePath プロパティ,
DBInfoFileName プロパティ,
DistributeFileName プロパティ,
DistributeFilePath プロパティ,
DocBookmarkFileName プロパティ,
DocInfoFileName プロパティ,

DocInfoFilePath プロパティ,
MultiFormInfoDefFileName プロパティ,
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ,
MultiReportSetFileName プロパティ,
MultiReportSetFilePath プロパティ,
OutFileName プロパティ,
PrintedPageNumberFileName プロパティ,
PrinterinfName プロパティ,
PrinterinfPath プロパティ,
ReplaceItemCntlFileName プロパティ,
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ,
ReportFileName プロパティ,
ReportFilePath プロパティ,
ScriptCntlFileName プロパティ,
ScriptCntlFilePath プロパティ,
TintInfoFileName プロパティ,
TintInfoFilePath プロパティ,
UserDataFileName プロパティ,
UserDataFilePath プロパティ,
ViewerPreferenceFileName プロパティ,
ViewerPreferenceFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setBookmarkFileName メソッド（複数帳票指定の場合は
setMultiBookmarkFileName メソッド),
setBookmarkFilePath メソッド,
setCryptoFileName メソッド,
setCryptoFilePath メソッド,
setDataFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiDataFileName メソッド),
setDataFilePath メソッド,
setDBInfoFilePath メソッド,
setDBInfoFileName メソッド,
setDistributeFileName メソッド,
setDistributeFilePath メソッド,
setDocBookmarkFileName メソッド,
setDocInfoFileName メソッド,
setDocInfoFilePath メソッド,
setMultiFormInfoDefFileName メソッド,
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド,
setMultiReportSetFileName メソッド,

setMultiReportSetFilePath メソッド,
setOutFileName メソッド,
setPrintedPageNumberFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド,
setReportFileName メソッド（複数帳票指定の場合は
setMultiReportFileName メソッド),
setReportFilePath メソッド,
setScriptCntlFileName メソッド,
setScriptCntlFilePath メソッド,
setTintInfoFileName メソッド,
setTintInfoFilePath メソッド,
setUserDataFileName メソッド（複数帳票指定の場合は
setMultiUserDataFileName メソッド),
setUserDataFilePath メソッド,
setViewerPreferenceFileName メソッド,
setViewerPreferenceFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU010-E

指定した文書情報設定ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，文書情報設定ファイルが読み込めません。

- 指定した文書情報設定ファイルがありません。
- 指定した文書情報設定ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する文書情報設定ファイル名を指定してください。
- 指定する文書情報設定ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

文書情報設定ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bmf オプション）

ActiveX オブジェクト

DocInfoFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDocInfoFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU011-E

同時に指定できないオプションが指定されています。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因があります。

- /message オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -message オプション）と /nomessage オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -nomessage オプション）が同時に指定されています。
- /pf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pf オプション）と /dsf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -dsf オプション）が同時に指定されています。
- /dsf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は - dsf オプション）と /ds オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は - ds オプション）が同時に指定されています。

対処

次のように対処してください。

- /message オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -message オプション），または /nomessage オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -nomessage オプション）のどちらかを指定してください。
- /pf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pf オプション），または /dsf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -dsf オプション）のどちらかを指定してください。
- /dsf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は - dsf オプション），または /ds オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は - ds オプション）のどちらかを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド
/message オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -message オプション），
/nomessage オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -nomessage オプション），
/pf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pf オプション），
/dsf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -dsf オプション），
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション），
/pnf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pnf オプション）

レベル
Error

終了コード
16

KEEU012-E

プリンタ定義ファイルのプリンタ（プリンタ名）で省略不可のキーワード（キーワード）が指定されていません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定されていなければならないキーワードが，プリンタ定義ファイルに指定されていません。

対処
プリンタ定義ファイルの指定を見直し，メッセージに表示されているキーワードを指定してください。

対処の参照先
プリンタ定義ファイル

レベル
Error

終了コード
16

KEEU013-E

プリンタ定義ファイルのプリンタ（プリンタ名）に不正なプリンタ定義情報（キーワード）が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

プリンタ定義ファイルに指定されているキーワードの値が正しくありません。

対処

キーワードに指定する値を見直し，正しい値を指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

レベル

Error

終了コード

16

KEEU014-E

指定した仕分け定義情報ファイル（仕分け定義情報ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，仕分け定義情報ファイルが読み込めません。

- 指定した仕分け定義情報ファイルがありません。
- 指定した仕分け定義情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する仕分け定義情報ファイル名を指定してください。
- 指定する仕分け定義情報ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/ds オプション

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_DISTINFOPATH

ActiveX オブジェクト

DistributeFileName プロパティ，

DistributeFilePath プロパティ，

DistributionInfoFile プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributeFileName メソッド,
setDistributeFilePath メソッド,
setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU015-E

指定した仕分け定義ファイル（仕分け定義ファイル名）のフォーマットが不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定した仕分け定義ファイルが壊れています。

対処

仕分け定義ファイルを編集し直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/ds オプション

ActiveX オブジェクト

DistributionInfoFile プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU019-E

指定した仕分け定義情報ファイル（仕分け定義情報ファイル名）に定義されているキーフィールドが帳票中に存在しません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定した仕分け定義情報ファイルに定義されているキーフィールドと，帳票中のフィールドの対応が取れていません。

対処

仕分け定義情報ファイルの定義内容を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/ds オプション

ActiveX オブジェクト

DistributeFileName プロパティ，
DistributionInfoFile プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributeFileName メソッド，
setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU020-E

指定した仕分け定義情報ファイル（仕分け定義情報ファイル名）の指定内容に誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定した仕分け定義情報ファイルには，次のような要因があります。

JP1 と連携して仕分け印刷する場合

- 仕分けプリンタでないプリンタが指定されています。
- 無効なプリンタが指定されています。

- 指定した配布先情報がありません。
- 指定した配布先情報が EUR サーバ帳票出力機能の実行ユーザが定義したものではありません。
- 仕分けキーフィールドのデータが，帳票中のキーフィールドのデータと一つも一致しません。
- 印刷ページ数が 65,534 ページを超えています。

PDF 形式ファイルを仕分け出力する場合

- 仕分け定義情報ファイルに何も記述されていません。
- 指定したユーザパスワードの文字列が，32 バイト（Shift JIS でのバイト）を超えています。
- 指定したユーザパスワードに，指定できない文字が使われています。
- 出力先ファイル名の指定がありません。
- 指定したキー数と仕分けキーフィールドの数が合いません。
- 指定したキー数と仕分けキーフィールドのデータ数が合いません。
- 指定した「仕分けキーフィールド名のデータ」とすべて同じ行が複数指定されています。
- 仕分けキーフィールド名が複数指定されています。

対処

仕分け定義情報ファイルの指定内容を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/ds オプション

ActiveX オブジェクト

DistributeFileName プロパティ，
DistributionInfoFile プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributeFileName メソッド，
setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU023-E

Windows 環境の場合：不正なトレイコードが指定されました。

UNIX ／ Linux 環境の場合：不正なカセット番号が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

- **Windows 環境の場合**
  Windows 対応プリンタで使用できないトレイコードが指定されています。
- **UNIX ／ Linux 環境の場合**
  カセット番号の指定で，1 〜 n（プリンタ定義ファイルのキーワード Cassettes で指定した値）以外の値が指定されています。

対処

次のように対処してください。

- **Windows 環境の場合**
  給紙トレイ一覧ツールを実行してください。給紙トレイ一覧ツールの実行ファイル「Eurtyl.exe」は，次のどれかのフォルダの下にあります。
  ・EUR Developer のインストール先フォルダ ¥EUR Print Service¥Program¥
  ・EUR Print Service のインストール先フォルダ ¥Program¥
  ・EUR Print Service Enterprise のインストール先フォルダ ¥Program¥
  表示された［給紙トレイ一覧］ダイアログから，出力先プリンタの給紙トレイ名と，対応する給紙トレイコードの一覧が表示されます。正しいトレイコードを指定してください。
- **UNIX ／ Linux 環境の場合**
  カセット番号には，1 〜 n（プリンタ定義ファイルのキーワード Cassettes で指定した値）の値を指定してください。カセット番号が正しい場合は，プリンタ定義ファイルのキーワード Cassettes の設定値を見直し，正しい値を指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド
　/tc オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -tc オプション）

ActiveX オブジェクト
　TrayCode プロパティ

JavaBeans 起動部品
　setTrayCode メソッド

レベル

Error

終了コード

16

KEEU024-E

指定したフォントファイル（フォントファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

Windows，HP-UX，AIX の場合に表示されるメッセージです。

次に示す要因によって，外字ファイル（*.tte）またはフォントファイル（*.pcf）が読み込めません。

- 指定した外字ファイルまたはフォントファイルがありません。
- 指定した外字ファイルまたはフォントファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する外字ファイル名またはフォントファイル名を指定してください。
- 指定する外字ファイルまたはフォントファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_GAIJIFONT,
EURPS_PDL_EXMINFONTPATH,
EURPS_PDL_EXGOTFONTPATH

環境変数，または環境設定ファイル（ESC/P 用環境変数）

EURPS_J84MA16,
EURPS_J84MA24,
EURPS_J84MA48,
EURPS_J84MA72,
EURPS_J84MA96,
EURPS_J84MK16,
EURPS_J84MK24,
EURPS_J84MK48,
EURPS_J84MK72,
EURPS_J84MK96,
EURPS_J84GA16,
EURPS_J84GA24,
EURPS_J84GA48,
EURPS_J84GA72,
EURPS_J84GA96,
EURPS_J84GK16,

EURPS_J84GK24,
EURPS_J84GK48,
EURPS_J84GK72,
EURPS_J84GK96

レベル

Error

終了コード

8

KEEU025-E

指定した文書しおり定義ファイルまたはしおり定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，文書しおり定義ファイル，またはしおり定義ファイルのどちらかが読み込めません。

- 指定した文書しおり定義ファイル名，またはしおり定義ファイルがありません。
- 指定した文書しおり定義ファイル名，またはしおり定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する文書しおり定義ファイル名，またはしおり定義ファイル名を指定してください。
- 指定する文書しおり定義ファイル名，またはしおり定義ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

文書しおり定義ファイル

しおり定義ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bmf オプション），
しおり定義ファイル名

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_BOOKMARKPATH

ActiveX オブジェクト

BookmarkFileName プロパティ，

BookmarkFilePath プロパティ，
DocBookmarkFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品
setBookmarkFileName メソッド（複数帳票指定の場合は
setMultiBookmarkFileName メソッド），
setBookmarkFilePath メソッド，
setDocBookmarkFileName メソッド

レベル
Error

終了コード
8

KEEU026-E

オプション（オプション名）が指定されていません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
/bmf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bmf オプション），またはしおり定義ファイル名を指定しているのに，/bm オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bm オプション）が指定されていません。

対処
しおり付き PDF 形式ファイルを出力する場合は，/bm オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bm オプション）を指定してください。
/bm オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bm オプション）を指定しないと，/bmf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bmf オプション）の文書しおり定義ファイル名，またはしおり定義ファイル名を指定しても，しおり付き PDF 形式ファイルに出力しません。

対処の参照先
eurps コマンド
/bm オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bm オプション）

レベル
Error

終了コード
16

KEEU027-E

指定したしおり定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- しおり定義ファイルに，キーワードの指定がありません。
- キーワード NAME が複数行指定されています。
- キーワード BREAKFLD が 6 行以上指定されています。
- キーワード BREAKFLD に，同一のフィールド名が指定されています。
- キーワード NAME，および BREAKFLD のオプション指定に誤りがあります。
- しおり定義ファイルに，NAME と BREAKFLD 以外のキーワードが指定されています。

対処

しおり定義ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

しおり定義ファイル

eurps コマンド

しおり定義ファイル名

ActiveX オブジェクト

BookmarkFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setBookmarkFileName メソッド（複数帳票指定の場合は setMultiBookmarkFileName メソッド）

レベル

Error

終了コード

12

KEEU028-E

指定した文書しおり定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 文書しおり定義ファイルに，キーワードの指定がありません。
- キーワード TITLE が複数行指定されています。
- キーワード SCALE が複数行指定されています。
- キーワード BOOKMARK が複数行指定されています。
- キーワード TITLE，SCALE，および BOOKMARK のオプション指定に誤りがあります。
- しおり定義ファイルに，TITLE，SCALE，BOOKMARK 以外のキーワードが指定されています。

対処

文書しおり定義ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

文書しおり定義ファイル

eurps コマンド

/bmf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -bmf オプション）

ActiveX オブジェクト

DocBookmarkFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDocBookmarkFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU029-E

指定した暗号化設定ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，暗号化設定ファイルが読み込めません。

- 指定した暗号化設定ファイルがありません。
- 指定した暗号化設定ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する暗号化設定ファイルを指定してください。

- 指定する暗号化設定ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

eurps コマンド

/cryf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -cryf オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_CRYPTOFILEPATH

ActiveX オブジェクト

CryptoFileName プロパティ，
CryptoFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setCryptoFileName メソッド，
setCryptoFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU030-E

指定した暗号化設定ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 暗号化設定ファイルに，キーワードの指定がありません。
- キーワード OwnerPassword に文字列（パスワード）が指定されていないのに，キーワード DisablePrint，DisableChange，DisableCopy，および DisableAdd のオプションが指定されています。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword のどちらにも文字列（パスワード）が指定されていません。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword に指定する文字列（パスワード）の長さが，32 バイト（Shift JIS でのバイト）を超えています。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword の文字列（パスワード）に指定できる文字以外の文字が指定されています。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword が複数指定されています。
- キーワード DisablePrint，DisableChange，DisableCopy，および DisableAdd の

オプション指定に誤りがあります。
- 暗号化設定ファイルに，OwnerPassword，UserPassword，DisablePrint，DisableChange，DisableCopy，DisableAdd，および EncryptionMode 以外のキーワードが指定されています。
- キーワード EncryptionMode の指定値が正しく指定されていません。

対処

次のように対処してください。
- 暗号化設定ファイルの指定内容を確認してください。
- キーワード DisablePrint，DisableChange，DisableCopy，および DisableAdd のオプションを指定する場合は，キーワード OwnerPassword に文字列（パスワード）を指定してください。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword のどちらかに，文字列（パスワード）を指定してください。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword に指定する文字列（パスワード）の長さは，32 バイト（Shift JIS でのバイト）までです。
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword の文字列（パスワード）に指定できる文字は，次のとおりです。
  半角数字：0 ～ 9
  半角英字：A ～ Z　a ～ z
  半角記号：! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
  半角空白
- キーワード OwnerPassword，または UserPassword は，一つだけ指定してください。
- キーワード DisablePrint，DisableChange，DisableCopy，および DisableAdd に指定するオプションは，大文字と小文字を区別しています。「Yes」または「No」で指定してください。
- キーワード EncryptionMode に指定するオプションは，全角文字と半角文字を区別しています。「1」または「2」で指定してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

eurps コマンド

/cryf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -cryf オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_CRYPTOFILEPATH

ActiveX オブジェクト

CryptoFileName プロパティ，
CryptoFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setCryptoFileName メソッド，

setCryptoFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
12

KEEU031-E

指定した PDF 仕分け定義ファイルに該当するデータの定義がありません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
PDF 形式ファイルを仕分け出力するとき，指定された PDF 仕分け定義ファイルに一致するデータが定義されていません。

対処
PDF 仕分け定義ファイルの指定内容を確認してください。
- 指定したキーフィールド名が合っているかどうかを確認してください。
- 指定したキーフィールドのデータ値が合っているかどうかを確認してください。

対処の参照先
PDF 仕分け定義ファイル

レベル
Error

終了コード
12

KEEU032-E

PDF 仕分け出力時，出力するファイル（ファイル名）は既に存在します。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
次に示す要因が考えられます。
- 出力するファイルがすでにあります。
- PDF 仕分け定義ファイルに，同じ出力ファイル名が指定されています。
- PDF 仕分け定義ファイルに指定されているキーフィールドに不具合があるため，すでに出力したファイル名で出力しようとしました。

対処

PDF 仕分け定義ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU033-E

オーナパスワードおよびユーザパスワードの指定がありません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

PDF 形式ファイルの暗号化を行う指定に対して，暗号化設定ファイル，および PDF 仕分け定義ファイルの中に，オーナパスワード，およびユーザパスワードの指定がありません。

対処

次のように対処してください。

- PDF 形式ファイルを暗号化仕分け出力する場合
  暗号化設定ファイルと PDF 仕分け定義ファイルの指定内容を確認してください。
- PDF 形式ファイルを暗号化する場合
  暗号化設定ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU034-E

オーナパスワードとユーザパスワードには同じパスワードを指定できません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

PDF 形式ファイルの暗号化を行う指定に対して，暗号化設定ファイル，および PDF 仕分け定義ファイルの中で，オーナパスワードとユーザパスワードに同じパスワードが指定されています。

対処

次のように対処してください。

- PDF 形式ファイルを暗号化仕分け出力する場合
  暗号化設定ファイルのオーナパスワードと PDF 仕分け定義ファイルのユーザパスワードの指定内容を確認してください。
- PDF 形式ファイルを暗号化する場合
  暗号化設定ファイルのオーナパスワードとユーザパスワードの指定内容を確認してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 仕分け定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU035-E

指定した帳票セット指定ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，帳票セット指定ファイルが読み込めません。

- 指定した帳票セット指定ファイルがありません。
- 指定した帳票セット指定ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する帳票セット指定ファイルを指定してください。
- 指定する帳票セット指定ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ，

MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド，

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU036-E

指定した帳票セット指定ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，EUR の起動処理を中止します。

- 指定された帳票セット指定ファイルの内容に誤りがあります。
- 帳票セットが一つも指定されていません。
- 帳票セットの指定のうち，帳票ファイル名が指定されていません。

対処

帳票セット指定ファイルの指定内容を確認したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ,
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド,
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU037-E

指定した複数様式情報定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，複数様式情報定義ファイルが読み込めません。

- 指定した複数様式情報定義ファイルがありません。
- 指定した複数様式情報定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する複数様式情報定義ファイルを指定してください。
- 指定する複数様式情報定義ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ,
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
8

KEEU038-E

指定した複数様式情報定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラー番号：nn　行：yy）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
このメッセージは，「(エラー番号：nn)」に示されたエラー番号によって要因が異なります。複数様式情報定義ファイルに不正行が一つある場合は，エラー番号のあとに，不正行を「行：yy」で示します。不正行が複数ある場合は，エラー番号だけを表示します。
エラー番号とその要因を次に示します。

表 25-1　エラー番号と要因

エラー番号	要　因
1	必ず指定するキーワードの指定がありません。 • group 文（様式グループ番号の指定）の指定がありません。 • formfilename 文（帳票ファイル名の指定），または subgroup 文（サブ様式グループ番号の指定）の指定がありません。
2	不正なキーワードが指定されました。
3	区切り文字の数が不正です。
4	オペランドに数字以外の文字が指定されました。 • group に指定する様式グループ番号の値が，数字（整数）でありません。

エラー番号	要　因
5	オペランドの指定が不正です。 • {} の対応が取れていません。 • キーワードのオプション指定に誤りがあります。 • group 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に，KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 • subgroup 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に，KBNF 以外の値が指定されています。 • 様式間遷移条件（formtransfercondition）のキーブレイク改ページ指定（keybreaktopform）に，ON または OFF 以外の値が指定されています。 • group 文の様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）に，NPNF，KBNF または EOFN 以外の値が指定されています。 • subgroup 文の様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）に，NPNF，または KBNF 以外の値が指定されています。 • 様式遷移条件（formfilename）の両面印刷空白ページ挿入指定（printnewpaper）に，ON または OFF 以外の値が指定されています。 • 様式遷移条件（formfilename）のページ番号リセット指定（resetpagenumber）に，ON または OFF 以外の値が指定されています。 • 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF が指定されていますが，様式遷移条件（formfilename）の遷移条件（transfercondition）には EOFN が指定されています。 • group 文と subgroup 文の様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）のフィールド名（fieldname）に同じ文字列が指定されています。
6	ファイルの途中で EOF を検出しました。
7	キーワードが複数指定されました。
8	グループ番号が昇順に指定されていません。 • 複数様式グループ内の様式グループ番号（group）が昇順になっていません。 • group 文の中に複数のサブ様式グループが指定されている場合，サブ様式グループ番号（subgroup）が group 文の中で昇順になっていません。
9	フィールド名の指定が要らないのに，フィールド名が指定されています。 • 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に EOFN が指定されていますが，キーブレイク対象フィールド（fieldname）に指定があります。 • 様式間遷移条件（formtransfercondition）のキーブレイク改ページ指定（keybreaktopform）に OFF が指定されていますが，キーブレイク対象フィールド（fieldname）に指定があります。
10	フィールド名の指定が要るのに，フィールド名が指定されていません。 • 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF が指定されていますが，キーブレイク対象フィールド（fieldname）の指定がありません。
11	不正な給紙トレイ番号が指定されました。

エラー番号	要　因
12	同時に指定できないキーワードが指定されました。 • group 文（様式ファイル名の指定）の中に subgroup 文（サブ様式グループ番号の指定）と formfilename 文（様式ファイル名の指定）が同時に指定されています。 • group 文（様式ファイル名の指定）の中に subgroup 文（サブ様式グループ番号の指定）と formtransfercondition 文（様式間遷移条件の指定）が同時に指定されています。

対処

複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU039-E

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイル間で記述に誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

• 複数様式情報定義ファイルの formfilename に記述されている様式ファイル名（帳票ファイル名）と，帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票

ファイル名が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの formfilename に記述されている様式ファイル（帳票ファイル名）と，帳票セット指定ファイルの帳票セットに記述されている帳票ファイルの数が異なります。
- 複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename に記述されている様式ファイル（帳票ファイル名）に対応しているデータファイル（マッピングデータファイル，ユーザ定義データファイル）が異なります。

対処

帳票セット指定ファイルと複数様式情報定義ファイルの記述を見直したあと，プログラムを再度実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション），
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH，
EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ，
MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド，
setMultiReportSetFileName メソッド，
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU040-E

複数様式帳票で仕分け機能の指定に誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 各様式ファイル（帳票ファイル）での仕分けフィールド名が異なります。
- 各様式ファイル（帳票ファイル）での仕分けフィールドの属性が異なります。
- 仕分けフィールドの設定がない様式が混在しています。

対処

複数様式帳票を仕分け出力する場合は，すべての様式が同一の仕分けフィールド名称であり，かつ同一のデータ属性が定義されているときに出力されます。
各様式ファイルの設定内容を見直したあと，再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU041-E

複数様式帳票でしおり定義ファイルに異なるファイルが指定されています。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 様式グループ内の様式で，しおり定義ファイルに同じファイルを指定していません。
- 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF（キーブレイク改ページ）が指定されていますが，同一のしおり定義ファイルが指定されていません。
- 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に EOFN（ファイル終端）が指定されていますが，様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが指定されていません。

対処

次のように対処してください。

- 様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが定義されているかどうかを見直してください。
- 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF（キーブレイク改ページ）が指定されている場合，すべての様式で同一のしおり定義ファイルが定義されていないと出力しません。すべての様式で同一のしおり定義ファイルが定義されているかどうかを見直してください。
- 様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に EOFN（ファイル終端）が指定されている場合，様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが定義されていないと出力しません。様式グループ内で同一のしおり定義ファイルが定義されているかどうかを見直してください。

対処の参照先

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU042-E

様式グループ内では集計行の指定は統一してください。（エラー番号）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の formfilename が複数記述されている帳票ファイル（フォームシートファイル）に集計行が指定されていますが，各帳票ファイルで次の要因のどれかについて異なる定義がされています。

表 25-2　エラー番号と要因

エラー番号	要因
01	総集計の指定の有無が統一されていません。
02	キー集計の指定の個数が統一されていません。
03	キー集計のキーに指定したアイテムの数が統一されていません。
04	キー集計のキーに指定したアイテムのフィールド名が統一されていません。
05	ページ集計の指定の有無が統一されていません。
06	「1 件のときキー集計行を生成しない」の指定の有無が統一されていません。

ただし，集計ページの指定，集計行の位置固定の指定については，各帳票ファイルで異なっていても正しく出力されます。

対処

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の帳票ファイルが指定されており，かつ各帳票ファイルに集計行がある場合は，上記の要因に記述した集計行の指定が同じになるようにフォームシートファイルの設定を見直してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド，
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
12

KEEU043-E

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は，フォームシートで指定するキーブレイクは統一してください。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが，各様式ファイル（帳票ファイル）で異なるキーブレイクが指定されています。

対処
複数様式情報定義ファイルの様式グループ内に複数の様式ファイルが指定されており，かつ各様式ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は，同じキーで改ページされるように帳票ファイルの設定を見直してください。

対処の参照先
帳票セット指定ファイル
複数様式情報定義ファイル
eurps コマンド
/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション），
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）
環境変数，または環境設定ファイル
EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH，
EURPS_MULTI_REPORTSETPATH
ActiveX オブジェクト
MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ，
MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ
JavaBeans 起動部品
setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド，
setMultiReportSetFileName メソッド，

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU044-E

様式グループ遷移条件または様式間遷移条件の指定に KBNF が指定されているが，フォームシートにキーブレイクの指定がありません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

複数様式情報定義ファイルの様式グループ内の transfercondition に記述されている遷移条件に KBNF が指定されていますが，様式ファイル（帳票ファイル）にキーブレイクが指定されていません。

対処

複数様式情報定義ファイルの transfercondition に遷移条件「KBNF」を指定する場合は，キーブレイクが指定されている帳票ファイルを指定してください。また，指定する帳票ファイルは，同じキーで改ページされるように設定されているかどうかを見直してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション），
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH，
EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ，
MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド,
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド,
setMultiReportSetFileName メソッド,
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU046-E

複数様式で指定されたデータファイルのプロパティに誤りがあります。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- ［データのプロパティ］ダイアログ－［データ情報］タブで設定する「空レコードを無視する」指定が統一されていません。
- ［データのプロパティ］ダイアログ－［データ情報］タブで設定する「文字コード（0x00）だけのレコードを無視する」指定が統一されていません。
- 基準レコード位置の指定が統一されていません。
- 基準レコード幅に 1 以外の値が指定されています。

対処

複数のデータファイルを指定して，複数様式で帳票出力する場合は，データファイルのデータ情報を合わせてください。
また，基準レコード幅を設定した帳票は，複数様式では出力できません。基準レコード幅の値は「1」を指定してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ,
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド，
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU047-E

様式グループの遷移条件に KBNF が指定されているが，複数様式情報定義ファイルでのキーブレイク指定が統一されていません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

様式グループ内，またはサブ様式グループ内で，様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF（キーブレイク改ページ）が指定されていますが，様式ファイル名に対する遷移条件（transfercondition）とキーブレイク対象フィールド名（fieldname）が対応していないので，EUR の起動処理を中断します。

対処

様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定する場合は，様式グループ内，またはサブ様式グループ内に指定する fieldname には，同じキーブレイク対象フィールド名を指定し，様式ファイル名に対する遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド

/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション），
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH，
EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ，

MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド，
setMultiReportSetFileName メソッド，
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU048-E

複数様式では帳票ヘッダ領域の指定はできません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイルを，複数様式で出力しようとしました。

対処

帳票ヘッダ領域のある帳票ファイルは，複数様式での出力はできません。帳票ファイルを編集し直すか，帳票ヘッダ領域が設定されていない帳票を指定したあと，再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト

MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setMultiReportSetFileName メソッド，
setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
12

KEEU049-E

様式遷移条件に KBNF を指定する場合は，フォームシートで指定するフィールド属性は統一してください。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定された帳票ファイルが，同じキーフィールドの属性で改ページするように設計されていないので，EUR の起動処理を中断します。

対処
様式グループ遷移条件（grouptransfercondition）の遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定する場合は，様式グループ内に指定する fieldname には，同じフィールド属性のキーブレイク対象フィールド名を指定し，様式ファイル名に対する遷移条件（transfercondition）に KBNF を指定してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

複数様式情報定義ファイル

eurps コマンド
/mfd オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mfd オプション），
/mrs オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -mrs オプション）

環境変数，または環境設定ファイル
EURPS_MULTIFORM_INFODEFPATH，
EURPS_MULTI_REPORTSETPATH

ActiveX オブジェクト
MultiFormInfoDefFileName プロパティ，
MultiFormInfoDefFilePath プロパティ，
MultiReportSetFileName プロパティ，
MultiReportSetFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品
setMultiFormInfoDefFileName メソッド，
setMultiFormInfoDefFilePath メソッド，
setMultiReportSetFileName メソッド，

setMultiReportSetFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
12

KEEU050-E

アイテム枠の指定した桁数を超えるデータが指定されています。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
出力されるデータが，アイテム枠内に収まっていません。

対処
次のように対処してください。
- 入力データの桁数が，正しいかどうかを確認してください。
- EUR 帳票作成機能のレポート編集ウィンドウで，アイテム枠に指定した桁数を増やすなどの編集をして，入力データが表示されるようにしてください。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU053-E

指定した接続情報ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
次に示す要因によって，接続情報ファイルが読み込めません。
- 指定した接続情報ファイルがありません。
- 指定した接続情報ファイルに読み込み権限がありません。

対処
次のように対処してください。
- 存在する接続情報ファイル名を指定してください。
- 指定する接続情報ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

接続情報ファイル

eurps コマンド

/dif オプション（UNIX ／ Linux の場合は -dif オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_DBINFOPATH

ActiveX オブジェクト

DBInfoFileName プロパティ，

DBInfoFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDBInfoFileName メソッド，

setDBInfoFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU054-E

指定した可変記号値定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，可変記号値定義ファイルが読み込めません。

- 指定した可変記号値定義ファイルがありません。
- 指定した可変記号値定義ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する可変記号値定義ファイル名を指定してください。
- 指定する可変記号値定義ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

可変記号値定義ファイル

レベル

Error

終了コード

8

KEEU055-E

指定した接続情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：キーワード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

接続情報ファイルの内容が不正です。
このメッセージは「エラーコード」に示されたエラーコードによって要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

表 25-3　エラーコードと要因

エラーコード	要　因
1	「キーワード」に示されたキーワードが指定されていません。
2	•「キーワード」に示されたキーワードの値が不正です。 •「キーワード」に示されたキーワードに値が指定されていません。
3	不正な「キーワード」が指定されました。
4	「キーワード」のキーワードが複数指定されました。
5※	「キーワード = 値」の形式で指定されていません。

注※　エラーコード「5」のときは，キーワードは表示されません。
キーワードには，次に示すキーワードのどれかが表示されます。

- DABrokerHost
- DBType
- SendBufferSize
- TimeoutInterval
- Hostname
- ConnectInfoUser
- Password
- QueryExclusiveString
- EncryptPassword

対処

次のように対処してください。

- キーワードの指定を見直してください。
-「キーワード = 値」の書式で指定してください。

対処の参照先

接続情報ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU056-E

指定した可変記号値定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。（エラーコード：変数名）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

可変記号値定義ファイルの内容が不正です。

なお，このメッセージは「(エラーコード)」に示されたコード番号によって要因の詳細が異なります。コード番号とその要因を次に示します。

表 25-4　コード番号と要因

コード番号	要　因
1	「変数名」に示す未知の変数名が指定されています。
2	「変数名」に示す変数に変数値が指定されていません。
3	「可変記号名 = 可変記号値」の書式で指定されていません。
4	「変数名」に示す変数に使用できない可変記号値が使用されています。

EURPS ログファイルに，要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと，その要因を次に示します。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	有効範囲を超えた値が指定されました。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	• 文字定数の中のアポストロフィが二つ続けて指定されていません。 • 文字列なしの定数（''）が指定されました。
指定された値は列の属性と合っていません	指定された値は列の属性と合いません。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	有効範囲を超えた値が指定されました。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	列の定義長または指定範囲を超えています。

対処

次のように対処してください。

- 可変記号名の指定を見直してください。
- 「可変記号名 = 可変記号値」の書式で指定してください。
- 可変記号値の指定を見直してください。
- EURPS ログファイルに表示されたメッセージによって，次のように対処してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
数値データのけた落ちが発生しました	値を範囲内で指定してください。
アポストロフィの指定方法に誤りがあります	• アポストロフィを文字データとして使う場合は，二つ続けて指定してください。 • 文字列を指定してください。
指定された値は列の属性と合っていません	値を変更して，列の属性と合わせてください。
指定された値は指定できる有効範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。
指定された値は列の定義長又は指定範囲を超えています	値の範囲内で指定してください。

各条件の設定できる値については，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

対処の参照先

可変記号値定義ファイル

レベル

Error

終了コード

12

KEEU059-E

指定した出力ページ情報ファイル（ファイル名）に出力できません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，出力ページ情報ファイルへの出力ができません。

- 指定した出力先ファイルがなく，また，その出力先フォルダには書き込み権限がありません。
- 指定した出力先ファイルはあるが，ファイルに書き込み権限がありません。
- ファイルの出力先デバイスに，空き容量がありません。

対処

次のように対処してください。

- 出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。
- 既存の出力先ファイルに上書きする場合は，ファイルに書き込み権限を与えてください。
- ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

対処の参照先

eurps コマンド

/pnf オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -pnf オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_TRACE

ActiveX オブジェクト

PrintedPageNumberFileName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setPrintedPageNumberFileName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU060-E

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，置き換え表管理情報ファイルが読み込めません。

- 指定した置き換え表管理情報ファイルがありません。
- 指定した置き換え表管理情報ファイルはあるが，ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。
- 指定する置き換え表管理情報ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

eurps コマンド

/rif オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -rif オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_REPLACEITEMCNTLPATH

ActiveX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ，
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU061-E

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，置き換え表ファイルが読み込めません。

- 指定した置き換え表ファイルがありません。
- 指定した置き換え表ファイルはあるが，ファイルに読み込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する置き換え表ファイル名を指定してください。
- 指定する置き換え表ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_REPLACEITEMPATH

ActiveX オブジェクト

ReplaceItemCntlFileName プロパティ,
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU062-E

指定した置き換え表管理情報ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 置き換え表名のサイズが上限を超えています。
- 置き換え表ファイル名のサイズが上限を超えています。
- 置き換え表ファイル名がフルパス，または相対パスで指定されています。
- データエントリが 0 件です。
- データエントリはありますが，1 行のデータに奇数個の引用符（"）が指定されています。
- データエントリはありますが，置き換え表名が指定されていないデータがあります。
- データエントリはありますが，置き換え表ファイル名が指定されていないデータがあります。
- 置き換え表名，または置き換え表ファイル名の中に改行コードが指定されています。

対処

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は，次のとおりです。
  ・Windows 環境の場合
  フルパスで指定するときは 259 文字以内
  相対パス，またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
  ・UNIX ／ Linux 環境の場合
  フルパスで 1,023 バイト以内
- データは 1 件以上エントリしてください。
- データの引用符は，対になるように偶数個指定してください。
- 指定した内容を，もう一度見直してください。

対処の参照先

置き換え表管理情報ファイル

eurps コマンド
　置き換え表管理情報ファイル名

環境変数，または環境設定ファイル
　EURPS_REPLACEITEMCNTLPATH

ActiveX オブジェクト
　ReplaceItemCntlFileName プロパティ，

ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品

setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU063-E

指定した置き換え表ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- キーデータ，または置き換えデータのサイズが上限を超えています。
- キーデータ，または置き換えデータの中に改行コードが指定されています。
- データエントリが 0 件です。
- データエントリはありますが，キーデータが指定されていないデータがあります。
- データエントリはありますが，置き換えデータが指定されていないデータがあります。
- キーデータと置き換えデータがコンマで区切られていないデータがあります。

対処

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は，次のとおりです。
  - Windows 環境の場合
    フルパスで指定するときは 259 文字以内
    相対パス，またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
  - UNIX ／ Linux 環境の場合
    フルパスで 1,023 バイト以内
- データの引用符は，対になるように偶数個指定してください。
- データは 1 件以上エントリしてください。
- 指定した内容を，もう一度見直してください。

対処の参照先

置き換え表ファイル

環境変数，または環境設定ファイル
EURPS_REPLACEITEMPATH

ActiveX オブジェクト
ReplaceItemCntlFileName プロパティ,
ReplaceItemCntlFilePath プロパティ

JavaBeans 起動部品
setReplaceItemCntlFileName メソッド,
setReplaceItemCntlFilePath メソッド

レベル
Error

終了コード
12

KEEU064-E

暗号処理に失敗しました。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
暗号処理に失敗しました。

対処
出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
32

KEEU066-E

指定した Acrobat JavaScript ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定した Acrobat JavaScript ファイルが開けません。

対処
- 存在する Acrobat JavaScript ファイル名を指定してください。
- Acrobat JavaScript ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU067-E

指定した Acrobat JavaScript 定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定した Acrobat JavaScript 定義ファイルが開けません。

対処
- 存在する Acrobat JavaScript 定義ファイル名を指定してください。
- Acrobat JavaScript 定義ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU068-E

指定した Acrobat JavaScript 定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
次に示す要因が考えられます。
- イベント名が不正です。
- Acrobat JavaScript 定義ファイル名が指定されていません。
- イベント名が重複しています。

対処
- 正しいイベント名を指定してください。
- 正しい Acrobat JavaScript 定義ファイル名を指定してください。
- イベント名と Acrobat JavaScript 定義ファイル名は，必ず 1 対 1 で指定してください。
- 重複しているイベント名を変更してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU069-E

指定したビューアプレファレンス定義ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定したビューアプレファレンス定義ファイルが開けません。

対処
- 存在するビューアプレファレンス定義ファイルを指定してください。
- ビューアプレファレンス定義ファイルに読み込み権限を与えてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU070-E

指定したビューアプレファレンス定義ファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
次に示す要因が考えられます。
- キー名が不正です。
- 設定値が不正です。
- キー名が重複しています。

対処
- 正しいキー名を指定してください。
- 正しい設定値を指定してください。
- 重複しているキー名を変更してください。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU075-E

バーコードパターンファイル（ファイル名）を入力できません。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定されたファイルの入力処理でエラーが発生しました。

対処
- 存在するバーコードパターンファイルを指定してください。
- バーコードパターンファイルに読み込み権限を付けてください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU076-E

バーコードパターンファイル（ファイル名）が不正です。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
指定されたバーコードパターンファイルの内容に誤りがあります。

対処
バーコードパターンファイルの内容を見直してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU077-E

プリンタ（プリンタ名）とバーコードパターンファイル（ファイル名）が適合しません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定されたプリンタに対応したバーコードパターンファイルがありません。

対処

正しいバーコードパターンファイルを指定してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU078-E

指定したプリンタ定義ファイル (ファイル名) が読み込めません。(エラーコード)

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，プリンタ定義ファイルが読み込めません。

- 指定したプリンタ定義ファイルがありません。
- コマンドを実行するユーザが，指定したプリンタ定義ファイルを読み込む権限を持っていません。

対処

次のように対処してください。

- 存在するプリンタ定義ファイルを指定してください。
- 指定するプリンタ定義ファイルに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_PRINTERINFPATH

ActiveX オブジェクト

PrinterinfName プロパティ，

PrinterinfPath プロパティ

レベル

Error

終了コード

8

KEEU079-E

指定したプリンタ (プリンタ名) では，文字幅計算方法に動的モードを指定できません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

文字幅計算方法に動的モードを指定して，PostScript Level2 対応プリンタで出力しようとしました。
PostScript Level2 対応プリンタは，文字幅計算方法に動的モードを指定できません。

対処

出力するプリンタを変更するか，文字幅計算方法を静的モードに変更したあと，再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

対処の参照先

帳票セット指定ファイル

eurps コマンド

/fwm オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -fwm オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_FONT_WIDTH_MODE

ActiveX オブジェクト

FontWidthMode プロパティ

JavaBeans 起動部品

setFontWidthMode メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU080-E

指定した透かし情報ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，透かし情報ファイルが読み込めません。

- 指定した透かし情報ファイルが開けません。

- 指定した透かし情報ファイルのパスが間違っています。

対処

- 存在する透かし情報ファイルを指定してください。
- 透かし情報ファイルに読み込み権限を与えてください。
- 正しいパスを指定してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU081-E

指定した透かし情報ファイル (ファイル名) の内容が不正です。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因が考えられます。

- キー名が不正です。
- 設定値が不正です。
- キー名が重複しています。

対処

- 正しいキー名を指定してください。
- 正しい設定値を指定してください。
- 重複しているキー名を変更してください。

レベル

Error

終了コード

12

KEEU082-E

複写検知用データおよび地紋透かし情報を PDF 形式ファイルに付加する処理でエラーが発生しました。(エラーコード：エラーメッセージ)

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

紙の番人の複写検知データおよび地紋透かし情報の付加処理中に，エラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードに従って対処してください。エラーコードの詳細については，紙の番人のドキュメントを参照してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU083-E

XLSX 形式ファイルに出力できない項目が帳票に含まれているので，出力できません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

Excel 形式ファイルに出力できない項目が帳票内に含まれているため，出力できません。コマンドの実行を終了します。

次に示す要因が考えられます。

- 帳票内に特殊編集行のアイテムが含まれています。
- 貼付域外にはみ出したアイテムが含まれています。
- 繰り返し下限位置より下に繰り返しアイテムが存在します。
- 繰り返し右端位置より右に繰り返しアイテムが存在します。

対処

次のように対処してください。

- 帳票から特殊編集行のアイテムを取り除いてください。
- アイテムを貼付域内に配置してください。
- 繰り返しアイテムを繰り返し下限位置より上に配置してください。
- 繰り返しアイテムを繰り返し右端位置より左に配置してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU085-E

指定したテスト印刷設定ファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

指定したテスト印刷設定ファイルがオープンできないため，テスト印刷設定ファイルが読み込めませんでした。コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。

「ファイル名」には読み込めなかったテスト印刷設定ファイル名を出力します。

対処

次のように対処してください。

- 存在するテスト印刷設定ファイルを指定してください。
- 存在するパス名を指定してください。
- テスト印刷設定ファイルに読み込み権限を与えてください。
- パスが正しいか確認してください。

対処の参照先

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_TESTPRINTFILE

レベル

Error

終了コード

8

KEEU086-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) のセクション (セクション名) に不正なテスト印刷設定情報 (キー名 = 設定値) が指定されました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

テスト印刷設定ファイルの設定値に誤りがあるため，コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。

「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。

「セクション名」にはエラーが発生したセクション名を出力します。

「キー名」にはエラーが発生したキー名を出力します。

「設定値」にはエラーが発生した設定値を有効な文字数分まで出力します。

対処

正しい設定値を指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU087-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) に TESTPRINT セクションが指定されていません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
テスト印刷設定ファイルで指定を省略できない TESTPRINT セクションが省略されたため，コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。
「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。

対処
TESTPRINT セクションを指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU088-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) のセクション (セクション名) で省略不可のキー（キー名）が指定されていません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
テスト印刷設定ファイルで指定を省略できないキーが省略されたため，コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。
「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。
「セクション名」にはエラーが発生したセクション名を出力します。
「キー名」にはエラーが発生したキー名を出力します。

対処
正しいキーを指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については，

マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル
Error

終了コード
12

KEEU089-E

指定したテスト印刷設定ファイル (ファイル名) の SECTIONS キーで指定したセクション (セクション名) が指定されていません。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
テスト印刷設定ファイルの SECTIONS キーで指定したセクションが指定されていないため，コマンドの実行を終了します。指定したすべての帳票は出力されません。
「ファイル名」には指定したテスト印刷設定ファイル名を出力します。
「セクション名」にはエラーが発生したセクション名を出力します。

対処
正しいセクションを指定してください。テスト印刷設定ファイルの設定方法については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル
Error

終了コード
12

26 KEEU100 〜 KEEU199

KEEU100 〜 KEEU199 のメッセージについて説明します。

26.1 KEEU100 〜 KEEU199 **のメッセージ**

26.1 KEEU100 ～ KEEU199 のメッセージ

KEEU100-E

メモリ不足が発生しました。（エラーコード）

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
実行中にメモリ不足が発生しました。

対処
ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再度 EUR サーバ帳票出力機能を実行してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU101-E

PDF **変換中にエラーが発生しました。（エラーコード）**

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
PDF 変換の処理でエラーが発生しました。

対処
- 出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。
- libpdftrap.log が生成された場合は，ファイルを採取して保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU102-E

印刷処理中にエラーが発生しました。（エラーコード：システムエラーメッセージ）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

印刷処理でエラーが発生しました。

対処

次のように対処してください。

Windows **環境の場合**

- プリンタドライバなどの環境を確認してください。
  例えば，ほかのプログラムプロダクトで正常に印刷できるかどうか，プリンタドライバが最新のもので印刷できるかどうかを確認してください。
- EUR サーバ帳票出力機能の実行ユーザに対して，プリンタ，およびプリンタスプールフォルダへのアクセス権があるかどうかを確認してください。
- 保守情報を採取して，保守員に連絡してください。保守情報の採取については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

UNIX ／ Linux **環境の場合**

保守情報を採取して，保守員に連絡してください。保守情報の採取については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

なお，UNIX ／ Linux 環境でこのエラーが発生した場合は，システムエラーメッセージは表示されません。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU103-E

プリンタが存在しません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって印刷ができません。

Windows **環境の場合**

- 通常使うプリンタが設定されていません。
- 指定されたプリンタがありません。

UNIX ／ Linux 環境の場合

- 指定されたプリンタ定義ファイルがありません。
- 指定されたプリンタ定義ファイルが読み込めません。

対処

次のように対処してください。

Windows 環境の場合

- 通常使うプリンタを設定しておいてください。
- 印刷出力ができるプリンタを指定してください。

UNIX ／ Linux 環境の場合

- 存在するプリンタ定義ファイルを指定してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

eurps コマンド

/p オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -p オプション）

ActiveX オブジェクト

PrinterName プロパティ

JavaBeans 起動部品

setPrinterName メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU104-E

指定された付加製品がインストールされていません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

EUR Developer，EUR Print Service Enterprise，または EUR Print Service - Cipher option がインストールされていない環境で，EUR 形式ファイルの出力，PDF 形式ファイルの出力，または PDF 形式ファイルの暗号化出力が指定されました。

対処

実行したい機能に応じて，次の製品をインストールしてください。

- EUR 形式ファイルの出力：EUR Developer または EUR Print Service Enterprise

- PDF 形式ファイルの出力：EUR Developer または EUR Print Service Enterprise
- PDF 形式ファイルの暗号化出力：EUR Print Service Enterprise および EUR Print Service - Cipher option

対処の参照先

eurps コマンド

/t オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -t オプション），
/cry オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -cry オプション）

ActiveX オブジェクト

Crypto プロパティ，
OutputType プロパティ

JavaBeans 起動部品

setCrypto メソッド，
setOutputType メソッド

レベル

Error

終了コード

32

KEEU105-E

起動に失敗しました。（エラーコード：システムエラーメッセージ）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

EUR サーバ帳票出力機能を起動したとき，ライブラリのロード処理でエラーが発生しました。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

32

KEEU106-E

実行に必要なファイル（ファイル名）が読み込めません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，バーコードの出力処理に必要なファイルが読み込めません。

- バーコードの出力処理に必要なファイル（eurcbp24：カスタマバーコードパターンファイル）がありません。
- コマンドを実行するユーザが，バーコードの出力処理に必要なファイルを読み込む権限を持っていません。

対処

- 次のフォルダに，バーコードの出力処理に必要なファイル（eurcbp24：カスタマバーコードパターンファイル）があるかどうかを確認してください。
  ファイルがない場合は，EUR Developer，EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise を再インストールしてください。
  Windows **環境の場合**
  EUR Developer のインストール先フォルダ ¥EUR Print Service¥Fonts¥
  EUR Print Service のインストール先フォルダ ¥Fonts¥
  EUR Print Service Enterprise のインストール先フォルダ Fonts¥
  UNIX ／ Linux **環境の場合**
  /opt/eurps/fonts ディレクトリ
- コマンドを実行するユーザに，読み込み権限を与えてください。

対処の参照先

インストール後に作成されるフォルダ

レベル

Error

終了コード

32

KEEU107-E

仕分け定義情報ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

仕分け定義情報ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

対処

仕分け定義情報ファイルの指定内容を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

仕分け定義情報ファイル

eurps コマンド

/ds オプション

ActiveX オブジェクト

DistributionInfoFile プロパティ

JavaBeans 起動部品

setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU108-E

仕分け印刷処理中にエラーが発生しました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，仕分け印刷の処理中にエラーが発生しました。

- 仕分けサーバと接続できません。
- ディスクの空き容量が不足しています。
- ほかのジョブで仕分け定義情報を実行中です。

対処

出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU109-E

仕分け印刷を行うには JP1/NPS/Distributer の PP をインストールしてください。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

JP1/Network Printing System がインストールされていないので，仕分け印刷ができません。

対処

次に示す JP1/Network Printing System をインストールしたあと，再度実行してください。

P-2412-6M74　　JP1/Network Printing System　　07-00 以降

レベル

Error

終了コード

32

KEEU111-E

出力コマンドを起動できませんでした。

詳細情報

ユーザ =U：システム errno=E ：出力コマンド =0 ：コマンド =C

要因

プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドの文字列に誤りがあったので，UNIX ／ Linux 環境での PDL ファイル出力ができません。

対処

キーワード Command に指定したコマンドの文字列を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

レベル

Error

終了コード

8

KEEU112-E

出力コマンドの実行時にエラーが発生しました。

詳細情報

ユーザ =U：出力コマンド終了コード =X ：出力コマンドプロセス ID=P ：出力コマンド =0 ：コマンド =C

要因

UNIX ／ Linux 環境で PDL ファイルを出力するとき，プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドがエラー終了しました。

対処

ログに出力されたコマンドの出力メッセージ，およびコマンドの終了コードを参照して，キーワード Command に指定したコマンドの文字列を見直してください。

対処の参照先

プリンタ定義ファイル

eurps ログ

環境変数，または環境設定ファイル
EURPS_LOGFILEPATH

レベル

Error

終了コード

8

KEEU116-E

一時ファイルが出力できませんでした。（保守情報）

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，一時ファイルが出力できません。

- ディスク容量が不足したため，一時ファイルのオープン，およびクローズができません。
- 一時ファイルの出力先フォルダに書き込み権限がありません。

対処

次のように対処したあと，プログラムを再度実行してください。

- 不要なファイルを削除するなどして，ディスク容量を確保してください。
- 一時ファイルの出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。

KEEU118-E

指定したプリンタは JP1 仕分けプリンタではありません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

JP1 仕分け印刷するとき，/p オプションで指定したプリンタ，または /p オプションを省略したときの通常使うプリンタが，JP1 仕分けプリンタではなかったので，JP1 仕分け印刷ができません。

対処

/p オプションに JP1 仕分けプリンタを指定するか，または /p オプションを省略する場合は JP1 仕分けプリンタを通常使うプリンタに指定して，再度実行してください。

対処の参照先

eurps コマンド
　/p オプション

レベル

Error

終了コード

8

KEEU119-E

データベースアクセスの実行中にエラーが発生しました。

要因

eurps ログファイルに，要因を示すメッセージが表示されます。表示されるメッセージと，その要因を次に示します。

表 26-1　メッセージと要因

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
メモリが不足しています。	メモリが不足しました。
aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)	一時ファイルの出力先フォルダに書き込み権限がありません。
aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)	• 一時ファイルのオープンに失敗しました。 • 一時ファイルの作成に失敗しました。
aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。	項目に設定した文字列の長さが制限値を超えました。
データベースアクセス中にエラーが発生しました。 メッセージ：aa...aa コード：nnn,mmm	データベースアクセス定義でデータの抽出中に，エラーが発生しました。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	SQL 文の長さが上限値を超えました。

ログファイルに表示されるメッセージ	要因
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号に対する実行値がありません。

対処

表示されたメッセージによって，次のように対処してください。

表 26-2　メッセージと対処方法

<table>
<tr><th>ログファイルに表示されるメッセージ</th><th colspan="3">対処</th></tr>
<tr><td>メモリが不足しています。</td><td colspan="3">ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再実行してください。</td></tr>
<tr><td>aa...aa の書き込み処理に失敗しました。(error=nnn)</td><td colspan="3">• メッセージに表示されている一時ファイルの出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。
• 保守用の情報を「(error=nnn)」に表示します。</td></tr>
<tr><td>aa...aa のオープン又は作成処理に失敗しました。(error=nnn)</td><td colspan="3">• 一時ファイルの出力先フォルダの空き容量を見直してください。
• 保守用の情報を「(error=nnn)」に表示します。</td></tr>
<tr><td>aa...aa の指定が nnn バイトを超えています。</td><td colspan="3">項目（aa...aa）に指定した文字列が上限値の nnn バイトを超えていないかどうかを見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">データベースアクセス中にエラーが発生しました。
メッセージ：aa...aa
コード：nnn,mmm</td><td colspan="3">表示されたコードによって，次のように対処してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">コード</td><td rowspan="2">説明</td></tr>
<tr><td>nnn（リターンコード）</td><td>mmm（詳細コード）</td></tr>
<tr><td>-1001
-1003
-1008</td><td>DABroker，または接続先データベースのエラーコード，もしくは 0</td><td>DABroker，または接続先データベースでエラーが発生したことを示します。「メッセージ：aa...aa」には，エラーの内容が表示されます。詳細コードと表示されるメッセージについては，次に示すマニュアルを参照してください。
• 詳細コードが KFDBxxxx の場合
DABroker のマニュアル
• 詳細コードが KFPxxxxx の場合
マニュアル「HiRDB メッセージ」
• 詳細コードが ORA-xxxx の場合
Oracle のマニュアル</td></tr>
<tr><td>-1004</td><td>接続管理情報のコード</td><td>接続情報に誤りがないかどうかを見直してください。</td></tr>
</table>

ログファイルに表示されるメッセージ	対処		
	-1005 -1009	システムコールのエラー値	プログラムの呼び出しでエラーが発生したことを示します。 • 接続先 DABroker を起動させてください。 • 接続先 DABroker のホスト名，または IP アドレスを正しく設定してください。 • 接続先 DABroker にホスト名を使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定してください。hosts ファイルに指定したホスト名の IP アドレスを正しく設定してください。 • 接続先 DABroker に IP アドレスを使用している場合 hosts ファイルにホスト名を指定し，接続先 DABroker にホスト名を使用してください。 • services ファイルに DABROKER_SV を指定してください。 • services ファイルに指定した DABROKER_SV のポート番号，および通信プロトコル種別を正しく指定してください。 • hosts ファイル，および services ファイルにアクセス権を与えてください。 • 応答監視時間内に，DABroker から応答がなかったことを示します。
	-1006	領域管理情報のコード	メモリが不足しています。ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，再実行してください。

ログファイルに表示されるメッセージ	対処		
	-1010	10083	応答監視時間内に，DABroker から応答がなかったことを示します。接続先の DABroker が起動されているかどうかを確認してください。また，接続先の DABroker のホスト名，または IP アドレスに誤りがないかどうかも確認してください。
SQL 文の長さが nnn バイトを超えました。	設定した条件式の長さが，上限値を超えていないかどうかを見直してください。		
実行値のない可変記号（可変記号）があるため実行できません。	可変記号値定義ファイルを指定したあと，再実行してください。		

レベル
Error

終了コード
10

KEEU122-E

EPF 変換中にエラーが発生しました。(エラーコード)

要因
EPF 変換の内部処理でエラーが発生しました。

対処
出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU123-E

出力ページの上限値 (999999 ページ) を超えたため処理を終了します。

要因
出力ページが上限値 999,999 ページを超えています。

対処

入力データを分割してから，再度実行してください。出力ページの上限については，マニュアル「EUR 帳票設計」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU124-E

XLSX 形式ファイルへの変換中にエラーが発生しました。(XX)

要因

Excel 変換の内部処理（Excel 生成部品の関数呼び出し）でエラーが発生したため，コマンドの実行を終了します。

次に示す要因が考えられます。

- ファイルに対するアクセス権がありません。
- メモリ不足が発生しました。
- 言語に対応する UTF-8 ロケールが実行 OS にインストールされていません。

XX には，Excel 生成部品の関数のエラーコード（Windows の場合は GetLastError 関数の戻り値，UNIX/Linux の場合は errno 変数の値）が表示されます。

対処

EPS-XLSX ログに記載されているエラー情報を確認し，障害要因を取り除いてください。EPS-XLSX ログについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU125-E

指定した EURPS_EXCELTMPPATH の値が不正です。

要因

環境変数 EURPS_EXCELTMPPATH に不正な値が指定されているため，コマンドの実行を終了します。

次に示す要因が考えられます。

- ネットワークパスが指定されています。

- ASCII 以外の文字が含まれています。
- 存在しないディレクトリが指定されています。
- フルパス名として不正な値が指定されています。

対処

要因を取り除いて再実行してください。

レベル

Error

終了コード

8

27 KEEU300 ～ KEEU399

KEEU300 ～ KEEU399 のメッセージについて説明します。

27.1 KEEU300 ～ KEEU399 のメッセージ

27.1　KEEU300 ～ KEEU399 のメッセージ

KEEU300-W

帳票に正しく出力されない項目がありました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

このメッセージは，標準エラー出力（eurps コマンド実行時），Err.Description プロパティ（ActiveX 起動部品実行時），getMessage メソッド（JavaBeans 起動部品実行時）に出力されます。

次に示す要因によって，帳票に正しく出力されない項目がありました。

- 文字アイテムのアイテム枠が小さいため，指定したデータがアイテム枠内に収まる分だけ出力されました。
- 数値アイテムのアイテム枠が小さく，指定したデータがアイテム枠内に収まらないため，データが「***」で出力されました。
- バーコードアイテムのアイテム枠が小さいため，バーコードが出力されません。
- アイテムが出力できる範囲を超えているため，まったく出力されないか，または出力できる範囲に収まる分だけ出力されました。
- フィールドのデータ型に合わないデータを入力したため，データが欠損値（空白）で出力されました。
- 画像ファイルがない，EUR サーバ帳票出力機能ではサポートしていない画像ファイルである，または画像ファイルが壊れたため，画像データが出力されません。
- 指定した帳票ファイルが，上位バージョンの機能を使用して作成されているため，実行時の EUR Developer，EUR Print Service および EUR Print Service Enterprise のバージョンで出力できる範囲で帳票が出力されました。
- バーコードデータに使用できない文字，または誤った桁数を指定したため，バーコードが出力されません。
- 集計行のアイテムが表示できない位置に配置されているため，出力されません。
- 日付変換用システムファイルが正しくありません。
- 指定した置き換え表ファイルに，置き換えデータが 1 件も登録されていないため，出力されません。
- 指定した置き換え表ファイルにキーデータがないか，または不正なデータが指定されているため，出力されません。

対処

出力する帳票の設定内容を見直したあと，再度帳票出力を実行してください。

また，環境変数，または環境設定ファイル（Windows 環境の場合は EURPS_ENV，UNIX ／ Linux 環境の場合は eurps_env）中の変数 EURPS_REPORT_WARNING に「NO」を設定したあと，再度帳票出力を実行することで，このメッセージを出力

しないようにすることもできます。

レベル
Warning

終了コード
4

KEEU301-W

ページ（ページ番号）で，データ種別（M または U）の項目名（フィールド名称）のデータ（出力するデータ）を表示できませんでした。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
次に示す要因によって，エラーが発生しました。
- アイテムのサイズに対してデータが多いです。
- バーコードのデータが正しくありません。
- データ種別に出力される項目の意味を次に示します。
  M：マッピングデータ
  U：ユーザ定義データ
- フィールド名称は，次の形式で出力されます。
  集計アイテムの場合
  合計の場合： &SUM(&FD:! フィールド名称 !)
  平均の場合： &AVR(&FD:! フィールド名称 !)
  最大の場合： &MAX(&FD:! フィールド名称 !)
  最少の場合： &MIN(&FD:! フィールド名称 !)
  件数の場合： &CNT(&FD:! フィールド名称 !)
  キー集計でキーに指定されたフィールドの場合
  &FLD(&FD:! フィールド名称 !)
  集計アイテムやキー集計でキーに指定されたフィールド以外の場合は，フィールド名称だけが出力されます。

対処
アイテム枠を大きくする，またはバーコードデータが正しいか見直したあと，再度実行してください。

レベル
Warning

終了コード
4

注意

- 固定アイテムは対象となりません。
- 繰り返し対象にバーコードアイテムが指定されている場合，特殊編集行を使用すると次のことが発生します。
  ・データを表示できません。
  ・ユーザ定義データのフィールド名を表示できません。
  ・マッピングデータのフィールド名を表示できません。

KEEU302-W

データ種別（M または U）の，項目名（フィールド名称）のデータ（出力するデータ）を変換できませんでした。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

フィールドのデータ型とデータの内容が適合しません。

- データ種別に出力される項目の意味を次に示します。
  M：マッピングデータ
  U：ユーザ定義データ
- フィールド名称は，次の形式で出力されます。
  集計アイテムの場合
  合計の場合：　&SUM(&FD:! フィールド名称 !)
  平均の場合：　&AVR(&FD:! フィールド名称 !)
  最大の場合：　&MAX(&FD:! フィールド名称 !)
  最少の場合：　&MIN(&FD:! フィールド名称 !)
  件数の場合：　&CNT(&FD:! フィールド名称 !)
  キー集計でキーに指定されたフィールドの場合
  &FLD(&FD:! フィールド名称 !)
  集計アイテムやキー集計でキーに指定されたフィールド以外の場合は，フィールド名称だけが出力されます。

対処

データの内容またはフィールドのデータ型を見直したあと，再度実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU303-W

表示できないアイテムがありました。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
集計行のアイテムが表示できない位置に配置されています。

対処
集計行に関する書式を見直したあと，再度実行してください。

レベル
Warning

終了コード
4

KEEU304-W

フォームシートは上位バージョンで作成されています。本バージョン機能で出力します。

詳細情報
ユーザ =U：コマンド =C

要因
フォームシートを作成した製品（EUR Designer または EUR Developer）が，EUR サーバ帳票出力機能を実行した製品（EUR Developer，EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise）より新しいバージョンでした。

対処
EUR サーバ帳票出力機能を実行する製品（EUR Developer，EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise）に適合する製品（EUR Designer または EUR Developer）を使用してフォームシートを作成し直したあと，再度実行してください。

レベル
Warning

終了コード
4

KEEU305-W

画像ファイル（ファイル名）を読み込むことができません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

次に示す要因によって，画像を読み込むことができません。

- 画像が入力できません。
- データに指定したファイル名が誤っています。
- 画像フォルダの値が誤っています。
- アクセス権限がありません。
- 画像ファイルの内容が正しくありません。
- 画像ファイルが壊れています。
- EUR サーバ帳票出力機能でサポートしていない画像です。

対処

エラーの要因を取り除き，再度実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU308-W

日付を変換できません。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

日付変換用システムファイルが正しくありません。

対処

EUR Developer，EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise を再インストールして，再度実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU320-W

重なっているために XLSX 形式ファイルに出力できない項目がありました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

アイテムが重なっているために Excel 形式ファイルに出力できなかった項目があります。出力できなかった項目は，EPS-XLSX ログに出力されます。

対処

次のどちらかで対処してください。

- アイテムの重なりを考慮して帳票を設計し直し，帳票出力を再実行してください。
- 変換元帳票または EPS-XLSX ログを基に，手動で帳票を二次加工してください。

Excel 形式ファイルへ出力できないアイテムの配置や EPS-XLSX ログについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU321-W

出力ページの上限値 (100 ページ) を超えました。

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

要因

出力ページが上限値の 100 ページを超えたため，超過したページを出力しないで処理を終了しました。
印刷開始ページ（先頭ページまたは /s オプションで指定されたページ）から 100 ページ分までは，Excel 形式ファイルに出力されます。

対処

次のどちらかの方法で対処してください。

- 入力データを分割して，再実行してください。
- オプションの指定で開始／終了ページを指定して，再実行してください。

レベル

Warning

終了コード

4

KEEU350-W

接続情報ファイルの内容が無視されました。

要因

eurps ログファイルに，要因を示すメッセージが出力されます。出力されるメッセージと，その要因を次に示します。

ログファイルに出力されるメッセージ	要因
QueryExclusiveString に指定された文字列を読み捨てました	接続先データベースが HiRDB 以外の場合，排他オプションは指定できません。

対処

キーワード QueryExclusiveString を削除してください。

レベル

Warning

終了コード

4

28 KEEU400 ～ KEEU499

KEEU400 ～ KEEU499 のメッセージについて説明します。

28.1 KEEU400 ～ KEEU499 **のメッセージ**

28.1　KEEU400 ～ KEEU499 のメッセージ

KEEU400-I ～ KEEU404-I のメッセージは，次に示す履歴を eurps ログに出力するときだけ使用されます。

- Windows 版 EUR サーバ帳票出力機能の起動と終了の履歴
- UNIX ／ Linux 版 EUR サーバ帳票出力機能で PDL ファイルに出力するときの eurps コマンドの起動と終了の履歴

eurps コマンド実行時の標準エラー出力，ActiveX 起動部品による実行時の Err オブジェクトの Description プロパティ，および JavaBeans 起動部品による実行時の EURPSException オブジェクトの getMessage メソッドには設定されません。

KEEU400-I

EUR Print Service **を起動しました。**

詳細情報

ユーザ =U：コマンド =C

説明

このメッセージは，EUR サーバ帳票出力機能が起動されたことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU401-I

EUR Print Service **の出力が終了しました。**

詳細情報

ユーザ＝ U ：終了コード＝ E ：ページ数＝ P ：コマンド＝ C

説明

このメッセージは，EUR サーバ帳票出力機能が次に示す状況で終了されたことを示します。

終了コードが 0 のとき

コマンドが正常終了しました。

終了コードが 4 のとき

警告が発生しました。

この場合の警告とは，次に示すように，出力結果がユーザの意図したものと異なる場合を指します。警告が発生しても，コマンドは実行されて，帳票の出力が行われます。ただし，環境変数，または環境設定ファイル（Windows 環境の場合は EURPS_ENV，UNIX ／ Linux 環境の場合は eurps_env）中の変数 EURPS_REPORT_WARNING に「NO」が設定されている場合は，終了コード 0 を返します。

- 文字アイテムのアイテム枠が小さいため，指定したデータがアイテム枠内に収まる分だけ出力されました。
- 数値アイテムのアイテム枠が小さく，指定したデータがアイテム枠内に収まらないため，データが「***」で出力されました。
- バーコードアイテムのアイテム枠が小さいため，バーコードが出力されません。
- アイテムが出力できる範囲を超えているため，まったく出力されないか，または出力できる範囲に収まる分だけ出力されました。
- フィールドのデータ型に合わないデータを入力したため，データが欠損値（空白）で出力されました。
- 画像ファイルがない，EUR サーバ帳票出力機能ではサポートしていない画像ファイルである，または画像ファイルが壊れたため，画像データが出力されません。
- 指定した帳票ファイルが，上位バージョンの機能を使用して作成されているため，実行時の EUR Developer，EUR Print Service，または EUR Print Service Enterprise のバージョンで出力できる範囲で帳票が出力されました。
- バーコードデータに使用できない文字，または誤った桁数を指定したため，バーコードが出力されません。
- 集計行のアイテムが表示できない位置に配置されているため，出力されません。
- 日付変換用システムファイルが正しくありません。
- 指定した置き換え表ファイルに，置き換えデータが 1 件も登録されていないため，出力されません。
- 指定した置き換え表ファイルにキーデータがないか，または不正なデータが指定されているため，出力されません。

レベル

Information

終了コード

0，または 4

KEEU402-I

EUR Print Service **で出力が中断しました。**

詳細情報

ユーザ＝ U ：終了コード＝ E ：ページ数＝ P ：コマンド＝ C

説明

このメッセージは，EUR サーバ帳票出力機能が次に示す状況で処理が中断されたことを示します。

- **終了コードが 8 のとき**
  システムエラーが発生しました。
- **終了コードが 12 のとき**
  データエラーが発生しました。
- **終了コードが 16 のとき**
  コマンドの文法にエラーがあります。
- **終了コードが 32 のとき**
  上記以外のエラーが発生しました。

レベル

Information

終了コード

8，12，16，または 32

KEEU403-I

出力コマンドを起動しました。

詳細情報

ユーザ =U：出力コマンドプロセス ID=P ：出力コマンド =0 ：コマンド =C

説明

UNIX ／ Linux 環境の場合だけ表示されるメッセージです。
このメッセージは，プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドを起動したことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU404-I

出力コマンドが正常終了しました。

詳細情報

ユーザ =U：出力コマンドプロセス ID=P ：出力コマンド =0 ：コマンド =C

説明

UNIX ／ Linux 環境の場合だけ表示されるメッセージです。
このメッセージは，プリンタ定義ファイルのキーワード Command に指定したコマンドが終了コード 0 で正常終了したことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU405-I

ログファイルの出力先フォルダ (フォルダ名) が作成できません。(エラーコード)（Windows 環境の場合）

cannot create log directory **ディレクトリ名 (エラーコード)（UNIX ／ Linux 環境の場合）**

説明

このメッセージは，eurps ログの出力先フォルダを作成できなかったことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU406-I

ログファイル (ファイル名) に書き込みできません。(エラーコード)（Windows 環境の場合）

cannot write **ファイル名 (エラーコード)（UNIX ／ Linux 環境の場合）**

説明

このメッセージは，eurps ログの出力先フォルダは存在しますが，eurps ログファイルを出力できなかったことを示します。
eurps ログについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU407-I

トレースファイルに書き込みできません。(エラーコード)（Windows 環境の場合）

cannot write trace file(**エラーコード**)（UNIX ／ Linux **環境の場合）**

説明

このメッセージは，トレースファイルを出力できなかったことを示します。

レベル

Information

終了コード

なし

KEEU410-I

印刷ジョブ n **でページ** p1-p2 **を出力しました。**

説明

このメッセージは，印刷ジョブ分割を指定した場合，印刷ジョブを生成するたびに出力されます。

- n には 1 から始まる連番を表示します。
- p1 には分割された印刷ジョブの開始ページが表示されます。
- p2 には分割された印刷ジョブの終了ページが表示されます。
- p1-p2 は印刷ジョブに出力したページの範囲を示します。なお，複数様式で空白ページを挿入した場合，p1-p2 で示す範囲には空白ページ分も含まれます。

レベル

Information

終了コード

なし

29 KEEU500 ～ KEEU599

KEEU500 ～ KEEU599 のメッセージについて説明します。

29.1 KEEU500 ～ KEEU599 **のメッセージ**

29.1 KEEU500 ～ KEEU599 のメッセージ

KEEU500-E

プロパティ（プロパティ名）の指定値に誤りがあります。

詳細情報
なし

要因
ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき，プロパティに誤った値が指定されています。

対処
エラーが発生したプロパティに，正しい値を指定してください。

対処の参照先
ActiveX オブジェクト

レベル
Error

終了コード
2016

KEEU501-E

プロパティ（プロパティ名）が指定されていません。

詳細情報
なし

要因
ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき，指定しなければならないプロパティが指定されていません。

対処
プロパティの指定を見直し，メッセージに表示されているプロパティを指定してください。

対処の参照先
ActiveX オブジェクト
OutFileName プロパティ，
ReportFileName プロパティ

レベル
Error

終了コード
2016

KEEU502-E

EUR Print Service **が起動できません。（エラーコード** : **システムエラーメッセージ）**

詳細情報
なし

要因
ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき，起動処理中にエラーが発生しました。

対処
システムエラーメッセージの内容に従って対処してください。

対処の参照先
ActiveX オブジェクト

レベル
Error

終了コード
2008

KEEU503-E

プロパティ（プロパティ名）と同時に指定できないプロパティが指定されています。

詳細情報
なし

要因
ActiveX オブジェクトを使用して帳票出力するとき，同時に指定できないプロパティが指定されています。

対処
プロパティの指定を見直し，どちらか一つを指定してください。同時に指定できないプロパティについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル
Error

終了コード
16

KEEU504-E

An attempt to load string resource DLL has failed.

詳細情報
なし

要因
メソッド実行時に起動部品の文字列リソース DLL のロード処理でエラーが発生しました。

対処
EUR Designer，EUR Print Service または EUR Print Service Enterprise を再インストールしてください。

レベル
Error

終了コード
16

30 KEEU600 ～ KEEU699

KEEU600 ～ KEEU699 のメッセージについて説明します。

30.1 KEEU600 ～ KEEU699 のメッセージ

30.1 KEEU600 ～ KEEU699 のメッセージ

KEEU600-E

メソッドの指定値に誤りがあります。（メソッド名）

詳細情報
なし

要因
JavaBeans 起動部品を使用して帳票出力するとき，メソッドに誤った値が指定されています。
- 指定したファイル名やファイルのパスに「"」が含まれています。
- 指定できる範囲外の値が設定されました。

対処
エラーが発生したメソッドに，正しい値を指定してください。

対処の参照先
JavaBeans 起動部品

レベル
Error

終了コード
16

KEEU601-E

メソッドが指定されていません。（メソッド名）

詳細情報
なし

要因
JavaBeans 起動部品を使用して帳票出力するとき，指定しなければならないメソッドが指定されていません。

対処
メソッドの指定を見直し，メッセージに表示されているメソッドを指定してください。

対処の参照先
JavaBeans 起動部品
setOutFileName メソッド，

setReportFileName メソッド（複数帳票指定の場合は
setMultiReportFileName メソッド）

レベル
Error

終了コード
16

KEEU603-E

同時に指定できないメソッドが指定されています。（メソッド名，メソッド名）

詳細情報
なし

要因
JavaBeans 起動部品のメソッドに，同時に指定できないメソッドが指定されています。

対処
メソッドの指定を見直し，どちらか一つのメソッドを指定してください。同時に指定できないメソッドについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

レベル
Error

終了コード
16

KEEU604-E

プロパティファイルに項目が存在しません。（項目名）

詳細情報
なし

要因
次に示す要因が考えられます。
- プロパティファイル（EURPSManager.properties）はありますが，必要な項目が設定されていません。
- プロパティファイル（EURPSManager.properties）がありません。また，システムプロパティ（EURPSManager.CommandPath）にも必要な項目が設定されていません。
- プロパティファイル（EURPSManager.properties）がクラスパスに指定された

フォルダにありません。

対処

次のように対処してください。

- メッセージに表示されている項目を，プロパティファイル（EURPSManager.properties），またはシステムプロパティ（EURPSManager.CommandPath）に設定してください。
- プロパティファイル（EURPSManager.properties）のあるフォルダを，クラスパスに追加してください。

対処の参照先

JavaBeans 起動部品の構成

EURPSManager クラスのコンストラクタ

レベル

Error

終了コード

8

KEEU605-E

プロパティファイルが読み込めません。（システムエラーメッセージ）

詳細情報

なし

要因

プロパティファイル（EURPSManager.properties）に読み込み権限がありません。

対処

プロパティファイル（EURPSManager.properties）に読み込み権限を与えてください。

レベル

Error

終了コード

8

KEEU606-E

未サポートのメソッドが指定されています。（メソッド名）

詳細情報

なし

要因

UNIX ／ Linux 環境の場合だけ表示されるメッセージです。
UNIX ／ Linux 対応の EUR サーバ帳票出力機能で使用できないメソッドが指定されました。

対処

メソッドの指定を見直し，正しいメソッドを指定してください。

対処の参照先

JavaBeans 起動部品
　setDistributionInfoFile メソッド

レベル

Error

終了コード

8

KEEU607-E

例外が発生しました。（例外メッセージ）

詳細情報

なし

要因

JavaBeans 起動部品の実行時に，EUR で特定できない Java の例外が発生しました。

対処

例外メッセージの内容に従って，アプリケーション側で対処してください。

レベル

Error

終了コード

8

31 KEEU700 〜 KEEU799

KEEU700 〜 KEEU799 のメッセージについて説明します。

31.1 KEEU700 〜 KEEU799 のメッセージ

31.1 KEEU700 ～ KEEU799 のメッセージ

KEEU700-E

EUR 形式ファイル出力処理でエラーが発生しました。（エラーコード）

詳細情報

ユーザ＝ U ：コマンド＝ C

要因

このメッセージは，エラーコードによってエラーの要因が異なります。エラーコードとその要因を次に示します。

表 31-1 エラーコードと要因

エラーコード	要　因
1	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 指定した帳票ファイルがありません。 • 指定した帳票ファイルが読み込めません。
2	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 指定したマッピングデータファイルがありません。 • 指定したマッピングデータファイルが読み込めません。
3	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 指定したユーザ定義データファイルがありません。 • 指定したユーザ定義データファイルが読み込めません。
4	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 帳票ファイル，またはデータファイルに指定されている画像ファイルがありません。 • 帳票ファイル，またはデータファイルに指定されている画像ファイルが読み込めません。 • 出力先ファイル名に「*.eup」以外の拡張子を持つファイルを指定して，複数の帳票ファイルを EUR 形式ファイルに出力しようとしました。 • データファイルに指定されている画像ファイルが，フルパス，または相対パスで指定されています。
5	メモリ不足が発生しました。
7	出力先フォルダに書き込み権限がないので，EUR 形式ファイルを出力できません。 既存の EUR 形式ファイルに書き込み権限がないので，ファイルの上書きができません。
8	圧縮処理中にエラーが発生しました。
9	EUR 形式ファイル作成中にエラーが発生しました。
10	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 指定した複数様式情報定義ファイルがありません。 • 指定した複数様式情報定義ファイルが読み込めません。 • 指定した複数様式情報定義ファイルが 0 バイトでした。

エラーコード	要　因
11	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 指定した置き換え表ファイルが存在しません。 • 指定した置き換え表ファイルが読み込めません。
12	次に示す要因によって，EUR 形式ファイルを出力できません。 • 指定した置き換え表管理情報ファイルが存在しません。 • 指定した置き換え表管理情報ファイルが読み込めません。

対処

対処方法を次に示します。

表 31-2　エラーコードと対処方法

エラーコード	対処方法
1	次のように対処してください。 • 存在する帳票ファイル名を指定してください。 • 指定する帳票ファイルに，読み込み権限を与えてください。
2	次のように対処してください。 • 存在するマッピングデータファイル名を指定してください。 • 指定するマッピングデータファイルに，読み込み権限を与えてください。
3	次のように対処してください。 • 存在するユーザ定義データファイル名を指定してください。 • 指定するユーザ定義データファイルに，読み込み権限を与えてください。
4	次のように対処してください。 • 存在する画像ファイル名を指定してください。または，存在する画像ファイルを実行環境に用意してください。 • 画像ファイルに，読み込み権限を与えてください。 • 複数の帳票ファイルを EUR 形式ファイルに出力する場合は，出力先ファイル名に「*.eup」の拡張子を持つファイルを指定してください。 • データファイルに指定する画像ファイルは，ファイル名で指定してください。画像ファイルのパスは，環境変数 EURPS_IMAGEPATH，または環境設定ファイル（Windows 環境の場合は EURPS_ENV，UNIX ／ Linux 環境の場合は eurps_env）の変数 EURPS_IMAGEPATH に指定してください。
5	ほかのアプリケーションを終了させるなどして，実行に必要なメモリを確保してください。
7	次のように対処してください。 • 出力先フォルダに，書き込み権限を与えてください。 • ファイルの上書きをする場合は，既存の EUR 形式ファイルに書き込み権限を与えてください。
8	**Windows 環境の場合** システムの一時フォルダ※のデバイス空き容量を確認し，空き容量がない場合は，不要なファイルを削除してください。 **UNIX ／ Linux 環境の場合** /var/opt/eurps ディレクトリのデバイス空き容量を確認し，空き容量がない場合は，不要なファイルを削除してください。
9	ほかのアプリケーションを終了させるなどして，再度実行してください。

エラーコード	対処方法
10	次のように対処してください。 • 存在する複数様式情報定義ファイル名を指定してください。 • 指定する複数様式情報定義ファイルに，読み込み権限を与えてください。 • 複数様式情報を定義したファイルを指定して，再度実行してください。
11	次のように対処してください。 • 存在する置き換え表ファイル名を指定してください。 • 指定する置き換え表ファイルに，読み込み権限を与えてください。
12	次のように対処してください。 • 存在する置き換え表管理情報ファイル名を指定してください。 • 指定する置き換え表管理情報ファイルに，読み込み権限を与えてください。

注※

システムの一時フォルダについては，［システムのプロパティ］ダイアログで環境変数 TMP または TEMP の設定を確認してください。

なお，出力先は環境変数 TMP または TEMP の設定によって次の順に決定されます。

1. 環境変数 TMP で指定されているフォルダ
2. 環境変数 TMP が指定されていない場合，環境変数 TEMP で指定されているフォルダ
3. 環境変数 TMP と TEMP がどちらも指定されていない場合，Windows のフォルダ

レベル

Error

終了コード

8

32 KEEU800 ～ KEEU899

KEEU800 ～ KEEU899 のメッセージについて説明します。

32.1 KEEU800 ～ KEEU899 のメッセージ

32.1 KEEU800 ～ KEEU899 のメッセージ

KEEU800-E

eurecpdf コマンド実行中にエラーが発生しました。（エラー番号：エラーメッセージ：エラー発生場所）

詳細情報
コマンド＝ C

要因
PDF パスワード暗号化ツールでエラーが発生しました。

対処
出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
8

KEEU801-E

メモリ不足が発生しました。（エラー番号：エラーメッセージ：エラー発生場所）

詳細情報
コマンド＝ C

要因
次に示す要因が考えられます。
- PDF パスワード暗号化の処理中にメモリ不足が発生しました。
- 接続情報パスワード暗号化処理中にメモリ不足が発生しました。

対処
ほかのアプリケーションなどを終了させてメモリを確保したあと，次の処理を実行してください。
- PDF ファイルのパスワード暗号化
- 接続情報ファイルのデータベースパスワードの暗号化

レベル
Error

終了コード
8

KEEU802-E

指定したファイル（ファイル名）が読み込めません。（エラー番号：エラーメッセージ：エラー発生場所）

詳細情報

コマンド＝ C

要因

次に示す要因によって，暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルが読み込めません。

- パスワードの暗号化に必要な暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルがありません。
- コマンドを実行するユーザが，パスワードの暗号化に必要な暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルを読み込む権限を持っていません。

対処

次のように対処してください。

- 存在する暗号化設定ファイル名，PDF 仕分け定義ファイル名，または接続情報ファイル名を指定してください。
- 指定する暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルに，読み込み権限を与えてください。
- 暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルの指定内容を見直したあと，再度実行してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

eurps コマンド

/ecrypk オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -ecrypk オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

EncryptionPasswordKey プロパティ

JavaBeans 起動部品

setEncryptionPasswordKey メソッド

レベル

Error

終了コード
8

KEEU803-E

指定した出力ファイル（ファイル名）に出力できません。（エラー番号：エラーメッセージ：エラー発生場所）

詳細情報
コマンド＝ C

要因
次に示す要因によって，ファイルへの出力ができません。
- 指定した出力ファイルは，すでに存在しています。
- ファイルの出力先デバイスに，空き容量がありません。

対処
次のように対処してください。
- 指定した出力ファイルを確認してください。
- ファイル出力先のデバイスの空き容量を増やしてください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

eurps コマンド
/ecrypk オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -ecrypk オプション）

環境変数，または環境設定ファイル
EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト
EncryptionPasswordKey プロパティ

JavaBeans 起動部品
setEncryptionPasswordKey メソッド

レベル
Error

終了コード
8

KEEU804-E

指定したファイル（ファイル名）の内容が不正です。

詳細情報

コマンド＝ C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルに，暗号化パスワード，または復号化パスワードが設定されていません。
- 指定した暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルの暗号化パスワード，または復号化パスワードが正しくありません。

対処

暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルの指定内容を確認してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

eurps コマンド

/ecrypk オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -ecrypk オプション）

環境変数，または環境設定ファイル

EURPS_OUTPUTPATH

ActiveX オブジェクト

EncryptionPasswordKey プロパティ

JavaBeans 起動部品

setEncryptionPasswordKey メソッド

レベル

Error

終了コード

12

KEEU805-E

省略不可のオプション（オプション名）が指定されていません。

詳細情報

コマンド＝ C

要因

コマンド構文に，パスワードの暗号化に必要なオプションが指定されていません。

対処

コマンド構文の指定を見直し，再度実行してください。

対処の参照先

eurps コマンド

/ecrypk オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -ecrypk オプション）

レベル

Error

終了コード

16

KEEU806-E

不正なオプション（オプション名）が指定されました。

詳細情報

コマンド＝ C

要因

次に示す要因が考えられます。

- コマンド構文に指定したパスワードの暗号化オプションが不正です。
- コマンド構文に指定したパスワードの暗号化オプションのパラメタが不正です。

対処

次のように対処してください。

- コマンド構文の指定を見直し，正しいオプションを指定してください。
- コマンド構文のオプションの指定を見直し，正しいパラメタを指定してください。

対処の参照先

eurps コマンド

/ecrypk オプション（UNIX ／ Linux 環境の場合は -ecrypk オプション）

レベル

Error

終了コード

16

KEEU807-E

不正なファイルパス（ファイルパス名）が指定されました。

詳細情報

コマンド＝ C

要因

次に示す要因が考えられます。

- 暗号化設定ファイル名，PDF 仕分け定義ファイル名，または接続情報ファイル名の長さが上限を超えています。
- 指定した暗号化設定ファイル，PDF 仕分け定義ファイル，または接続情報ファイルがありません。

対処

次のように対処してください。

- 正しいファイル名を指定してください。
- ファイル名に指定できる文字数は，次のとおりです。
  - ・Windows 環境の場合
    フルパスで指定するときは 259 文字以内
    相対パス，またはファイル名だけで指定するときは 255 文字以内
  - ・UNIX ／ Linux 環境の場合
    フルパスで 1,023 バイト以内
- 指定した内容を，もう一度見直してください。

対処の参照先

暗号化設定ファイル

PDF 形式ファイル

接続情報ファイル

レベル

Error

終了コード

16

KEEU808-E

暗号処理に失敗しました。（エラーコード）

詳細情報

コマンド＝ C

要因

PDF ファイル，または接続情報ファイルのパスワード暗号化処理でエラーが発生しました。

対処
出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
32

KEEU809-E

起動に失敗しました。（エラーコード：システムエラーメッセージ）

詳細情報
コマンド＝ C

要因
PDF ファイル，または接続情報ファイルのパスワードの暗号化処理中に，暗号化ライブラリのロード処理でエラーが発生しました。

対処
出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
32

KEEU810-E

eurecdif **コマンド実行中にエラーが発生しました。（エラーコード：システムエラーメッセージ）**

詳細情報
コマンド＝ C

要因
接続情報パスワード暗号化ツールでエラーが発生しました。

対処
出力されたエラーコードおよびメッセージの内容を保守員に連絡してください。

レベル
Error

終了コード
8

33 KEEU F0001 〜 KEEU F0999

KEEU F0001 〜 KEEU F0999 のメッセージについて説明します。

33.1 KEEU F0001 〜 KEEU F0999 のメッセージ

33.1 KEEU F0001 ～ KEEU F0999 のメッセージ

KEEU F0201-E

コマンド引数に誤りがあります。

要因

コマンドの引数，または，コマンド引数が足りません。

対処

コマンド構文の指定を見直し，再度実行してください。

対処の参照先

EUR フォントファイル

レベル

Error

KEEU F0401-E

指定されたデータが不正です。

要因

コマンド引数に指定されたデータが，次に示す要因によって不正です。

- 指定した PCF フォントファイルがありません。
- 指定した PCF フォントファイルの文字コードが JIS X 0212 でないなど，EDF ファイル作成条件に問題があります。
- /size に 96 までの 8 の倍数以外の数値，または文字が指定されました。

対処

次のように対処してください。

- 存在する PCF フォントファイルを指定してください。
- EDF ファイルの作成条件に合うファイルを指定してください。
- /size には，96 までの 8 の倍数の数値を指定してください。

レベル

Error

KEEU F0601-W

指定されたベースフォント (フォント名) が存在しません。(フォント名) フォントを仮定します。

要因

指定したベースフォントが見つかりません。

対処

指定したベースフォントを見直して，再度実行してください。

レベル

Warning

KEEU F0801-E

メモリ不足です。

要因

処理を行うための十分なメモリを確保できません。

対処

使用できるメモリ量に増やし，再度実行してください。

レベル

Error

KEEU F0802-E

ファイルの作成に失敗しました。

要因

次の要因でファイルを作成できません。

- 指定されたファイル名称でファイルを作成できません。
- ディスクの空き容量が不足しています。
- フォルダ（UNIX ／ Linux 環境の場合はディレクトリ）への書き込み権限がありません。

対処

次のように対処してください。

- ファイル名称をファイルシステムで利用できる名称にしてください。
- 十分な空き領域があるかどうか確認してください。
- 既存のフォルダ（UNIX ／ Linux 環境の場合はディレクトリ）に書き込む場合は，書き込み権限を与えてください。

レベル
Error

KEEU F0803-E

文字イメージ処理に失敗しました。

要因
内部処理でエラーが発生しました。

対処
保守コードを採取して，保守員に連絡してください。

レベル
Error

34 その他のメッセージ

EUR サーバ帳票出力機能が表示するその他のメッセージについて説明します。

34.1 **給紙トレイ一覧ツールのメッセージ**

34.2 EUR **サーバ環境設定ファイルエディタのメッセージ**

34.1　給紙トレイ一覧ツールのメッセージ

給紙トレイ一覧ツールのメッセージについては,「18.1　給紙トレイ一覧ツールのメッセージ」を参照してください。

34.2　EUR　サーバ環境設定ファイルエディタのメッセージ

EUR **サーバ環境設定ファイルエディタの起動に失敗しました。(エラーコード** :XX)

要因

次に示す要因によって，EUR　サーバ環境設定ファイルエディタを起動できませんでした。

- 動作環境に必要なファイルがありません。
- 動作環境に必要なファイルの読み込み権限がありません。
- 不正なファイルが存在しています。

メッセージの XX の意味は次のとおりです。

XX：ファイルオープン時のエラーコード（GetLastError 関数から取得）

対処

次のように対処してください。

- 再インストールを実施してください。
- 再インストールしても同じメッセージが出力される場合は，保守員に連絡してください。

環境設定ファイルの保存に失敗しました。(エラーコード :XX)

YY

要因

［ファイル］メニューの［上書き保存］または［名前を付けて保存］を選択した時に，次に示す要因によってファイルを保存することができませんでした。

- フォルダまたはファイルの書き込み権限がありません。
- ディスクの容量が不足しています。
- その他の予期しない要因が発生しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：ファイル保存失敗時のエラーコード（GetLastError 関数から取得）

YY：エラーコードに対応するメッセージ（FormatMessage 関数から取得）

対処

次のように対処してください。

- 出力先のフォルダまたはファイルに書き込み権限を与えてください。
- ディスク容量を確保してください。
- メッセージ (YY) を参考に，その他のエラー要因を取り除いてください。

環境変数 (XX) が複数定義されています。あとに設定した環境変数が有効になります。

要因

［ファイル］メニューの［開く］で指定された環境設定ファイルに同じ環境変数が複数定義されていました。
メッセージの XX の意味は次のとおりです。
XX：複数定義されている環境変数名

対処

次のように対処してください。

- 重複している環境変数の中に不要なものがある場合は，テキストエディタなどで環境設定ファイル中の不要な定義行を削除したあとで，再度ファイルを読み込んでください。
- 意図的に同じ環境変数を複数定義している場合は，そのまま編集を続けてください。

環境変数 (XX) にこのツールは対応していません。値はチェックされません。

要因

［ファイル］メニューの［開く］で指定された環境設定ファイルに，未知の環境変数が定義されています。
メッセージの XX の意味は次のとおりです。
XX：未知の環境変数名

対処

次のように対処してください。

- 環境変数名が間違っている場合は，テキストエディタなどで環境設定ファイル中の環境変数名を訂正してください。
- 意図的に未知の環境変数名を定義している場合は，そのまま編集を続けてください。

環境変数 (XX) に指定されたパス (YY) は存在しません。

要因

環境変数の値チェック時に，存在しないパスが環境変数の値に設定されています。
メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。
XX：存在しないパスが設定された環境変数名
YY：対象の環境変数に設定されている値

対処

次のように対処してください。

- 指定したパスのフォルダまたはファイルを作成してください。
- 指定したパスの値が間違っている場合は値を変更してください。
- 他マシンへの配布などを目的に，意図的に存在しないパスを指定している場合は，そのまま編集を続けてください。

環境変数 (XX) の値 (YY) が不正または範囲外です。指定可能な範囲か確認してください。

要因

環境変数の値チェック時に，選択肢にない値または範囲外の文字列が設定されています。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：値が不正，または範囲外の環境変数名

YY：対象の環境変数に設定されている値

対処

次のように対処してください。

- 指定した値が間違っている場合は，値を訂正してください。
- 意図的に選択肢にない値または範囲外の文字列を指定している場合は，そのまま編集を続けてください。

指定された環境設定ファイルを開くことができません。(エラーコード :XX)

YY

要因

［ファイル］メニューの［開く］を選択した時に，次に示す要因によってファイルを開くことができませんでした。

- ファイルの読み込み権限がありません。
- その他の予期しない要因が発生しました。

メッセージの XX と YY の意味は次のとおりです。

XX：ファイルオープン時のエラーコード（GetLastError 関数から取得）

YY：エラーコードに対応するメッセージ（FormatMessage 関数から取得）

対処

次のように対処してください。

- 環境設定ファイルに読み込み権限を与えてください。
- メッセージ（YY）を参考に，その他のエラー要因を取り除いてください。

35 KFDB001DB 〜 KFDB999YM

データベースとの接続時に DABroker から出力されるメッセージの意味，およびその対策について説明します。

35.1　KFDB001DB 〜 KFDB999DB のメッセージ
35.2　KFDB001EC 〜 KFDB999EC のメッセージ
35.3　KFDB001LC 〜 KFDB999LC のメッセージ
35.4　KFDB001LM 〜 KFDB999LM のメッセージ
35.5　KFDB001MM 〜 KFDB999MM のメッセージ
35.6　KFDB001NM 〜 KFDB999NM のメッセージ
35.7　KFDB001RC 〜 KFDB999RC のメッセージ
35.8　KFDB001RM 〜 KFDB999RM のメッセージ
35.9　KFDB001RR 〜 KFDB999RR のメッセージ
35.10　KFDB001SC 〜 KFDB999SC のメッセージ
35.11　KFDB001SM 〜 KFDB999SM のメッセージ
35.12　KFDB001TD 〜 KFDB999TD のメッセージ
35.13　KFDB001TM 〜 KFDB999TM のメッセージ
35.14　KFDB001TR 〜 KFDB999TR のメッセージ
35.15　KFDB001YM 〜 KFDB999YM のメッセージ

35.1 KFDB001DB ～ KFDB999DB のメッセージ

KFDB001DB-E

Required memory cannot be obtained. ErrInfo［XXXX］

XXXX：保守用情報

要因

処理に必要な領域の確保時，メモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

実行中の不要なプログラムを終了してから，再実行してください。なお，このメッセージが繰り返し発生する場合は，実メモリ，または仮想メモリの設定を見直してください。

KFDB002DB-E

RDBMS **に対する要求シーケンスが不正です。**ErrInfo［XXXX］

The request sequence for the RDBMS is invalid. ErrInfo[XXXX]

XXXX**：保守用情報**

要因

ユーザから RDBMS に対する要求シーケンスが誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

RDBMS に対する要求シーケンスを見直してください。

KFDB003DB-E

システムコールでエラーが発生しました。ErrInfo［XXXX() errno=YYYY］

An error occurred in a system call. ErrInfo[XXXX() errno=YYYY]

XXXX：システムコール名称

YYYY：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

使用する OS のマニュアルを参照しエラー原因を取り除いてから，再実行してください。

KFDB004DB-I

DBMS **に対する処理を中断しました。**

DBMS processing was canceled.

要因

DBMS に対する処理を中断しました。

処理

DBMS に対する処理を中断します。

対処

必要に応じて再実行してください。

KFDB005DB-E

DABroker **でサポートされていないデータ属性がありました。**[XXXX]

A data attribute that is not supported by DABroker was found. [XXXX]

XXXX：サポートされていない列属性コード（16 進表示）

要因

指定した表列属性（XXXX）は，DABroker でサポートしていません。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

列属性，または DABroker のバージョンを見直してください。また，列属性コードについては接続先のデータベースのマニュアルを参照してください。

KFDB006DB-E

指定した DBMS **と接続した** DBMS **が異なります。**user DBMS=XXXX system DBMS=YYYY nodename=ZZZZ

The specified DBMS differs from the connected DBMS.

user DBMS=XXXX system DBMS=YYYY nodename=ZZZZ

XXXX：ユーザが指定した DBMS
YYYY：DABroker が接続した DBMS
ZZZZ：RD ノード名称

要因

ユーザが指定した DBMS と接続した DBMS が異なります。

処理

ユーザの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB007DB-E

DABroker **では，繰り返し列，及び配列列を含む表はサポートしていません。**

DABroker does not support tables containing multivalue columns and array columns.

要因

DABroker では繰り返し列，および配列列を含む表はサポートしていません。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

列属性を修正し，ユーザからの要求を再実行してください。

KFDB011DB-E

接続している DBMS **でエラーが発生しました。**nodename=XXXX SQLCODE=YYYY Info=[ZZZZ]

An error occurred in the connected DBMS. nodename=XXXX SQLCODE=YYYY Info=[ZZZZ]

XXXX：RD ノード名称
YYYY：接続している DBMS の SQL コード
ZZZZ：接続している DBMS の SQL コードに対する付加情報（付加情報がない場合は出力されません）。

要因

接続している DBMS でエラーが発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB012DB-E

接続している DBMS **でエラーが発生しました。**

nodename=XXXX SQLCODE=YYYY IPADDR=ZZZZ

An error occurred in the connected DBMS. nodename=XXXX SQLCODE=YYYY IPADDR=ZZZZ

XXXX：RD ノード名称

YYYY：接続している DBMS の SQL コード

ZZZZ：IP アドレスまたはホスト名

要因

接続している DBMS でエラーが発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB013DB-E

ユーザが指定した，認可識別子，パスワード，又は DBMS **情報のどれかが** 32 **バイトを超えています。**

The permission identifier, password or DBMS information specified by the user exceeded 32 bytes.

要因

ユーザが指定した，認可識別子，パスワード，または DBMS 情報のどれかが 32 バイトを超えています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

認可識別子，パスワード，または DBMS 情報の文字列の長さを確認し，制限バイト以内になるように指定し直してください。

KFDB017DB-E

表属性の指定が誤っています。ErrInfo［XXXX］

The specified table attribute is incorrect. ErrInfo[XXXX]

XXXX：エラーコード

要因

表属性の指定が誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

表属性を正しく指定してから，再実行してください。
なお，出力されたエラーコードによって次の内容を見直してください。

- エラーコードが 1 の場合
  表属性の前後が ` で囲まれているか確認してください。
- エラーコードが 2 の場合
  指定されている表属性が誤っていないか確認してください。
- エラーコードが 3 の場合
  複数の表属性を指定した場合の区切り文字を確認してください。

KFDB018DB-E

入力パラメタの指定が誤っています。ErrInfo［XXXX，YYYY，ZZZZ］

The specified input parameter is incorrect. ErrInfo［XXXX，YYYY，ZZZZ］

XXXX：入力パラメタの行番号
YYYY：入力パラメタの列番号
ZZZZ：エラー項目名

要因

入力パラメタの指定が誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

入力パラメタを正しく指定してから，再実行してください。

KFDB019DB-E

出力パラメタの指定が誤っています。ErrInfo［XXXX，YYYY］

The specified output parameter is incorrect. ErrInfo[XXXX, YYYY]

XXXX：出力パラメタの列番号
YYYY：エラー項目名

要因

出力パラメタの指定が誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

出力パラメタを正しく指定してから，再実行してください。

KFDB020DB-E

DBMS のバージョンが違います。ErrInfo［XXXX］

Incorrect version of the DBMS. ErrInfo[XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

DBMS は接続できるバージョンではありません。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

システム管理者に DBMS のバージョンを確認してください。

KFDB021DB-E

複数 SQL 実行の指定が誤っています。ErrInfo［XXXX，YYYY］

The specified multiple SQL execution is incorrect. ErrInfo[XXXX,YYYY]

XXXX：SQL 番号

YYYY：詳細コード

要因

複数 SQL 実行の指定が誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

複数 SQL 実行を正しく指定してから，再実行してください。

KFDB024DB-E

接続している DBMS の制限のため，？パラメタで NULL を指定できません。［XXXX］

You cannot specify NULL in the ? parameter because of a limit of the connected DBMS. [XXXX]

XXXX：NULL が指定された？パラメタの位置

要因

？パラメタに NULL が指定されました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

？パラメタを見直して再実行してください。

KFDB025DB-E

HiRDB **または** ORACLE **に対する接続環境が整っていません。エラーコード** =XXXX

Not prepared to connect to HiRDB or ORACLE. Error code=XXXX

XXXX：保守コード

DBMS が ORACLE の場合，次の OCI 関数名を表示します。

-1：xaoEnv

-2：xaoSvcCtx

-3：OCIHandleAlloc

-4：OCISvcCtxToLda

要因

次のどれかの要因が考えられます。

1. OTS の初期化が完了していない。
2. HiRDB が TPBroker(OTS) に登録されていない。
3. DABroker for C++ を使用した UAP を利用している場合，DBRDatabase クラスの Connect メソッドの引数 lpctDBN に指定した xa_open 文字列の DB フィールドで指定するデータベース名が誤っている。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

1. OTS の初期化完了前に DABroker にアクセスを要求している可能性があります。アプリケーションを確認してください。OTS の初期化については，接続するデータベースのマニュアルを参照してください。
2. TPBroker に HiRDB を登録しているかを確認してください。TPBroker への HiRDB の登録については，TPBroker および HiRDB のマニュアルを参照してください。
3. DABroker for C++ を使用した UAP を利用した場合，DBRDatabase クラスの Connect メソッドの引数 lpctDBN に指定した xa_open 文字列の DB フィールドで指定するデータベース名を見直してください。

KFDB026DB-E

ORACLE **の** OCI **関数でエラーが発生しました。関数名** =XXXX **リターンコード** =YYYY

The error occurred by the OCI function of ORACLE. Function name=XXXX return code=YYYY

XXXX：OCI 関数名

YYYY：OCI 関数のリターンコード

要因

OCI 関数 XXXX でエラーが発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

Oracle のドキュメントを参照してください。

KFDB030DB-E

ODBC **接続でエラーが発生しました。**

DATASOURCE NAME=WWWW　SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY　MESSAGE TEXT=ZZZZ

An error occurred in an ODBC access. DATASOURCE NAME=WWWW SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY MESSAGE TEXT=ZZZZ

WWWW：接続データソース名

XXXX：SQL コード，または DABroker の保守用情報

YYYY：SQLSTATE

ZZZZ：メッセージテキスト（エラー発生システムのエラーメッセージ）

要因

ODBC で障害が発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB031DB-E

ODBC **接続でエラーが発生しました。**

SQL CODE=XXXX　SQLSTATE=YYYY　MESSAGE TEXT=ZZZZ

An error occurred in an ODBC access.

SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY MESSAGE TEXT=ZZZZ

XXXX：SQL コード，または DABroker の保守用情報

YYYY：SQLSTATE

ZZZZ：メッセージテキスト（エラー発生システムのエラーメッセージ）

要因

ODBC で障害が発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB032DB-E

ODBC **接続で要求パラメタが不正です。**ErrInfo=XXXX

A request parameter is invalid for ODBC access. ErrInfo=XXXX

XXXX：保守用情報

要因

ODBC でパラメタが誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB040DB-E

DABroker ODBC **接続でエラーが発生しました。**

DATASOURCE NAME=WWWW SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY

MESSAGE TEXT=ZZZZ

An error occurred in a DABroker ODBC access.

DATASOURCE NAME=WWWW SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY

MESSAGE TEXT=ZZZZ

WWWW：接続データソース名

XXXX：SQL コード，または DABroker の保守用情報

YYYY：SQLSTATE

ZZZZ：メッセージテキスト（エラー発生システムのエラーメッセージ）

要因

DABroker ODBC で障害が発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB041DB-E

DABroker ODBC **接続でエラーが発生しました。**

SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY MESSAGE TEXT=ZZZZ

An error occurred in a DABroker ODBC access.

SQL CODE=XXXX SQLSTATE=YYYY MESSAGE TEXT=ZZZZ

XXXX：SQL コード，または DABroker の保守用情報

YYYY：SQLSTATE

ZZZZ：メッセージテキスト（エラー発生システムのエラーメッセージ）

要因

DABroker ODBC で障害が発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続している DBMS のマニュアルを参照してください。

KFDB042DB-E

DABroker　ODBC **接続で要求パラメタが不正です。**

ErrInfo=XXXX

A request parameter is invalid for DABroker ODBC access.

ErrInfo=XXXX

XXXX：保守用情報

要因

DABroker ODBC 接続でパラメタが誤っています。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB043DB-E

接続した ODBC Driver **のバージョンは未サポートです。**[XXXX]

DABroker does not support the ODBC Driver version.[XXXX]

XXXX:ODBC Driver **のバージョン**

要因

接続した ODBC Driver はサポートされていないバージョンです。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

ODBC Driver のバージョンを確認してください。

KFDB044DB-E

接続した DBMS **は未サポートです。**[XXXX]

DABroker does not support the DBMS. [XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

接続した DBMS はサポートしていません。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続した DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB045DB-E

指定した DBMS **と接続した** DBMS **が異なります。**

user DBMS=XXXX system DBMS=YYYY

The specified DBMS differs from the connected DBMS.

user DBMS=XXXX system DBMS=YYYY

XXXX：ユーザが指定した DBMS

YYYY：DABroker が接続した DBMS

要因

ユーザが指定した DBMS と接続した DBMS が異なります。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB051DB-E

接続したサーバーシステムはサポートしていません。[XXXX,YYYY]

DABroker does not support the connected server system. [XXXX,YYYY]

XXXX：接続サーバ名

YYYY：保守用情報

要因

接続しようとしたサーバシステムはサポートしていません。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB052DB-E

接続したサーバーシステムでシステムエラーが発生しました。[XXXX]

A system error occurred in the connected server system. [XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

接続したサーバシステムでエラーが発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続した DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB053DB-E

DABroker DBMS **ドライバでシステムエラーが発生しました。**[XXXX]

A system error occurred in the DABroker DBMS driver. [XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

DBMS ドライバでエラーが発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

接続する DBMS を見直し，指定し直してください。

KFDB054DB-E

タイムオーバのため処理を中断しました。

Processing was canceled because a timeover occurred.

要因

タイムアウトが発生しました。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，データベースアクセス処理終了待ちタイムアウト（DABDBA_TIMEOUT）の値を大きくしてください。

KFDB070DB-E

配列の要素に，異なるデータ型があります。[XXXX]

There is a data type which is different in element of arrangement.[XXXX]

XXXX：エラーの原因となったパラメタインデックス

要因

HiRDB の配列インサート機能使用時，配列に指定するデータ型が一致していません。

処理

ユーザからの要求を受け付けません。

対処

配列に指定するデータ型をすべて同じにして，再実行してください。

KFDB071DB-E

セットされたデータのサイズが，文字データ型の有効範囲を超えています。[XXXX]

The size of data is over the effective range of character data.[xxxx]

XXXX：エラーの原因となったパラメタインデックス

要因

？パラメタにセットされた文字データのサイズが，文字データ型サイズの有効範囲を超えています。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

？パラメタにセットしたデータのサイズを確認し，再実行してください。

KFDB101DB-E

メモリが不足しているため，処理に必要な領域を確保できません。

Memory is insufficient for processing.

要因

処理に必要な領域の確保時に，メモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

実行中のほかの処理を終了してから，再実行してください。

35.2 KFDB001EC ～ KFDB999EC のメッセージ

KFDB002EC-E

DABroker **は起動していません。**

DABroker is not running.

要因

DABroker を終了しようとしましたが，起動していません。

処理

処理を終了します。

KFDB008EC-E

DABroker **を終了する権限がありません。**

The user does not have authorization to stop DABroker.

要因

DABroker を終了しようとしたユーザが Administrators グループに属していないため，終了できません。

処理

処理を終了します。

対処

DABroker は Administrators グループに属しているユーザで終了してください。

KFDB012EC-E

DABroker **は起動処理中です。**

DABroker is starting.

要因

DABroker を終了しようとしましたが，起動処理が完了していません。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。

KFDB013EC-E

DABroker は終了処理中です。

DABroker is terminating.

要因

DABroker を終了しようとしましたが，終了処理中です。

処理

処理を終了します。

KFDB014EC-E

DABroker は計画終了処理中です。

DABroker is terminating in the planned termination mode.

要因

DABroker を終了しようとしましたが，計画終了処理中です。

処理

処理を終了します。

KFDB015EC-E

DABroker は強制終了処理中です。

DABroker is terminating in the forced termination mode.

要因

DABroker を終了しようとしましたが，強制終了処理中です。

処理

処理を終了します。

KFDB016EC-E

実行中の処理があるため，終了できません。

DABroker cannot terminate because of current processing.

要因

DABroker を通常終了しようとしましたが，接続中のクライアントがあるため，DABroker を終了できません。

処理

処理を終了します。

対処

次に示すどちらかの対処をしてください。

- 実行中の処理，およびすべてのクライアントが終了してから，通常終了※1してください。
- 強制終了※2，または計画終了※3してください。

注※1

［DABroker 終了］ダイアログで通常終了を選択します。

注※2

［DABroker 終了］ダイアログで強制終了を選択します。または，サービスを停止させます。

注※3

［DABroker 終了］ダイアログで計画終了を選択します。

KFDB017EC-E

指定したクライアントの処理はありません。

The specified client processing was not found.

要因

クライアントの処理を中断しようとしましたが，該当する処理※1はありませんでした。

注※1

［DABroker 管理］ウィンドウで選択されたクライアントの処理です。

処理

処理を終了します。

対処

クライアントの処理状態※2を確認してください。

注※2

DABroker 管理ユティリティを使用して確認してください。

35.3 KFDB001LC ～ KFDB999LC のメッセージ

KFDB003LC-E

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

Memory became insufficient during execution of a utility program.

要因

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB005LC-E

指定された IP アドレス又はホスト名のクライアントとの通信トレースは見つかりません。

Communication information with the specified IP address or host name cannot be traced.

要因

指定した IP アドレス，またはホスト名のクライアントとの通信トレースが見つかりません。

処理

処理を終了します。

対処

指定した IP アドレスまたはホスト名を確認してください。

35.4 KFDB001LM ～ KFDB999LM のメッセージ

KFDB001LM-E

システムコールでエラーが発生しました。[XXXX()error=YYYY]

An error occurred in a system call. [XXXX() errno=YYYY]

XXXX：システムコール名称
YYYY：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

35.5　KFDB001MM ～ KFDB999MM のメッセージ

KFDB001MM-E

動作環境定義ファイルが存在しません。[XXXX]

The DABroker environment definition file was not found. [XXXX]

XXXX：DABroker 動作環境定義ファイル名称

要因

DABroker 動作環境定義ファイルが，DABroker 運用ディレクトリ ¥conf に存在しません。

処理

DABroker を終了します。

対処

DABroker 動作環境定義ファイルを作成してください。

KFDB002MM-E

動作環境定義に誤りがあります。[XXXX]

The environment definition is incorrect. [XXXX]

XXXX：環境変数名

要因

次のどちらかが考えられます。

- DABroker 動作環境定義ファイルに設定した環境変数の値に誤りがあります。
- ユーザが設定した環境変数の値に誤りがあります。

処理

処理を終了します。

対処

次に示すどちらかの対処をしてから，再実行してください。

- テキストエディタを使用して，DABroker 動作環境定義ファイルの環境変数の値を修正してください。
- ユーザが設定した環境変数の値を修正してください。

KFDB003MM-E

動作環境定義に誤りがあります。LINE=XXXX［YYYY］

The environment definition is incorrect. LINE=XXXX [YYYY]

XXXX：エラー発生行
YYYY：エラー発生定義

要因

- DABroker 動作環境定義ファイルの構文に誤りがあります。
- DABroker 動作環境定義ファイルに設定した環境変数の値に誤りがあります。

処理

処理を終了します。

対処

テキストエディタを使用して，DABroker 動作環境定義ファイルを修正してください。

KFDB004MM-E

DABroker is not installed.

要因

DABroker がインストールされていません。DABroker のインストール環境が不正です。

処理

処理を中断します。

対処

DABroker を再インストールしてください。

KFDB005MM-E

システムコールでエラーが発生しました。［XXXX errno=YYYY］

An error occurred in a system call. [XXXX errno=YYYY]

XXXX：エラー発生関数の名称
YYYY：エラー番号

要因

XXXX 関数でエラーが発生しました。

処理

処理を中断します。

対処

使用する OS のマニュアルを参照しエラー原因を取り除いてから，再実行してください。

KFDB006MM-E

System call error occured. [XXXX errno=YYYY]

XXXX：エラー発生関数の名称
YYYY：エラー番号

要因

XXXX 関数でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

使用する OS のマニュアルを参照しエラー原因を取り除いてから，再実行してください。

KFDB009MM-E

メモリを確保できませんでした。XXXX

Required memory cannot be obtained. XXXX

XXXX：確保しようとしたメモリのサイズ，またはメモリ不足でエラーとなったシステムコール名称

要因

DABroker の動作に必要なメモリが不足しています。

処理

DABroker を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB011MM-E

動作環境定義ファイルに対するアクセス権限が有りません。[XXXX]

The user does not have authority to access the environment definition file. [XXXX]

XXXX：DABroker 動作環境定義ファイル名称

要因

DABroker 動作環境定義ファイルに対するアクセス権限がありません。

処理

処理を終了します。

対処

DABroker 動作環境定義ファイルに読み込み権限があるかどうか調べてください。
読み込み権限がなければ，読み込み権限を付加してください。

KFDB019MM-E

ディレクトリが存在しません。ディフォルトディレクトリを使用します。[XXXX]

The directory was not found. DABroker will use the default directory. [XXXX]

XXXX：環境変数名

要因

次の要因が考えられます。

- DABroker 動作環境定義ファイルで環境変数に設定したディレクトリが存在しないか，使用できません。
- ユーザが環境変数に設定したディレクトリが存在しないか，使用できません。

処理

環境変数に指定したディレクトリを無視して，デフォルトのディレクトリを使用します。

対処

次に示すどれかの対処をしてから，再実行してください。

- 環境変数に設定したディレクトリを作成してください。
- テキストエディタなどを使用して，DABroker 動作環境定義ファイルの環境変数の値を修正してください。
- ユーザが設定した環境変数の値を修正してください。
- DABroker 環境設定ユティリティを使用して，正しいディレクトリを指定してください。

KFDB020MM-E

ディレクトリが存在しません。[XXXX]

The directory was not found. [XXXX]

XXXX：環境変数名

要因

次の要因が考えられます。

- DABroker 動作環境定義ファイルで環境変数に設定したディレクトリが存在しないか，使用できません。
- ユーザが環境変数に設定したディレクトリが存在しないか，使用できません。

処理

処理を終了します。

対策

次に示すどれかの対処をしてから，再実行してください。

- 環境変数に設定したディレクトリを作成してください。
- テキストエディタなどを使用して，DABroker 動作環境定義ファイルの環境変数の値を修正してください。
- ユーザが設定した環境変数の値を修正してください。

35.6 KFDB001NM ～ KFDB999NM のメッセージ

KFDB001NM-E

システムコールでエラーが発生しました。（エラー関数：XXXX**，エラーコード：**YYYY**）**

An error occurred in a system call. (Error function:XXXX, error code:YYYY)

XXXX：エラー発生関数名
YYYY：GetLastError 関数で返ってきたエラーコード

要因

システムコールでエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

Windows をシャットダウンさせて再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，保守員に連絡してください。

KFDB002NM-E

DABroker **の実行中に異常が発生しました。**DABroker **を終了します。（ファイル名：**XXXX**，行番号：**YYYY**）**

An abnormality occurred during DABroker processing. DABroker terminates.

(File name:XXXX, Line number:YYYY)

XXXX：エラーが発生したソースファイル
YYYY：エラーが発生した行番号

要因

DABroker 実行中に異常が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB003NM-E

DABroker **の実行中にメモリ不足が発生しました。**

Memory became insufficient during DABroker processing.

要因

DABroker の実行中にメモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

ほかのアプリケーションプログラムを終了して，再実行してください。

KFDB004NM-E

動作環境が不正です。DABroker をインストールし直してください。

The environment is incorrect. Re-install DABroker.

要因

次の原因が考えられます。

- インストールが正しく完了していません。
- 環境変数（レジストリ）の設定が不正です。
- DABroker のファイルがありません。
- DABroker のファイルが壊れています。

処理

処理を終了します。

対処

イベントログ（アプリケーション）にほかのメッセージが出力されている場合は，出力されているエラーメッセージを参照してください。
DABroker をインストールし直して，再実行してください。

KFDB005NM-E

DABroker **の初期化中にエラーが発生しました。**

An error occurred during DABroker initialization processing.

要因

DABroker の初期化処理でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

次に示すどれかの対処をしてから，再実行してください。

- イベントログ（アプリケーション）にほかのメッセージが出力されている場合は，

出力されているエラーメッセージを参照してください。
- ログファイル（dabsv.log）にほかのメッセージが出力されている場合は，出力されているエラーメッセージを参照してください。
- 定義エラーに対処できない場合は，該当する定義ファイルを削除してください。

KFDB101NM-E

サービス制御処理中にエラーが発生しました。（エラーコード１：XXXX，エラーコード２：YYYY）

An error occurred during service controlled processing. (Error code 1:XXXX, error code 2:YYYY)

XXXX：エラー発生関数種別
YYYY：GetLastError 関数で返ってきたエラーコード

要因

サービス制御処理中にエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

次に示す方法で対処できない場合は，Windows をシャットダウンさせて再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，保守員に連絡してください。
- イベントログ（アプリケーション），またはメッセージログにほかのメッセージが出力されている場合は，出力されているエラーメッセージを参照してください。
- 定義エラーに対処できない場合は，該当する定義ファイルを削除してください。
- DABroker をインストールし直して，再実行してください。

KFDB102NM-E

サービス制御処理中にメモリ不足が発生しました。

Memory became insufficient during service controlled processing.

要因

サービス制御処理中にメモリ不足が発生しました。

処理

DABroker のサービス制御処理を終了します。

対処

ほかのアプリケーションプログラムの終了などによって，動作環境のメモリを確保してから，再実行してください。

KFDB103NM-I

DABroker **サービスを開始しました。**

DABroker service has started.

要因

DABroker サービスを開始し，DABroker を起動しました。

処理

DABroker サービスを起動しました。

KFDB104NM-Q

DABroker **サービスを停止してもよろしいですか？**

Do you want to terminate the DABroker service?

要因

DABroker サービスを停止し，DABroker を終了しようとしました。

処理

ユーザの応答を待ちます。

対処

DABroker を停止する場合は［はい］ボタンを，停止しない場合は［いいえ］ボタンを選択してください。

KFDB105NM-E

DABroker **サービスの情報が誤っているため起動できません。（エラーコード：**XXXX**）**

DABroker cannot start because a DABroker service parameter is invalid. (Error code:XXXX)

XXXX：GetLastError 関数で返ってきたエラーコード

要因

DABroker サービスを開始しようとしましたが，DABroker サービスの情報が誤っていたためエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

DABroker をインストールし直してください。その後，再実行してください。

KFDB201NM-E

ディレクトリが正しくありません。

The directory is invalid.

要因

次の原因が考えられます。

- ディレクトリ名の指定に誤りがある
- 存在しないディレクトリが指定されている

処理

処理を終了します。

対処

ディレクトリ名を正しく指定して，再実行してください。

KFDB202NM-E

範囲外の数値データが入力されました。

The entered numerical data is outside the range.

要因

次の原因が考えられます。

- 数値データ以外の文字が入力された
- 全角文字が入力された
- 指定できる範囲外の数値データ入力された

処理

処理を終了します。

対処

指定できるデータの範囲を確認してから，データを再入力してください。

KFDB203NM-Q

クライアントの処理を中断します。IP **アドレス：**XXXX**，ホスト名：**YYYY

The client processing was canceled. IP address:XXXX host name:YYYY

XXXX：中断するクライアント処理の IP アドレス

YYYY：中断するクライアント処理のホスト名

要因

クライアントプロセスを管理ユティリティで中断しようとしました。

処理

ユーザの応答を待ちます。

対処

クライアントプロセスを中断する場合は［はい］ボタンを，中断しない場合は［いいえ］ボタンを選択してください。

KFDB204NM-E

レジストリ名 XXXX の値が長過ぎます。

The registry name XXXX is too long.

XXXX：レジストリの値の名前

要因

レジストリ名 XXXX の値の文字列長が 1,024 バイトを超えました。

処理

処理を終了します。

対処

レジストリエディタで，レジストリ名 XXXX の値の文字列を 1,024 バイト以下に設定してください。

KFDB205NM-E

レジストリ名 XXXX で，DABroker がサポートしているデータタイプと異なるデータタイプが取得されました。

DABroker found a non-supported data type in the registry name XXXX.

XXXX：レジストリの値の名前

要因

レジストリ名 XXXX に DABroker がサポートしているデータタイプと異なるデータタイプが指定されました。

処理

処理を終了します。

対処

レジストリエディタでデータを修正してください。

KFDB206NM-E

レジストリ名 XXXX の値の取得に失敗しました。（エラー関数：YYYY，エラーコード：ZZZZ）

DABroker failed to get the value of registry name XXXX.

(Error function:YYYY, error code:ZZZZ)

XXXX：レジストリの値の名前
YYYY：エラー関数名
ZZZZ：GetLastError 関数に返されたエラーコード

要因

次の原因が考えられます。

- レジストリが破壊された
- DABroker，またはユティリティの稼働環境が不安定になった
- DABroker，またはユティリティが破壊された
- レジストリの読み取り権限がない

処理

処理を終了します。

対処

次に示す方法で対処できない場合は，Windows を再起動するか，または DABroker をインストールし直してください。

- DABroker，またはユティリティを一度終了して，操作を再実行してください。
- レジストリに読み取り権限を付与してください。

KFDB207NM-E

レジストリ名 XXXX の値の更新に失敗しました。（エラー関数：YYYY，エラーコード：ZZZZ）

DABroker failed to update the value of registry name XXXX. (Error function:YYYY, error code:ZZZZ)

XXXX：レジストリの値の名前
YYYY：エラー関数名
ZZZZ：GetLastError 関数に返されたエラーコード

要因

次の原因が考えられます。

- レジストリが破壊された
- DABroker，またはユティリティの稼働環境が不安定になった
- DABroker，またはユティリティが破壊された
- レジストリに書き込み権限がない

処理

処理を続行します。

対処

次に示す方法で対処できない場合は，Windows を再起動するか，または DABroker

をインストールし直してください。
- DABroker，またはユティリティを一度終了して，操作を再実行してください。
- レジストリに書き込み権限を付与してください。

KFDB211NM-E

DABroker が起動中のため，動作環境定義の更新はできません。

An environment definition cannot be updated because DABroker is running.

要因

環境設定ユティリティで，DABroker の動作環境を更新しようとしましたが，DABroker が起動中のためできませんでした。

処理

処理を終了します。

対処

DABroker を終了してから，再実行してください。

KFDB213NM-E

環境設定ユティリティを実行する権限がありません。

The user does not have authority to execute the environment setting utility.

要因

環境設定ユティリティを実行したユーザが Administrators グループに属していないため，実行できません。

処理

処理を終了します。

対処

環境設定ユティリティは，Administrators グループに属しているユーザが実行してください。

KFDB214NM-E

取得する情報の種類が指定されていません。

The type of information to be acquired is not specified.

要因

データベースアクセストレースの取得が指示されましたが，取得する情報の種類が一つも指定されていません。

処理

［設定値変更］ダイアログを再表示し，ユーザの操作を待ちます。

対処

取得する情報の種類を一つ以上指定するか，［アクセストレースを取得する］チェックボックスをオフにして，再実行してください。

KFDB215NM-E

DABroker **が起動中のため，更新できません。**

Cannot update because DABroker is running.

要因

DABroker の定義を更新しようとしましたが，DABroker が起動中のため更新できませんでした。

処理

処理を終了します。

対処

DABroker を終了してから，再実行してください。

KFDB216NM-W

DABroker **が起動中のため，更新できません。**

Cannot update because DABroker is running.

要因

DABroker の定義を更新しようとしましたが，DABroker が起動中のためできませんでした。

処理

読み取り専用モードで実行します。

対処

DABroker を終了してから，再実行してください。

KFDB250NM-I

トレースを出力しました。

The trace has been output.

要因

トレース出力ユティリティで指定したファイルにトレースを出力しました。

処理

処理を続行します。

KFDB251NM-I

出力するトレースがありません。

The trace to be output was not found.

要因

出力を要求された種別のトレースが 1 件も取得されていません。

処理

処理を続行します。

KFDB252NM-E

通信トレースの出力処理中にエラーが発生しました。

An error occurred during output processing for the communication-trace.

要因

次の原因が考えられます。

- 出力先のディスクに十分な容量がない
- 出力先のディスクに書き込む権限がない
- 出力先のディスクが書き込み禁止である
- 出力先のファイル指定に誤りがある

処理

処理を終了します。

対処

出力先のディスク，ファイル，およびファイルの指定を確認し，再実行してください。

KFDB253NM-E

アクセストレースの出力処理中にエラーが発生しました。

An error occurred during output processing for the access-trace.

要因

次の原因が考えられます。

- 出力先のディスクに十分な容量がない
- 出力先のディスクに書き込む権限がない
- 出力先のディスクが書き込み禁止である

処理

処理を終了します。

対処

出力先のディスク，またはファイルを確認し，再実行してください。

35.7 KFDB001RC ～ KFDB999RC のメッセージ

KFDB003RC-E

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

Memory became insufficient during execution of a utility program.

要因

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

35.8 KFDB001RM ～ KFDB999RM のメッセージ

KFDB001RM-E

システムコールでエラーが発生しました。[XXXX()error=YYYY]

An error occurred in a system call. [XXXX() errno=YYYY]

XXXX：システムコール名称
YYYY：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

35.9 KFDB001RR ～ KFDB999RR のメッセージ

KFDB001RR-E

指定されたユーザ ID のデータベースとのアクセストレースは見つかりません。

The access-trace for the database that has the specified user ID could not be found.

要因

指定したユーザ ID の，データベースアクセストレースが見つかりません。

処理

処理を終了します。

対処

指定したユーザ ID を確認してください。

KFDB002RR-E

指定されたプログラム名のデータベースとのアクセストレースは見つかりません。

The access-trace for the database that has the specified program name could not be found.

要因

指定したクライアントのプログラム名の，データベースアクセストレースが見つかりません。

処理

処理を終了します。

対処

指定したクライアントのプログラム名を確認してください。

KFDB003RR-E

指定されたユーザ ID，又はプログラム名のデータベースとのアクセストレースは見つかりません。

The access-trace for the database that has the specified user ID or program name could not be found.

要因

指定したユーザ ID，またはクライアントのプログラム名の，データベースアクセストレースが見つかりません。

処理

処理を終了します。

対処

指定したユーザ ID，またはクライアントのプログラム名を確認してください。

35.10　KFDB001SC ～ KFDB999SC のメッセージ

KFDB002SC-E

DABroker **は起動していません。**

DABroker is not running.

要因

DABroker の動作状態を表示しようとしましたが，DABroker は起動していません。

処理

処理を終了します。

KFDB005SC-I

DABroker **は計画終了処理中です。**

DABroker is terminating in the planned termination mode.

要因

DABroker の動作状態を表示しようとしましたが，DABroker は計画終了処理中です。

処理

DABroker の動作状態を表示し，計画終了を続行します。

KFDB007SC-E

DABroker **は起動処理中です。**

DABroker is starting.

要因

DABroker 管理ユティリティを実行しましたが，DABroker の起動処理が完了していません。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けて，再実行してください。

KFDB008SC-E

DABroker **は終了処理中です。**

DABroker is terminating.

要因

DABroker 管理ユティリティを実行しましたが，DABroker は終了処理中です。

処理

処理を終了します。

KFDB009SC-E

DABroker **は強制終了処理中です。**

DABroker is terminating in the forced termination mode.

要因

DABroker 管理ユティリティを実行しましたが，DABroker は強制終了処理中です。

処理

処理を終了します。

35.11　KFDB001SM ～ KFDB999SM のメッセージ

KFDB001SM-E

システムコールでエラーが発生しました。［XXXX()errno=YYYY］

An error occurred in a system call. [XXXX() errno=YYYY]

XXXX：システムコール名称
YYYY：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB002SM-E

共有メモリを取得できませんでした。［shmget()errno=XXXX］

Shared memory cannot be obtained. [shmget() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（shmget）でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB003SM-E

共有メモリを削除できませんでした。［shmctl()errno=XXXX］

Shared memory cannot be deleted. [shmctl() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（shmctl）でエラーが発生しました。

処理

処理を続行します。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB004SM-E

セマフォを取得できませんでした。[semget()errno=XXXX]

The semaphore cannot be obtained. [semget() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（semget）でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB005SM-E

セマフォを削除できませんでした。[semctl()errno=XXXX]

The semaphore cannot be deleted. [semctl() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（semctl）でエラーが発生しました。

処理

処理を続行します。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB006SM-E

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

Memory is insufficient during execution of a utility program.

要因

ユティリティの実行中にメモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

35.12 KFDB001TD ～ KFDB999TD のメッセージ

KFDB001TD-E

システムコールでエラーが発生しました。[XXXX errno=YYYY]

An error occurred in a system call. [XXXX errno=YYYY]

XXXX：システムコール名称
YYYY：システムコールのエラー番号

要因

XXXX システムコールでエラーが発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

使用する OS のマニュアルを参照しエラー原因を取り除いてから，再実行してください。

KFDB002TD-E

メモリ不足が発生しました。

Memory is insufficient.

要因

メモリ不足が発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，実メモリ，または仮想メモリの設定を見直してください。

KFDB003TD-E

指定されたカーソルは使用中，又は初期化処理がされていません。[CursorId=XXXX]

The specified cursor is being used, or it is not initialized. [CursorId=XXXX]

XXXX：カーソル番号

要因

指定されたカーソルは，ほかの処理で使用中です。または，初期化処理がされていません。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

未使用のカーソルを使用して，再実行してください。または，初期化処理をしてください。

KFDB004TD-E

カーソルの値が不正です。[CursorId=XXXX]

The cursor value is invalid. [CursorId=XXXX]

XXXX：カーソルの値

要因

指定されたカーソルの値が不正です。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

カーソルは 1 ～ 64 の値を指定してください。

KFDB005TD-E

不正なデータを受信しました。[ErrorCode=XXXX]

Invalid data was received. [ErrorCode=XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

クライアントから不正なデータを受信しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

クライアントのバージョン，または DABroker のバージョンを確認してください。

KFDB006TD-E

必要なパラメタがありません。または，パラメタの値が不正です。[XXXX]

The required parameter was not found, or the parameter value is invalid. [XXXX]

XXXX：パラメタ名

USER ID：ユーザ ID

RD NODE NAME：RD ノード名称

TABLE TYPE：表属性

ABSTRACT KIND：データベース種別名

ABSTRACT NAME：データベース名

DATASOURCE：ODBC3.0 のデータソース名

要因

パラメタがありません。または，パラメタの値が不正です。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

パラメタを正しく設定して，再実行してください。

KFDB007TD-E

指定された機能はサポートしていません。[RequestCode=XXXX]

DABroker does not support the specified function. [RequestCode=XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

クライアントのバージョンが新しいため，サポートしていない機能を要求しました。または，クライアントが不正なデータを送信しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

クライアントのバージョン，または DABroker のバージョンを確認してください。なお，クライアントからの要求コードについては，「付録 C.2　DABroker の要求コードおよび応答コード」を参照してください。

KFDB008TD-E

システムでエラーが発生しました。[ErrorCode=XXXX]

An error occurred in the system. [ErrorCode=XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

DABroker システム内でエラーが発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB009TD-E

返信データの要求サイズが不正です。[ResponseSize=XXXX]

The request size of reply data is invalid. [ResponseSize=XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

クライアントが要求した返信データのサイズが不正です。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB010TD-E

要求コードのシーケンスエラーが発生しました。[RequestCode=XXXX-YYYY]

A sequence error of the request code occurred. [RequestCode=XXXX-YYYY]

XXXX：前回の要求コード

YYYY：今回の要求コード

要因

クライアントからの要求コードのシーケンスエラーが発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

出力された要求コードを基に要求シーケンスを見直してください。なお，要求コードについては，「付録 C.2　DABroker の要求コードおよび応答コード」を参照してください。

KFDB011TD-E

指定されたデータベースは未サポートです。

DABroker does not support the specified database.

要因

クライアントのバージョンが新しいため，サポートしていないデータベースを指定しました。または，クライアントが不正なデータを送信しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

接続先のデータベースを見直してください。

KFDB012TD-E

指定された SQL に誤りがあります。

The specified SQL is incorrect.

要因

クライアントが指定した SQL に次に示す誤りがあります。

- 「:」の使用方法が不正です。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

SQL の誤りを修正し，再実行してください。

KFDB013TD-E

データベースアクセスライブラリでエラーが発生しました。[ErrorCode=XXXX]

An error occurred in the database access library. [ErrorCode=XXXX]

XXXX：詳細コード

要因

データベースアクセスライブラリでエラーが発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

詳細コードを参照しエラー原因を取り除いてから，再実行してください。なお，詳

細コードについては，「付録 C.1　DABroker の詳細コード」を参照してください。

KFDB015TD-E

タイムオーバのため処理を中断しました。

Processing was canceled because a timeover occurred.

要因

タイムアウトが発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

クライアントを再起動してから，操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB016TD-E

データベースアクセスでエラーが発生しました。[ErrorCode=XXXX]

A database access error occurred. [ErrorCode=XXXX]

XXXX：DBMS のエラーコード

要因

データベースアクセスでエラーが発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

DBMS のマニュアルを参照してエラーとなる原因を取り除き，操作を再実行してください。

KFDB030TD-W

キャンセルされたため，処理を中断しました。

Processing was canceled.

要因

キャンセルされたため，処理を中断しました。

処理

処理を終了します。

KFDB031TD-W

処理が終了したため，キャンセルできません。

Processing cannot be canceled because it has already ended

要因

処理をキャンセルしようとしましたが，処理が終了したため，キャンセルできませんでした。

処理

キャンセル処理を終了します。

KFDB032TD-E

クライアントでサポートされていないデータ型があります。(DataType=XXXX)

A data type that the client does not support was found. (DataType=XXXX)

XXXX：データ属性コード

要因

クライアントでサポートされていないデータ型があります。

処理

処理を終了します。

対処

表の定義，または DABroker のバージョンを見直してください。また，データ属性コードについては，接続先のデータベースのマニュアルを参照してください。

KFDB033TD-E

データベースに接続されていません。

Not connected to the database.

要因

データベースに接続されていません。

処理

処理を終了します。

対処

データベースに接続してから，処理を再実行してください。

KFDB034TD-E

指定されたファイルを削除する権限がありません。

ファイル名：XXXX

The user does not have authorization to delete the specified file. File:XXXX

XXXX：ファイル名

要因

指定されたファイルを削除する権限がありません。

処理

処理を終了します。

対処

ファイルの権限を確認し，再実行してください。

KFDB035TD-E

指定されたファイルがありません。ファイル名：XXXX

The specified file was not found. File:XXXX

XXXX：ファイル名

要因

指定されたファイルが見つかりません。

処理

処理を終了します。

対処

ファイルの名を確認し，再実行してください。

KFDB036TD-E

指定されたファイルの削除に失敗しました。ファイル名：XXXX［unlink（）errno ＝ YYYY］

DABroker failed to delete the specified file. File:XXXX [unlink() errno=YYYY]

XXXX：ファイル名

YYYY：unlink() のエラー番号

要因

指定されたファイルの削除に失敗しました。

処理

処理を終了します。

対処

unlink() のエラー番号を参照してエラーとなる原因を取り除いてください。

KFDB037TD-E

クライアントへの情報の送信に使用する領域が不足しました。要因＝ XXXX

The area for sending information to the client was insufficient. Cause=XXXX

XXXX：処理種別

要因

クライアントへの情報の送信に使用する領域が不足しました。

処理

クライアントからの要求を受け付け，処理をしました。

対処

クライアントプログラムで設定した受信データ領域長を見直してください。データベースに対して更新，または表の定義を要求した場合，データベースにアクセスし，処理が正しく実行されているか確認してください。

なお，出力された処理種別によって次の計算式を使用して必要な受信データ領域長を算出し，受信データ領域長を見直してください。ただし，対策後もこのエラーが繰り返し発生する場合，およびこのほかの処理種別が出力された場合は，保守員に連絡してください。

- 処理種別が EXT-CMD <Prepare> の場合

$$24 * n + \sum_{i=1}^{n} (\uparrow (\text{検索対象の列名称の長さ} / 4) \uparrow * 4) \quad \text{バイト} \quad (n：\text{検索する列数})$$

- 処理種別が EXT-CMD <Fetch> の場合

  検索する 1 レコードの長さ＋ 4 ＊検索する列数 バイト

- 処理種別が PROCEDURE PREPARE の場合

$$52 + 36 * n + \sum_{i=1}^{n} (\uparrow (\text{パラメタ列名称の長さ} / 4) \uparrow * 4) \quad \text{バイト}$$

（n：入力，出力，および入出力パラメタ数＊2の和）

- 処理種別が PROCEDURE EXECUTE の場合

$$44 + 20 * n + \sum_{i=1}^{n} (\uparrow (\text{出力，または入出力パラメタの列名称の長さ} / 4) \uparrow * 4) \quad \text{バイト}$$

（n：出力，および入出力パラメタ数の和）

- 処理種別が PROCEDURE-PARAMETER の場合

$52+48*n+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(入力，出力，または入出力パラメタ列名称の長さ／4)\uparrow*4)$ バイト

（n：入力，出力，および入出力パラメタ数の和）

- 処理種別が PROCEDURE-RESULT の場合

$52+48*m+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(入力，出力，または入出力パラメタ列名称の長さ／4)\uparrow*4)+36*n+\sum_{i=1}^{n}(\uparrow(ResultSetの列名称の長さ／4)\uparrow*4)$ バイト

（m：入力，出力，および入出力パラメタ数の和　n：ResultSet数）

- 処理種別が EXT-CMD <EXECUTE> の場合

  52 ＋ 4 ＊設定された可変値データのうち実行されたレコード数 バイト

KFDB049TD-E

データ処理中にメモリ不足が発生しました。ErrInfo[XXXX]

Memory is insufficient during data processing. ErrInfo[XXXX]

XXXX：保守用情報

要因

処理に必要な領域を確保しようとした時，メモリ不足が発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，実メモリ，または仮想メモリの設定を見直してください。

35.13 KFDB001TM ～ KFDB999TM のメッセージ

KFDB001TM-E

services ファイルに，DABroker のサービス名とポート番号 (DABROKER_SV) **が登録されていません。**

The services name and port number(DABROKER_SV) of DABroker are not listed in the "services" file.

要因

システムの services ファイルに，DABroker のサービス名とポート番号が登録されていません。

処理

処理を終了します。

対処

services ファイルに，次の記述を追加してください。

```
DABROKER_SV 40179/tcp
```

NIS を使用している場合は，NIS のサーバに追加してください。

KFDB002TM-E

ソケットをオープンできません。[socket() errno=XXXX]

The socket cannot be opened. [socket() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（socket）でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB003TM-E

ソケットへのアドレスの割り付けができません。[bind() errno=XXXX]

The address cannot be allocated to the socket. [bind() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（bind）でエラーが発生しました。DABroker の強制終了時に，LAN 上に通信データが残った可能性があります。

処理

処理を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，DABroker を再起動してください。

KFDB004TM-E

コネクション要求の受付開始時にエラーが発生しました。[listen() errno=XXXX]

An error occurred when a requested connection was accepted. [listen() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（listen）でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB005TM-E

コネクションの確立時にエラーが発生しました。[accept() errno=XXXX]

An error occurred when a connection was established. [accept() errno=XXXX]

XXXX：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数（accept）でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

システムに負荷が掛かっていることが考えられます。時間を空けてから，再度実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，保守員に連絡してください。

KFDB006TM-I

コネクションを確立します。[XXXX]

A connection is established. [XXXX]

XXXX：クライアントの IP アドレスまたはホスト名

要因

クライアントとの接続を開始しました。

処理

処理を続行します。

KFDB007TM-I

コネクションを解放します。[XXXX]

A connection is released. [XXXX]

XXXX：クライアントの IP アドレスまたはホスト名

要因

クライアントとの接続を終了しました。

対処

処理を続行します。

KFDB008TM-E

クライアントプログラムのバージョンが違います。

Incorrect version of the client program.

要因

クライアントプログラムは接続できるバージョンではありません。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

クライアントプログラムのバージョンを確認してください。

KFDB009TM-E

メモリ不足が発生したため，データベースに接続できません。IPADDR=XXXX

Cannot connect the database because of insufficient memory. IPADDR=XXXX

XXXX：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

メモリ不足が発生したため，データベースに接続できません。

処理

データベースとの接続を中止し，コネクションを解放します。

対処

DABroker で実行中のほかの処理が終了してから，再実行してください。

KFDB010TM-E

不正なデータを受信しました。エラーコード =XXXX，IPADDR=YYYY

Invalid data was received. Error code=XXXX IPADDR=YYYY

XXXX：保守用情報

YYYY：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=YYYY」は表示されません。

要因

クライアントから不正なデータを受信しました。

処理

クライアントからの要求を無視します。または，処理を終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB011TM-E

通信処理でエラーが発生しました。エラーコード =XXXX，IPADDR=YYYY

An error occurred during communication processing. Error code=XXXX IPADDR=YYYY

XXXX：保守用情報

YYYY：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=YYYY」は表示されません。

要因

データの送信時，通信管理プログラムでエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

システム管理者に連絡してください。

KFDB012TM-E

データの送受信中にシーケンスエラーが発生しました。エラーコード =XXXX　IPADDR=YYYY

A sequence error occurred during sending or receiving of data.

Error code=XXXX IPADDR=YYYY

XXXX：保守用情報

YYYY：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=YYYY」は表示されません。

要因

クライアントから不正なシーケンスでデータを受信しました。

処理

クライアントからの要求を無視します。または，処理を終了します。

対処

保守員に連絡してください。

KFDB013TM-E

DABroker **が計画終了中のため，処理要求を受け付けられません。**IPADDR=XXXX

The processing request cannot be accepted because DABroker is terminating in the planned termination mode. IPADDR=XXXX

XXXX：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

データベースと接続しようとしましたが，DABroker が計画終了中です。計画終了中は，新たなクライアントからの処理要求を受け付けません。

処理

クライアントからの要求を無視します。

対処

DABroker の計画終了が終わってから，DABroker を再起動してください。その後，DABroker およびデータベースへの接続を再実行してください。

KFDB014TM-I

TCP/IP 通信処理スレッドを終了します。要因：[XXXX]，IPADDR=YYYY

The TCP/IP communication thread is terminated. Cause:[XXXX] IPADDR=YYYY

XXXX：終了要因

CANCEL_REQUEST：ユーザキャンセル要求

TERM_REQUEST：強制終了要求

YYYY：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

強制終了※1，またはユーザキャンセル※2 要求によって TCP/IP 通信用の処理スレッドが終了しました。

注※ 1

［DABroker 終了］ダイアログで強制終了を選択，またはサービスを停止させた時です。

注※ 2

［DABroker 管理］ウィンドウで選択されたクライアントの処理を中断した時です。

処理

トランザクションのロールバックおよびデータベースとの切り離しをして，コネクションを解放します。

対処

システム管理者が強制終了，またはユーザキャンセル要求をしていないか確認してください。

KFDB016TM-E

クライアントからの要求待ちタイムアウトが発生しました。コネクションを解放します。
IPADDR=XXXX

A timeout occurred during the wait for the request from the client.

DABroker releases the connection. IPADDR=XXXX

XXXX：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

DABroker 動作環境定義ファイルで DABCLIENT_TIMEOUT に指定した値以内に，クライアントからの要求がありませんでした。

処理

トランザクションのロールバックおよびデータベースとの切り離しをして，コネクションを解放します。

対処

クライアントを再起動してから，操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，DABCLIENT_TIMEOUT の値を大きくしてください。

KFDB017TM-E

データベースアクセス処理終了待ちタイムアウトが発生しました。コネクションを解放します。IPADDR=XXXX

A timeout occurred during the wait for termination of the database access.

DABroker releases the connection. IPADDR=XXXX

XXXX：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

DABroker 動作環境定義ファイルで DABDBA_TIMEOUT に指定した値以内に，データベースアクセス処理が終了しませんでした。

処理

実行中の処理を中断し，コネクションを解放します。

対処

クライアントを再起動してから，操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，DABDBA_TIMEOUT の値を大きくしてください。

KFDB018TM-E

コネクションが強制解放されました。IPADDR=XXXX

The connection was forcibly released. IPADDR=XXXX

XXXX：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

クライアントシステムが原因で，コネクションを強制解放しました。

処理

トランザクションのロールバックおよびデータベースとの切り離しをして，コネクションを解放します。

対処

クライアントでシステムダウンやタイムアウトなどが発生していないかどうか調査

してください。また，ケーブルの接続や電源の状態などを確認してください。

KFDB019TM-E

コネクションが強制解放されました。IPADDR=XXXX

The connection was forcibly released. IPADDR=XXXX

XXXX：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=XXXX」は表示されません。

要因

TCP/IP 通信時のキープアライブ機能によって，障害が検知されました。

処理

トランザクションのロールバックおよびデータベースとの切り離しを行い，コネクションを解放します。

対処

1. クライアントシステムまたはクライアント通信システムが障害を起こしていないか確認してください。
2. 回線の接続状態を調査してください。

KFDB020TM-E

データベースアクセス処理が異常終了しました。エラーコード =XXXX　IPADDR=YYYY

The database access process terminated abnormally. Error code=XXXX IPADDR=YYYY

XXXX：保守用情報

YYYY：IP アドレスまたはホスト名

クライアントには「IPADDR=YYYY」は表示されません。

要因

システムに負荷が掛かり過ぎているか，またはほかの障害によって，データベースアクセス処理が異常終了しました。

処理

コネクションを解放します。

対処

システムに負荷が掛かり過ぎていないか，またはほかの障害が発生していないか確認してください。エラーの原因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KFDB021TM-E

TCP/IP **通信処理プロセスを終了します。要因：**[XXXX]

The TCP/IP communication process terminated. Cause:[XXXX]

XXXX：終了要因（保守用情報）

要因

TCP/IP 通信処理プロセスが異常終了しました。

処理

コネクションを解放します。
以降のクライアントからの要求を受け付けません。

対処

kill コマンドなどを入力していないか，またはシステムに負荷が掛かり過ぎていないか確認してください。エラーの原因がわからない場合は，保守員に連絡してください。

KFDB022TM-W

キャンセル処理要求を受け付けられる状態ではありません。[XXXX] IPADDR=YYYY

The cancel processing request cannot be accepted. [XXXX] IPADDR=YYYY

XXXX：保守用情報
YYYY：IP アドレスまたはホスト名
クライアントには「IPADDR=YYYY」は表示されません。

要因

DABroker は，非同期キャンセル要求を受け付けましたが，キャンセル処理を実行できる状態ではありません。

処理

キャンセル処理を実行しませんでした。

対処

必要ならば，再度，キャンセル要求を実行してください。

KFDB023TM-E

指定された DBMS に対する環境変数に誤りがあります。[XXXX=YYYY] IPADDR=ZZZZ

The specified DBMS environment variable is incorrect. [XXXX] IPADDR=YYYY

XXXX：環境変数名
YYYY：環境変数の値
ZZZZ：IP アドレスまたはホスト名
クライアントには「IPADDR=ZZZZ」は表示されません。

要因

指定された DBMS に対して，動作環境定義ファイルに設定した環境変数の値に誤りがあります。

処理

クライアントからの要求を無視します。

対処

動作環境定義ファイルの環境変数の値を修正してください。

35.14 KFDB001TR ～ KFDB999TR のメッセージ

KFDB001TR-E

クライアントとの通信トレースの取得中に，メモリ不足が発生しました。

Memory became insufficient during collection of a trace of communication with a client.

要因

クライアントとの通信トレースの取得に必要なメモリが不足しました。

処理

処理を続行します。ただし，このエラーが発生したクライアントとの通信トレースは取得しません。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB002TR-E

クライアントとの通信トレースの取得中に，ディスクの容量不足が発生しました。

Disk space became insufficient during collection of a trace of communication with a client.

要因

クライアントとの通信トレースの取得中に，ディスクの容量不足が発生しました。

処理

処理を続行します。ただし，このエラーが発生したクライアントとの通信トレースは取得しません。

対処

通信トレースを取得するディレクトリ下の不要なファイルを削除してください。

KFDB003TR-E

クライアントとの通信トレースの取得中に，システムコールでエラーが発生しました。

[XXXX()errno=YYYY]

An error occurred in a system call during collection of a trace of communication with a client.

[XXXX() errno=YYYY]

XXXX：システムコール名称

YYYY：エラー番号

要因

OS のシステムコール関数，あるいは DABroker の共通関数でエラーが発生しました。

処理

処理を続行します。ただし，このエラーが発生したクライアントとの通信トレースは取得しません。

対処

このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

35.15 KFDB001YM ～ KFDB999YM のメッセージ

KFDB003YM-I

DABroker **の初期化処理が完了しました。**

DABroker initialization processing has finished.

要因

DABroker の起動要求を受け付け，初期化処理が完了しました。
DABroker の起動要求とは，［DABroker 起動］アイコンをダブルクリックまたはサービスを開始した時を指します。

処理

DABroker を起動し，クライアントからのアクセス要求の受け付けを開始します。

KFDB004YM-I

DABroker **の終了処理を開始しました。**mode=NORMAL

DABroker termination processing has started. mode=NORMAL

要因

DABroker の通常終了処理を開始しました。
DABroker の通常終了とは，［DABroker 終了］ダイアログで通常終了を選択した時を指します。

処理

DABroker を終了します。

KFDB005YM-I

DABroker **の終了処理を開始しました。**mode=FORCED

DABroker termination processing has started. mode=FORCED

要因

DABroker の強制終了処理を開始しました。
DABroker の強制終了とは，［DABroker 終了］ダイアログで強制終了を選択，またはサービスの停止を実行した時を指します。

処理

データベースへのアクセスを中断します。実行中の処理のロールバックおよびデー

タベースとの切り離しを行い，コネクションを解放します。

KFDB006YM-I

DABroker **の終了処理を開始しました。**mode=PLANNED

DABroker termination processing has started. mode=PLANNED

要因

DABroker の計画終了処理を開始しました。
DABroker の計画終了とは，［DABroker 終了］ダイアログで計画終了を選択した時を指します。

処理

実行中のデータベースへのアクセス処理が終了し，接続中のクライアントがすべて終了した時点で DABroker を終了します。計画終了中は，クライアントからの処理要求や，新たなクライアントからの接続要求は受け付けません。

KFDB007YM-E

DABroker **は計画終了中です。クライアントは接続できません。**

DABroker is terminating in the planned termination mode. A client cannot be connected.

要因

DABroker に接続しようとしましたが，DABroker が計画終了中です。計画終了中は，新たなクライアントからの接続要求は受け付けません。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

DABroker の計画終了が終わってから，DABroker を再起動してください。その後，DABroker への接続を再実行してください。

KFDB008YM-E

接続できる最大クライアント数を超えました。クライアントは接続できません。

[DABMAXUSERS=XXX]

The number of clients exceeds the maximum that can be connected.

A client cannot be connected. [DABMAXUSERS=XXXX]

XXX：接続できる最大クライアント数

要因

DABroker 動作環境定義ファイルで DABMAXUSERS に設定した値を超えて，クライアントからの接続要求が発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

ほかのクライアントが終了するまで待って，DABroker への接続を再実行してください。または，DABroker 動作環境定義ファイルの DABMAXUSERS の値を大きくしてから，再実行してください。

KFDB009YM-E

DABroker **は既に起動しています。**

DABroker is already running.

要因

DABroker がすでに起動されているマシン上で，DABroker の起動要求※を受け付けました。

注※

DABroker の起動要求とは，［DABroker 起動］アイコンをダブルクリック，またはサービスの開始を実行した時を指します。

処理

処理を終了します。

対処

一つのマシン上では，複数の DABroker は起動できません。

KFDB010YM-E

DABroker **のロードモジュールに実行権限がありません。**

ロードモジュール名：[XXXX]

The user does not have authority to execute the load module of DABroker. Name:[XXXX]

XXXX：エラーとなったロードモジュールのファイル名称

要因

DABroker のロードモジュールに実行権限がないため，クライアントからの要求を処理できません。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

DABroker を組み込み直してください。

KFDB011YM-E

シンボリックリンクが多過ぎるため，DABroker を実行できません。

ロードモジュール名：[XXXX]

DABroker cannot start because there are too many symbolic links. Name:[XXXX]

XXXX：エラーとなったロードモジュールのファイル名称

要因

DABroker 組み込み先ディレクトリのシンボリックリンクが多過ぎるため，クライアントからの要求を処理できません。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

データベース接続時に発生した場合は，DBMS ライブラリの組み込み先ディレクトリのシンボリックリンクが多過ぎることが考えられます。DBMS ライブラリの組み込み環境を確認してください。

それ以外の場合は，システム管理者に連絡し，シンボリックリンクの少ないディレクトリに DABroker を組み込み直してもらってください。

KFDB012YM-E

DABroker **のロードモジュールがありません。**

ロードモジュール名：[XXXX]

A load module of DABroker was not found. Name:[XXXX]

XXXX：エラーとなったロードモジュールのファイル名称

要因

DABroker の動作環境が正しく設定されていないため，クライアントからの要求を処理できません。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

DABroker を組み込み直してください。

データベースのクライアント製品が正しくセットアップされているか確認してください。

KFDB013YM-E

メモリ不足のため，DABroker を実行できません。

ロードモジュール名：[XXXX]

DABroker cannot start because of insufficient memory. Name:[XXXX]

XXXX：エラーとなったロードモジュールのファイル名称

要因

DABroker の動作に必要なメモリが不足しています。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB014YM-E

DABroker **を起動する権限がありません。**

The user does not have authority to execute DABroker.

要因

DABroker を起動しようとしたユーザが，DABroker の管理ユーザ（Administrators グループに属しているユーザ）ではないため，DABroker を起動できません。

処理

処理を終了します。

対処

DABroker は，DABroker の管理ユーザが起動してください。

KFDB015YM-E

TCP/IP **通信処理プロセスが異常終了しました。要因：**[XXXX]

The TCP/IP communication process terminated abnormally. Cause:[XXXX]

XXXX：終了要因（保守用情報）

要因

TCP/IP 通信処理プロセスが異常終了しました。

処理

コネクションを解放します。以降のクライアントからの要求を受け付けません。

対処

kill コマンドなどを入力していないか，またはシステムに負荷が掛かり過ぎていないか確認してください。エラーの原因がわからない場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB016YM-E

DABroker **が異常終了しました。要因：**[XXXX]

DABroker terminated abnormally. Cause:[XXXX]

XXXX：終了要因（保守用情報）

要因

kill コマンドを入力したか，またはシステムに負荷が掛かり過ぎて，DABroker が異常終了しました。

処理

DABroker を終了します。

対処

DABroker を再起動する場合は，強制終了を実行後，再起動してください。
このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。保守員に連絡する場合は，次のファイルを退避しておいてください。

- DABroker 運用ディレクトリ ¥spool 以下のファイル

KFDB019YM-E

実行可能な最大ユーザ処理プロセス数を超えました。クライアントは接続できません。

[DABMAXPROCESS=XXXX]

The number of users exceeds the maximum that can be executed.

A client cannot be connected. [DABMAXPROCESS=XXXX]

XXXX：DABroker が実行できる最大処理プロセス数

要因

DABroker 動作環境定義ファイルで DABMAXPROCESS に設定した値を超えて，クライアントからの接続要求が発生しました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

ほかのクライアントが終了するまで待って，DABroker への接続を再実行してください。または，DABroker 動作環境定義ファイルの DABMAXPROCESS の値を大きくしてから，再実行してください。

KFDB020YM-E

DABroker **を起動できません。**

DABroker cannot start.

要因

DABroker の起動に失敗しました。

処理

DABroker を終了します。

対処

直前に出力されたメッセージの指示に従って対処してください。対処後，DABroker を再起動してください。

KFDB021YM-E

同時実行可能な最大データベースアクセス数を超えました。データベースアクセスできません。

[DABDBANUMBER=XXX]

The number of database accesses exceeds the maximum that can be executed. Database access is not possible. [DABDBANUMBER=XXXX]

XXX：同時実行可能なデータベースアクセス数

要因

DABroker 動作環境定義ファイルで DABDBANUMBER に設定した値を超えて，データベースアクセス要求を受け付けました。

処理

クライアントからの要求を受け付けません。

対処

ほかのデータベースアクセスが終了するまで待って，再実行してください。または，DABroker 動作環境定義ファイルの DABDBANUMBER の値を大きくしてから，再実行してください。

KFDB022YM-I

DABroker **の終了処理が完了しました。**

DABroker has terminated.

要因

DABroker が終了しました。

KFDB023YM-E

TCP/IP 通信処理プロセスを起動できません。

The TCP/IP communication process cannot start.

要因

TCP/IP 通信処理プロセスの起動に失敗しました。

処理

DABroker 初期化処理を続行します。

対処

DABroker を終了させ，直前に出力されたメッセージに対する指示に従ってください。

KFDB100YM-E

システムコールでエラーが発生しました。[XXXX() errno=YYYY]

An error occurred in a system call. [XXXX() errno=YYYY]

XXXX：関数名称（保守用情報）

YYYY：エラー番号（保守用情報）

要因

OS のシステムコール関数，または DABroker の共通関数でエラーが発生しました。

処理

処理を終了します。

対処

操作を再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB101YM-E

メモリを確保できません。

Required memory cannot be obtained.

要因

DABroker の動作に必要なメモリが不足しています。

処理

DABroker を終了します。

対処

しばらく時間を空けてから，再実行してください。なお，このエラーが繰り返し発生する場合は，システム管理者に連絡してください。

KFDB301YM-I

Clean up. {xxx,yyy,zzz}, {sss}

要因

クライアントとの通信サーバデーモンのクリーンアップを実行しました。

処理

クライアントとの通信サーバデーモンのクリーンアップを実行します。

対処

ありません。

備考

xxx：クリーンアップ前のデーモン数を示します。

yyy：クリーンアップしたデーモン数を示します。

zzz：クリーンアップ実行後のデーモン数を示します。

sss：DABroker の状態を示します。

0：正常実行中です。

1：正常終了中です。

2：計画終了中です。

3：強制終了中です。

KFDB302YM-I

dabtcpdmn {xxx} start. [yyyy]

要因

クライアントとの通信サーバデーモンを起動しました。

処理

クライアントとの通信サーバデーモンを起動します。

対処

ありません。

備考

xxx：dabtcpdmn の引数を示します。

yyyy：起動したプロセス ID を示します。

KFDB303YM-I

dabtcpdmn end. [xxxx]

要因

クライアントとの通信サーバデーモンを終了しました。

処理

クライアントとの通信サーバデーモンを終了します。

対処

ありません。

備考

yyyy：起動したプロセス ID を示します。

KFDB310YM-I

Thread stack size = xxxx（yyyy）

要因

スレッドのスタックサイズを設定しました。

処理

スレッドのスタックサイズを xxxx バイトに設定します。

対処

ありません。

備考

xxx：スレッドのスタックサイズを示します。

yyyy：環境変数で指定されたスレッドのスタックサイズを示します。

`DABPTHREAD_STACK_SIZE is undefined.`：

環境変数 DABPTHREAD_STACK_SIZE が定義されていません。

`DABPTHREAD_STACK_SIZE=aaa`：

aaa：環境変数 DABPTHREAD_STACK_SIZE に指定されている値（最大 55 バイト）を示します。

付録

付録 A　保守情報の採取

付録 B　KEEU で始まるメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因

付録 C　DABroker の詳細コード，要求コード，および応答コード

付録 D　このマニュアルの参考情報

付録 A　保守情報の採取

メッセージの対処で，「保守員に連絡してください。」となっていた場合は，次に示す保守情報をできるだけ採取して，保守員に連絡してください。

付録 A.1　EUR 帳票作成機能，EUR クライアント帳票出力機能の場合

(1) 連絡時に必要な保守情報

連絡時に必要な保守情報を次に示します。

- OS，製品のバージョン情報（修正情報およびパッチ情報を含む）
- システム構成（ハードウェア構成，ソフトウェア構成）
- 障害情報（画面のハードコピー，印刷結果，出力ファイルなど）
- 障害の発生時刻
- 障害の再現性の有無
- 障害発生時のオペレーション
  - コマンドまたは DLL 関数の実行時に発行したコマンドライン
  - 指定したオプション記述ファイル
  - OLE オートメーションまたは OCX コントロールでメソッド発行時のプロパティ情報
- 動作環境
  - EUR 帳票作成機能 /EUR クライアント帳票出力機能の動作環境を設定している環境設定ファイル
  - プリンタ定義ファイル

  各ファイルについては，マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。
- ログファイル
  - EUR 帳票作成機能 /EUR クライアント帳票出力機能が出力したログファイル
    ログ採取の方法については，マニュアル「EUR クライアント帳票出力」を参照してください。
- イベントログファイル
  - Windows 環境の場合，イベントログ
- プリンタ情報
  出力先プリンタの次の情報を採取します。
  - メーカー名
  - プリンタの名称と型番

- ドライバの名称とバージョン情報

● 入出力ファイル
次のファイルのうち，帳票出力時に指定したファイルを採取します。
- 指定したファイル
帳票ファイル，マッピングデータファイル，ユーザ定義データファイル，接続情報ファイル，帳票セット指定ファイル，複数様式情報定義ファイル，画像ファイル，置き換え表管理情報ファイル，置き換え表ファイル，EUR 形式ファイル，オプション記述ファイル

● ダンプファイル
異常終了した場合は，次に示す情報も採取してください。
- ワトソン博士のログ，クラッシュダンプ

(2) 障害が再現する場合に追加採取する保守情報

障害が再現する場合は，次に示す情報も採取してください。

● PDL ファイル
印刷結果が不正な場合に採取します。

● 詳細ログ
- ログ採取レベルを「システム履歴」にした状態でのログファイル

(3) データベースと接続している場合に採取する保守情報

データベースに接続して帳票を出力している場合は，次に示す情報も採取してください。

● 接続先データベースの種別とバージョン

● DABroker の動作環境の設定内容

● DABroker のトレース情報

付録 A.2　EUR サーバ帳票出力機能の場合

(1) 連絡時に必要な保守情報

連絡時に必要な保守情報を次に示します。

● OS，製品のバージョン情報（修正情報およびパッチ情報を含む）

● システム構成（ハードウェア構成，ソフトウェア構成）

● 障害情報（画面のハードコピー，印刷結果，出力ファイルなど）

● 障害の発生時刻

● 障害の再現性の有無

● 障害発生時のオペレーション（コマンド実行時のオプション，ActiveX オブジェクト

実行時のプロパティ情報，JavaBeans 実行時のメソッドの引数情報）

● 動作環境
- EUR サーバ帳票出力機能の動作環境を設定している環境設定ファイル
- プリンタ定義ファイル

各ファイルについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

● ログファイル，トレースファイル
- EUR サーバ帳票出力機能が出力したログファイル
- EUR サーバ帳票出力機能が出力したトレースファイル

各ファイルについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

● イベントログファイル
- Windows 環境の場合：イベントログ
  イベントログについては，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。
- UNIX 環境の場合：syslog

● プリンタ情報
出力先プリンタの次の情報を採取します。
- メーカー名
- プリンタの名称と型番
- ドライバの名称とバージョン情報

● 入出力ファイル
次のファイルのうち，帳票出力時に指定したファイルおよび，帳票を出力したファイルを採取します。
- 指定したファイル
  帳票ファイル，マッピングデータファイル，ユーザ定義データファイル，接続情報ファイル，文書情報設定ファイル，文書しおり定義ファイル，しおり定義ファイル，暗号化設定ファイル，プリンタ定義ファイル，仕分け定義情報ファイル，帳票セット指定ファイル，複数様式情報定義ファイル，画像ファイル，置き換え表管理情報ファイル，置き換え表ファイル，Acrobat JavaScript ファイル，Acrobat JavaScript 定義ファイル，ビューアプレファレンス定義ファイル，透かし情報ファイル
- 出力したファイル
  出力ページ情報ファイル，PDF 形式ファイル，EUR 形式ファイル，CSV 形式ファイル，Excel 形式ファイル

● ダンプファイル
異常終了した場合は，次に示す情報も採取してください。
- Windows 環境の場合，ワトソン博士のログ，クラッシュダンプ
- UNIX 環境の場合，core ファイル

(2) 障害が再現する場合に追加採取する保守情報

障害が再現する場合は，次に示す情報も採取してください。

● PDL ファイル（スプールファイル）
印刷結果が不正な場合に採取します。
採取する方法は，起動方法によって異なります。次の項目で指定した出力先から採取してください。各項目については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。
- コマンドで起動する場合：/pf オプション
- ActiveX オブジェクトで起動する場合：プロパティ仕様（OutFileName プロパティ）
- JavaBeans で起動する場合：EURPSManager クラスのメソッド仕様（setOutFileName メソッド）

● 詳細ログ
API のトレース情報を採取します。API のトレース情報の採取は，環境変数「EURPS_TRACE_DRAWAPI」で指定します。EURPS_TRACE_DRAWAPI については，マニュアル「EUR サーバ帳票出力」を参照してください。

(3) データベースと接続している場合に採取する保守情報

データベースに接続して帳票を出力している場合は，次に示す情報も採取してください。

● 接続先データベースの種別とバージョン

● DABroker の動作環境の設定内容

● DABroker のトレース情報

付録 B　KEEU で始まるメッセージで終了コード 4 を返された場合の要因

終了コード 4 が返されたとき，標準エラー出力には次のどちらかのメッセージが出力されます。

- KEEU300-W と詳細メッセージ（KEEU301-W ～ KEEU308-W）
- KEEU320-W，KEEU321-W，KEEU350-W

メッセージの出力要因と対処については，「27.1　KEEU300 ～ KEEU399 のメッセージ」を参照してください。

eurps コマンドの実行時に，プリンタ出力，PDF 形式ファイル出力，または Excel 形式ファイルで次の表に示す警告要因が検出された場合，終了コード 4 を返し，詳細メッセージを出力して帳票を出力します。EUR 形式ファイル出力の場合は，項番 6 の警告要因以外は終了コード 0 を返します。

表 B-1　終了コード 4 を返す警告要因

項番	警告要因	出力メッセージ	詳細メッセージ
1	文字アイテムのアイテム枠が小さく，指定したデータがアイテム枠内に収まる分だけ出力されたとき。	KEEU300-W	KEEU301-W
2	数値アイテムのアイテム枠が小さく，指定したデータがアイテム枠内に収まらなくて，データが「***」で出力されたとき。		KEEU301-W
3	バーコードアイテムのアイテム枠が小さく，バーコードが出力されないとき。		KEEU301-W
4	アイテムが出力できる範囲を超えているので，まったく出力されないか，または出力できる範囲に収まる分だけ出力されたとき。		KEEU301-W
5	フィールドのデータ型に合わないデータを入力したため，データが欠損値（空白）で出力されたとき。		KEEU302-W
6	画像ファイルがない，EUR サーバ帳票出力機能ではサポートしていない画像ファイルである，または画像ファイルが壊れているとき。		KEEU305-W
7	指定した帳票ファイルが，上位バージョンの機能を使用して作成されているため，実行時の EUR Developer，EUR Print Service および EUR Print Service Enterprise のバージョンで出力できる範囲で帳票を出力されたとき。		KEEU304-W
8	バーコードデータに使用できない文字，または誤った桁数を指定したために，バーコードが出力されなかったとき。		KEEU301-W
9	集計行のアイテムが表示できない位置に配置されたとき。		KEEU303-W
10	日付変換用システムファイルが正しくないとき。		KEEU308-W

項番	警告要因	出力メッセージ	詳細メッセージ
11	指定した置き換え表ファイルに，置き換えデータを 1 件も登録していなかったとき。		出力しない
12	指定した置き換え表ファイルにキーデータがなかったとき。または不正なデータがあったとき。		出力しない
13	アイテムが不当に重なっていたため，Excel 形式ファイルへ出力できない項目があったとき。	KEEU320-W	出力しない
14	変換するページ数が 100 ページを超えていたとき。	KEEU321-W	出力しない
15	接続先データベースが HiRDB ではないのに，接続情報ファイルのキーワード QueryExclusiveString が指定されたとき。	KEEU350-W	出力しない

(1) 警告発生時に終了コード 4 を返さないようにするには

警告が発生しても終了コード 4 を返さないようにするには，環境変数，または環境設定ファイル（Windows 環境の場合は EURPS_ENV，UNIX ／ Linux 環境の場合は eurps_env）中の変数 EURPS_REPORT_WARNING に「NO」を設定してください。

EURPS_REPORT_WARNING に「NO」を設定すると，警告要因があっても，終了コード 0 を返して終了します。メッセージ KEEU300-W，詳細メッセージ（KEEU301-W ～ KEEU308-W），KEEU320-W ～ KEEU321-W，および KEEU350-W も出力されません。ただし，EUR 形式ファイル出力の場合は，EURPS_REPORT_WARNING の設定に関係なく，表 B-1 の項番 6 の警告要因があるときは終了コード 4 を返し，それ以外では 0 を返します。

(2) メッセージ KEEU300-W が出力されるログ

メッセージ KEEU300-W とその詳細メッセージ（KEEU301-W ～ KEEU308-W）が出力されるログは次のとおりです。

- イベントログ
  メッセージ KEEU300-W と詳細メッセージ（KEEU301-W ～ KEEU308-W）は，イベントログに出力されません。
- eurps ログ
  ログ採取レベルによって，メッセージ KEEU300-W と詳細メッセージ（KEEU301-W ～ KEEU308-W）を出力します。ログ採取レベルは，環境変数 EURPS_LOGFILEPATH で変更します。
  詳細メッセージを出力する場合は，「INFO」を指定してください。出力しない場合は，「ERROR」を指定してください。

ログには，次の順序でメッセージが出力されます。

1. KEEU400-I

2. KEEU301-W ～ KEEU308-W
3. KEEU300-W
4. KEEU401-I

詳細メッセージ（KEEU301-W ～ KEEU308-W）は，EUR サーバ帳票出力機能を実行するごとに，ログファイルへ最初の 10 件まで出力されます。メッセージ KEEU300-W は，最初の 10 件が出力されたあとに出力されます。

付録 C　DABroker の詳細コード，要求コード，および応答コード

ここでは，DABroker のメッセージ中に出力される詳細コード，要求コード，および応答コードについて説明します。

付録 C.1　DABroker の詳細コード

DABroker が出力するエラーメッセージの詳細コードを次に示します。

表 C-1　DABroker の詳細コード

詳細コード	要因	対策
-12001	このタイミングではキャンセル要求は受け付けられません。	キャンセル要求が受け付けられるタイミングになってから，要求してください。キャンセル要求が受け付けられるのは，データベース接続完了から，データベース切り離し要求受け付けまでです。
-16002	このバージョン，または DBMS でサポートされていない要求を受け付けました。	DABroker，または接続先の DBMS を確認してください。
-16004	DABroker が動作できる環境ではありません。	DABroker をインストールした環境を見直して，エラー要因を取り除いてください。
その他負のコード	DABroker システムで異常が発生しました。	保守員に連絡してください。

付録 C.2　DABroker の要求コードおよび応答コード

DABroker からの要求コードおよび応答コードを次に示します。

表 C-2　DABroker の要求コードおよび応答コード

要求コード / 応答コード	種別
1001	コネクション解放
1002	データベース接続
1003	データベース切り離し
1004	Commit
1005	Rollback
1006	表一覧取得準備
1007	表一覧取得

要求コード / 応答コード	種別
1008	表一覧取得後処理
1009	列一覧取得準備
1010	列一覧取得
1011	列一覧取得後処理
1012	索引一覧取得準備
1013	索引一覧取得
1014	索引一覧取得後処理
1015	表権限一覧取得準備
1016	表権限一覧取得
1017	表権限一覧取得後処理
1018	列権限一覧取得準備
1019	列権限一覧取得
1020	列権限一覧取得後処理
1021	SQL 実行準備
1022	SQL 実行
1023	SQL 実行結果取得
1024	SQL 実行後処理
1035	SQL 実行結果取得オプション
1037	プライマリキー一覧取得準備
1038	プライマリキー一覧取得
1039	プライマリキー一覧取得後処理
1041	自動 Commit 設定
1042	自動 Commit 解除
2001	正常応答
2002	異常応答

付録 D　このマニュアルの参考情報

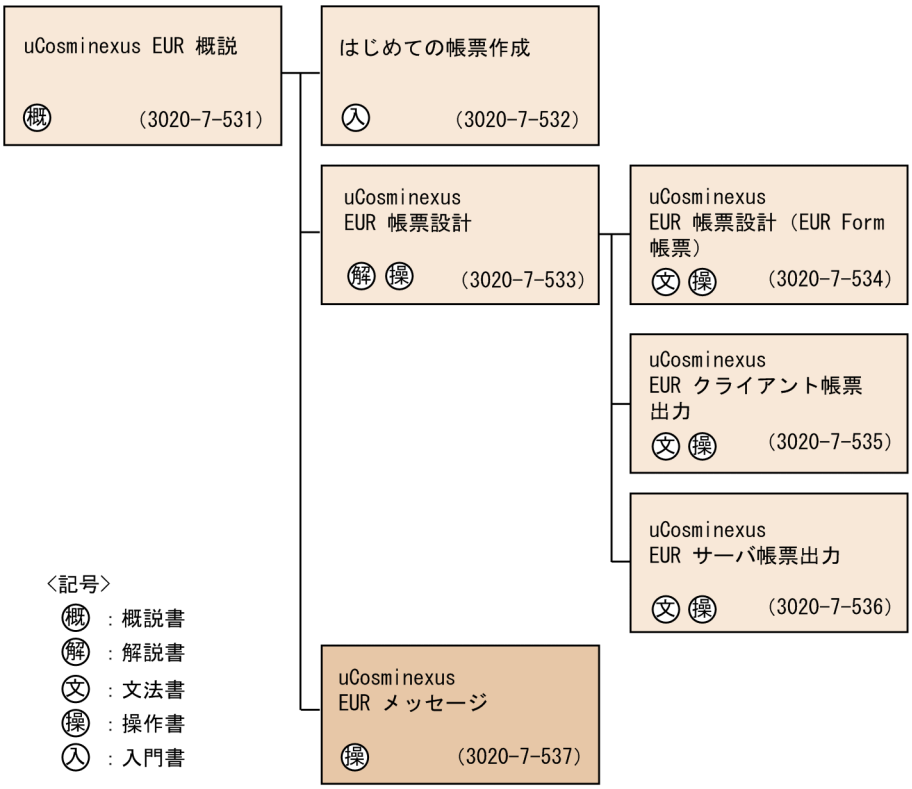
このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 D.1　関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

(1) EUR のマニュアル

EUR の関連マニュアルを次に示します。



- uCosminexus EUR 概説（3020-7-531）
  EUR とはどのような製品であるか，どんなことができるのか，uCosminexus EUR を使用する利点はどのようなものかについて説明しています。また，シリーズマニュアル内で使用する用語についても説明しています。
- はじめての帳票作成（3020-7-532）
  EUR 帳票作成機能をまだ使用したことのない人向けに，簡単な帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR 帳票設計（3020-7-533）

EUR 帳票作成機能を使用して帳票を設計する方法について説明しています。

- uCosminexus EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）（3020-7-534）
  EUR Form 帳票作成機能を使用して EUR Form 帳票を作成する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR クライアント帳票出力（3020-7-535）
  EUR クライアント帳票出力機能を使用してクライアント環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR サーバ帳票出力（3020-7-536）
  EUR サーバ帳票出力機能を使用してサーバ環境で帳票を出力する方法について説明しています。
- uCosminexus EUR メッセージ（3020-7-537）
  このマニュアルです。EUR を使用しているときに出力されるメッセージについて説明しています。

(2) 関連ソフトウェアのマニュアル

関連ソフトウェアのマニュアルを次に示します。

- SEWB+/REPOSITORY 辞書設計ガイド（3020-3-698）
- SEWB+/REPOSITORY 辞書設計ガイド（3020-3-N82）
- DBPARTNER2 Client 操作ガイド（3020-6-027）
- HiRDB Version 7 メッセージ (UNIX(R)/Windows(R) 用)（3000-6-278）
- HiRDB Version 7 メッセージ (Windows(R) 用)（3020-6-278）
- HiRDB Version 8 メッセージ（3020-6-358）
- HiRDB Version 9 メッセージ（3020-6-458）
- DABroker（3020-6-031）
- TPBroker ユーザーズガイド（3000-3-660）
- TPBroker Developer's Kit - Extension for C++ プログラマーズガイド（3000-3-680）
- TPBroker Object Transaction Monitor ユーザーズガイド（3000-3-689）

(3) このマニュアルでのマニュアル名表記

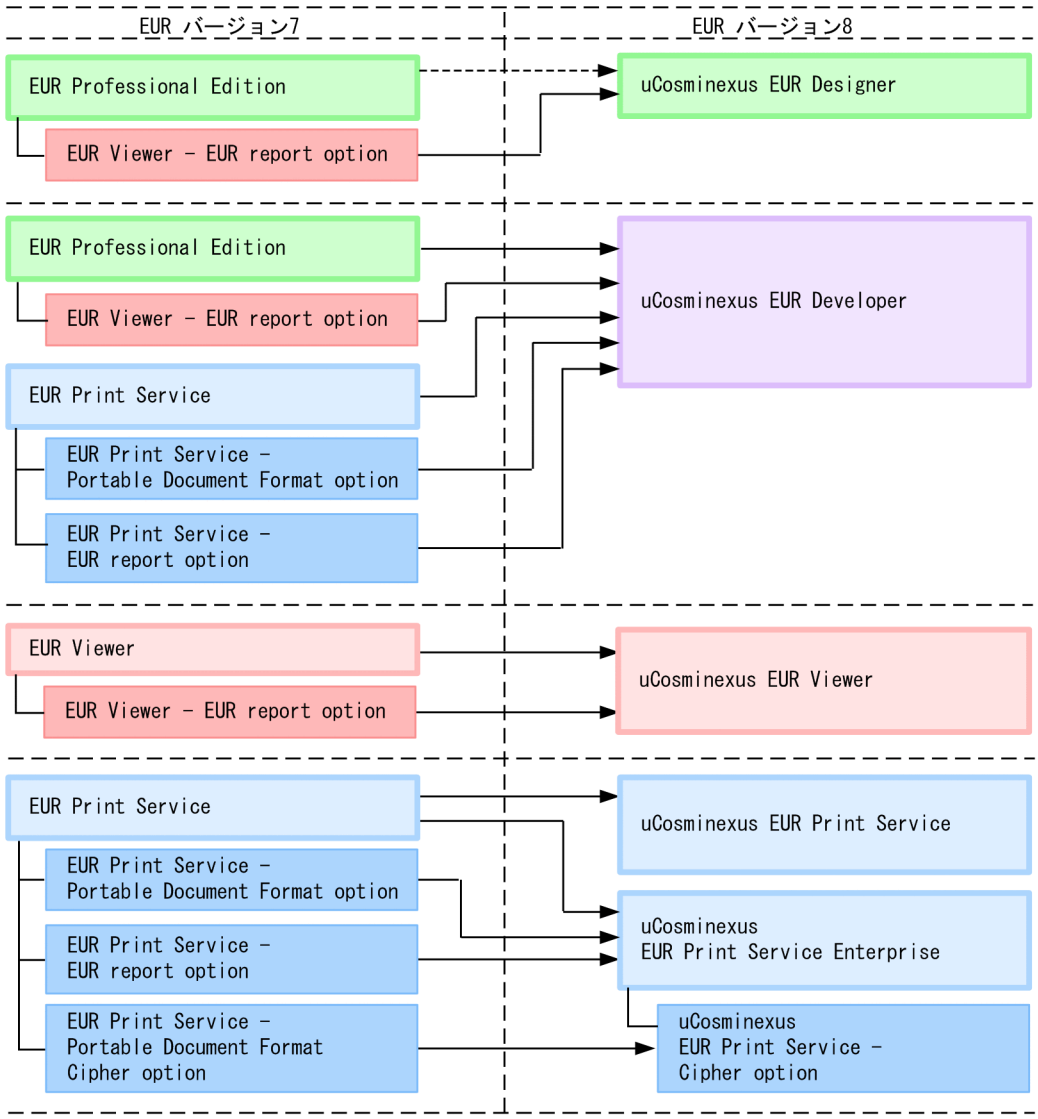
このマニュアルでは，マニュアル名について，次のように表記しています。

マニュアル名	表記
uCosminexus EUR 概説	EUR 概説
uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票設計
uCosminexus EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）	EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）
uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力
uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力
HiRDB Version 7 メッセージ (UNIX(R)/Windows(R) 用) HiRDB Version 7 メッセージ (Windows(R) 用)	HiRDB メッセージ

マニュアル名	表記
HiRDB Version 8 メッセージ	
HiRDB Version 9 メッセージ	

付録 D.2　EUR バージョン 8 での製品体系の変更

EUR バージョン 8 での製品体系の変更について，次の図に示します。



（凡例）

→：製品のすべての機能を移行先の製品へ引き継ぎます。

--►：Form帳票作成機能を除く，すべての機能を移行先の製品へ引き継ぎます。

：□で示す製品の付加製品であることを示します。

付録 D.3　EUR バージョン 8 でのマニュアル体系の変更

EUR バージョン 8 では，マニュアル体系を変更しました。体系変更後の各マニュアルの記載内容を次の表に示しますので，利用目的に応じてご利用ください。

マニュアル名		記載内容の概略
バージョン 7	バージョン 8	
EUR 概説（3 章・4 章以外）	uCosminexus EUR 概説	• 製品・機能概要 • EUR シリーズの製品紹介
EUR 概説（3 章）	uCosminexus EUR 帳票設計	• 表紙のある帳票の作成概要 • 複数様式の帳票の作成概要
EUR 概説（4 章）	はじめての帳票作成	帳票を作成する手順
EUR 帳票設計	uCosminexus EUR 帳票設計	EUR 帳票作成機能を使用した帳票設計
EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）	uCosminexus EUR 帳票設計（EUR Form 帳票）	EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）を使用した帳票設計
EUR 帳票出力	uCosminexus EUR クライアント帳票出力	EUR クライアント帳票出力機能を使用した帳票出力
EUR Print Service 帳票出力	uCosminexus EUR サーバ帳票出力	EUR サーバ帳票出力機能を使用した帳票出力
EUR メッセージ	uCosminexus EUR メッセージ	• EUR 帳票作成機能，EUR クライアント帳票出力機能のメッセージ • EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）のメッセージ • EUR サーバ帳票出力機能のメッセージ • DABroker のメッセージ

付録 D.4　このマニュアルでの表記

このマニュアルでは，uCosminexus EUR の各製品について，次のように表記しています。

製品名称	表記
uCosminexus EUR Designer	EUR Designer
uCosminexus EUR Developer	EUR Developer
uCosminexus EUR Viewer	EUR Viewer
uCosminexus EUR Print Service	EUR Print Service
uCosminexus EUR Print Service Enterprise	EUR Print Service Enterprise
uCosminexus EUR Print Service - Cipher option	EUR Print Service - Cipher option

uCosminexus EUR 以外の製品名称などについては，次のように表記しています。

製品名称	表記	
AIX 5L V5.3 AIX V6.1 AIX V7.1	AIX	
DABroker 03-05 以降 DABroker 03-07 以降 DABroker 03-11-/A 以降 DABroker 03-13 以降 DABroker 03-15 以降 DABroker 03-16 以降	DABroker	
HiRDB/Run Time Version 7 07-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 7 07-00 以降 HiRDB/Run Time Version 7(64) 07-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 7(64) 07-00 以降 HiRDB/Run Time Version 8 08-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 8 08-00 以降 HiRDB/Run Time Version 8(64) 08-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 8(64) 08-00 以降 HiRDB/Run Time Version 9 09-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 9 09-00 以降 HiRDB/Developer's Suite Version 9 09-00 以降 HiRDB/Run Time Version 9(64) 09-00 以降 HiRDB/Developer's Kit Version 9(64) 09-00 以降 HiRDB Server Version 9 09-00 以降 HiRDB Server with Additional Function Version 9 09-00 以降	HiRDB	
HP-UX 11i V2(IPF) HP-UX 11i V3(IPF)	HP-UX	
Itanium(R) Processor Family	IPF	
JP1/Network Printing System　07-00 以降	JP1/Network Printing System	JP1
Oracle9i 9.0.1 Oracle9i 9.2.0	Oracle9i	Oracle
Oracle 10g 10.1.0 Oracle 10g 10.2.0	Oracle 10g	
Oracle Database 11g 11.1.0 Oracle Database 11g R2 11.2.0	Oracle 11g	
Red Hat Enterprise Linux(R) 5(AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux(R) 5(x86) Red Hat Enterprise Linux(R) 5 Advanced Platform(AMD/Intel 64) Red Hat Enterprise Linux(R) 5 Advanced Platform(x86) Red Hat Enterprise Linux(R) AS 4(AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux(R) AS 4(x86) Red Hat Enterprise Linux(R) ES 4(AMD64 & Intel EM64T) Red Hat Enterprise Linux(R) ES 4(x86)	Linux	

このほか，このマニュアルでは，次に示す表記を使用しています。

- EUR の各製品を区別する必要がない場合は，総称して EUR と表記します。
- EUR Designer，EUR Developer の帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能」と表記します。
- EUR Developer の EUR Form 帳票作成機能を「EUR 帳票作成機能（EUR Form 帳票）」と表記します。
- EUR Designer，EUR Developer，EUR Viewer のクライアント環境での帳票出力機能を「EUR クライアント帳票出力機能」と表記します。
- EUR Developer，EUR Print Service，EUR Print Service Enterprise のサーバ環境での帳票出力機能を「EUR サーバ帳票出力機能」と表記します。
- メニュー項目，ダイアログ名，ダイアログのボタンなどは［］で囲んで表記します。

付録 D.5　このマニュアルで使用する略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
API	Application Programming Interface
ASP	Active Server Pages
CSV	Comma Separated Value
DBMS	DataBase Management System
DLL	Dynamic Linking Library
EUR	End-User Reporting
JAR	Java ARchive File
JIS	Japanese Industrial Standards
LAN	Local Area Network
PDF	Portable Document Format
PDL	Page Description Language
PP	Program Product
RDBMS	Relational DataBase Management System
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol

付録 D.6　適用 OS の違いによる機能相違点の表記

このマニュアルでは，適用 OS によって機能差がある場合，次に示す表記を使用して，それぞれの説明に OS 名を明記しています。

表　記	意　味
Windows 環境の場合	次のどちらかに該当します。 • Windows Server 2003 • Windows Server 2008 ただし，EUR Developer で EUR サーバ帳票出力機能を使用する場合は，次のどれかに該当します。 • Windows 7 • Windows Vista • Windows XP
UNIX 環境の場合	次のどれかに該当します。 • HP-UX 11i V2(IPF) • HP-UX 11i V3(IPF) • AIX 5L V5.3 • AIX V6.1 • AIX V7.1 ただし，機能差がある場合は，「HP-UX 環境の場合」，または「AIX 環境の場合」と表記します。
Linux 環境の場合	次のどれかに該当します。 • Red Hat Enterprise Linux 5(AMD/Intel 64) • Red Hat Enterprise Linux 5(x86) • Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(AMD/Intel 64) • Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(x86) • Red Hat Enterprise Linux AS 4(AMD64 & Intel EM64T) • Red Hat Enterprise Linux AS 4(x86) • Red Hat Enterprise Linux ES 4(AMD64 & Intel EM64T) • Red Hat Enterprise Linux ES 4(x86)

付録 D.7　KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト，$1{,}024^2$ バイト，$1{,}024^3$ バイト，$1{,}024^4$ バイトです。